やる前から大混乱!! 8・8UFOドーム&灼熱の「PRIDE vs K-1」!!

紙のプロレス RADICAL

MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE

2002 51

"OH砲"が、それぞれ7・7を刈る!!
橋本真也／小川直也

オーちゃんを狙う"新超獣"の正体発覚!!
ザ・プレデター

ZERO-ONE最高ガイジン列伝

両国で甦るか？
"地上最強のカラテ"
小笠原和彦

"メジャーな総合"にも照準!!
"怪物"が初のプロレス三昧!
横井宏考

小池栄子が『PRIDE』の魅力を突如、マン開!!

天変地異級のカード続出!!
観る前に読むか、観終わった後に読むか!?
『PRIDE.21』ド直前大特集!!

"赤いパンツの前科者"が選んだのは、なんと、仰天のボブ・サップ戦!!
田村潔司

"リングス・ロシア"、遂に『PRIDE』見参!!
E・ヒョードル
R・アフメッド

究極の活字エンターテインメント!!
武藤敬司の人生相談

I編集長が血風!!「長州退団問題」をブッタ斬り!!

闘龍門5周年記念に堂々の土俵入り!!
ドン・フジイ

パンクラスからの刺客、第2弾!!
謙吾

Uインターの"爆弾小僧"が久々の表舞台!!
鈴木健

バト・リ・バース!! リ・情念!!
石川雄規

ZERO-ONEに願いを!!

7・7両国七夕決戦、迫る!!

紙のプロレスRADICAL NO.51 ZERO-ONEに願いを!!

発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188

破壊王が小笠原と

死戦!!

OH砲による"秘技・天の川"は見られなくなったが、
7・7！ ZERO−ONEよ、プロレスファンの心に

天の川をかけろ!!

小川がプレデターと

一騎打ち!!

合!!大試練!! しかし、これは……

き“プロレス”への

”だ!!

7・7両国――。ZERO―ONEだよ、全員集合―――ッ!!

いよいよ、ファンにとっては期待の、ZERO―ONEにとっては試練の日が迫ってきた。

迫ってきたといえば、もう締め切りだ。時間だ。ギリギリだ。なんか、参考になるものはないか? あ、あった! 糸井重里さん、すいません。ちょっとパクります。というより学んだので伝えます。押忍。牡。お酢。

さて、破壊王率いるZERO―ONEは、ここまで、コケたら立ち上がり、立ち上がったら突進する。で、突進してると思ったらいつの間にかコケている。コケたと思ったら、また立ち上がり、突進している。つまり、コケることはあっても、立ってる間は突進しまくるだけ突進しまくってきたというわけだ。

突進してみなければ、〝突進するということはどういうことか〟について深く理解することはできない。

ものごととは、やっぱりそういうものなのだ。

この原稿だって、書く前はなんにも考えちゃいないが、まず、ひと文字目を書き出さなければ、書けない。

アントン総帥の言うとおり、なんだって、ひと足踏み出さなければ、なにも始まらないのだ。

設計図や企画書や計画書を前にして、細部を詰めて、あらゆる失敗を想定し、万全の状態とは何かを、しかめっツラしながら考えることはできる。

でも、誰かがつくったものがあって、初めて批評したり、アレンジしたり、悪いところを直したりできるのだ。

「ないもの」については、直しようがない。

つまり、「たたき台」がなければ、なにも始まらないのである。

「とにかく、つくってみるということから、その改良がはじまるし、批評もできるようになる。考えることも、追求することも、批評することも、ぜんぶ大事なことなのだけれど、どんなことでも、『不完全なたたき台』から始まる」

と、糸井さんも言っていた。

もしかしたら、誰かがつくった「たたき台」の悪いところを直したほうがビジネスになる確率は高いかもしれないし、効率的かもしれない。

「たたき台」をつくる役割の人は、莫大なエネルギーがいるし、パクられたり、笑われたり、怒られたりする、非常に損な役回りかもしれない。

でも、「たたき台」をつくるっていうのは楽しいんだよなぁ。

破壊王は、その存在自体が〝人間たたき台〟か? と思うほどエネルギーに満ち溢れた存在だ。物事を立ち上げてから、考える典型的な人だ。いまZERO―ONEという「揺るぎないプロレス」を目指した「たたき台」を、ファンや周囲にあーだこーだ言われながら、軌道修正を強いられながら、つくっている最中だ。

破壊王も、きっと「たたき台」をつくるのが楽しい人なんだろう。実際には苦しいことも多いだろうけど、その楽しんでるエネルギーが伝わってるから、いまZERO―ONEが面白いと言われてるんだと思う。

ここ数年、『PRIDE』に代表される総

ZERO－ONEに大舞台!! 大

“揺るぎなき

“たたき台”だ

合格闘技からの〃外圧〃や、エンターテインメント・プロレスが起こした〃大波〃に、「プロレス」は揺れっぱなしだった。

総合格闘技っぽいプロレスをやってみたり、エンタメっぽいプロレスに中途半端に身を置いたり、万年暗中模索状態だった。

破壊王は、そういった〃外圧〃や〃大波〃が襲ってきても倒れない、「揺るぎないプロレス」を建築している最中だ。

設計図は、ない。

「揺るぎないプロレス」は、いまの時代性の中では、唯一、海外のWWEが成しえてるだけで、日本にはまだ「ないもの」だ。だから、「無理だろう」という声も多い。

しかし破壊王は、幸か不幸か新日本を飛び出てから、いくつもの「たたき台」をつくってきた。

〃秘境〃と言われたノア勢を対抗戦に引っぱり出したのもZERO－ONEだった。強くて、凄くて、面白いガイジンを発掘してきたのもZERO－ONEだった。グローブをつけたプロレスに〃邪道〃を上げたのもZERO－ONEだった。小川直也を純プロレスの魅力に目覚めさせたのもZERO－ONEだった。古き良きアメリカン・スタイルを復活させたのもZERO－ONEだった。「地方発世界」を掲げたのもZERO－ONEだった。

破壊王は、いくつもの「たたき台」をつくっては壊し、つくっては壊ししながら、「揺るぎないプロレス」の「たたき台」をつくろうとしている。

今年に入ってからの躍進の要因は、『揺るぎなきプロレス』を構築するには、まず「プロレス」をやらなければならない』ということに、無意識のうちに気づいたからだろう。

そこには総合格闘技からの〃外圧〃も、エンタメの〃大波〃にも耐えられそうな「たたき台」があった。

いま現在の「たたき台」もまだまだ不細工で、その不細工さが妙に受けているところもある。しかし、奇妙なスケール感があるのも、また事実だ。

7・7両国――。ここでいま現在の「たたき台」は壊れるかもしれない。つまり、コケる可能性も大いにある。

そういえば、糸井さんはこんなことも書いていた。

「小説を書きたいなら、最初のひと文字を書きだせばいい。『文学とはなにか』を考えたり話しあったりするのは、書きはじめてからでもできることだ」

ZERO－ONEを論じるのは、とりあえず両国が終わってからでいいだろう。まずは、ノア勢も新日本勢もいない「たたき台」を見てみようではないか。

なにせ破壊王は両国に、あのミスター高橋をレフェリーとして招聘するということまで言い出しているのだ!

まったく、いったいどんな「たたき台」ができるのか――。

両国では、OH砲が、それぞれシングルマッチを闘う。

期待されていた新合体技〃秘技・天の川〃のお披露目は流れてしまったが、ここは、プロレスとプロレスファンの間に、ぜひ、大いなる〃天の川〃をかけてほしいものである。

7・7両国、行ってみよーーーッ!!

破壊王
橋本真也

長州の新日退団騒動からボッ発した猪木、長州、藤波のトライアングル抗争を報じる『東スポ』。「俺は興味ないから」「金に困ったらおいで」「彼のアホさ加減には、あきれた」「ギャラ出す必要なし」「会議欠席したくせに」「藤波には誰もついていかない」等々、三者それぞれの性格丸出しの発言が一面を飾った。ちなみに『東スポ』での長州インタビューの聞き手は、かつて新日中継の解説を務めていた柴田さんだった。

しょうもない争いなんて どうでもいいんや!

そんなことより

七夕7.7は両国に 全員集合!!

初の地方サーキットも大盛況に終わり、今や日本で一番熱いプロレス団体となったZERO―ONE。そんな中、新日本プロレスに激震が走った！　5月いっぱいで新日本を退団する長州力が痛烈なる猪木批判を繰り広げ新日本を去っていったのだ。その後、藤波社長もバトルに加わり『東スポ』紙上では連日激しい舌戦が展開された。7・7両国決戦を前に、破壊王・橋本真也が、一連の長州新日退団問題から新必殺技まで激白！

聞き手／吉田豪　構成／松澤チョロ　撮影／森“モーリー”鷹博　designed by hisa (Two Three)

橋本　（道場に現れるなり）さあ、今日は何しゃべればいいんや！　最近、腹が立つことが多いから何でもしゃべるぞ！

――ダハハハハ！　それは（一連の長州退団問題を報じる『東スポ』を広げ）ズバリ言って、この辺のことなんですか？

橋本　もう終わったことだからな。どうでもいいよ、そんな問題！　以上!!

――たったいま、何でも話すって言ったばかりじゃないんですか（笑）。

橋本　（無視して）だって、そう思わねぇかよ？　いままで、（扇子で新聞をバンバン叩きながら）結局、コイツらの揉めごとの煽りを俺らが食ってるわけだよ。今さら何こいてんだ、バカ野郎って！

――確かに長州さんも藤波さんも今回の件に関して言えば発言に説得力はあるんだけど、なんで今頃になって言い出したのかなっていう部分はありますよね。

橋本　長州さんが言ってることは全部真実だよ。ただし、長州さん側の言い分でしかないの。そりゃ、長州さんだって悪いとこはあるだろうしな。だから、論じたってしょうがねえんだよ。（猪木さんの写真を扇子でバンバン叩きながら）結局、この人の会社なの。ワンマン会社なんだよ。

――蝶野さんもそう言ってましたね。

橋本　逆らうヤツは出てきゃいいんだよ。それだけの話。

――好きなことやりたいんだったら出て行くしかない、と。

橋本　そういうこと。ホントにアホ臭いと思わねえか？　アホ臭いっちゅうの！

――でも、長州さんが急に橋本さんのフォローをし始めたじゃないですか。

橋本　フォローじゃねえよ。オレのこと「あのバカ」って言ってんじゃん。

――そうも言ってましたね（笑）。

欠落した人間しかプロレスラーってやらねえよ！ まともな人間は、こんな商売やらねえって！

橋本　だって俺バカだもん！（キッパリ）。だから、「僕はバカです」って書いといてよ。「噂のバカです」って（笑）。

――ダハハハ！　でも、「あのバカも犠牲者だ」って言ってたわけじゃないですか。

橋本　まあ、偽善者よりはいいよ。でも、いま言いたくねぇもん、こんな問題。（長州退団問題で『東スポ』の一面になった、猪木、長州、藤波を見回して）でもさ、この中で一番アホだと思われるのは、（藤波社長を指さし）たぶんこの人だろうな。

――ダハハハ！　まあ、それは読んでいる誰もがそう思ってるでしょうね（笑）。

橋本　やっぱり、社長としてリーダーとしての決断力がないから、みんなが迷うんだよ。それでオレなんか、こういう羽目になったんだから。だから、生き方としてはバカだったってことでしょ。でも貫き通したから別に後悔はないしな。そういう意味じゃ、長州力と一緒なんだけど。

――ＺＥＲＯ-ＯＮＥ勢にしろ、全日本に移った方々にしろ、新日本を抜けたことですっかり、これまで押さえつけられてたものから解き放たれた感じがしますよね。

橋本　でもな、誰も好き好んで抜けたいなんて思ったヤツいないんだから。それにね、いい意味も悪い意味も含めて、欠落した人間しかプロレスラーってやらねえよ！まともな人間だったら、こんな商売やらねえって！

――長州さんが猪木さんのことを「欠落人間」って言われてましたけど、橋本さんも欠落してるってことですか？

橋本　もちろん！（キッパリ）。

――ダハハハ！　どの辺りが？

橋本　いや、カミさんにも言われたことあるよ。「肝心なところが欠落してる」って。まぁ、それは幼少時代のことになっちゃうんだよ。親がいないとかいるとかいうのも関係あるだろうし、あとは育ってきた環境とか。猪木さんだってブラジルのこととかあるわけでしょ？　まあ、今回の件については、人それぞれ、みんな性格出てるよな。

――いきなり噛み付き始めた長州さんも、そんな長州さんを批判したら逆襲された藤波さんも、そんな長州さんを突き放す猪木さんも、みんなキャラ通りですよね（笑）。

橋本　長州さんがどうすんのか知らないけどさ。やっぱり、曲げられないものってあるじゃん。

――長州さんは、ＺＥＲＯ-ＯＮＥ的にはウェルカムみたいな感じなんですよね？

橋本　いや、ウェルカムとか、そういう感覚ではないよ。試合をするにあたって、過去にいろいろありすぎたし。それを取り払うものは何かは、わかんないけど、ウェルカムとは一言で言えないな、オレは。小川とかは平気で言えるかもしれないけどな。

――橋本さん的には、長州さんと絡むのは、難しいところがあるわけですか？

5・23後楽園では“クソデブ”ことジム・ミラーからの刺客Ｈ・ヘルナンデスを葬りＮＷＡナショナル王座を奪取した破壊王だったが「こんなの、いらねえ」と激高！

橋本　ただし、橋本真也が形成されて今があるのも長州力との10何試合があるからなんだよ。「お前と長州の試合は印象に残ってる」ってよく言われるんだけど、そういう意味では、どこかで、もう1回ぐらいやらなきゃいかんのかなって。で、その長州力はアントニオ猪木と試合をして今の長州力があるわけだ。猪木さんは猪木さんで力道山に対する反骨心があって今があると。だから、そういう人がいる者が力が出るんだよ。ただ、それが悪い方に出ちゃうと今回みたいになっちゃうんだけどな。……よくわかんねえや。ただ一つだけ言えることは、今回の件はプロレス界の為にはなってないっていうことだよ！（キッパリ）。

――単純にマット界の話題がリング上じゃなくて、そっちに行ってますからね。

橋本　だって、試合じゃねえもん（苦笑）。ただ、そういう時ってあるから。オレも去年そうだったし。でも大抵、問題のモトは（猪木さんを指して）ここからだから。ここが自分勝手なことするからだよ。

――ダハハハ！　それで、今回も長州さんが噛み付いてきたのはもともと猪木さんだったはずなのに、いつの間にかターゲットを藤波さんにスリ替えてるし（笑）。

橋本　往々にしてそうなんだよ。そういう意味ではオレたちも犠牲者とも言えるから。オレも自分を通したからこそ、追い出されたようなもんだからな。

――橋本さんの場合は通して良かったと思うんですよね、結果的には。

橋本　でもやっぱ、キツいよ。正直な話、金銭的には嫌な目こいたよ。それが良くなりゃいい経験になると思うし。

――いまだに金銭的にはキツいんですか？

橋本　いやいや、前よりはいいけど。やっぱりステージアさんの件もあるしな。

――『真撃』をスポンサードしていたステージアが倒産しちゃいましたからね。

橋本　ウチに２００万の未払いなんて『ファイト』に書かれてたけど、とんでもねえよ！　●●だよ。なに言ってんだよ。

――うわっ！　未払い金が●●ですか！

橋本　そうや。書面だって全部あるよ、こ

オレが8・8のUFOの黒幕だって？
そうかもしれねえな

っちは。『真撃』二回分のギャラもらってないんだから。でもウチは、そんなところに着目するわけにはいかんのよ。オレらは前に進むだけの話で。まあ、いい経験だったなって言いたいね、将来。

――その『ファイト』（6／13号）によると、橋本さんは今度の8・8のUFOの黒幕説まで出てるわけですよね（笑）。

橋本　黒幕かもしれねえな（あっさりと）。

――ダハハハ！　そうなんですか（笑）。具体的に何か関わってはいるんですか？

橋本　8月8日だろ？　全然関係ねえよ。

――違うんじゃないですか（笑）。

橋本　要はさ、『PRIDE』とK―1の石井館長とUFOの川村さんと猪木さんとの、キツネとタヌキの化かし合いの興行だから。どこで金を落とすかだけの話だよ。4人が競い合ってるだけの話で。そういう興行でしょ、ハッキリ言ったら。

――また、ハッキリ言いますねえ（笑）。

橋本　それに、みんなミックスになっちゃってんじゃん。K―1出る、『PRIDE』出るってさ。それがもっとハッキリ色分けして気持ちいいものになんなきゃおかしいのに、いろんなことやってんのに、なんで話題にならねえかっていうと、濁っちゃってるからだよ。おいしいミックスジュースにはならなかったんだよ。

――食い合わせが悪かったわけですね。

橋本　そうや。だってプロレスには格闘技戦なんて必要ねぇもん。みんな他で格闘技戦ばっかやってんだから。ルールもいいかげんなヤツでやるから、わけわかんない試合になっちゃってるだろ。

――同感です！　『真撃』よりZERO―ONEの方が面白かったっていうのは、

Shinya Hashimoto

そういうことでもあると思うんですよね。

橋本　いや、『真撃』は『真撃』でオレはプライド持ってるから。もっと時間をくれて回数与えてくれたなら、それを立証することもできたと思うけど。

――あ、じゃあ『真撃』ルールでの試合は今後も続けていくんですか？

橋本　まあ、「好きにしてくれ」って感じだけどな。

――ダハハハハ！　あんまり興味なさそうじゃないですか（笑）。

橋本　大体、グローブをハメて試合やり出したのは小川でありオレだったんだけど、今は、みんなハメるようになったからな。オレはみんなと同じことやりたくないから。それに、そんな試合は見たくないってなっちゃったでしょ？

――そういうことですね。

橋本　結局、新日本がそっちにダラダラと流されて、そっちに行かせたのは（猪木さんを指して）この人だから。「この人が言うことは全部正しい」ってことにされちゃうから。今まで言いつけを守ってやってきた人が、また面食らうわけですよ。そこはおかしいんじゃないかってオレは思うね。

――いま、猪木さんとはどうなんですか、橋本さんは？

橋本　この前、東京ドームが終わった後に山田（豊文）先生とメシ食ったりした後、なんかのきっかけで一緒に飲んだよ。

――会えば、普通に話して。

橋本　普通っていうか、まあ腹ん中は別でだけどな（笑）。それにやっぱり、アントニオ猪木っていうのは師匠だから立てたりもするし。でも、仲直りしたから、どうのこうのじゃなくて、オレはオレの今の立場があっても、自分の言い分もあるし、それを譲る気はないから。そこで踏み込んできたら、やっぱしオレは闘いますよ。去年は踏み込まれたからな、猪木さんに。

――マーク・ケアー問題のときですね。そういうことで、この間のZERO―ONE後楽園大会もやっぱり最高だったわけですけど、会場には、なぜか小池栄子さんも来てましたね。

橋本　栄子とは仲いいんだよ。出世するんじゃないか？　性格いいしな。それか結婚するかどっちかだろう。でも、あのヤロー、初めて試合見て坂田（亘）が好きになったらしいんだよ。今度、坂田と栄子の仲介しなきゃいかんな。

――そんなことまでするんですか（笑）。

橋本　なんか、よく見たら、あの2人、顔似てんだよな。もしかしたら本当に赤い糸かもしれないぞ。

――運命の赤い糸で結ばれてますか！

橋本　その時はオレが仲人やるんや！

――ダハハハハ！　だけど、最初は橋本さんも狙ってたんじゃないですか？

橋本　いや、メチャクチャ、タイプじゃないけど可愛いなと思うし、一緒にいて楽だしな。あと佐藤江梨子っているだろ？　栄子に「オレはサトエリにしようと思う」っ

橋本黒幕説
UFO8・8ドームをプロデュース
カード編成ブッキングに関与？
今や小川とは蜜月関係

「UFO8・8ドームの"黒幕"は橋本」と相変わらず飛ばしまくりの『ファイト』（6／13号）。本人曰く「そうや、オレが黒幕や！　でも、なんだ8・8って？」と真顔で一言。ビバ破壊王！

て言ったら、「そんなこと言わないでよぉ！」って言ってたから、「じゃあ、乳揉ませて」って話になってな（笑）。

——それぐらい仲がいい、と（笑）。そんな小池さんもお気に入りの坂田選手と、後楽園でプロレスデビューした横井選手のタッグもメチャメチャ評判いいですよね。

橋本　アイツらはウチの選手に、いい栄養分を与えてくれてんだよ。

——崔リョウジ選手と耕平選手も、今までで一番いい試合してましたからね。

橋本　だから、今の負けなんか気にするなってことだよ。ただ本人達は勝ちにこだわってやるのは当然だけど、ドンドン栄養分吸い取ってやればいいんだよ。

——横井選手とかの件で、前田さんからは何か言われなかったんですか？

橋本　リングス勢を使う時は、前田さんに「使います」って言わないといけないからな。いろいろと面倒臭いんだよ（笑）。

——やっぱり面倒臭いですか（笑）。

橋本　前田さんから電話掛かってきて「オレとお前はケンカしてるわけじゃないやないか。一言あったっていいやろ！」って言われたから、「すいませんでした！　気遣いがちょっと足りなくて申し訳なかったです」って言ったんだよ。そしたら前田さんも謝ると思ってなかったみたいで、それで終わっちゃったけどな（笑）。

——筋を通されて納得したのか、橋本さんが反論すると思ってたから大声で謝られてビックリしちゃったのか（笑）。

橋本　もともとケンカする気だったら、そんなこと言わないけど、オレはケンカするつもりはないから。

——前田さんとは、いつか仲良く対談でもしてもらいたいですからね。で、この間の後楽園ではプラカードも上がってたのに、ちょっとビックリしたんですけど。

橋本　なんや、あれ？　ちっともわかんねぇんだけど。なんなんだ、一体⁉　誰が操作してんの、アレ？

——誰も操作はしてないですよ（笑）。WWF（現WWE）の影響だと思いますけど。

橋本　初めて来たレフェリーにコールが起こったり、「WHAT！　WHAT！」だか、みんなで叫んだりしてただろ？　ああいうのは、なんかオレの思惑と違うぞ！

——ダハハハハ！　プラカードは橋本さん的にはあまり……。

橋本　（遮って）いいんだけど、WWFと同じことを期待されてもウチとは色違うだろ。それに似た部分はあっても、WWFを期待されると困っちゃうしな。でもウチは紙テープはありだから。オレの時は真っ赤っかのヤツを投げてくれ！

——それって帯の色ですか（笑）。

橋本　それか金色にしてくれ！　そっちの方がゴージャスだろ？　今まで真っ赤っかはいたけど、金色はいねぇだろ？

——いないような気がしますね。

橋本　じゃあ、ゴールドにしよう！　オレに紙テープ投げる時はゴールドに決定！それってゴージャスだなぁ（満足げに）。

——両国ではプラカード以外にゴールドの紙テープを用意しておけ、と（笑）。

橋本　ゴールドじゃなくてゴルドーが出て来ちゃったらどうしような？（笑）。

——もういいです（笑）。そういうことでZERO—ONEのビッグマッチの7・7両国大会が近づいてきたわけですけど、カードはどんな感じになりそうですか？

橋本　まだ小川がハッキリしないからな。もっとイジメないとダメだ、小川は。今までさんざんイジメてきたから、今度はイジメられたらいいんじゃないか？

——たまにはプレデターにでもイジメられたほうがいい、と（笑）。

橋本　プレデターに限らず。だって、まだ試練っていう試練ないじゃん。いきなりオレとの間でいろいろあったけどな（苦笑）。

——まだ致命的な敗北もないですからね。

橋本　それはオレがやらなきゃしょうがないじゃん。まあでも、今はやりようがねぇけど、必ず両者並び立たなくなるよ、近々。そういう時が来るんだよ。例えば、長州という獲物がいたとしたら、1人しか相手はいねえんだから、2人いたらどうすんの？どっちがって話になっちゃうだろ。

——まあ、そうでしょうね。

橋本　そうだよ。だってNOAHさんなんか、NOAHの興行だけやってりゃ、それで満足してるけど、新日本はそうはいかないだろ。食い潰すからな。アリの巣みてぇなところあんだよ。常に食いもんがないとダメなんだ。いや、アリの巣とかハチの巣は大事に大事に子供を育てるけどさ、子供食っちまうもんな。恐ろしいよ。

——そのせい

Shinya Hashimoto

ZERO—ONEを見て盛り上がったらみんなで踊るんや!!

行くぞーッ！

まずはこうや！

恥ずかしがるな！

キメッ!!

で、いま子供はほとんど残ってないですからね（笑）。

橋本　（猪木さんを指して）この人なんかエイリアンだよ、エイリアン！（笑）。

――神ではない、と（笑）。

橋本　神なんかじゃねえよ。エイリアン！

――まあ、橋本さんにとっての神様はお客さんですからね（笑）。

橋本　そうや。今日の結論としては、猪木さんはエイリアンだったってことにしよう！（笑）。

――そんな結論でいいんですか（笑）。でもホントに楽しみですよ、七夕の両国は。ドン荒川さんも出るみたいだし。

橋本　荒川さんはオレがオファー出したんだよ。メガネスーパー連れて来てもらおうかと思って（笑）。でも来れないんだって。

――そういえば、荒川さんの所属がメガネスーパーじゃなくてフリーになってましたからね。

橋本　はぁ～～（深いため息をつく）。

――そんなにショックだったんですか（笑）。それとも何かツライことでも？

橋本　いや、ツラくはないけどさ、休みがないのがツライぐらいでさ。

――そういえば、最近は映画撮影でかなり忙しいみたいですね。

橋本　そう。今月3本映画やるんだよ。ヤクザ映画が2本で、あとはケイン・コスギの本編の映画があるから。それは、ちょっとだけだけどな。あっ、それでね、今度オレ、力道山役で出るんだよ。

――えっ？　何の映画ですか？

橋本　真樹（日佐夫）先生んとこがやってるヤクザ映画だよ、柳川組の。

――じゃあ、松方弘樹さんとの共演ですか！

橋本　そうそう。それで突然、「力道山やってくれ」って話が来たんだよ。

――ダハハハ！　橋本さんにとって夢のような話じゃないですか？　松方さんと共演で、しかも力道山役っていうのは。

橋本　だから、刺されるシーンもあんじゃないの？（力道山のマネで）「おい、猪木！　サイダー買ってこい！」って、そういうセリフねえかな（笑）。

――ダハハハハ！　しかし、遂に憧れていた松方さんとの初共演になるわけですね。

橋本　そうだね。でも、一緒に飲んだことは何回もあるよ。松方さんには可愛がってもらってるもん。それに松方さんの彼女を口説いたこともあるから（笑）。

――ダハハハハ！　彼女だって気づかなかったんですか？（笑）。

橋本　だって、松方さんも横にいたけど、知らねえから口説いて電話番号もらって2回ぐらい掛けたらさ、気まずそうにしゃべるんだよ。後で聞いたら松方さんの彼女だったんだよ。早く言えよと思って（笑）。

――ダハハハハ！　それってムチャクチャいい話ですねぇ（笑）。

時は来た！　これが近日発売予定（どっから？）の「オレごとカレー」のパッケージだ。ボリュームたっぷり破壊王サイズの一人前500ｇ。もちろんチキン＆ポーク味。興味のある食品メーカーの皆さん、今ならまだ間に合うぞ！

橋本　でも、映画は割に合わん仕事だよ。

――まあ、拘束時間も長いですからね。

橋本　でもオレ、「出たい！」って言っちゃったからさ（笑）。ギャラなんて祇園に飲みに行ったら1日で消えてしまったよ。

――あ、もう使っちゃったんですか？

橋本　もう足出てるよ（あっさりと）。その日から毎夜毎夜だから（笑）。

――ダハハ！　祇園に毎日行くのなんて、まさに男の憧れですよ！

橋本　銀座でもそうだけど、やっぱり外に出ないといいことってないよ。悪いこともあるかもしんないけど、突然「応援したい」って人が出てきたりするからさ。

オレに紙テープ投げる時はゴールドに決定！　それってゴージャスだなぁ

――人とのつながりっていうのはそういうもんですよね。

橋本　運ていうのは〝運ぶ〟って書くから、動かなきゃダメなの。〝不運〟って動かないから不運なんだよ。行動あるのみ！

――最高です！　で、映画の話はともかく7・7の両国では、なんらかのビッグサプライズとか考えてるんですか？

橋本　ビッグサプライズっていうか、ウチは全てプロレスラーで揃えたいよな。ノゲイラだミルコだバンナだって、オレには関係ねぇや、あんなもん。

――ダハハハ！　あんなもん（笑）。

橋本　安田がやったからいいんだよ、バンナなんか。ミルコは藤田がリベンジすりゃいいことだし、ノゲイラは放っときゃコーヒー作りに帰るやろ！

――ダハハハハ！　別にノゲイラはコーヒー園の人じゃないですよ（笑）。

橋本　そっか（笑）。でもオレ、ノゲイラと会ったけど、アイツは性格いいよな。

――あ、新日の会場で話したんですか？

橋本　ドームの控室来たんだよ。でも3人も来て「どれなんだ、ノゲイラは？」って思ったけどな（笑）。

――兄弟の区別は付かないでしょうね（笑）。ノゲイラとかも、プロレスをやりたいって気持ちはあるみたいですけど。

橋本　だけど、ああいうのに限ってムチャクチャしょっぱそうだよな（笑）。その点、マーク・ケアーは化けるぞ！　前は、しょっぱかったけど、最近スッゲー、マジメに取り組んでて良くなってるみたいだから。

――とすると、今度の両国大会辺りでケアー投入もあり得るわけですか？

橋本　いや、だって高いもん（キッパリ）。

――あ、ギャラが（笑）。

橋本　だから、他のイベントとかで金を吊り上げられたからホント迷惑してんだよ。

――そういう意味ではZERO－ONEは外人選手もたくさん呼んでるし、経費とかも大変なんじゃないですか？

橋本　掛かるよ（あっさりと）。

――なおかつ、それで名前が売れちゃえば引き抜きとかもあるだろうし。

橋本　引き抜きたいヤツは持ってったらい

いんや！
――あ、そうなんですか（笑）。
橋本　それで、金で光らせることができるんだったら。オレは別に、金を積まなくても光らせるっていう自信あるからな。
――ＺＥＲＯ―ＯＮＥでは、知られざる外人選手を見事に光らせてますからね。
橋本　そうやろ！　この世界、人に食わせてもらうってことしか考えてねぇヤツらばっかなんだよ！　大半のヤツらは奢られることしか考えてないだろ？　奢ってやる喜びを知らないじゃん。どこ行っても「ごっつあんです」ばっかりで「いい人見つけた。良かった」ってさ。オレは違うもん。だったらオレは自分がタニマチになりたいもん。そっちの立場の方がよっぽどカッコいいって！「好きなもん食ってくれ！　おう、ロマネコンティー持って来い！」ってやりたいじゃん！
――ダハハハハ！　男ならいつかはやりたいですよねぇ（笑）。
橋本　男は見栄はってナンボだから。家に帰ったら茶漬け食ってりゃいいんだよ。
――前に橋本さんに夢について聞いたら、「ビルの上から金バラ撒きたい」って言ってましたけど、そういうことですね（笑）。
橋本　今でもやりてえよ（笑）。でもな、５００円玉だったらケガするぞ！
――当たり前ですよ（笑）。また７・７の話に戻りますけど、小笠原戦は決定と思っていいんですか？
橋本　まあ、決定でいいんじゃない？　そういえばアイツ、『紙プロ』で車飛びやる！」とか言ってたみたいだけど、ケガさせてくれるなよ。それで試合出れなくなったら、笑いもんだぜ。子供が漕いでるような、ちっちゃな車だったらいいけどよ（笑）。
――ダハハハハ！　そっちの方が笑いもんですよ（笑）。ただ、本人はメチャクチャやる気になってたんで、止めるのが大変だったみたいですよ。
橋本　まあ、アイツもバカだからさ。
――本物の空手バカですよね（笑）。
橋本　いや、単なるバカだよ！　バカじゃなきゃプロレスやるわけねえじゃん！
――バカだからこそできる、と。
橋本　利口なヤツはやらねえよ！　この世界で利口ぶってるヤツもいるけど、この世界にいるってことはバカなんだよ。
――プロレス界にいる時点でバカ（笑）。
橋本　そうや！　プロレス界はバカかアホか、たわけか……でもな（藤波社長を指さし）この人だけわかんねえんだよなぁ。あの人を把握するのは、ホント難しいよ（笑）。
――新日本を辞めた人は、みんな揃って藤波さんの悪口を言い出すのが興味深くてしょうがないんですけどね（笑）。

Shinya Hashimoto

橋本　それは藤波さんも悪いところあるけど、（猪木さんを指さして）しっかりしねえからだよ、この人が。
――よく、アントニオ猪木は最高だけど猪木寛至は最低だとか言いますよね。
橋本　どっちも最低だよ（キッパリ）。
――ダハハハハ！　そうですか（笑）。
橋本　でも、オレは最高にファンだよ。オレが1番のファンだもん。
――新日時代は誰よりも猪木ファンでしたからね。
橋本　いまでも、全部の猪木ファンの代表がオレだと思うよ。
――まあ近くにいると嫌な部分も見えるでしょうけど。
橋本　だって、その嫌な部分も全部、清濁併せ呑むじゃないけど、嫌な部分は見ないんだよ、オレたちは。親分のいいとこだけ見ることができるんだもん。でも、テメエが潰されかかったら、ちょっと違うよな。それも追い出された挙げ句に。さすがに、そこまでバカじゃないよ、オレだって。
――橋本さんが新日を出てから、マット界の流れも一気に変わってきましたよね。
橋本　オレも出ると思わなかったから。ホントだったら、今の蝶野の役目はオレがやんなきゃいけなかったかなって思ったりするもんな。
――でもあの立場は絶対ツライですよ。
橋本　だから、みんなの話なんて聞くからツライんだよ。一時期の長州力みたいに強引に走らなきゃダメだって。「オレがこうなんだから来いや！」って、やらないと。あんだけの人数、まとまるわけないよ。
――いま思うと、長州さんはよくまとめてきましたよね。それだけでも、藤波さんよりは凄いなって痛感しますよ（笑）。
橋本　究極に言うとな、（藤波と長州の写真を指し）2人で試合やったら客入るぞ！　もうちょっとやり合ったら、もの凄い入るだろうな。でも無理か（笑）。
――それに橋本さんを加えた巴戦でもいいですけどね（笑）。長州さんのラリアートに合わせた、「オレごと刈れ」の別バージョンで藤波社長を倒してもいいだろうし。
橋本　（突然）いや、実は「オレごと刈れ」っていうのは素晴らしい意味があるんだよ。今の人間全てに欠けてる自己犠牲の精神。それがなければ、あんなこと絶対なり得ない技だよ。無償の愛じゃないけど、今は、無償の精神って少ないからな。みんな「金金金」ってさあ。貧しい時代には、人のことを思いやってたんだよ。心が豊かだったの。それが今は何でも手に入るようになったら、心だけどっかに置き忘れ

最初こそ、各方面に怒り心頭の破壊王だったが、話が進むにつれご機嫌モードに。そして破壊王自らの提案により近日中に読者とＺＥＲＯ―ＯＮＥ勢の合コン企画が実現！　詳細は次号でッ!!

ちゃったんだよな、日本人は。

――今の日本人には心がないですか？

橋本　中国とか韓国の方が魂持ってるよ。サッカーもいい影響だよ。もっと日本人を頑張って応援しないとダメやろ！

――自分の国をちゃんと応援しろ、と。

橋本　だから、自国を愛することができないと、よその人のことなんか言えねぇって。来る人来る人で顔色変えててカメレオンじゃねぇんだから、日本は！　ホント情けない！　そうすると●●●みたいな右翼が強くなるんだよ。もっと学生運動しろっちゅうの。

――ダハハハハ！　どうしてそこで学生運動を奨めちゃうんですか（笑）。

橋本　浅間山荘なんかじゃなくて、今度は京●●ラザとかホテ●●ークラでもいいけど、そういう所にこもって、それをガーッ！って鉄球で壊したら最高だぜ（笑）。

――無責任なこと言いますねえ（笑）。

橋本　（無視して）今は時代が時代やから、鉄球じゃなくて、ミサイルだろうなあ。

――それと、「オレごと刈れ」の自己犠牲の精神と、どういう関係があるんですか？

橋本　自分を犠牲にするっていうのは、相手に寄せる信頼がなかったら無理じゃん。オレは小川に対してそれがあるからできる技なんだよ。だってSTOなんか自ら喰らいたくねえよ。人の体重まで背負って（笑）。

――いつもの倍、痛そうですもんね。

橋本　ホント痛いぞ！　マジメにどぎつい技だよ。この間、トム・ハワードに掛けた時、あばらにヒビ入ったからな。

――うわっ！　それほどの自己犠牲があったと。そんな深いメッセージがあったなんて、誰も気づいてないと思いますよ。

橋本　でもさ、ちょっと聞いたんだけど、どっかのプロレスでマネしてんだって？

――あぁ、（ロッシー）小川社長がやってましたね。他にもいろんな団体でガンガン使われてて、大ブームですよ！

橋本　ホントか？　ホントに使ってんの（笑）。……使うんじゃねぇつっとけ！

――ダハハハハ！　今後は使用禁止！

橋本　使用料払えって！（笑）。三流と一流を一緒にしてくれるな。だって、こっちは世界一の大外刈りだぞ。誰も文句言えねえだろ。

――誰も文句なんか言ってないですよ（笑）。あと、「オレごと刈れ」に続いて、今度は「ダバダ」っていう新必殺技を小笠原戦に向けて開発したらしいですね（笑）。

橋本　いろいろあったんだよ、名前だけは（笑）。七夕だから秘技・天の川とかな。でも「ダバダ」ってどんなイメージあんの？

――新聞にも「空気投げの一種」としか書いてなかったんで謎だらけなんですけど、とりあえず小笠原さんに違いをわからせる為の技ってことなんですよね（笑）。

橋本　ネスカフェ・ゴールドブレンドや。「♪ダバダァ～」ってな（笑）。あ、ゴールドブレンドって技もいいよな？

――ダハハハ！　しかし「オレごとカレー」といい、ホントにスポンサー付きそうな技ばっかり考えてますね（笑）。

橋本　でも付かねえんだよな（苦笑）。

――ダハハハハ！　抜群です！（笑）。で、そんな橋本さんにちょっと確認したいことがあって、橋本さんが、どこか怪我して入院した時、ついでに他の部分も手術したって聞いたんですよ。

橋本　おぉ、聞いたか。例の1・4で小川に鼻やられて陥没しちゃったとき、整形外科で鼻の手術したんだけど、ついでに、いびきの手術して、それから包茎の手術したんだよ（笑）。

――ダハハハハ！　やっぱり噂はホントだったんですね（笑）。

橋本　まあ、自分で払ったけどな。

――会社の治療費で一緒に手術してもらったわけじゃない、と。しかし、あの時期にそんな手術をしていたってだけで、橋本幻想は無限に膨らみますよ！

橋本　（恥ずかしそうに）それがさぁ、足んなくて、またちょっと戻っちゃった（笑）。

――ダハハハハ！　じゃあ、両国大会を期待してます！

【02年6月7日・ZERO―ONE道場にて収録】

新たなる価値観を創造する闘い！
『creation』大会スケジュール

6.27（木）東京・後楽園ホール（18:30）全対戦カード

- ▶橋本真也&大谷晋二郎&田中将斗vs トム・ハワード&ザ・プレデター&ネイサン・ジョーンズ
- ▶藤原喜明&佐々木義人vsスティーブ・コリノ&ラピッド・ファイアー
- ▶佐藤耕平vs坂田亘
- ▶高岩竜一&星川尚浩vsディック東郷&日高郁人
- ▶崔リョウジvs横井宏孝
- ▶スパンキー&スメリーvs石川雄規&臼田勝美
- ▶黒毛和牛太vs炭谷信介

6.29（土）北海道・札幌テイセンホール（18:00）主要カード

【NWAインタコンチネンタルタッグ選手権】
- ▶［王者組］大谷晋二郎&田中将斗vs金村キンタロー&黒田哲広［挑戦者組］
- ▶橋本真也&佐藤耕平vsザ・プレデター&トム・ハワード
- ▶高岩竜一&星川尚浩vs石川雄規&臼田勝美
- ▶佐々木義人vs横井宏孝

6.30（日）北海道・札幌テイセンホール（15:00）主要カード

- ▶橋本真也&田中将斗vsザ・プレデター&トム・ハワード
- ▶大谷晋二郎vsネイサン・ジョーンズ
- ▶スティーブ・コリノ&ラピッド・ファイアーvs石川雄規&臼田勝美
- ▶佐藤耕平&崔リョウジvs藤原喜明&横井宏考
- ▶高岩竜一&佐々木義人vsディック東郷&日高郁人

7.5（金）長野・長野市運動公園体育館（18:30）主要カード

- ▶橋本真也&小川直也vsトム・ハワード&ネイサン・ジョーンズ
- ▶藤原喜明vsザ・プレデター
- ▶大谷晋二郎&佐藤耕平vs石川雄規&横井宏孝

7.6（土）新潟・新潟市体育館（18:00）主要カード

- ▶橋本真也&小川直也vsザ・プレデター&ネイサン・ジョーンズ

【UPW 認定ヘビー級選手権】
- ▶［王者］トム・ハワードvs田中将斗［挑戦者］
- ▶大谷晋二郎&崔リョウジvs石川雄規&臼田勝美
- ▶黒毛和牛太vs横井宏孝

7.7（日）東京・両国国技館（16:00）全対戦カード

- ▶星川尚浩vs日高郁人
- ▶佐藤耕平&崔リョウジvs金村キンタロー&黒田哲弘

【ソフト・オン・デマンド提供試合～女格闘家スペシャル～】
- ▶黒毛和牛太&富豪2夢路vs藤原喜明&ドン荒川
- ▶高岩竜一vsディック東郷
- ▶石川雄規&臼田勝美vsジョシー・デンプシー&ショーン・マッコリー
- ▶スティーブ・コリノ&ラピッド・ファイアーvs トム・ハワード&ネイサン・ジョーンズ
- ▶大谷晋二郎&田中将斗vs坂田亘&横井宏孝

【異種格闘技戦　時間無制限1本勝負】
- ▶**橋本真也vs小笠原和彦**
- ▶小川直也vsザ・プレデター

【ZERO-ONE　札幌初上陸記念イベント3連発！】

●橋本真也　握手会&撮影会
6月22日（土）17時～
ナムコ・ワンダーシティー札幌（札幌市西区西町北13町目1番）
お問い合わせ：札幌PRセンター　TEL.011-222-5555　担当・川島

●大谷晋二郎・田中将斗　握手会&撮影会
6月29日（土）22時～
すすきのコロシアム（札幌市中央区南5条西4丁目）
お問い合わせ：すすきのコロシアム　TEL.011-532-9646（18時以降）

●スティーブ・コリノ　サイン&握手会
6月30日（日）12時～
リング・パレス（札幌市中央区南3条西6丁目）
お問い合わせ：リング・パレス　TEL.011-261-5880　担当・日野

今年も熱く燃え上がる！
『火祭り02』大会スケジュール

7月28日（日）東京・ディファ有明（16:00）
7月30日（火）大阪・大阪府立体育館第2競技場（18:30）
7月31日（水）東京・後楽園ホール（18:30）
8月2日（金）大分・大分県立荷揚町体育館（18:30）
8月4日（日）熊本・グランメッセ熊本（試合時間未定）

［全てのお問い合わせ］ZERO-ONE　TEL.03-5730-3401

深刻!?
オーちゃんの
ワールドカップボケ

STO

そしてどうなる
8・8ドーム!!

7・7両国で

“新超獣（プレデター）”征伐へ——!!

暴走王

小川直也

7.5長野→7.6新潟→7.7両国で 連続ゴールを決めて ハットトリック いきますすよ!!

7・5長野&7・6新潟から7・7両国へ——。そして噂される8・8東京ドーム大会が実現すれば、ハードな飛行三昧を余儀なくされるオーちゃん。しかし、肝心の本人は、ワールドカップに興奮、熱狂しまくり！　マット界の話どころではなかった。でも、元気なことこの上なし！　そこはかとなく今後のヒントも隠されてるぞ。UFO公式出入り禁止カメラマン・モーリーとのコントも復活した暴走王インタビュー、行ってみよー!!

聞き手／山口日昇　撮影／森“モーリー”鷹博　designed by hisa (Two Three)

モーリー　あの、恐れいります。小川さん、ソファの真ん中に座っていただいていいですか？

小川　（小声で）はい、すいません。（実におとなしく）本日は、なにとぞよろしくお願いします。

——な、なんか今日はキャラが、ち、違いますね？

小川　（急にいつもに戻って）なに言ってんだよ！　モーリーの前では、いつもこういうキャラだろ！

モーリー　あっ、いやっ、うへっ。

——さ、聞くことがたくさんあるんで、「オー&モーリー劇場」は、今日はこれくらいでいいですか？（笑）。そういえば、小川さんが何号か前にノゲイラ&マリオ（・スペーヒー）と対談やったときに、小池栄子の話をしながら3人で「乳揉みポーズ」してましたよね。その写真を見て、「あ〜、嬉しい〜」って小池栄子が言ってたらしいですよ（笑）。

小川　ダーッハッハッハ。いやぁ、いいキャラだな、栄子ちゃんも。勢いが留まるところを知らないね、最近。何回か会場で一緒になってるんですよね。でも栄子ちゃんに関しては、破壊王のほうが上。破壊王は「栄子」って呼んでるからね。俺よりワンランク上かなぁ、と。俺は「栄子」までは呼べないなぁ（笑）。

——その破壊王が、「俺は体脂肪率は低いんや！」って言うんですけど、あれはホントなんですかね？（笑）。

小川　本人が言ってることだからね。でも、それを言い続けてると、いつかは裸の王様になってしまうんじゃないかなぁ、と（笑）。まぁ、でもみんなは「そうですね、凄いですね」って言うしかないですからね。

——「14・何%」だとか、信じられない数

両国はW杯のように、バ●ロム社がチケット販売しないようにしないとね（笑）

Naoya Ogawa

字を言うんですよ。

小川　俺は20はいってると思うけどね（笑）。でも、あれで10％代だったら凄いですよ。だって俺で12～13％パーセントですからね。

——小川さんとちょっと違うくらいの数字を堂々と言いますからね。

小川　それは測った機械が壊れてるんでしょ（笑）。

——ガハハハ！　ただそれだけ。

小川　まぁ、よっぽど気にしてるんでしょうね。でも、数少ないキャラクターですからね。芸能界でもデブキャラってあるように、プロレス界にもデブキャラがあっておかしくない！

——いまや内山君か三瓶か、はたまた破壊王かって感じですからね（笑）。

小川　でもプロレス界にとっちゃ、そんなにデブキャラっていないからね。ブッチャー、マクガイヤー兄弟。あと……。

——WWEのリキシ！

小川　ですね、現役では。いま、突き抜けたデブキャラっていうのはあんまりいないから。それも、〝いかにもデブ〟っていうキャラ。中途半端なデブじゃなくて。

——じゃあ破壊王は〝いかにもデブ〟ということですか（笑）。

小川　ダーッハッハッハ。いや、そうハッキリ言われても……。だって、破壊王は実際にふつうの選手より全然動けるから、あのカラダで。世界一の水面蹴りを使う男ですからね。

——でも本人は「世界一のジャーマンの使い手」って言ってるらしいですよ（笑）。〝オレごと刈れ！〟は、「小川の世界一の大外刈りと、オレの世界一のジャーマンが合体した技だ」とか言ってるらしいですからね。〝破壊王はそんなにジャーマン使ってたっけなぁ〟って思って（笑）。

小川　ここは敢えて言わせておきましょう。知らないところで、（カール・）ゴッチ氏に指導を受けたことあるんじゃない？

——この間、中西学選手がゴッチさんのところに2時間ぐらい行って、「ゴッチ直伝のジャーマンの使い手」って名乗ってますけどね。

小川　ダハハハ！　2時間か……でも1時間高いだろうね、授業料が。

——あ、銭の話（笑）。

小川　銭ゲバ的には、そういう話題を振っておかないと（笑）。

——映像を見ると、中西選手は話しただけですからね、ゴッチさんと。

小川　そこまで行っちゃうと、俺はコメントしようがないな（笑）。

——ゴッチさんの家にいた時間だけだったら、ボクも8時間ぐらいいたことありますからね。ボクの勝ち（笑）。

小川　じゃあ山口さんのほうがジャーマンうまいですよ。反り方からなにから。

——ま、それは冗談として（笑）、その中西選手が高山選手に敗れた6・7の新日本・武道館大会は、残念なことに空席が目立ちました。OH砲には「武道館出てくれ」っていう話はなかったんですか？

小川　そんな大会が、あったことすらも知らない！……っていうかね、もうね、いまこの時期にプロレスのことは語りたくないっていうのが正直なところだね（笑）。いまはワールドカップ（以下、W杯）！　なんかね、W杯見ないと世間について行けないでしょ。視聴率見ればわかるけども、60何パーセントで、〝東洋の魔女〟（64年・東京オリンピックの女子バレーボール「日本vsソ連」）に限りなく近い数字だっていうんでしょ。それぐらいの影響力あるんだから。

——今回の「日本vsロシア戦」の視聴率は、スポーツ中継史上2位ですからね。じゃあ、小川さんも見たんですか？

小川　見ましたよ！　日本が1点入れたときに両隣の家から「ワーッ！」っていう歓声が聞こえる。あれは凄い現象ですよ。外からも「ワーッ！」って聞こえてね。〝熱狂する〟っていうことは、ああ～、こういうことなんだなって思い知らされたね。ある種、異様。凄いよねぇ。

——そんな騒ぎになったW杯に続いて、視聴率3位が力道山vsデストロイヤー戦なんですよね。

小川　そう！　だからプロレスは、本来それぐらいのパワーがあるもんなんですよ。でもやっぱり、いまの時期に興行やるのはどうかなと思うんだけどね。ZERO－ONEは最初っから外してたからね。W杯に勝てるわけがない、と。ふだんは非国民であってもね、この時期は正しい国民の気持ちになってサッカー観戦するっていうのが筋でしょ（笑）。だってサッカーだけで、これだけ世界が交流できるっていうことは、やっぱりスポーツの持つ力は凄いっていうことでしょ。

——ドでかいスポーツの祭典は「人種抗争」や「戦争」の代用という側面もあるけど、〝闘い〟や〝抗争〟があるから「お祭り」になりえるし、最終的に「世界平和」に結びつきますからね。

小川　ある意味でね。

——で、そんなW杯の時期に開催された新日本の武道館大会は空席が目立ったわけですよ。

小川　あらららら。あれじゃないか？　W杯と一緒なんじゃないか？　きっとチケット販売をちっちゃな会社に任せちゃってたりしてさ、そこがいっぱいチケット持っちゃってるんだよ。

——「衝撃！　新日本のチケットはバイロム社が販売してた！」（笑）。

小川　そう！　バイロム社が1人ひとり名前をわざわざ確認してさ、送ろうとしてたのが遅れたんだよ。

——「おかしいなぁ、行きたい人は腐るほどいるのに空席が目立つなぁ？」って（笑）。

小川　そうそう。新日本もそういう現象だったんですよ。だからそれは、たぶん新日本のチケット販売のシステムのせい。あのW杯でさえ空席が目立ったんだから、気にすることはない（笑）。

——ダハハハ！　まさかZERO－ONEの7・7両国も、バイロム社にチケット販売を任せてないでしょうね？（笑）。

小川　どうなんだろ？　そういう過ちはないように、W杯でちゃんと研究してますからね。

——空席は目立たない？

小川　大丈夫でしょう（笑）。とりあえず、前日の新潟と前々日の長野。それはちょっと心配かな、みたいな。

——長野、新潟、両国と、小川さんは3連戦ですね。

小川　考えてみりゃ、そうなんだよね。3連戦は初めてですね。最高でも2連戦だ

からね。でも、もともと俺は、地方復興を掲げてたから、長野、新潟は外せないな、と。で、両国はその後に決まったようなもんですからね。でも両国はまだどうなるのか……まぁ、破壊王に任せてるんですべて、破壊王次第！

——両国ではプレデターとのシングルが濃厚らしいですね。

小川　そうなってくれるのが一番いいけど、それはやっぱりプロレスだから、長野や新潟の流れ次第じゃないのかな？（このインタビューの翌日に小川vsプレデターの一騎打ちが決定）。

——金網デスマッチっていう話も出てますよね。

小川　金網……まぁ、あの野郎と決着つけるにはそれでもいいけど、どっちかなぁ。面白い方がいいかな、みたいな感じだね。でもいま、ZERO—ONEが一番熱い団体になってしまいましたね。知らない間に（笑）。

——いま「ZERO—ONEが面白い」って声があっちこっちから聞こえてきますからね。昨日も、某空手団体の関係者が、「いやぁ、ZERO—ONEって面白いですねぇ」っていうことを言うためだけに電話してきましたよ（笑）。

小川　だったら、自分たちの団体も選手を送りこめばいいじゃないですか。橋本さんは今度、空手家とやるんでしょ？

——両国で元極真の小笠原（和彦）選手と異種格闘技戦ですね。

小川　そこの選手も、橋本さんへの対戦権を賭けてやればいいじゃないですか、空手で。

——まさに「ZERO—ONEだよ、全員集合！」（笑）。

小川　橋本さんも、空手家とだったら六本木でやってほしいけどね、路上で。それも敢えてW杯期間中にフーリガンに混じってさ（笑）。

——あ、またサッカーの話題（笑）。

小川　しょうがないんですよ！　この時期は！

——ところで、破壊王との協力関係が続いてますけど、破壊王は「ZERO—ONEに入れ」とは言わない？

小川　そういうのは別に言わないですね。俺は、みんなバラバラだから面白いんだろうなって思ってるから。だって、みんな同じ所属だったらつまんないじゃないですか。バラバラでも、なんかいつの間にかまとまるっていう……まぁ、一種のオールスターみたいなもんですよ。でもまとめ役がいないとまとまらないから、破壊王がちょうどいいんですよ。

——その破壊王は、小川さんについて「いつまでも〝お客さん〟扱いで関わってこられたら困る。こっちも〝お客さん〟ならおもてなしをするのは当然だけど、もっと踏み込んで来てくれた方が面白い」って発言をしてましたね。

小川　いや、逆。そういう意味で踏み込んだらダメなんですよ！　夫婦間でもそうじゃないですか。新鮮なうちが一番いいんですよ。

——ガハハハ！　じゃあ新鮮じゃなくなったらダメじゃないですか（笑）。

小川　馴れ合いとか、そういうのはダメ。破壊王にしてみりゃ、そりゃ深いつきあいのほうが安心はするだろうけど、ダメなんですよ、それじゃあ。

——じゃあ、OH砲のテーマは、その新鮮な気分をどうやって保つかになってきますよね。

小川　それはね、夫婦間でも問題があるでしょ、いろいろ（笑）。そこがみんなの悩むところでしょうけど、敢えて俺は、こういうスタンスが一番いいんだっていうね。〝お客さん〟じゃないけど、〝お客さん〟。〝お客さん〟のようだけども、〝お客さん〟ではない。そういう曖昧なスタンスを敢えて取る！

——そのスタンスを保ち続けていくのは難しいですよね。

小川　難しいですよ、だから（笑）。

——それは逆に小川さんみたいな偏屈な人じゃないと、できないかもしれないなぁ。

小川　俺だって仲間になりたいですよ。人間なんて結局ね、仲間は多いほうが安心できるんだから。でも、そこを敢えて1人で

ヘディングシュートだ!!

オーちゃん流

これは頭突きじゃない!!

行くぞーッ!

ポツンといるしかないな、と。結局、ZERO―ONEが新鮮さを保つにはそれしかないと思ってる。中に入り込んで、内輪同士になっちゃったら面白くない。だから、ZERO―ONEが一番面白いところは、それぞれがそれぞれのレベルで城を構えてる人間が集まってくるからじゃないですか。俺がZERO―ONEに入っちゃったら、面白くもなんともない。破壊王とも、いまは外敵を蹴散らすために組んでるけど、いつかはまた潰さなきゃいけない日が来るかもしれないし。

――なるほど。そういえば、長州力が新日本を退団するっていう事件がありましたね。

小川　事件かなぁ？　もはや〝事件〟じゃないでしょ。でも、やっとフリーになってくれたから、なんか接点が生まれれば面白いね。

――小川さんとの対戦や、ZERO―ONEに来るんじゃないかとか、噂レベルだけど、そういう話がありますよね。

小川　来るべきだと思うよね。ZERO―ONEに来る以外、いま光れないんじゃないの？　いままで散々、新日本の立場でものを喋ってたと思うけど、もうフリーなんだから、自由競争の輪に入ってくるわけでしょ。

――長州力がZERO―ONEに来たら、確かにバツグンに面白いですね。

小川　面白いよね。選択するのは彼だから、あとは彼次第だけど。でも、まず新日本に上がることはないでしょ。全日本に行ったって武藤色が強すぎちゃってインパクトに欠ける気もするし。

――この間、夢を見たんですよ。長州力がZERO―ONEのいかりや長介になった夢（笑）。道場で練習してると、よく破壊王が怒られるんですよ。で、長州力が帰ったら、破壊王が「♪♪あっ、イッカリヤに、あっ、おっこられた」じゃないけど、「♪♪あっ、チョーシューに、あっ、おっこられた」って歌ってる夢（笑）。

小川　ダーッハッハッハ。「ダメだ、こりゃ」みたいな（笑）。でもそれじゃ、「次、行ってみよう！」が、次に行けねぇって話だよ。俺としてはZERO―ONEに長州力に闘いに来てほしいな。もし来たらビッグサプライズですよ。

――その長州力が猪木さん批判をしましたよね。

小川　カッコ悪いね。……日本のシステムを勉強しておけよ、と。

――システム問題でしたか（笑）。

小川　俺が考えるにはね（笑）。サッカーはシステム、組織力で動いてるわけでしょ。

――あ、またサッカーの話（笑）。

小川　しょうがないんですよ、いまは！（笑）。監督は、どんな選手を率いるか……たとえばイタリアだったらバッジョを外すなよ、と。だから、新日本というのはオーナーが猪木さんである以上は、オーナーじゃない人がオーナーの文句言ったって、「じゃあ辞めればいいじゃん」って言われたら終わりじゃないですか。そういう問題だから。

――今回は、ほぼそういうことでしょうね。

小川　「そんなに嫌だったら辞めればいいじゃん」ってなるでしょ。それで「じゃあ、辞めてやる！」ってなったんだろうけど、だったら、〝立つ鳥跡を濁さず〟で抜けた方がカッコいいなと思ったけどね。

――まぁ、言わずにいられない事情があったという話ですけどね。

小川　だから、あれが長州力らしいっていう見方をすればそうなんだろうけど、俺にしてみればちょっと寂しいかな、と。

――「言うんだったらもっと早く言っとけ」って感じですか？

小川　あの歳になって言ったたって、いまさらっていうのもあるじゃない。1回新日本を辞めて、また戻ってきたわけだし。逆側から見れば、出ていった人間を、なんにも言わずに戻してやった猪木さんの器量の方が広いじゃないかっていう部分もあるわけでしょ。で、2回目に出ていくときにも、またあれをやったら、「あんた自分の株下がっちゃうよ」って。ズッと仕えてきてポンッと出ていくっていうのは、1回は、ないこともないだろうけど、1回抜けて入って、また出て行くいくときに同じ批判をしたらさ、〝だったらあのときに戻って来んなよ〟って話にもなるじゃないですか。で、猪木オーナーの「また困ったらおいで」っていうので、猪木さんに一気にピンフォール取られちゃったみたいな印象があるよね。

――たしかに猪木さんは「金に困ったらまた来ればいい」って言ってましたね（笑）。そういえば、破壊王は「猪木さんは神ではなくエイリアンだ」って言ってたなぁ（笑）。

小川　……破壊王、飛ばしてるよなぁ。困っちゃうよ、ホンットに。たまにフォローできなくなるときがあるから。でも橋本さんは橋本さんで、すべてを1回1回勝負してるからね。覚悟はできてるでしょう。それは勝負師としてわかるけど、あんまり言わないことが一番だよ。これは長州力にも言えるけど、別に猪木さんを批判したって何も始まらないじゃない。新日本を出たことで、猪木さん批判をすでに体現してるんだから。

――破壊王の場合、ホント〝愛憎〟って感じですよね。愛情がありすぎる故の憎さ、みたいな。

小川　でも、他人のことより、ZERO―ONEでこれだけやってんだから、自分で狙った獲物を、いかに獲ってくるかっていうほうが大事でしょ、いまは。自分の獲

Naoya Ogawa

物を獲ってくればいいだけの話ですよ。
――いま小川さんの獲物はなんなんですか？
小川　だから、いまはW杯でサッカーの素晴らしさっていうのを見てるんですよ！
――またサッカーの話！（笑）。
小川　いやいや、W杯を見てね、それで得たものを、今度プロレスに取り入れればいいなって。W杯なんて関係ないと思うけど、な〜んかヒントはあるもんですよ。
――なるほど。それは同感ですね。
小川　だから、見ないと始まらない。猪木さんが「行けばわかるさ」って言うけど、「見ればわかるさ」みたいなもんですよ。だから、いま見てますよ、一生懸命。
――で、一生懸命W杯を見て、7・5の長野から7・7の両国まで3連戦して、8・8のUFOの東京ドームはどうなるんですか？
小川　もともとそんなもんはない！
――ガハハハ！　は？　ない？
小川　「ある」と言った覚えもない。噂だけでしょう。
――まだその段階（笑）。
小川　噂だねぇ。俺の耳に確実なものが入ってこないんだよね。
――でもマスコミの間では噂がガーッと広まってますよ。「小川vs長州戦」じゃないかとも言われてるし。
小川　それがあったら嬉しいけど、長州力がどう考えてるかわかんないし。
――「小川vs前田戦」とか（笑）。
小川　そこまでいく（笑）。凄いなぁ。
――それから本命と言われている「小川vsピーター・アーツ戦」。
小川　それも面白いよね。選択だけはしっかりしてほしいよね。
――あと、「小川vsヒクソン戦」っていうのも根強く残ってますね。
小川　まぁ、ヒクソンに関しては昔っからね。もう3年は経ちますよね。やりたいと言ってから。まだ完全に消えたわけじゃないから、ヒクソンが「やる」って言うまで待つしかない。
――じゃあズバリ聞きますけど、8・8の東京ドームに関しては……。
小川　俺はわからない！
――あ、わからない（笑）。格闘技雑誌も8・8については書き立ててますよ。
小川　ホントに？　なんだろうね。
――見るところ、ほぼ飛ばし記事ですけどね（笑）。

8・8ドーム？ 本人にコメント取らないで書き立てるというのが凄いよね。立派！

小川　勝手に書くねぇ。こういうときだけだよね、俺の名前が出てくるの。嫌だねぇ〜、まったく。
――これは総合格闘技の大会だっていう位置付けですけどね。
小川　俺は総合格闘技だとかなんだとか、細かいこと分けてないのにね。分けるの好きだねぇ。「ここだけは譲れないよ」って部分があるんだろうね。「ここは俺たちの陣地だ」みたいな。
――そうでしょうね。
小川　勝手につくんなよ！　そんな陣地！　その点『紙のプロレス』は広いねぇ。やっぱプロレス観が違うね。

チェーンで宙づりにされたり、アバランシュ・ホールドを食らったりと、"新超獣"のパワーは、オーちゃんを未体験ゾーンに誘う。そして両国ではさらなる未体験ゾーンにオーちゃんは突入する！

――あ、皮肉（笑）。でも、そうなるとウチが一番詳しくなきゃいけないのに、8・8に関しては格闘技雑誌より情報量は少ないですよ。だって、現段階ではなにもわかんないから（笑）。
小川　大笑いだよね。どっからいろんな話が入ってるんだろう。まぁ、『紙プロ』が一番正しいんじゃないの、情報としては。
――「わからない」っていうのが一番正確な情報（笑）。
小川　それで合ってるんですよ！
――この時期にそれでいいのか（笑）。もう2ヶ月切ってますよ！
小川　2ヶ月切ってて俺が詳しいことを知らないってことは、ホントにわかんないんですよ。
――よくも悪くも、恐ろしいことになってきたなぁ。
小川　恐ろしいですねぇ。一番困るのは、本人にコメントを取りに来ないで書き立てるのが凄いよね。立派だと思うよ、いつも。俺はドームのことなんて、取材受けたこともないよ。俺はさ、いまW杯に夢中なんだよ！　そんな人間が、2ヶ月切ったドーム興行だなんだってわかんないよ！
――その点、今度のZERO―ONEの両国はW杯明けですからね。
小川　そう！　気合い入るよ。「俺たちのシーズン到来！」って感じでしょ。W杯が終わった途端にZERO―ONEが始まるんですよ。
――でも、6・30のZERO―ONE札幌大会は、W杯決勝の日ですよ（笑）。
小川　あ？　そうなの？　札幌は破壊王に任せた！　俺はW杯が終わってから、闘いの輪に入るから！
――お互い無責任だよなぁ、小川さんと破壊王は（笑）。それなのに、ZERO―

ＯＮＥに感じるのは「揺るぎのなさ」なんですよね。

小川　全然、自信満々。面白いか、面白くないかは見た人が判断してくれればいいけど、俺たちは一生懸命やってるだけだから。他の団体は、なんだかんだで、まだ余裕があるんじゃないの？　他の団体からすれば、「ＺＥＲＯ－ＯＮＥが邪道」って言ってるかもしれないしさ。いろいろ人様に文句つけられるんだから、余裕があるんじゃないかなぁって。

――「首根っこを掴まえてでも、自分たちのやってることに振り向かせる」みたいな迫力を感じますよ。この3月ぐらいからグワワワーッとそういう機運は上がってきましたよね。

小川　じゃあ1回沈んだってこと？

――ガハハハ！　実際、1回かなりヘコんでましたよね（笑）。『真撃』もなくなっちゃったし。

小川　あ、そうか。去年ね、旗揚げのときに1回ガーンと上がって、ドカーンと沈んで、で、またこれだけギューッと上がってきたら、いい波じゃないですか。理想とする波ですね。

――それはやっぱり、小川さんがいるのがデカいですよ。

小川　地方に行くとわかりますよね。みんなプロレスを待ってるんですよ！　というか、東京だけじゃなく、日本全国がプロレスのメッカなんですよ。地方でもホントにお客さんが熱狂するから。

――でも破壊王は、「最終的には東京のファンを納得させなきゃいけない」って言ってましたよ。

小川　欲張りだねぇ。「よっ、欲張り！」って言ってやりたいね。

――その欲がいいんでしょうね。この元気のない時代に、あれだけ欲を剥き出せる人もいないだろうし。

小川　まぁ、両国は破壊王にしてみればスタート地点だから、両国に対する思い入れっていうのはわからないでもないけどね。あとは願うのは、バイロム社が絡まないようにっていうことだけだね。ドキドキしちゃうよ（笑）。

Naoya Ogawa

――もう一度聞きますけど、噂の8・8にはバイロム社が絡むどころか、あるかないかもわからないわけですか？

小川　だから、俺がいないとこでやるんだったら、大いに結構！　ＵＦＯの自主興行するんだったら、いま頃てんやわんやじゃない。見てください、この事務所の静けさを！

――確かに事務所は水を打ったように静かですね（笑）。

小川　これが2ヶ月後にドームで興行をやる会社と思えますか？　ポスターも貼ってないし。

――じゃあＵＦＯの自主興行ではないってことですか？

小川　ない。あるんだったら、誰かの興行でしょう。ポスターがいっぱい貼ってある中で「わかりません」だったら、「このポスターがあるのに、知らないとは何事だ？」って言われても仕方ない。でも、どう見てもこれはやるような雰囲気じゃないでしょ。だいたい、やるんだったら、いま頃電話が鳴りっぱなしですよ。

――そういえば、インタビュー中、1本も電話かかってきてないですね（笑）。

小川　でしょ！　だから困ってるんですよ、俺も！　あるならあるで言うけど、現時点でわからないもんはわからないんだからさ。

――そういえば、吉田秀彦が、その8・8ドームでデビュー戦という報道が、まことしやかに流れてますね？（笑）。

小川　またそんな情報が流れてるの？　最初の頃（吉田のプロ転向）は俺も面白かったから乗っかって〝獲得へ〟なんて言ってみたけど、はじめから決まってるんでしょ？　『ＰＲＩＤＥ』に？

――でも、吉田秀彦とは明治大学の先輩後輩の仲で、柔道という接点があるし、そういうところから噂が出てるんじゃないですか？

小川　接点はあっても、ウチは金はないから！

――吉田選手がプロ入りしたら、当然、小川戦というのが取りざたされると思いますけど、吉田秀彦とプロのリングで闘ってみたいという気持ちはないですか？

小川　いや、申し訳ないけど、まったく眼中になかった（笑）。でも、それこそやる時になったら、破壊王が言ってくれるんじゃないかな？　〝時は来た！〟ってね（笑）。あっ、いいこと考えた！　俺より先にまずスティーブ・コリノとやってもらおう！

――また、すぐそういうことを言う（笑）。じゃあ、吉田秀彦のＵＦＯ入りはないと。

小川　だ～から、さっきも言ったじゃないですか。お金がないって！　とにかく、いま俺の頭の中にはね、長野と新潟でドンドーンと行って、そうなれば両国が見えてくるかなぁと。両国のことでさえ、まだあんまり考える余裕がないというかね。その8月のことも、もしあるんだったら、その頃には見えてるでしょう。

――まずは両国を面白く見るためにも、長野、新潟には注目ってことですね。その時期までＷ杯ボケを引きずらないようにしてくださいよ（笑）。

小川　いやいや、長野、新潟、両国と連続ゴールを決めて、ハット・トリックでもいきたいね。でも、長野、新潟には小中高生にたくさん来てほしいねぇ、特に。それだったらなおさら頑張っちゃうよ。1回、

吉田秀彦？　接点はあってもウチには金がないから！　決まってんでしょ？　もう？

破壊王に言ったんですよ。「小中高生を地方に入れるために、奉仕でいいから小学校、中学校、高校を回りましょうよ?」って。そうしたら「時間ねぇよ!」って、ひと言（笑）。

——ガハハハ！「ダメだ、こりゃ」。

小川　俺は、小中高生にいっぱい来てもらうためにも、なんらかの形で学校回りしたいんですよ。でも、破壊王はスポンサー回りばっかり（笑）。そこでは、全然、水と油なんだよね。

——ガハハハ！　なるほど（笑）。

小川　破壊王がスポンサー回りをするのは、わからないでもない。ふつうだったら破壊王に「スポンサー回ってくれ」って言われたら、しょうがないなって思うんだろうけど、「大事なのは底辺ですから。スポンサー回りするヒマあったら、小中学校を回りましょうよ」と。両方正論だと思うんだけどね。

——そこは暴走王が暴走せずに、口コミで少年少女ファンを増やしていこうと考えてるわけですか（笑）。

小川　千円の立ち見でいいから、一校から10人でも20人でも来てくれればね。で、「面白かったよ」ってなれば、それが広がっていってくれるから。そういうのがないと、地方に行く意味がないっていうのもあるんですよね。スポンサーも大事だけど、スポンサー相手にやるんじゃなくて、小中高生たちにプロレスの面白さを見せるのが、OH砲がいまやるべきことなんじゃないのかなって思うんですよ。

——WWEも、ちっちゃい子どものファンはたくさんいますからね。専門誌なんか読んでないファンを動員するっていうのは大事ですよ。専門誌の人間が言うことじゃないですけど（笑）。

小川　俺なんかは、テレビに出る機会が他のプロレスラーより多いんだから、そういうところで利用してくれればいいんですよ。そっから引きずりこんで、プロレスの面白さに目覚めてもらうと。

——小中学高生に「目を覚ましてください」と言いたいと。

モーリー　お、小川さんもいろいろ考えてるんですねぇ。

小川　なんだよ、モーリー！（ジロリ）。俺が、ふだんな～んにも考えてないパープリンみたいな言い方するじゃんかよ。もう帰る！

モーリー　い、いや、まだメインカットが撮れてな……。

小川　先生、さよ～なら。みなさん、さよ～なら。

モーリー　ち、ちょっと、ま、待ってくださいよ～、小川さ～ん（泣）。

【6月12日／W杯でフランスが負けた翌日。静まり返る、東京・白金台・UFO事務所にて収録】

というわけで、長野、新潟で加速し、7・7両国でプレデター征伐に討って出るオーちゃんは、とてつもなく元気。そうなると気になるのは7・7の試合形式だ。破壊王が「肉体と肉体をぶつけ合う用意をする。（悪徳）レフェリーやチェーンはいらない」と言ったことで、噂になった金網デスマッチは消滅した印象を受ける。しかし、小川戦が決まり、プレデターがZERO―ONEに送ってきたコメントの内容が、これまた首を傾げるものだった。

「小川選手との対戦を受諾していただきZERO―ONE、小川選手、ならびに神に感謝します。私のもつ全てのパワー・テクニック・ソウルをこの小川選手との闘いにかけることをここに誓います。よりいっそうトレーニングに励み、小川選手との闘いで最後にリングに立っているのが私であることを信じて疑いません。小川選手との闘いにはギミックなど必要ありません。あとルールについてはZERO―ONEにすべておまかせします。日本のファンの皆様に素晴らしい闘いをお見せすることをここに誓います」

こ、これはなにか、謀略の匂いがプンプンしないか？　〝新超獣〟は、突然「改心」してインテリジェンス・アスリートへの変貌を遂げたのだ。チェーン攻撃を封印してオーちゃんと渡り合おうというのか？

よくよく考えれば、〝新超獣〟にとっては、破壊王が言ったコメントを逆手に取り、安心させておいて、一気に金網デスマッチを承諾させる罠を張り巡らせるくらい簡単なことだろう。これまでの流れを見ると、ガイジン勢の謀略にブチ切れた日本勢が、すべての要求を飲む形で対戦を受諾することが多い。

今回も、これが罠だとしたら、「もう、めんどくさいから、それでやってやる！」とオーちゃんは言いかねない。

そういうわけで、本誌は、7・7両国で、小川直也が初めて金網の中に放り込まれることを断言します！（はずれたら、ゴメン―！）。どうなる、両国！

OH砲が「地方発世界」！　両国へ向けてゴールだ！

7.5（金）長野市運動公園体育館　試合開始18:30
橋本真也&小川直也 vs トム・ハワード&ネイサン・ジョーンズ

7.6（土）新潟市体育館　試合開始18:00
橋本真也&小川直也 vs ザ・プレデター&ネイサン・ジョーンズ

7.7（日）両国国技館　試合開始16:00
金網デスマッチ（?）
小川直也 vs ザ・プレデター

［チケット問い合わせ］ZERO-ONE　03-5730-3401 ［ZERO-ONEオフィシャルHP］http://www.01fa.com/

←「8・8 "UFO" 噂の真相！ 衝撃の事実！」はP86へGO!!

7.7両国で小川直也と

金網デスマッチで激突!!

INTELLIGENCE MONSTER

PREDATOR

ザ・プレデター

“21世紀のブロディ”の素顔は“インテリジェンス・アスリート”だった!

超獣伝説再び! かつてビッグバン・ベイダーUFOを名乗っていた男が、3・2両国大会で突如ブロディスタイルに変貌。以来、日本各地でチェーン片手に暴れ回り、いまやZERO-ONE外人エースまで急激に登りつめた。それがザ・プレデターだ! そして7・7両国では、遂にメインで小川直也との一騎打ちが決定! 新・超獣の正体を探れ!

聞き手&撮影/堀江ガンツ

助手/松澤チョロ

designed by matsu（Two three）

THE
PR

——それにしても地方サーキットを行った今シリーズの暴れっぷりは凄かったですね！

プレデター　サンキュー。日本各地をサーキットで回るのは今回が初めてだったが、どこの会場もファンの反応が良くて、それに乗せられた部分が大きいよ。

——ファンの"熱"が、レスラーの力を引き出した、と。

プレデター　やはり会場が盛り上がれば、俺たちレスラーもよりハードなファイトをする。そうするとより会場が盛り上がる、そしてさらにハードなファイトをする。こういったように、非常にいい相乗効果が出るんだ。それと、これは今回に限らないことだが、日本のファンが非常に真面目に、本気になって見てくれたこと。これが驚きだったし、非常に感銘を受けたよ。

——「真面目に見てる」というと、例えばどんなことですか？

プレデター　ただ会場で発散できればいいという感じではなく、レスラーひとりひとりのファイトをしっかり見ていてくれることかな。例えば今回のツアーで言うと、2年半も前の「ビッグバン・ベイダーUFO」のトレーディングガードを持ってきて、「これにベイダーのサインをしてほしい」と言ってきたファンがいたんだよ（笑）。

——ダハハハ、真面目というか、マニアックですね（笑）。

プレデター　こんなことはアメリカありえないよ。アメリカじゃあ、俺たちのリングネームも知らないような奴が、紙切れにサインを求めるぐらいだからなぁ。

——UPWではそんなもんなんですか!?

プレデター　UPWというか、アメリカだとトップしか認められないんだ。トップ以外の人間は、何をやってもブーイングで、観客も見下した目で見やがる。それが日本ではメインイベンターでなくてもリスペクトしてくれるし、ファイターとしてちゃんと見てくれる。ここが全然違うし、だからこそ俺たちも誇りを持って仕事ができるんだ。こんなエキサイティングなツアーをガイジンのトップとして闘うことができて、非常に満足しているし、俺のキャリアにおいても重要な意味を持つだろうな。

——では、今回の地方サーキットはプレデター選手自身、エンジョイできた、と。

プレデター　ああ、目一杯エンジョイしたよ。試合以外でも今回のツアーでは、かつてサムライが住んでいた日本の城（松山城）に行けたことが嬉しかったし、試合がない日はボーリングに行ったり、そういったオフも楽しめた。そしてなによりも300キロものスピードで走る、新幹線ひかり号に乗れたことが嬉しかったよ（笑）。

——一番嬉しかったのが新幹線ですか（笑）。嬉しさ余ってか松山では、ZERO—ONEの新弟子を次々と海に落としたりしていたみたいですけど（本誌前号『ZERO—ONE旅日記』参照）、やはり私生活でも暴れん坊なところはあるんですか？（笑）。

プレデター　ワッハッハッハ。ZERO—ONEのオフィスが若いヤツにけしかけてきた以上、俺もやらざるを得ないだろう。『サムライ！』のテレビも来ていたが、そんなものは関係なく海に落としたし、チョークもしてやったし、電話ボックスにも叩きつけてやったよ（笑）。

——大暴れですね（笑）。

プレデター　ZERO—ONEのヤングボーイが、常に俺を狙っているんだからしょうがない。奴らがやってくるたびに俺もやり返すからな、ハッハッハ。

ブロディ？　3年前までは名前も知らなかったよ（笑）

——では、そんなプレデター選手の素顔を探るべく、これまでの歩みを振り返っていただきます。まず、プロフィールによると、プロレスラーになる前はアマチュア・レスリングの選手だったらしいですね？

プレデター　ああ、大学時代にナショナル・チャンピオンになったことがあるし、92年にアイオワ州であったNCAAの『ディビジョン1』という大会では、あのカート・アングルとも闘っているよ。ラスト13秒でフォールを取られてしまったけど、惜しい試合だった。俺は風貌で誤解されることが多いが、決して見かけだけのレスラーじゃないんだ。

——その頃からすでにプロレスラーになろうとは思っていたんですか？

プレデター　いや、俺はプロレスファンじゃなかったし、プロレスラーになろうなんて、これっぽっちも思ってなかったよ。それどころか、正直に言えば「プロレスなんかインチキだ。カレッジ・レスリングのナショナル・チャンピオンにまでなった俺が、プロレスなんかやってられるか」と思ってたくらいだよ（笑）。

——そ、それはずいぶん極端な……（苦笑）。ちなみにアマレスをやっていた大学時代、進路はどのように考えていたんですか？

プレデター　ホントは大学を卒業したら、政府関係の職に就くつもりだったよ。

——"超獣"が政府の仕事ですか！（笑）。

プレデター　そんなに驚くことじゃない。俺はノースカロライナ州立大学のポリティカルサイエンス学部で犯罪学を専攻していたから、プロレスラーになる方がよっぽど意外だよ（笑）。しかも、Cum Laudeの称号を得て、"成績優秀者"で卒業しているんだ。こう見えても優等生なんだぜ（笑）。

——そんなインテリだったとは、失礼しました。まさに"インテリジェンス・モンスター"ですね（笑）。ちなみにブルーザー・ブロディが日本でこう呼ばれていたのは知っていますか？

プレデター　それは知らなかったよ。

——アラ、知らない（笑）。

プレデター　さっきも言ったとおり、俺はプロレスファンじゃなかったから、昔のプロレスに疎いんだ。ブロディというレスラーを知ったのも、ほんの3年ぐらい前だからな。

——そんな最近なんですか！（笑）。では、なんで好きでもなかったプロレスの世界に入ってきたんですか？

プレデター　俺は結局、大学を卒業した後は夢でもあったアクター（俳優）の道へ進んだんだが、『ゴールドジム』で一緒にトレーニングしていたアクター仲間のアンドルーという男に、プロレス入りを持ちかけられたんだ。彼は『バットマン』なんかにも出ている俳優なんだが、プロレス界にも精通していて、「お前の大きな身体を活かすにはプロレスがピッタリだ」とプロレス入りを熱心に勧めてきた。最初は「冗談じゃない」と思ったけど、いろいろ話を聞いているうちにやってみる気になったんだ。

——失礼ですけど、それは俳優業に限界を感じたという部分もあるんでしょうか？

プレデター　いや、そうじゃない。俺は18の有名映画&テレビ番組に出て、29のコマーシャルに出ている。プロフィールに載

るような大きな仕事だけでもこれだけあって、小さな仕事を含めたら数え切れないくらいだよ。

—そんなに出てるんですか!?

プレデター　だから、当初プロレスはあくまで副業だった。実際、99年にWWFと契約するまでは、レスラーとしてより、アクターとしての収入の方がずっと上だったからな。それが今は逆転して、プロレスがメインでアクターが副業になってるよ。

—デビューはどこのリングですか？

プレデター　99年にトム・ハワードの指導を受けてUPWでデビューしたよ。

—トム・ハワードがプレデター選手の先生なんですか!?

プレデター　YES。トムはレスリング・スクールの師範をしていて、UPWはその卒業生の受け皿としての団体でもあるんだ。トムのスクールはアメリカのテレビ番組で1時間のドキュメンタリー番組が作られ、それがWWFの『タフ・イナフ』（WWE版『ガチンコ！』みたいな番組）の元になったぐらいしっかりしたものだよ。だから文字通り、俺の師匠と言えるのはトム・ハワードだし、プロレスにあまり興味がなかった俺をプロレスラーに改造してくれたのも彼なんだ。

—へ〜、そうだったんですか。そしてその後、「ビッグバン・ベイダーUFO」として、初来日するわけですね。

プレデター　YES。ただ、あれはホントにグリーンボーイの頃だから、ビデオで見返してはほしくないがね（笑）。

—確かにベイダーUFOはあまり高い評価ではなかったです（笑）。日本でもアメリカでもビッグネームの「ベイダー」を襲名したことについては、どう感じていましたか？

プレデター　マスクを被らされたことはちょっと嫌だったけど、非常に名誉なことだと思っていたよ。いまだに日本では「ベイダーのサインをしてくれ」と言ってくるファンもいるくらいだからね（笑）。

—では、なぜUFOベイダーはわずか1試合で姿を消してしまったんですか？

プレデター　UFOに出場した直後に新人契約ながら、WWFからオファーが来たんだ。やはりその時点ではWWFの方がファイトマネーが良かったし、ベイダーを演じることは名誉ではあったが、自分のキャラクターを確立したいという思いも強かったんだ。

—そのWWFでは、1軍で試合する機会はあったんですか？

プレデター　1年半の契約だったが残念ながらなかったよ。WWFのファームであるOVWという団体で暴走族というか、ヘルス・エンジェルスみたいなキャラクターでやっていたんだが、自分としては、WWFに気に入られなかったとか、OVWで上手くいかなかったとは思っていない。いろんなことをいうヤツもいるが、自分のやりたいことと、WWFが求めていることが合わなかっただけで、自分としては決してダメだったとは思っていないよ。

—実際、日本で外人エースを張るくらいの選手なんですからね。

プレデター　そう、今回、ZERO—ONEのトップ外人としてツアーできたことで、それは証明できたと思う。だから過去に何を言われようが俺は気にしないよ。もちろん、それは俺だけの力じゃなくて、ZERO—ONEのオフィスが俺に期待をかけてくれて、いろいろなアドバイスをしてくれたお陰でもある。それは非常に感謝しているよ。

—プレデター選手がブレイクした大きな要因でもある「ブロディギミック」も、やはりZERO—ONEオフィスのアイデアなんですか？

プレデター　いや、確かにチェーンと入場テーマ曲はオフィスが用意してくれたものだが、キャラクター自体は自分の内面から出てきたものであり、リアルなんだ。それは俺に限ったことではなく、UPWのレスラーは皆リアルなキャラクターなんだよ。トム・ハワードは本当に元グリーンベレーだし、ネイティブ・ブラッドも本当にネイティブ・アメリカンの血が入っているんだ。

—そうだったんですか。でも、グリーンベレーやネイティブアメリカンはともかく、「ブロディ」が内面から出てくるとは、どういうことですか？

プレデター　そもそも俺は、WWFと契約

5・3松山に続いて、5・19金沢でもプレデターは小川を狙い打ち！　ブロディばりのビッグブーツやエルボー、そしてゴリラスラムなどで大いに暴れ回った。

プロレス嫌いの俺をプロレスラーに改造したのがハワードだよ

し髪を伸ばし、OVWのドレッシンググルームで「お前、ブロディに似てるじゃないか」と言われるまで、「ブロディ」というレスラーの存在すら知らなかった。ダニー・デービスというOVWをジム・コーネットと共同経営している人物が、ブルーザー・ブロディのビデオを送ってくれて、そこで初めて見たぐらいだ。ただ、ビデオを見たり、話を聞いたりして、「ブロディ」が見た目だけでなく、もともと自分が持っているキャラクターに近いものだと感じたんだ。だからブロディのギミックを使うことに抵抗はなかったし、いまではチェーンも自分のものになっていると思う。

—確かにチェーンを振り回しながら、客席を暴れ回る入場シーンは見事にハマってますよ（笑）。

プレデター　ただ、俺は単なるブロディのコピーで終わるつもりはないよ。俺はキックボクシングの経験もあるから、スピンキックとか、ブロディとは違う技ができるし、ブロディスタイルにプラスαしたオリジナルのキャラクターを目指しているんだ。ブロディが偉大なレスラーだというとこは理解しているが、彼以上のことをやりたいね。

—なるほど。では、ブロディギミックは決してZERO—ONEに強要されたわけじゃないんですね？

プレデター　ZERO—ONEオフィスには「強要」ではなく、「協力」してもらっ

昨年8月の「真撃」に登場したビッグバン・ベイダーUFO。しかし、入場時に花道でマスクを自ら脱ぎ、プレデターに変身した。

7月7日は肉食獣プレデターが〝チキン〟をペロリと平らげるから、楽しみにしてな！

ているよ。チェーンやテーマ曲だけでなく、実はマッスルバスター（キン肉バスター）というフィニッシュホールドにしても、ZERO—ONEのオフィスに日本のプロレスビデオをたくさん見せてもらって、その中で気に入った技なんだ。見よう見まねでやってみたら、「君に合ったいい技だ」と誉められた。そこから研究して自分のものにしたんだ。そういう意味ではZERO—ONEオフィスには、非常に感謝しているよ。ただ最近、オフィスはひとつだけ重大なミスを冒してしまったがね。

——え⁉？ どんなミスを冒したんですか？

プレデター 7月7日、スモーアリーナ（両国国技館）で、俺とオガワのシングルマッチを組もうとしていることだよ（ニヤリ）。

——小川vsプレデター戦がミスマッチという意味ではないですよね？

プレデター 当たり前だろ（笑）。俺をビッグマッチのメインに持ってきたこと自体は英断であり、オフィスに拍手をおくりたいよ。まぁ、最高に格好良くて、最高に強くて、最高に悪い俺がメインに選ばれるのは当然だけどな。NWAはUPWの選手である俺にメインを取られて悔しいだろうが、NWAに俺以上の人間がいないんだから、俺がトップなのは当たり前の話だ。各会場で全力を尽くしてきた結果、スモーアリーナのメインを張れることは誇りに思うよ。ただ、俺が〝ミステイク〟というのは、俺とオガワのケージ（金網）マッチをプランニングしているという話を聞いたからなんだ。

——確かに案には挙がってるみたいですね。

プレデター ZERO—ONEは日本人スターであるオガワを潰したいのか？ ケージの中は鉄で囲まれていて、レフェリーもいないんだぜ、誰も俺を止められる奴はいないんだ。その中で俺が負けるわけがないだろ！ それなのにこのカードを組もうとしているのは、ZERO—ONEオフィスのミステイクと言わざるを得ない。残念ながらオガワの価値は7月7日でガタ落ちになるだろうな、ガッハッハッハ！

——凄い自信ですね（笑）。

プレデター どうせファンも関係者も裏読みするようなヤツも、みんな俺が負けると思っているんだろうが、そうはいかない。俺はオガワに花を持たせる気なんてこれっぽっちもないんだ。なんなら凄惨なシュートマッチを見せてやってもいいんだぜ（ニヤリ）。

——でも、小川選手は柔道の世界チャンピオンですよ！

プレデター 何を言ってやがるんだ、俺だってレスリングでオリンピック選手に勝ったことがあるんだ。負ける気なんてサラサラないね。正統派レスリングだけで勝てるよ。しかも、俺はUPWで凶器使用OKのハードコアマッチは何度も経験して、骨が折れても歯が折れてもリングに上がってきた。それに比べてオガワはこれまでハードな試合をやってないだろう？ ヤツは所詮、周りに守られてきたプリティボーイなんだよ。

——最近は「チキン」という素敵なニックネームも持ってますけど（笑）。

プレデター ガッハッハッハ。「チキン」か、オガワにピッタリのいいニックネームだ（笑）。俺のリングネームである「プレデター」というのは、「肉食獣」という意味なんだ。だから7月7日は、肉食獣がチキンをペロリと平らげるから楽しみにしてな！ ガッハッハッハ！

——ちなみに小川選手もプレデター選手と同じように、アクターとしても活躍していることはご存じですか？

ザ・プレデター■1970年アメリカ・ペンシルベニア州ワシントン出身。200cm、135kg。ノースカロライナ州立大学時代、アマレスでナショナル王者になり、しかも優秀な成績で卒業したインテリ・モンスター。ZERO-ONEには昨年8月の「真撃」から参戦。

プレデター オガワがアクターだって？ 笑わせんじゃねえよ！ どうせB級映画のちょい役だろう？ 俺は有名な作品に多数出演しているんだ。比べられるのも嫌だね！ アクターとしても、ファイターとしても、すべての面で俺が上だよ。それを7月7日に証明してやる。そのためにZERO—ONEオフィスには、会場に、巨大なスクリーンを用意してほしい。そこでオガワの大根役者ぶりをたっぷり流して、みんなで笑ってやろうぜ、ガッハッハッハ！

【02年5月24日／成田空港にて収録】

NWA vs UPW 抗争激化!

構成／堀江ガンツ
designed by matsu（Two three）

NWA
NATIONAL WRESTLING-ALLIANCE

悪のNWA会長（クソデブ）
JIM MILLER
ジム・ミラー

ZERO-ONEファンには、すっかりお馴染みとなった“クソデブ”こと、悪のNWA会長。NWA世界王座の国外流出を防ぐために数々の陰謀を企て、破壊王からは「お前はアメリカの悪の象徴だァ!」と、大袈裟すぎる断罪をされるほどの大ヒール。前シリーズは自慢の太鼓腹に「NWA」を書いて見せびらかすなど、その悪事はエスカレートする一方。それでは、小さな島国の皆さん、会場でお会いしましょう（クソデブ風）。

前NWAナショナル王者
HOT STUFF HERNANDEZ
ホットスタッフ・ヘルナンデス

NWA世界王座への関門として、クソデブがZERO-ONEに送り込んだ刺客。その素顔はかつて、世界のプロレスと全日本に来日したダブル・アイアン・シークの片割れ。ヘビー級ながらロープノータッチのトペを得意とするなど実力は確か。破壊王とのナショナル王座戦では、何の見せ場も与えられず試合後うなだれていたが、いい選手だけに次回に期待!

キング・オブ・中堅
CW ANDERSON
CW・アンダーソン

コリノとのコンビで、リング上を70〜80年代のアメリカマットへとタイムスリップさせる、NWAの重鎮。ブロディ、フレアーなどトップレスラーのキャラクターを受け継ぐレスラーは多いが、アーン・アンダーソンという渋すぎるレスラーをコピーしてしまうところが凄い。コールと同時に両手で「C」と「W」の形を作るので、みんなでやろう。

キング・オブ・オールド・スクール
STEAV CORINO
スティーブ・コリノ

元NWA王者にして、現PWF王者という“東洋の巨人”ばりの肩書きを持つが、PWFのPは「パシフィック」ではなく、「フィラデルフィア」だという、その金髪なのに黒いヒゲという風貌通り、絵に描いたようなインチキ外人。往年のダーティーチャンプたちの小細工をすべて受け継いだ芸風で、マニア人気爆発中。でも、週プロ表紙はやりすぎでしょ。

NWAエグゼクティブレフェリー
Mr. FREAD
ミスター・フレッド

レフェリーシャツの胸にいくらなんでもデカすぎるであろう「NWAワッペン」を付けた、悪のNWAエグゼクティブレフェリー。先シリーズは、超高速3カウントに代表される疑惑のレフェリングと、「トゥー」のかけ声で全国各地を沸かせ続けたが、最近、その人気に本人も気づき、すかさずZERO-ONEにギャラ倍増を要求してきたというからさすがだ。

NWA好青年風レフェリー
Mr. MICHAEL
ミスター・マイケル

Mr.フレッドに続き、クソデブが送り込んできた第2のレフェリー。「トゥー」のかけ声が小さかったり、3カウントが「超高速」ではなく、「ちょっと高速」だったりと、いちいち中途半端だが、技が決まるたびになぜか痛そうな顔をする表情の豊かさで人気急上昇。後楽園では「キョーヘー!」ばりに「マイケルー!」のコールも起こる。

最新版 ZERO-ONE外人名鑑

真インテリジェンス・モンスター
THE PREDATOR
ザ・プレデター

その暴れっぷりから、本誌では以前「知性なき超獣」と表記したが、実は本家ブロディよりよっぽどインテリだったことが発覚した新超獣。チェーンを振り回す狂乱ファイトから一転、本名シルベスター・ターキー名義で敬虔なクリスチャンである正統派レスラー宣言を東スポ紙上でするなど、ブロディばりの二重人格に拍車がかかってきた。

格闘グリーンベレー
TOM HAWARD
トム・ハワード

グリーンベレーとして、数々の修羅場をくぐり抜けた経験を持ち、両腕を後ろに組んだ独特のノーガード戦法で、小川直也の前にも立ちはだかる命知らず。合気道を思わせる立ち振る舞いや、相手の足を踏み身動きを取らせなくするなど、細かな技術の見どころも多い。ケアーやコールマンも師事したという実力は確かでプロレス学校の師範も努める。

小さなUPW代表
RICK BASSMAN
リック・バスマン

レスリングスクールを有し、WWEに数多くの選手を送り込むUPWの代表。3月シリーズではNWAと強調路線を歩んでいたが、「アンフェアなレフェリングは同じ米国人として恥ずべきこと」と、NWAを糾弾。先シリーズでは、それに怒ったクソデブから「ドチビ」呼ばわりされて、パウダー攻撃からのフライング・ソーセージまで浴びてしまったが、プレデターを使って復讐するのは痛快。

狂える伝説の拳
JOSH DEMPSY
ジョシー・デンプ

ジャック・デンプシーの曾孫を自称し、どこまでギミックかその境界線が誰にもわからない狂乱ぶりを見せる平成のジェット・シン。親分であるシェーン・マッコリーの言うことしか聞かない、このミスター・ノーコンテスト男が、ZERO-ONEに待望の復帰を果たすばかりか、なんと7・14K-1で武蔵と闘うことが正式決定! 狂乱のデンプシーロール炸裂か? はたまたボブ・サップを上回る反則大暴走か? 楽しみすぎる!

インディアン・ブラザーズ
NATIVE BLOOD
ネイティブ・ブラッド

その時代錯誤なインディアン・ギミックと(ホントにネイティブらしいが)、アパッチの雄叫びで、技術とスタミナのなさをカバーしてきたが、さすがに2シリーズ目はちょっときつくなってきた二人。しかし、「アワワワワワー!(ネズミが食べたい!)」「アーーーーーー!(モグラが食べたい!)」という、プロモビデオの訳は秀逸。ワフーが亡くなったいま、彼らの比重は何気に大。

ワイルド・サモアン
SAMOA JOE
サモア・ジョー

マーク・ハント似のマスクと、見るからに頑丈そうなボディーを持ち、なおかつどんな体勢からも投げられるスープレックスを得意とするなど、ブレイクしそうな要素はたくさんあるのに、その兆候が一向に見られないジョー。昨年の「火祭り」では大活躍しただけに、現在の停滞は残念。日本が気に入り、来れるだけで満足しているようだが、連続来日するためにも一層の奮起が期待される。

ZERO―ONEはムチャクチャ！試合も友人のメールで知る状態ですよ！

全身極真空手家・小笠原和彦vs破壊王・橋本真也の世紀の一戦がついに決定!! 勝つのは喧嘩空手か、プロレスか。ハッキリ言って強いのはもちろん空手、その中でも一番強いのは極真である。それを証明すべく小笠原は極真を脱退、崔リョウジ、星川尚宏、高岩竜一を次々と撃破！ 追いつめられた橋本はついに一騎打ちを決意したのだ。その心意気や良し！ あとは小笠原が橋本を倒し、空手こそ最強を証明するばかり。気迫みなぎる小笠原の声を聞け！

――さて、いよいよ橋本戦が具体的に見えてきたような……。

小笠原 見えて来ないような（笑）。

――よくわからない状態で（笑）。ただ、このままいけば7月7日は橋本戦になりそうですね（その後、正式決定）。ZERO―ONE側から連絡とかないんですか?

小笠原 全然全然。だって、僕、試合が決まったのを知るのは試合の1～2週間前ですよ。高岩戦にしても、友人からのメールで知ったような状態で。

――友人からのメールって（笑）。

小笠原 いや、ホントに。僕のことを応援してくれている鮫島四郎社長って方がいるんですけど、新聞見てメールしてきてくれるんですよ。で、こっちは「アッ、そうか。どこでやるの?」「大阪で」って状態で。

――さすがZERO―ONEですね（笑）。

小笠原 凄いですよォ。それで試合の前の日に僕は奈良のラジオ局に出てたんですよ。大学時代の友達がディスクジョッキーをやってるんで。その時も「次は、どこで試合するんですか」って聞かれて「あれ、どこだっけ?」って（笑）。

――小笠原さんもいい加減ですね（笑）。

小笠原 大阪でやるっていうのは知ってたんですけど、会場の名前がわからなくて。たまたま知り合いが知ってたから良かったんですけど。

――お互いにアバウトなんですね（笑）。基本的には『東スポ』を通して話が進んでいくっていう感じなんですか?

小笠原 そうです、そうです。

――気持ちいいほどズサンだ（笑）。確か星川戦の時もそんな感じだったんですよね。

小笠原 いや、星川の時は速攻で断ったんですよ。アイツのことは買ってるし、遺恨みたいなものもないから。そしたらね、アイツ。道場まで来ましたからね、アイツ。

――え！ 道場に殴り込みですか！

小笠原 そんなもんでしょうね。テレビのスタッフ連れて。

――あ? テレビですか。じゃあ、事前の打ち合わせとかはあったわけで。

小笠原 いや、アイツ、いきなり来たんですよ！ 道場には生徒の他に生徒の父兄が10人ぐらいいたんですけど、みんなビックリしてましたからね。

――ヒドイなぁ。なんか小笠原さんに対しては何をしてもいいってみんな思ってますね（笑）。

小笠原 ホントねぇ、練習時間を見計らって突然来てるんですよォ！ だから、あまりにも後手後手に回っている感じで。向こうのペースに乗せられて圧倒されちゃうってことが分かってきたんですよ。もう謙虚に謙虚にやってたら、圧倒されちゃうじゃないですか。

――勝手に試合を組まれたり（笑）。

小笠原 ムチャクチャですからね、向こうは。言われたまんまにやってたら、もう詐欺にあったようなもんで。

――詐欺（笑）。それで先日の後楽園大会に乗り込んだんですね。

小笠原 あれも試合の何日か前に大会があるって知って。だったら、一発乗り込んでやろうかなって思ったんですよ。

――勝手にですか。

小笠原 そうですよ。時間だけ調べて裏口から入っていったんですよ。通路の隅の方で道衣に着替えたりして。

――なんていう団体なんだろう（笑）。

小笠原 それであの時、初めて知ったんですけど、NWAとかUPなんとかとか色々あるんですね。橋本もいろんなのと闘わなきゃいけないんだなって、この前、やっと分かったんですよ。

――あぁ、そ、そうですか。なんか、ZERO―ONEって、みんながみんな自分勝手にやってるんだなって、しみじみ思いますね（笑）。

小笠原 そうでしょ? だって、試合の時も放ったらかしですよ。大阪の時ですけど、

5・23後楽園大会ではメイン終了後、突如、小笠原がリングに駆け上がり、橋本に対戦要求！ ついに橋本の口から「やってやる！」という言葉を引き出したのである。その後、記者陣に対し小笠原は「ボクはローキックで何人も引退させましたからね」と不敵な発言

ああいう大会の時って入場とかのリハーサルってあるらしいんですよ。だけど、僕は外人扱いだからなくて。だから、テーマ曲が流れ出しても、いつ出て行っていいんだか分からない。結局、しょうがないから適当に出ていったら、コーナー間違えちゃって。ホント困っちゃうんですよね。

――それは困りますね（笑）。その上、試合前にはいきなり坂田さんが高岩さんに突っかかっていったりっていうのがあったり。

小笠原 ねぇ、何がなんだか分からないからとりあえず蹴っちゃったんですよ。

――坂田さんの顔面を思いっきり蹴ってましたもんね（笑）。

小笠原 だって分からないから。

――素晴らしい対処です（笑）。で、その高岩戦ですけど、相当苦戦したみたいですね。

小笠原 ヤベエなって感じでしたね。最初から完全に顔面をガードして。少しは動くじゃないですか、手とか。でも、あそこまでガードしなくてもいいだろうってぐらいガードしててねぇ。逆に言えば、ボディには自信があるんでしょうね。下段蹴りは橋本用にとっといてあったんで、どうしようかなって思って。

――ここまできて、まだ、とっておこうとしてたんですか（笑）。

小笠原 いやいや、そうですよ。ローキックは僕、自信ありますよ（笑）。

――はあ、高岩さんの立場的にはなんというか……。

小笠原 でも高岩選手って、あとで聞いたら凄く有名な選手だったんですね。

――知らなかったんですか！

小笠原 タツヒトって名前なんですね。僕、ずっとリュウイチって言ってたんですよ、それは悪いなって思って。

――ホントに悪いです！（笑）。でも、デ

スパレーでは意識が飛んだんですよね。

小笠原 思い切り首から落とされましたから一瞬、意識が飛びましたね。でも、すぐに戻ってくれたから良かったですけど、そのまま飛んじゃったままなら、どうなってたか。ホント良かったぁ～。

——どういう感じで食らったんですか。

小笠原 詰められたんですね、ロープに。そのロープの反動を利用して持ち上げられたんですよ。だから、うまいなって思ったんですよ、持ち上げ方が。ロープに押し込まれると浮いちゃうんですよ、身体が。それで、ポッともってかれちゃったんですね。だから、途中からロープを掴むようにしたんですよ。ロープは掴んでも大丈夫なんですよね？

——たぶん大丈夫だと思いますね。その後、蹴りで逆転して。橋本さんも言ってましたけど、一発を持ってる奴は違うなって。

小笠原 それを持ってると持ってないじゃ全然違うと思うんですよ。そういうことで言えば、控室にいる時もそうですよ。僕は外人扱いだから控室も外人と一緒なんですけど、怪獣ばっかりでしょ。プレデターとか、あとミスター・ハワードでしたっけ？

——トム・ハワードですね（笑）。

小笠原 あ、そうですか。運動神経良くてナチュラルでデカい奴らばっかりですからね。これはヤバイぞ！と。

——ここでナメられちゃいけないと。

小笠原 だから、もう蹴るしかないと思って目の前でキックミットをやりました。そしたらホォ～となったんですよ。もぉ、「良かったぁ～」って思って（笑）。

——ワハハハ！　良かったですね（笑）。

小笠原 大山総裁の本にも書いてあったでしょ。プロレスの控室でナメられないようにって。

最初、外人は僕をナメてたんだけど蹴りを見せたら挨拶してきましたね

——ありましたねぇ、ビール瓶切ったりとか（笑）。

小笠原 だから、アレと一緒だなって思ったんですよ。だって、控室で見下されたらリングに上がるのが嫌になっちゃうと思いますよ。それは一番最初の両国で思いましたからね。

——やっぱり、ナメてくる感じがあったんですね。

小笠原 そりゃ、そうでしょ。「なんでここに空手マンがいるんだ？」って感じでしょ、向こうにすれば。「こんなちっちゃい奴が何が空手だ」ってそういう目ですからね。だから、この流れはヤバイぞって。それでキックミットを息子の唯之に持たせてハイキックから後ろ回し蹴りまでババババ～ンってやったんですよ。そしたら、次からみんな挨拶してくれるようになりましたからね。プレデターも挨拶してくれるし、コリノの態度は凄く変わったですね。

——ワハハハ！　さすがは卑怯で弱い外人キャラは違いますね（笑）。

小笠原 礼儀正しいんですよ、スゲエなって（笑）。

——全ては実力次第なんですねぇ。

小笠原 わかりやすいですよね。パッと変わってくれますからね。

——だから、そういう話を聞くと小笠原さんの行動は極真的に言っても正しいなって思うんですよね。

小笠原 ホント、総裁が言ってたことがわかりましたね。でも、見せる技があって良かったですよぉ（笑）。

——あの、その見せるってことでお聞きしたいんですが、小笠原さんの試合って見ていて面白いじゃないですか。最近までアマチュア選手だったとは思えないぐらいなんですよ。

小笠原 そうですか？　だけど、僕、極真の頃からこのペースですから。総裁にも言われましたからね、「キミの試合は人が来るからバンバン派手にやりなさい」って。

——え!?　じゃあ、極真の試合をそのまま持ち込んでただけだったんですか？

小笠原 いや、ホントそうですよ。こっちは「スタミナ切れちゃったらマズイじゃないですか」って言っても「いいよ、いいよ。やりなさい」って。だから、「そうなのか」って思ってズッとやってきたんですよ。

——そうだったんですか。僕ら、凄い不思議だったんですよ。見せるってことをある程度は考えているのかなって思いながら、こうやって実際に話を聞いてると、全てにおいて本気なんで、何がなんだか分からないところがあったんですよ。

小笠原 だって、さっき話したように入場の仕方もよくわからないですからね。

——もうますます応援したくなりましたよ！（笑）。ということで、橋本戦なんですが、先日の後楽園では「俺とやったら、格闘技生命がなくなるぞ！」って橋本さんに言われてしまいましたけど。

小笠原 いや、それだったらこっちもそのつもりですから。向こうは社長で、僕も道場の頭で、お互いに何かあっても弟子がいるって状況ですから。だから、どっちかが潰れても大丈夫な立場でしょ。

——小笠原さんも「アキレス腱を蹴り切って社長業に専念させてやる」って言ってましたね。

小笠原 逆に言うと、そうした方が崔とか星川とか伸びるんじゃないですか。

——でも、向こうの方もタダでは帰さないという感じですが。

小笠原 あのぉ、秘技ダバダって何ですか？

——いや、それはよく分かりません（笑）。

小笠原 なんだろうなって思って警戒してるんですけど。

——う～ん、まだ、橋本さん自身もよく分からない技みたいですね（笑）。小笠原さんは、何かルール的な要望はありますか？

小笠原 いや、もう何でもいいですよ。これまでの試合でもヒジはOKだったですからね。アキレス腱ごと足を蹴り折るっていうのもあるし、そうは言いながらも顔面を思い切り蹴りますよ。

拳が巻き起こす風によってロウソクの炎を消す空手独特の鍛錬法がこれだ。大切なのはスピードと、一瞬の筋肉のシメ。マキワラ突きが拳を鍛え、破壊力をアップさせるものであるならば、この鍛錬は正拳を鋭利な刃物へと変えるものなのである。いまや小笠原の拳は皮を切り裂き、骨を砕く凶器へと変貌を遂げた

いままでは様子見してましたけど、橋本戦では全部の技を出して破壊します

——そうは言いながらも（笑）。

小笠原　まだ使ってない技いっぱいありますから。ローキックもそうですけど、飛び技もいっぱいありますから。いままでは様子見してましたけど、全部出しますから。

——様子見（笑）。例えば、橋本さんのDDTとかはどう対処しますか。

小笠原　いま、ウチの道場に昔、パンクラスにいたって人間もいて色々教えてくれるんですよ。だから、ビッグミットを下に敷いてワザと技を食らって吸収のやり方とか、どこを鍛えたら吸収できるかっていうのを研究してますから。そういうのをやってんで、デスバレーボムも一瞬意識が飛んだだけで済んだんですよ。

——万全ですね。ちなみに、これからもファイターとしてやっていくって言ってましたけど、橋本戦後もリングに上がっていく予定なんですか。

小笠原　やりたいですね。ただ僕の場合、年齢的に限界がありますから、それまでは目一杯やりたいんですよ。で、壊れたら壊れたでそこで終わりでいいんで。

——終わりでいいんですか（笑）。

小笠原　いいです、いいです。そしたら後進の育成ができますからね。経験したことを弟子たちに伝えていけるんで。今、いろんなところからファイターが集まって来て、僕は蹴真JECHTO（ジェット）という格闘技チームを作ったんですよ。

——ジェットですか？

小笠原　ジェットというのは僕はベニー・"ザ・ジェット"ユキーデのファンだったのでそれにちなんだんです。今、夜中の2時から5時ぐらいまで週1～2回やってるんですよ。彼らの育成もしていきたいって気持ちもあるんで。

——夜中の2時から5時までですか（笑）。ちなみに、選手として誰かとやりたいっていうのはありますか。この前の記者会見では小川さんとかプレデターの名前も出してましたけど。

小笠原　やれるものならやりたいですよ。ただ、先のことは全然分からないですね。大山総裁もいろんなことをやってきましたけど、そんなに先を見てやったとは思えないんですよ。目の前にあるのものを倒していって、次、次ってなったと思うんですね。それと一緒ですね。目の前のことしか見てないですよ。それに一回、一回をクリアするだけでもハードルが高いですからね。

——総裁の場合もプロレスラー倒して、牛倒してって感じですからね。ということは次は、やっぱり牛？（笑）。

小笠原　牛はぁ……。まあ、いつかはやりたいですよね。

——やっていただきたいですよね、極真ならば（笑）。それにZERO—ONEには黒毛和牛太っていう選手もいますし（笑）。

小笠原　あ、そうなんですか（笑）。いつでもやってやりますよ。それで、いま僕は真剣白刃取りとか、そういうものを追究していってる時なんですよ。

——真剣を実際見るとゾッとしますよね。

小笠原　いや、ホント！　真剣は独特の凄味がありますからね。

——いやぁ、だから、無茶はしてほしくないと思うんですよね。無茶はしてほしくないけど、でも、自動車飛びとかは、やってほしいんですよね（笑）。

小笠原　ワハハハ！　来るんじゃないかなって思ってたんですよね。もちろん、やりますよ（キッパリ）。

——即答ですね（笑）。でも、あれ本当に危険ですよ、言いだしたこっちが言うのもなんですが。

小笠原　大丈夫ですよ。というか、どうやったら成功するかっていうことを考えますから、こっちは。

——まさに極真空手は後ろを見せない！ですね（笑）。でも、挑戦した人のほとんど全員がケガしてるんですよ。

小笠原　だから、ケガしないっていう意識はないんですよ。

——ケガして当然！

小笠原　そうです。ケガしなかったらラッキー（笑）。だって、背足でブロック蹴ってケガしない奴いないですよ。でも、この前の演武で蹴ったらケガしなかったから。

——記者会見の時の演武ですよね。あの時、真剣白刃取りも披露したじゃないですか。ホント、凄いとは思いますけど、なんで試合前にそんな無茶ばかりするんですか。

小笠原　いやぁ～、極真の大会は試合前に試割りするじゃないですか。そういうクセがあるから（笑）。

——クセって（笑）。

小笠原　僕がやってる時代は1回戦と2回戦の間に試割りして、2回戦と3回戦の間にも試割りしてって、試合する前に必ずやってたんですよ。それに大会運営では試割りの責任者もやってましたし。

——昔はそうでしたね。考えてみればヒドいことしてますよね。他人のことなんかまったく考えてないですよ、総裁は（笑）。

小笠原　あれぐらい考えなければ、もう大したもんですよね（笑）。

——自動車飛びにしても、やるだけで凄いことじゃないですか。だけど、失敗した人間をねぎらうどころか、「キミには失望したよ！」って言うんですからね（笑）。

小笠原　そうそうそう（笑）。だけど、自分がやってきたからなんですよ。昔の海外なんてホントにヒドイ状況だったと思いますよ。それを経験してるから言えるんですよ。

——ですね。だから、これからも極真の道を究めるために頑張ってください。

小笠原　ええ、頑張ります（笑）。

——そのためにも橋本戦、ぜひ勝利してください！

小笠原　大丈夫です！　押忍!!

【02年6月3日／笹塚・蹴真JECHTO道場にて収録】

小笠原の新道場オープン!

極真空手の創始者・大山倍達が初めて開いた道場が大山道場。別名・バレエスタジオと呼ばれたものだが、その名の通り、バレエスタジオを改装したものだった。そして小笠原が笹塚に開いた新道場・蹴真JECHTO（ジェット）道場（館長・菅原秀仁）も元バレエスタジオ！ こういうこだわりが昭和極真ファンの琴線に触れるのである。ちなみに小笠原と一緒に写っているのは息子の唯之さん。道場には破壊王からも素敵な花が届いていたぞ！ 7・7両国、遂に時は来た!!

【お問い合せ】吉祥寺・小笠原道場まで　TEL.0422-21-2200

聞き手／堀江ガンツ　構成／ジャン斉藤　撮影／松本崇
designed by matsu（Two three）

マット界の未来を担う
本誌イチ押しの若獅子が
早くも二度目の登場！

“怪物”横井宏孝

5.23 ZERO-ONEで
激烈なプロレスデビューを果たした怪物が、
UFC、『PRIDE』にも

喰襲!!!

マット界の未来はこの〝怪物〟に託される!? 総合のリングでは破竹の6連勝で勝利の山を築き、先日のZERO—ONEマットでは激烈なプロレスデビューを飾った横井宏考。プロレス・格闘技の両輪をダイナミックに転がしながら、どこに向かって走っているのだろうか? 本誌二度目の登場の〝怪物〟に直撃!

――横井さん、先日のプロレスデビュー戦（4・23ZERO—ONE後楽園大会）の暴れっ振りは最高でしたよ！

横井 ありがとうございます！

――リングスで先輩だった坂田（亘）さんと組んで、崔（リョウジ）選手と（佐藤）耕平選手と闘ったわけですけど。あの試合は、ファンや関係者からの評判はかなり良いんですよ。

横井 （戸惑いながら）ホ、ホントですか？

――本当です（笑）。試合後の乱闘を含めて、凄く面白かったですよ！

横井 （調子に乗って）まあ、ボクがやれば面白くないわけないんですけどね（笑）。

――ワハハハ。精神面も〝怪物〟ですねえ！ それにしても、横井さんがプロレスのリングに上がるとはかなり意外でしたよ。

横井 もともとプロレスが大好きで、前々から出たいなあって思ってたんですよ。

――先日のDEEP名古屋大会の前の公開練習で、村浜選手にロープワークを教わっていたんで「変だな」とは思っていたんですけど、やはりそれはプロレスデビューを見据えてのものだったんですか？

横井 そうじゃなかったら、あの練習はやらないですよ（笑）。

――でも、あのロープワークは本人を目の前にしてなんなんですけど、スバリ言って相当ヘタでした！（笑）。

横井 そうですよね……。でも、ロープワークはもうやらないですから！

――まあ、ロープワークは難しいですからね。タッチワークにしても、坂田さんとタッチするタイミングの判断が難しかったのか、横井さんが出ずっぱりでしたよね。

横井 タッグマッチは初めてでしたし、かなり熱くなっちゃって。ホント、キレて我を忘れてましたから。ムカついてムカついて、（崔と耕平を）本気で殴りましたから！

ムカついてムカついて、(崔と耕平を)本気で殴りましたから!

――崔選手の顔がハンパじゃなく腫れてましたよ！

横井 いや、あれはパートナーの方の蹴りのせいです。ボクじゃないです（笑）。

――崔選手も耕平選手も、横井さんにはかなりの喧嘩腰でしたよね。

横井 あんなんやられたら、いくら温厚なボクでもキレますよ！

――お、温厚でしたか、横井さんは。

横井 温厚ですよ！ なんたって歌手デビューを目指してますから！

――何を言ってるのかサッパリわからないです（笑）。耕平選手や崔選手が敵意剥き出しなのは、新参者に職場を荒らされてたまるかという気持ちと、「プロレスをなめるな」という気持ちがあったからだと思うんですけど。

横井 じゃあ、オレに勝てよと。負けたら、偉そうなこと言えないんだから。……わかった！ きっと、ボクが「怪物、怪物」と言われるのを嫉妬してるんですよ、アイツらは（ニヤリ）。

――そうなのかなぁ（笑）。次回の（6・27ZERO—ONE）後楽園ではその崔選手とのシングルマッチが決定しましたね。

横井 やるんだったら、トコトンやってやりますよ。覚悟しておけって！

――次回も壮絶な喧嘩マッチになりそうで

○坂田亘&横井宏孝
（12分10秒 チョークスリーパー）
佐藤耕平&崔リョウジ●

名勝負数え唄となるか!?
これが新世代“格闘プロレス”だ!

オープンフィンガーグローブに素足という出で立ちで、リングに登場した横井。

横井の同世代となる崔は、試合前から激しい敵意を横井に向けていた。

試合でも、崔、耕平は横井に強烈な攻撃を仕掛け、これが横井に怒りの火を付けたのだ。

「本気で殴りましたから！」という横井の打撃！ この絡みはゼロワン名物となるか？

両陣営は試合後も大乱闘！ 横井だけではなく、崔、耕平の今後の活躍も見逃せない！

すね！　でも、ホント横井さんはプロレスと見事に融合しましたよね。ハッキリ言って総合格闘家がプロレスに出る場合は、いわゆる〝なんちゃってバーリトゥード〟になっちゃうパターンが多いじゃないですか。

横井　やったばっかでこういうことを言うと怒られるかもしれないけど、ボクはその〝なんちゃってバーリトゥード〟って言うんですか？　そういうプロレスはやりたくないですよ（キッパリ）。

――だったら、総合格闘技に専念してればいいわけですからね。ZERO－ONEで評価が上がっている坂田さんにしてもそうですけど、横井さんが〝なんちゃってバーリトゥード〟じゃない格闘プロレスを提示したのは大きいと思いますよ。

横井　はあ。ボクは別に自分がやりたいことをやってるだけですけどね。

――格闘家がプロレスをやる場合は完璧にギアチェンジすることが必要だと思いますけど、その部分もあまり考えてないわけですか？

横井　う～ん、ボクはスタイルを全てを変える必要はないじゃないと思うんですよ。やっぱ、自分も短いながらも作ってきたカラーがあるわけですし。

――それが、かつての新日本vsUWFや新日本vsUインターとの対抗戦で出ていた殺伐さみたいなものを醸し出していると思うんですよ。

横井　あ、そうなんですか。意識はまったくしてないですけど、あの対抗戦は見てましたよ！　面白かったですよね！

――あの当時の前田さんの睨み付けかたとか、当たりの強い打撃を見舞う金原さんってホント緊張感ありましたよね。こないだのZERO－ONEでの横井さんには、あの前田さんたちの姿が被って見えた

か？ういうプロレスはやりたくないんです

わけですよ。前田さんや金原さんの再来というか（笑）。ホント、横井さんはいい顔してましたよ。

横井　そうですか（満更でもない表情で）。まあ、顔が命ですからね！　歌手を目指す以上、当然ですよ（笑）。

――（無視して）あれは〝プロ〟でしかできない表情ですよ。

横井　う～ん、ホントにアイツらにはムカついていたからでしょうね（笑）。

――ホントに本能だけで闘ってますね（笑）。ZERO－ONEには次回大会以降も上がるつもりなんですか？

横井　そりゃあもう、出させてもらえるなら。他の選手ともやってみたいですし。坂田さんも「高岩選手は凄い」って言ってましたからね。「若手とは全然レベルが違う」って。

――他に対戦したい選手はいますか？

横井　（即座に）プレデター！

――野獣vs怪物！　面白そうですね！

横井　逆にあのチェーンで吊してやりますよ！　ちょっと吊されてみたい気もするんですけど（笑）。あとは（スティーブ・）コリノともやりたいです！

――コリノですか⁉　横井選手の連勝記録が、ミスター・フレッドの高速スリーカウントで破られるかもしれない（笑）。あとは、ゴルドーとの対戦が見てみたいですけどね。

横井　いやあ、ゴルドーは怖いですよ！　間違いなく逃げますね（笑）。

――ワハハハ！　それにもしかしたら、マーク・ケアーとやる機会だってあるかもしれませんよね。

横井　ボクは和田さんという〝霊長類ヒト科最強のレフェリー〟と練習してますから。ケアーは問題ないです（笑）。

――ファンもそうですけど横井さん自身

も、プロレスには楽しみが多いわけですね。
横井　こないだはムカつきましたけど、プロレスはやって楽しかったですからね！　これからもプロレスに限らず、自分が楽しいことをやっていきたいなって。だって、自分が楽しいことをやるのが一番じゃないですか。人の目を気にしながらよりも、好きなことをやる、イヤなものはイヤっていう（笑）。
――いまは興味があることをドンドンやっていく、と。
横井　リング上で歌っちゃいますよ～！（笑）。
――さ、そんな歌手の話より、よっぽど実現の可能性が高い『PRIDE』やUFCへの出場についておきかせください（笑）。こないだのUFCでは、髙阪さんは残念な結果になってしまいましたよね。横井さんはセコンドとして行かれたわけですけど、どんな感想をお持ちですか？
横井　リコ（・ロドリゲス）は強かったですね。でも、怪物的な強さだったら、ジョシュ（・バーネット）のほうが上かなって思いましたけど。
――大会自体はどうでしたか？
横井　オクタゴンがカッコ良かったですね！　お客さんの雰囲気も日本とは違うんですよね。歓声とか野次がもの凄くて、セコンドでいても気持ちが高まりましたから！　あれに興奮しなかったら格闘家じゃない！　UFCという宝物を見つけてきた感じですよ（嬉しそうに）。
――『PRIDE』の雰囲気もかなり凄いと思いますけど、それとも違うわけですか？
横井　ボクには違うものに見えましたね。う～ん……（しばらく考え込んで）。うまい言葉が見つからないけど、違うんです！　とにかくボクもあの金網の中に入りたい！

“なんちゃってバーリトゥード”っていうんですか?そう

（ケビン・）ランデルマンなんかとやりたいです！　ボクとやったら、面白くなると思うんですよ。
――横井さんなら、ランデルマンと並んで違和感がなさそうですしね（笑）。他にもバケモノがウジャウジャいますけど、横井さんが出るとしたらやっぱりヘビー級でエントリーするんですか？
横井　いや、ボクは出るとしたら、ライトヘビーですね。ボクは普段は96キロなんでヘビー級はキツイんですよ。DEEPのときは無理矢理増やして100キロにして、それで全然動けなかったんで無理にヘビー級に合わせるのはよそうかなって。
――横井さんは上背があるわけじゃないですしね。やっぱり、日本人には無理な階級なんですかね。
横井　だからこそ、逃げずに闘ってる髙阪さんはカッコイイと思ってるんですよ。
――あの身体で、怪物相手に頭や技術を使って闘ってますからね。
横井　凄いと思いますよ、髙阪さんは。練習も髙阪さんと一緒にさせてもらってから変わったなって思う部分が多いんで。髙阪さんは、ボクに合わせて動かせてくれるんですよ。
――と、言いますと？
横井　技を掛けても逃げ道を作ってくれて、自分が動きやすいように動きやすいようにしてくれるんですよ。口で「こう逃げろ！」って言うんじゃなくて、身体でわからせてくれるんですよ。だからスパーリングやるたびに凄く勉強になりますね。
――髙阪さんの引き出しの多さを実感してるわけですね。
横井　凄い頭の良い人なんで。逆にボクは本能で動いちゃいますから。でも、こないだシアトルでの練習で、力の入れどころ抜

UFCのヘビー級で、逃げずに闘っている髙阪さんはカッコイイです

先日の5・10UFCにおいてリコ・ロドリゲスと対戦した髙阪剛のセコンドに、モーリス・スミス、ジョシュ・バーネットらと共についた横井。残念ながら髙阪は敗戦となってしまったが、UFCという戦場は横井のハートを大いに燃えす舞台だった。横井の出陣はあるのか!?

きどころが段々わかってきたというか。

——自分の実力の出し方がわかってきたわけですか。

横井 それは、どの選手も楽しんでやっているからなんですよね。ボクも向こうでそうやってるうちになんとなくですけど、わかってきたんですよ。

——向こうでは誰と練習したんですか?

横井 小路さんやジョシュ・バーネット、アレックス・スティーブリングとですね。モーリス(・スミス)ともやりました。

——たしかモーリスは、シアトルのジムを他人に任せてる状態なんですよね。

横井 モーリスはマット・ヒュームのAMCパンクレーションで練習してるんですよ。モーリスはホントうまいです! 良い練習ができましたよ。

——モーリスは名伯楽ですからね。どこら辺がうまいと思いました?

横井 う、う~ん、日本語がうまい!

——ワハハハ! たしかに達者ですね(笑)。

横井 ボクに「バカ外人」とか「赤ちゃんね、赤ちゃんヤクザ!」とか「オカマ」とか言ってきて(笑)。

——赤ちゃんヤクザですか(笑)。何か言い返したりしたんですか?

横井 ボ、ボクは英語ができないですから。

——それは失礼しました(笑)。言われるがままだったと(笑)。

横井 (ムキになって)でも、小路さんとは喋りましたけどね。

——同じ日本人なんですから、当たり前ですよ(笑)。

横井 小路さんは良い人ですよ。ホント良くしてくれて。こんなところで言うのもなんなんですが、小路さん、ありがとうございました!

——小路さんもキング・オブ・ザ・ゲージで久々に勝利を挙げましたし、そろそろ『PRIDE』に帰ってきそうですよね。横井さんも、『PRIDE』出陣についてはどう思ってるんですか?

横井 やるんだったらレベル高いところでやりたいですからね。お声が掛かればゼヒ上がりたいです!

——一部ネットでは、『PRIDE』で横井さんとゲーリー・グッドリッジの一戦が確定してましたけど(笑)。

横井 エッ!? ホントですか!

——単なるネットの噂で終わったみたいですけど(笑)。横井さんは外人に対抗できる数少ない若手格闘家ですからね。そういう噂もすぐ立つんですよ。

横井 う~ん、でも、ボクは『PRIDE』ならミドル級でやりたいですね。ミドルでも強い選手が多いですからね、『PRIDE』は。……怖いです(にやけながら)。

——顔が笑ってますけど(笑)。「主食外人」宣言した男としては、『PRIDE』は楽しみな場ですよね。

横井 「主食外人」ですかぁ? いや、そういう気持ちがなくなっちゃたんですよね。

——前回(『紙プロ』NO.48)のインタビューで言っていたばかりじゃないですか!?

横井 いやあ、シアトルは良い人がいっぱいいたし、人種差別は良くないなって思って(笑)。外人だから、というような思いで闘うんじゃなくて、相手を尊敬しながら闘いたいですね。

——よっぽどアメリカが楽しかったみたいですね。それじゃ、尊敬できて闘いたい外人を挙げてほしいんですけど。

横井 う~ん、個人名を出すのは好きじゃないんですよね。

——さっきからバンバン言ってるじゃないですか(笑)。

ボクがマット界のスーパーマンになりますよ！

横井　前に怒られたんですよねえ（笑）。

――じゃあ、闘いたい相手じゃなくて結構ですんで、強いなって思う選手にしましょうか（笑）。

横井　強い選手ですか？　う～ん、（ムリーロ・）ニンジャとか強いんじゃないですか。あのマリオ（・スペーヒー）が極められなかったし。

――ニンジャは逃げる技術があってスタミナも切れないし、脅威ですよね。

横井　ボクはスタミナが全くないんですよねえ。

――ワハハハ。前田道場生が何を言ってるですか（笑）。

横井　いや、和田さんタイプなんで、すぐカラータイマーが点灯しちゃうんですよ。みんなビックリすると思いますよ（人ごとのように）。

――身体はビックリするぐらい頑丈なんですけどねえ。

横井　パワーは外人に負けはしないですから！（キッパリ）。

――凄い自信ですね！

横井　というか、したくないんですッ！

――いちいちズッコケますねえ（笑）。

横井　勝つ自信はもちろんありますよ！　でも、ボコボコにされたい気持ちもあるんですよ。

――ボコボコにされたい、ですか!?

横井　はい！　ボクの顔のかたちが変わるぐらいにしてほしいです。強敵とやることによって、自分の限界も知りたいし、絶対良い経験になると思うんですよ。

――たしかに若いうちにそういう経験はしたほうがいいとは思いますよ。

横井　負けたほうが絶対経験になりますよ。別に勝つ自信がないからこんなこと言ってるわけじゃないですよ。無敗記録とかが変なプレッシャーになって小さい試合を選ぶよりは、デカイ試合をやって負けたほうが自分のためになると思うんですよ。

――ぶつかる壁はより高いほうがいいってことですか。

横井　そうです！　それはプロレスでも総合でも、どっちの世界でも同じです。両方ともトップになりますよ。なんかの雑誌で武藤さんが「（プロレスも総合もできる）スーパーマンなんていない」って言ってましたけど、ボクがそのスーパーマンになりますよ！

――「主食外人」あらため、「スーパーマン」宣言ですね！　ZERO―ONEやUFC、『PRIDE』での活躍期待してます！

横井　あと、いつの日か歌手デビューすることも期待して下さ～い！（笑）。

【02年5月30日都内某所にて収録】

よこい・ひろたか■1978年6月8日、北海道岩見市出身。昨年リングス入門後、わずか4ヶ月でデビューし、怒濤の5連勝という怪物ぶりを発揮した。DEEPにおいても勝利を収め、ZERO-ONEでは衝撃のプロレスデビューをはたした。総合格闘技界では、外国人と対等に勝負できる若手として貴重な存在であり、プロレスのマットでは新たな格闘スタイルを提示。今後、マット界の未来を担うファイターといっても過言ではない。

ギョ！　モーオタ(?)の横井が、辻ちゃんと一緒にZERO―ONEに出撃!?　146ページに急げ！

全国各地で人気爆発!　毎日毎日何かが起こる!

ZERO-ONE 5/19 5/23 地方サーキットDIGEST

日々、面白いことが起こり続けるZERO-ONE地方サーキットを『紙プロ』が完全追跡! 各地の熱さを産地直送でお届けします!

5.19 >>>　石川県産業展示館2号館

最近、ちょっと乱発気味な気もするが、地方のファンにとっては「待ってました!」の「オレごと刈れ」。タイミングばっちりだ!

新日本時代からの同期生、大谷と高岩が一騎打ちで激突。お互いの10年間を確かめ合うような真っ向勝負は、スパイラルボムで大谷の勝利。

この日が初結成となるOH砲ならぬ、OHG砲。O=小川、H=橋本、G=ジジイ=藤原の略らしい。小川は初の6人タッグマッチだ。

熱い熱い大声援を浴び、金沢でも大人気のOH砲。ZERO―ONEは確実にプロレスのあるべき姿を取り戻しつつある。

小川、久々の快勝!　……と思いきや、勝利を讃えると見せかけて近づいて来たNWA会長ジム・ミラーのパウダー攻撃に悶絶!　またしても醜態をさらされてしまった!

ゼロワンvsNWA&UPW連合本格開戦!! OHG砲快勝も、クソデブの魔の手が……

ZERO―ONE勢vsNWA&UPW、いよいよ本格開戦!! そして金沢に堂々初登場したOH砲と藤原組長は、松山大会を思わせるような大歓声で迎えられた。

今大会からMr.フレッドに続いて送りこまれてきた新レフェリー、Mr.マイケルの明らかな外国人びいきのレフェリングにまたもや苦戦させられたOHG（組長=ジジィのG）砲だったが、OH砲の〝オレごと刈れ〟が元グリーンベレーのトム・ハワードにサク烈!! 見事、最強ガイジンタッグ&スティーブコリノをマットに沈めた。しかし、勝利の余韻にひたっていたその時〝クソデブ〟ことNWAジム・ミラー会長が乱入、ポケットからつかみだした〝謎の白い粉〟をZERO―ONE勢に投げつけた!! 突然の思わぬ攻撃に悶絶するOHG砲、そこに襲いかかるNWA&UPW連合軍。そしてプレデターはまたもチェーンで小川を首吊りに!　せっかくのフォール勝ちが台無しにされた破壊王は「おい、クソデブ!　お前は米国の悪の象徴だ」と、あまりにも大げさすぎやしないかと思われる言葉で糾弾。「7月7日、両国国技館で何らかの決着をつけてやる」と宣言したが、ジム・ミラー会長は憎々しげに「USA!　USA!」と「USA」コールを連呼するだけだった。小川は「両国参戦は流れ次第だけど、プレデターとはシングルでチェーンなしで闘いたい。いや、それにしても油断したよ。プロレスの奥深さを味わったね」と、首をさすりながらも意気込みを語った。

（ささきぃ）

5.21 >>> 福島体育館

この日から、NWAナショナル王者のホットスタッフ・ヘルナンデスがシリーズ合流。クソデブと共に破壊王を盛んに挑発した。

破壊王が逆絞首刑! 米国軍分裂の危機

コリノ、またしても高速3カウントで勝利!! メイン終了後、破壊王が掟破りの〝逆絞首刑〟でザ・プレデターを仕留めた!!

第2のNWA悪徳レフェリー・Mr.マイケルを従えて、コリノが藤原組長と対戦。組長有利の中、コリノが苦し紛れのチョーク攻撃から体固めに持ち込むと、マイケルの高速3カウントで勝利!! 試合後Mr.マイケルはコリノとともに猛ダッシュで逃げ去った。

メインでは、プレデターのパワーに手こずりつつも、高岩が大健闘。最後はロープ際で高岩がプレデターを押さえ込んでいる間に破壊王がDDTでアンダーソンを葬った。しかし試合後、ジム・ミラー会長がリングに上がり、破壊王に握手を求めるようなそぶりをみせた後、金沢に続いてまたしてもパウダー攻撃!! リング上はまたしても大混乱になったが、今回は破壊王がプレデターのチェーンを奪い、お返しとばかりに逆絞首刑!! この日はハワードが乱闘をおさえる動きを見せ、NWAとUPWの連合軍が分裂する可能性も出てきた。

「また来るゾ福島!」ZERO—ONE初登場の地ながら、日本人勢には大歓声、NWA軍にはキッチリ大ブーイングをあびせた福島の観客に、破壊王がマイクで再来を約束した。

5.22 >>> Zepp仙台

NWAとUPWに不協和音。クソデブが超獣に襲われた!

ジム・ミラー会長率いる悪のNWAと、UPWとの連合が崩壊!? ZERO—ONE仙台大会で、アメリカ軍に分裂の危機がみえはじめた。

仙台のメインは、破壊王&藤原組長と〝最強ガイジンタッグ〟ハワード&プレデターの4人決戦となっていたのだが、巨大な体躯で巨大なNWAの旗を持ってしゃしゃり出てきたジム・ミラー会長とNWAナショナル王座のヘルナンデスを見て破壊王がいらだったかのように叫んだ。「お前ら、まとめてやってやる!!」

急遽、試合はヘルナンデスと高岩を加えた6人タッグに変更。だが、ハワード&プレデターのUPW勢とヘルナンデスとの間に、タッチワークを通じて明らかなズレが生じ始めた。タッチを拒否したり、チャンスのシーンで勝手にタッチして自分が出て行こうとしたりUPW軍に、ミラー会長が抗議する場面もあった。そのためガイジンチームに危うい局面もあったものの、ヘルナンデスが高角度投げっぱなしパワーボムの〝ホットボム〟を高岩に決めて勝利となった。

破壊王はヘルナンデスに向かって「あしたは3分以内で殺してやる!! オメェはアメリカの恥だァア!!」とベルト奪取宣言。その後はUPWの2人が大暴れ。NWAミラー会長を襲い、旗を折るなどはっきりとNWAに牙をむけはじめた。

(ささきぃ)

デビュー10周年記念試合となった高岩に花束が贈呈。プロレス会場ではなつかしの花束嬢が登場するとはゼロワンらしくて素晴らしい。

破壊王の「まとめてかかって来い!」の一声で、急遽NWA・UPW混成軍が結成。しかし、タッチを拒否するなど、お互いギクシャク。

「大谷のファン」と噂される我らがコリノが、本物の大谷と一騎打ち。ファンらしく逆顔面ウォッシュなを仕掛ける場面も。

5.23 >>> 後楽園ホール

NWAとUPWが完全分裂。そして小笠原がやってきた!

破壊王が吠えた!!「日本がナメられたら終りだぞ!! UPWもNWAも、全部踏みつぶしてやる!!」

破壊王にとっては屈辱のナショナル王座戦。巨体のわりに軽快な動きを繰り出す王者ヘルナンデスだったが、これまでの試合中で最高の「ハシモト・コール」を受けて登場した破壊王の敵ではなかった。一度はMr.マイケルの「超スローカウント」に阻まれながらも、最後はDDTでヘルナンデスをKO。試合後マイクで〝クソデブ〟にワールドチャンピオンへの挑戦をアピールするも、ミラー会長は「次はカナディアンヘビー級ウェイトチャンピオンでどうだ?」とコメント。観客のクソデブに対する大ブーイングの中、小柄なUPW代表リック・バスマンが登場し「そんな訳のわからない話は聞かずにわれわれと闘ってください」と懇願。すると、ジムミラーはバスマン相手にパウダー攻撃後その巨体でボディプレス! 救援に入ったプレデターがミラーに襲いかかり、ミラーの腹肉で窒息しかけたバスマン会長は「ハシモト! 我々UPWは、いつ、どこでも挑戦を受ける!」と命からがら叫んだ。ここでさらに元極真の小笠原が登場し、破壊王に対戦を迫った。破壊王は「俺とやったら格闘生活終わるぞ。いいのか」と脅しつつも対戦を受諾。小笠原退場後、破壊王は「もっとプロレス界にケンカ売ってやるからな! みんな応援してくれ!! ありがとっしたっぁ!!」と興奮しきった口調で超満員のファンに礼を言った。

コメントルームで破壊王は「NWAのベルトを奪い返すまで闘い続ける。小笠原にはヘビー級プロレスの恐ろしさを思い知らせてやる」と宣言!! まだまだジム・ミラーとの闘いは終わらない!!

(ささきぃ)

サブゥーがZERO-ONE初参戦。高岩を五寸クギで血の海に沈めた。このまま〝平成のシーク〟として、レギュラー外人となるか?

日高vs星川の試合後、ディック東郷が突如乱入! 最強の日本人ルードの登場で、ZERO-ONE Jr.戦線も熱くなりそうだ。

遂に完全な亀裂が入ったNWAとUPW。NWAジム・ミラー会長はUPWバスマン会長にパウダーを浴びせると、なんとフライング・ソーセージ!

CAT FIGHT WORLD

第19回「キャットファイトのお色気部分」

バトル編集部・編集長　猫宮隆さん

キャットファイトの知られざる魅力をお伝える「CAT FIGHT WORLD」。おなじみバトル編集部・猫宮さんが、そのめくるめく世界にアナタを誘います！

苦悶の表情、エロティックに歪む身体をとくと堪能せよ！

—今回は基本中の基本。キャットファイトのお色気部分についてお話を聞いてみたいと思います！

猫宮　それは人に聞かないと分からない部分なのでしょうか？（苦笑）。

—いや、フェチの部分でのお色気って、意外と伝わらないものですよ！

猫宮　そうなのかなあ……。

—そんなわけで、キャットファイトのお色気部分って、どの辺りだとお考えですか？

猫宮　キャットファイトと言うのは、女性同士の喧嘩や、格闘技、スポーツ等、身体を使って競い合う様のことを言いますよね。一般的には、喧嘩の意味が強いかな？

—そうですね。あとはWWEなんかでの女子プロレスはキャットファイトだ！って騒がれてますよね。

猫宮　そうですね。もともと、男って生き物は自分よりも力の弱い存在を闘わせて喜ぶ傾向にありますよね（笑）。サド部分で。

—それは、小さい子供が昆虫を捕まえて、その昆虫同士で闘わせて遊ぶみたいな感覚ですか？

猫宮　そう……ですか？　まあ、そうですね（笑）。

—そうでしたか（笑）。

猫宮　あと、やっぱり格闘技とか見ると、血が騒ぐって言うか、興奮しますよね。K−1や『PRIDE』はツイツイ見ちゃうじゃないですか。

—はいはい。

猫宮　と、言うわけで、女性同士が喧嘩してたら興奮しますよね？

—猫宮さん、途中部分をはしょりすぎですよ！

猫宮　例の使い方がおかしかったかもしれませんが。キャットファイトのお色気、その一。女の子同士が闘っている事自体にお色気を感じます。

—おお、さすがキャットファイトマニア！

猫宮　さて、これからが本題ですが（笑）。

—入るの遅いなあ。

猫宮　基本的にキャットファイトファンの方々、一人一人が違う部分にエロ、お色気を感じると思うんですよ。

—マニアは突き詰めると一人だって奴ですか？

猫宮　ええ。顔一つにとっても、美人なのか、そうでないのか？　表情は苦しんでいるのか、サディスティックに微笑んでるのか？　など等。

—あ、ああ、でもそうなると何でも良いような……。一般的に言われている部分でお願いします（笑）。

猫宮　一般的？　一般的って言葉、あまり好きじゃないんですけど……。

—お願いしますよ！『紙プロ』読者にも分かりやすく説明して下さい！

猫宮　う〜ん、そうですね。やっぱり苦悶の表情・エロティックに歪む身体、そして勝敗の瞬間ですかね。

—勝敗の瞬間!?

猫宮　はい。どちらかが勝ち、どちらかが負けるって、凄い興奮しませんか？

—格闘技では違った意味での興奮がありますが……。

猫宮　そうじゃなくて。女性同士が闘って、勝つつもりでいますよね。でも、力及ばず相手に押さえ込まれてしまう。力尽きてしまう！　これ、最高に良い瞬間だと思うんですけど……。

—う〜ん……キャットファイトファンの中でも、かなりコアな意見なんじゃないんですか？　それって。

猫宮　そんなことありませんよ！（笑）。誰もがそう思いますって。あ、あと最終的なお色気で、失神、昇天ってのがあります。

—しょ、昇天!?

猫宮　んまあ、簡単に言ってしまえば、イってしまう。

—イ、イクって……イクですか？

猫宮　まあ、そういうキャットファイトもありますと言うところで。

—え？　これで終わりですか？

猫宮　詳しくは、バトルオリジナルの最新作イカせっこバトルを見てください〜！

—今回も上手く（？）まとまったところで、お後がよろしいようです〜。

猫宮　月刊バトル通信もよろしくお願いします〜！

今月のオススメビデオです!!

■イカせっこバトルNO.14
「青木ゆう・学生vs菊川奈緒・学生」
収録時間50分　¥8000

ハイテンションヒロイン青木ゆうと、バレーボール経験者で長身の菊川奈緒が激しくイカせ合う！　ファイト前のインタビューでは、二人の美女がバイブを使ったエロティックなオナニーを披露！　ファイトが始まると、ゆうは序盤から激しく攻め立てますが、奈緒も負けてはいません。スリーパーや逆エビ固め等が飛び出し、中盤から次第にエロティックな技も繰り出されていきます。そして取り出されたのは、インタビュー時のオナニーで使用されたバイブ！　それぞれがバイブを手にとっての白熱したイカせ合いが始まります！
ラスト、バイブを奪われ二本のバイブで攻められた方は、快楽と屈辱が入り混じる切ない喘ぎ声を漏らす！！

■PIN AND DEFEAT!
「ANNA AMORE vs VENUS DELIGHT」
収録時間約60分　価格¥8900

褐色の肌とウェイブのかかった黒髪のアンナ・アモーレと、美しい白い肌と金髪ストレートヘアのヴィーナス・ディライトのブラックvsホワイトのグラマラス美女対決!!
始めはお互いの腕力を力比べ。アームレスリングでパワー負けしたヴィーナスは、アンナをベッドに押し倒し、パンティを脱がせてアンナの股間に指を突っ込みヒイヒイ言わせます。レズファイトで勝利を収めて調子にのるヴィーナスでしたが、アンナの思わぬ反撃を受けてベッドの上でのエロキャットファイトは混戦状態に！最後はイカされて、ベッドに一人横たわるヴィーナスの姿が・・・。

紙のプロレス RADICAL

051 CONTENTS

Cover Model : Shinya Hashimoto

020

088

129

Head Line

Main-Event

Semi-Final

Radical Special

Columns

Another

RADICAL Special Pinup 高山善廣＆杉浦貴／ Portrait O.D.D.

「SRS・DX」サダハルンバ編集長が『紙プロ』座談会で久しぶりのゴ〜〜ルッ!! そして んあ〜ッ!!

「日本VSロシア」平均視聴率66・1%!! ワールドカップがマット界に及ぼす影響とは何か?

そして「プロモーション」とは何か?

マット界を「WORLD CUP」から語ろう!

構成／ジャン斉藤
designed by matsu(Two three)

『PRIDE』、K-1、UFO、新日G-1……
真夏の興行大戦争の開戦迫るマット界が"外敵"に打ちのめされた?
空前の盛り上がりで話題を独占状態のサッカー「ワールドカップ」が
マット界に及ぼす影響とは、いったい何なのか?
サダハルンバ&柳沢忠之の『SRS-DX』軍団が久々の登場!
その答えをゴ〜〜ルッ!! んあ〜ッ!!

【「マット界をWORLD CUPから語ろう!」イメージモデル／谷川貞治さん・40歳】

谷川　（約束の時間を大幅に遅れてきて）んあ〜、やっと着いたぁ〜！　すごいお腹が空いたぁ〜！（『紙プロ』編集部のジャン斉藤に向かい）ねぇ、稲庭うどんを頼んで！
柳沢　ガハハハ！　いきなりかい。
谷川　（ジャケットを脱いで）……やっぱり脱ぐと寒いなぁ。ちょっと室温を上げようよぉ。
山口　いちいちうるさいな、この人は（笑）。
谷川　いやぁ、風邪をひいちゃって、2日前まで熱が38度5分あったんですよぉ。
山口　一昨日電話で話したときは、38度ちょうどって言ってたじゃない（笑）。
谷川　んあ〜。そうでしたっけ？　今日は病み上がりなもんで、何を言いだすかわからないですよ！
山口　それはいつも通り（笑）。
谷川　（ジャン斉藤に向かって）アレ、キミは誰？
山口　知らない人間に「稲庭うどん頼んで」って言ってたんだ（笑）。
ジャン　あ、この座談会の編集担当の斉藤です。よろしくお願いします！
山口　麻雀のジャンで、ジャン斉藤っていうんだけど、7年間、伝説の雀鬼こと桜井章一さんの内弟子やってたんですよ。
谷川　ほぇ〜。それじゃ将棋ができるんだ!?
ジャン　い、いや、しょ、将棋もできますけど……。
山口　ガハハハ！　将棋じゃねえよ、麻雀！　雀鬼だよ、雀鬼の弟子！
谷川　あぁ〜、ヒクソンと仲がいい人かぁ。ボクも麻雀はやってたよ。どうしても点数計算が覚えられなくてねぇ。ちょっと教えてよ？
ジャン　（戸惑いながら）は、はぁ……。
山口　それはあとにして（笑）。
谷川　じゃあ、今日はいったい何がテーマなんですか？
山口　それがね、1週間前までは語るテーマを考えてたんだけど、まったく忘れちゃいました（笑）。

バンナvsハントは、日本で鍛えられた観客論をもとに闘ったから、凄くなったんだよぉ〈サダ〉

ガンツ　会長（山口日昇のアダ名）、この座談会は10ページもあるんですけど（笑）。
谷川　んあ〜。10ページ!?　じゃあ、今日は会長の学生時代の話でもしましょうよ。ボクはそれがいいと思うけどなぁ。
山口　俺、学生時代なんかないもん。
柳沢　学生時代がない！（笑）。
山口　学歴は中卒だし（笑）。
谷川　へ？　高校は行ってないの？
山口　一応行ったよ。2校行って、合わせて延べ100日くらい（笑）。
谷川　退学になったの？
山口　そう……って、そんな話はいいから、こないだのK―1フランス大会（5・25＝日本時間5・26）の現地の雰囲気でも聞かせてくださいよ。ウチからは誰もフランスに行ってないし、『SRS・DX』も面倒くさいんで読んでないからさ（笑）。
谷川　ボクね、会長のこと書いたんだよぉ。「セーヌ川のほとりで一緒に絵を描きたい」ってね。
山口　あ？
谷川　ボクはヨーロッパやフランスが好きだといっても、ブランドを買い漁るようなタイプの男ではないんだよね（なぜか小鼻を膨らませながら）。
柳沢　そうなんだ（笑）。
谷川　できれば、セーヌ川のほとりで絵を描いていたいタイプなんだよね。
山口　勝手な自己分析ね（笑）。
谷川　で、そういうタイプの友達と今度一緒にヨーロッパに行きたい。それで「会長、一緒に行きませんか？」って書いたんだよ。
山口　何を言ってるのかサッパリわからない（笑）。フランスの感想じゃなくて、ジエロム・レ・バンナvsマーク・ハント戦の感想が聞きたいんですけど（笑）。
柳沢　フランスの雰囲気じゃなくて、バンナvsハントの雰囲気ね（笑）。
谷川　んあ〜、フランスのことじゃないんだ。バンナvsハントはね、あの2人が「こういう闘いをやれば客にウケるな」という日本で鍛えられた観客論をもとに闘ったからあんなに凄い試合になったんだよね。
山口　あ、それで『SRS・DX』にジャパニーズスタイルがどうとかのキャッチ（見出し）があったんだ。で、それから？
谷川　エッ……!?
柳沢　もう感想が終わりかい。K―1の解説者が（笑）。
山口　ガハハハ！　もっと聞かせてよ、サダちゃん。
谷川　いや〜、あの試合はハントが偉いですよ。よくあんなとこまで行って、あんな凄い試合するなっていうね。
山口　ハントはバンナ戦をやるのを嫌がってたんですよね。
谷川　身体中ケガだらけだし、しかも中迫やミルコに負けたあとだから（※編集部注・K―1解説者の谷川さんはハントが中迫に負けたと言っておりますが、実際にはダウンを奪われただけで負けていません）、いいとこ見せたいのに相手はバンナで、しかも敵地だから。"何でオレがこんなことやらなきゃいけないの"っていう感じだったでしょうね。
山口　社長（柳沢忠之のアダ名）もフランスに行ったんだよね。やっぱり、現地の熱は凄い？
柳沢　うん………。
山口　それだけかい（笑）。
谷川　社長はね、フランスで、生まれて初めて1万歩以上歩いたから、それ以上の記憶はないと思うよぉ。
山口　ガハハハ！　何のリハビリ？（笑）。
谷川　いや、本当なんだよ。社長はフランスで初めてのお遣いをしたんだよ。
山口　何でもいいから、早く現地の熱狂ぶりを教えてください！
谷川　フランスはね、フランス人だから応援するというのがないんだよね。それは日本人もそうだけど、ダメなやつはダメっていう感じ。まだジェロムの才能が開花してない5年前に、フランスでモーリス（・スミス）というイヤなタイプと試合をやらされてさ、ヘロヘロのテクニック合戦になっちゃって大ブーイング浴びたんだよね。バンナはそのときのイメージがあるから、地元だけどフランスでは試合はしたくなかったんだよ（稲庭うどんが来る前に、テーブルにあるものを全力でパクパクとたいらげる）。
山口　しかし……よく食うよね、サダハルンバは（笑）。

●座談会出席者●
谷川貞治（SRS・DX編集長＝40歳）
柳沢忠之（SRS・DX発行人＝36歳）
山口日昇（本誌編集長＝38歳）
堀江ガンツ（本誌日陰者＝28歳）

○ジェロム・レ・バンナ【2R終了時TKO勝ち】マーク・ハント●5月25日フランス・パリで行われたK-1には、1万2000人の大観衆が押し寄せ"日本発"の壮絶な"ジャパニーズ・スタイル"によるファイトに大歓声が送られた。1Rから怒濤の打ち合いになったこの一戦は、お互いがダウンを奪い合う息詰まる攻防が繰り広げられたが、ハントの目の負傷によりハント陣営からタオルが投入され、その激しすぎる闘いに終止符が打たれた。

柳沢　ダハハハハ！

谷川　（無視して）でも、バンナはフランスにK―1を広めたいという気持ちがあるんだよね。「これからはチーム・フランスとしてK―1でやっていきたい」と言ってるんですよ。シリル（・アビディ）が今度の福岡で試合するなら、そのセコンドで日本に来たいとも言ってるしさ。

山口　それはバンナに「ナショナリズム」が芽生えちゃったの？

谷川　それもあるし、バンナはフランスでドンドンK―1をやっていきたいんじゃないの。あの大会以来、凄いやる気になってるんですよ。

山口　いやね、俺もテレビで見たけど、あの試合は面白かったね。でも、バンナvsハントは、マニアにはあまり語られてないよね。

谷川　それは観客に向かって試合をしたからでしょ。純粋たる勝負論で闘っていたんじゃなくて、観客論で闘っていたからだよ。最近、ミルコvsシウバみたいな他流試合がK―1の主流になっていたなかで、純K―1であるハントvsバンナが凄い試合をしたのは評価できるよね。

山口　あ、ハントvsバンナはやっぱ純K―1っていう位置づけなんだ。

谷川　じゃないの？

柳沢　じゃないのって、K―1解説者が（笑）。

谷川　（慌てて）い、いや、あれは純K―1だよ！　K―1心というかK―1魂を持った2人の試合だよね。

山口　悪い意味じゃなくて、画面で見てる限りではハリウッド映画を見てるみたいだったよね。でも、ハリウッド映画にマニアは存在しないでしょ。ヨーロッパ映画は語れるけど、ハリウッド映画は語れないじゃない（笑）。でもさ、そのハリウッド映画が全部つまらないかっていったら、それもまた違うでしょ。要はソフトもハードも大きなスケールでやって、それで面白ければ文句はないわけだから。

谷川　K―1の正体はハリウッド映画だから、語りにくいといえば語りにくいけど、でも、K―1にはボブ・サップvs中迫みたいな試合もあるんだよね。

柳沢　いったいこれが、同じ競技かっていうね（笑）。

山口　バンナvsハントは、フジテレビで深夜に放送したけど、視聴率が凄かったらしいじゃない。

谷川　視聴率は10％ですけど、占拠率は約50％ですよ！

山口　夜の12時半から放映したわけでしょ？　あの時間に、テレビをつけてた2人に1人は見てたっていうのは凄いよな、ホントに。

谷川　でも、イングランドvsアルゼンチンで40％取るのも凄いよ！

山口　あ、ワールドカップ（以下、W杯）の話ね（笑）。

谷川　（胸を張って）ボクと社長は、日本vsベルギーを生で見に行ったからね。

山口　へぇ〜。いいなぁ。

柳沢　意味もわからず見に行ったもんなぁ（笑）。現場に行ったらさ、サダハルンバはいきなり弁当広げ出したからね（笑）。

山口　ガハハハハ！　純粋なるレジャー気分（笑）。

柳沢　みんなが総立ちで必死の形相で応援してるなかで……まさに非国民というかさ（笑）。

谷川　んあ〜、ボクらはVIP席みたいな席だったから、弁当がついていたんだよ。

柳沢　しかも重箱だよ！　会場入りした

ときにやたら大きなバックを渡されて、ドリンク券やら弁当やらいろいろ入ってるんだよ。あれには驚いた。イベントとしてしっかりしてたよね。『PRIDE』の10万円席の特典が専用ゲートから入れることでしょ。いい加減にしろよって話だよ（笑）。

山口　ガハハハ！

谷川　席の場所を聞いても、格闘技興行の警備員なんて「あの辺じゃないですか?」ぐらいじゃない。でも、（W杯の警備員は）ちゃんと教えてくれたんだよ。あそこの列の右から何番目です、みたいにさ。でも、それでも文句言ってるファンがサッカーにはいるんだよねぇ。

山口　幅が広がれば、それだけ文句言うやつも多くなるからね。逆にそれだけ文句を言われてなかったことなんだよ、マット界は（笑）。文句を言われる訓練を受けてないというか、文句を言われないことに慣れすぎていたというか。

谷川　席がダブっているなんて格闘技界では当たり前の話だからね！

ガンツ　どんな常識ですか！（笑）。

谷川　ファンもそういう非常時の対応がわかっているんだよね。

山口　プロレスや格闘技は、団体よりも、むしろファンのほうがサービス精神があるでしょ。「わかってるから、気を使うな」って（笑）。マイナーなジャンルほどそうだからね。でも、やっぱり客が文句を言って耐えられないようなジャンルにはなってほしくないもんね。プロレスも、客のあったかさばっかり求めてるもんなぁ、いまだに。でも、ZERO－ONEだけは心地いいんだよなぁ（笑）。

柳沢　ZERO－ONEこそ、ファンがあったかい世界の典型じゃん（笑）。

山口　ガハハハハ！　何なんだろうな、あのZERO－ONEというのは（笑）。で、ガンツ、オマエはW杯をどう思ってるの？

ガンツ　な、何ですか、いきなり（笑）。

山口　いいんだよ、テーマはいきなりやってくる（笑）。いやね、キミはプロレスファン特有の日陰者根性の固まりみたいな人間でしょ（笑）。メジャーな存在に嫌悪感を示す典型で、ミーハーな人たちが大勢応援するものに対して足を引っ張ってやろうという意識が働くタイプね。そんな奴が爆発的な盛り上がりをみせるW杯を見たらどんな感想があるのかって思ってさ。

ガンツ　（自信満々に）感想というか、まったく興味はないですから！

谷川　あ、ガンツ君はないんだ。弁当は凄いんだけどなぁ。

山口　ガハハハ！　まあ、ガンツはそう言うとは思ったけどね（笑）。一応ウチの編集部でも、日本vsロシアのテレビ中継をつけて音だけ聞いてたんだけど、日本が勝った瞬間に「うるさいから消しましょう」って消しちゃったからね、こいつ（笑）。

柳沢　ウチの会社（『SRS・DX』）ではさ、モグラ（小松魔裟夫）と（山本）宗忠がロシア戦を見てたんだけど、宗忠はキ●ガイみたいに大興奮。日本が点を入れたときには泣き出しちゃったんだよ（笑）。そのときモグラが何をしてたかというと……台所に皿を洗いに行ってた（笑）。何の興味もないと、それぐらい違うんだよ。

谷川　……どっちもイヤだなぁ。

山口　ガハハ。どっちもイヤ！

柳沢　宗忠は「プロモーション」に洗脳される典型だよね。モグラはガンツと一緒。

「ボクらは日本VSベルギーを見に行ったからね」〈サダ〉
「で、サダハルンバはいきなり弁当広げてたから」〈柳沢〉

ガンツ　（妙にかわいらしく）ボクは奥手なんですよねぇ。

山口　そういう問題か？（笑）。

谷川　（突然）あ、稲庭うどん、もう1回食おう。これ、ノドに優しい。

山口　ガハハハハ！　ノドにでも地球にでも優しくしてください。

谷川　でもさ、ボクはサッカーはメジャーだとは思わないけどな。

柳沢　サッカーというより、プロモーションがメジャーなんだよね。

谷川　サッカーの人気なんてヨーロッパと南米だけだよ。オセアニアの方なんかでは全然だよぉ。

山口　これだけ盛り上がるということは、そういうプロモーションが効いちゃう人たちの層が圧倒的に厚いってことだよね。

柳沢　日本の国民性なんじゃないの？　日本が外国に勝つみたいなものに興奮できるというかさ。島国という国の概念といえばありがちだよね。

谷川　韓国もそうだよね。

山口　韓国のスタンドも凄いよね。スタジアムが赤一色の、あの迫力も。

谷川　国民の気質によってちょっとそれぞれ違うとは思うんだけどね。

ガンツ　そのなかに、ボクみたいにまったく盛り上がれない人種もいるわけですね（笑）。

山口　だから、ガンツとかモグラみたいなプロレスや格闘技のコアな層にいる人たちは「サッカーなにするものぞ！」と思うわけでしょ。その気持ちは十分わかるんだよ。逆に、W杯で盛り上がれる人というのは、K－1でバカ騒ぎできるファンであったりもするんだよね。じゃあ、格闘技やプロレスはこれからどっちの層を相手にしていくのって話ですよ。いままで格闘技やプロレ

スは、ガンツみたいな日陰者根性を根っこにした人たちに守られてきたジャンルなわけでしょ。

柳沢　ガンツやモグラみたいなのは、要はプロモーションが嫌いっていうタイプでしょ（笑）。知らない情報にメチャクチャ喜ぶっていうかさ。露出すればするほどイヤっていうね。みんなが知ってる情報は〝浅い〟と思っちゃうんだよな。

谷川　日陰者というのはそういう意味なんじゃないの？

山口　どうなんだ、ガンツ？（笑）。

ガンツ　1回入っちゃうと、そのままズルズル深いところまで行っちゃうとは思うんですけどね（笑）。

山口　そういう日陰者根性はわかるんだけど、最近のK―1や『PRIDE』を見ていてもわかるけど、決してプロモーションが行き届いた世界が浅いとは限らないでしょう。しかも、プロモーションを行き届かせるというのは、マニアックなことをマニアックに届かせるより、実は大変な作業だと思うんだよね。W杯みたいなものはプロモーションをドーンとやればドーンと返ってくるけど、いまの格闘技やプロレスは返ってきにくいでしょ？　返ってきにくいから、なおさら、メジャーに対して「フンッ！」って思うことをアイデンティティというか、一種のファッションにしてる人たちだけに向けてやっていく。それじゃ悪循環だよね。W杯を見て痛感したのはそこなんですよ。

谷川　ホント、格闘技はプロモーションをやっても返ってこないよな。ウチのモグラもそうだけど、格闘技ファンは入り込むまで時間がかかるもんなあ。

山口　でも、俺もどちらかというとガンツやモグラ側の人間なんだよ。あの渦に入りたいけど、入れない（笑）。でも、熱狂してる人種を観察してるのは好きっていうね。でも、混ざりたいんだよ（笑）。そういう俺だから、K―1も全然知らないし、わかってないもんなぁ。

谷川　まあ、わかってないね（小鼻を膨らませながら）。

山口　（ムッとして）わかってなくて申し訳ないね！

柳沢　ダハハハハ！

山口　プロモーションの権化のようなK―1解説者直々に言われると、な〜んかハラ立つな（笑）。その魅力をプロモーション以外でわからせてほしいというもどかしさもあるし、活字として伝えたいけど伝えられないもどかしさもあるんだよね、K―1に対しては。

柳沢　遠心力と求心力にすればわかりやすいけど、K―1が求心力を持つのは難しいよね。

山口　最近の『PRIDE』でも難しくなってきてるよね。

柳沢　K―1の難しさは、競技的な難しさでしょう。

谷川　競技的に難しいよ、K―1は。ホントに。

柳沢　寝技と立ち技の差はデカイですよ。

山口　ソフト自体がそうなんだから、雑誌側としても伝えるのは難しいよね（笑）。

柳沢　雑誌といえばさ、W杯見ているときに何気なく『K通』見てたら、メチャクチャ恥ずかしくなったよ（ボソリと）。

山口　ガハハハハハハハハ！

ガンツ　それは、「これって…楽しんじゃっていいのかよ」のコピーで、ボブ・サップが表紙の号ですよね（笑）。

谷川　（無表情で）読んでるほうが、恥ずかしくなってくるよね。

柳沢　巻頭の原稿かなんかで問題提起してるんだよね？

谷川　（続けて無表情で）問題提起なんだか……なんなんだかねぇ。

柳沢　ポッと赤くなっちゃうよ（笑）。ホントにこういうのを見ると、格闘技はマイナーな世界なんだなって思うね。プロレスもそうなんだろうけどさ。

山口　〝いつまでやってんだ、こんなことォォォ〟（破壊王調）っていうことやってるもんね（笑）。

柳沢　『K通』の編集長っていくつ？

谷川　（やっぱり無表情で）31歳くらいなのかなぁ。

柳沢　そ、その歳でこんなことをできるのか！（笑）。

【6・9JR渋谷駅前】サッカー日本代表がロシアを破りW杯初勝利を飾った"歴史的出来事"に、全国各地ではサポーターが暴動寸前の大騒ぎを朝方まで繰り広げた。新宿では街宣車に攻撃を仕掛けた強者もいたとか。

山口　こんなことってどんなこと？

柳沢　いや、世間というものを見ずにできるんだなあって。完全に遠心力を閉ざしちゃってるよね。

谷川　だから『K通』の場合、遠心力のアプローチの仕方がさ……あ、あ、あれ!?　ボ、ボクのお箸がない！

山口　ガハハ！　ここにありますよ（笑）。

柳沢　箸へのアプローチの仕方がわからない？（笑）。

山口　で、アプローチの仕方が何ですか？

谷川　んあ〜。な、何だっけ？　だからさ、格闘技は遠心力を作れてないと思うんだよね。逆にプロレスは作りやすいというかさ。猪木さんとかターザンとか見てるとそう思うんだよね。

柳沢　いや、プロレスは遠心力じゃないでしょ。露出でいえばページを割いてもらってるというよりは、最初からページがあるだけのことだから。でも、新聞を見ればわかるけど、『PRIDE』もK―1も遠心力で行こうとしてるものが新聞のスペースを割こうとすると、メチャクチャ恥ずかしいんだよね。恥ずかしいことしないと割いてくれないからさ（笑）。

ガンツ　ここんとこ「東スポ」にしたって、W杯が一面ですからね。

山口　視聴率にしたってW杯の日本vsロシアは、スポーツ中継史上歴代2位でしょ。1位が、東洋の魔女の女子バレーの日本vsソ連（64年）。で、改めてビックリしたのが、3位の63年の力道山vsデストロイヤー戦ね（笑）。その時代の中では、プロレスが確実に日本人の抑圧されたものを開放する役割を背負っていたんだもんなぁ。

谷川　ズーッ、ズーッ（稲庭うどんを啜りながら）。でも、その歴代視聴率上位の三

「ナショナリズム」って何だろうって考えたときに それは「プロモーション」だろうって思うんだよ〈柳沢〉

つはナショナリズムだよね。

柳沢　ナショナリズムって何だろう？って考えたときに、それはプロモーションだと思うんだよ。

山口　ナショナリズムとはプロモーション！

柳沢　まさしく、洗脳だよね。ナショナリズムはプロモーションがないと持てないと思うんだよ。

ガンツ　まさに戦前、戦中の日本がそうですもんね。

柳沢　だから、フランス大会を見て思ったのは、K―1というのはナショナリズムを持てるほどのジャンルになってない。日本でもそうだから、K―1ジャパン勢がダメなんでしょう。それは選手が弱いからとか、そういう次元じゃない気がする。

谷川　いまの格闘技には、ナショナリズムのリアリティがないからだろうね。アンディ（・フグ）なんかはあったと思うんだよね。スイス大会なんか、国内で視聴率50％取ってたからね！

柳沢　スイスの中でのプロモーションが効いてるんだろうな。

山口　じゃあ、日本のプロレスや格闘技はどういうプロモーションを仕掛けていけばいいの？

谷川　ここ最近の闘いで一番いい形だったのは桜庭vsホイスでしょ。あれに勝るものはないんじゃないの。それと、小川vs佐竹。あれは別の意味でのナショナリズムがあったというか、力道山vs木村政彦みたいなものを感じさせたよね。なにしろ日曜日の夕方4時に視聴率20％取ったんだよ！

柳沢　ゴールデンタイムで換算したら、いくつ取ったんだろうな（笑）。

谷川　ビックリしたよ、あれは！　もしかしたら、ゴールデンでやったら50％を超えてたかもしれない。桜庭vsホイスだってゴールデンだったら確実に取ってたよ、数字。テレ東が船木vsヒクソンやったときもいい数字取ったもんね。テレ東の通常のあの時間帯（午後10時〜）の数字は3％ぐらいだけど。

山口　それはテレ東批判？（笑）。

谷川　んあ〜。そうじゃないけど、ヒクソンvs船木は『まいっちんぐマチコさん』以来の数字だったんだよ！　あれ!?『まいっちんぐマチコ先生』だったっけ!?

山口　どっちもでいいです（笑）。で、思い出したんだけど、以前、社長とさ、格闘技やプロレスのアングルや成り立ちや仕掛けは、人種抗争で切れるっていう話をしたじゃない？　確か。

柳沢　ああ、したね。

山口　人体に毒素が溜まると、デキモノができてウミが溜まる。そのウミを出さないと生体は蘇生しないよね。それを社会的レベルで見ると、毒素がウミとなって溜まると、戦争やお祭りや神話として現れるって岸田秀が言ってたんだよ。で、やっぱりW杯を見てると大仕掛けなお祭りだし、ロシアでは日本に負けて暴動が起きるぐらいだから人種抗争っていう側面も含まれる。だからこそ、あれだけ盛り上がるというかさ。それを考えれば、時代性に左右されずにプロレスや格闘技をメジャーとして届かせるには、やっぱり人種抗争か、お祭りにしなきゃ届かないってことなのかね？

柳沢　でも、人種抗争にしろ、お祭りにしろ、その意味がプロモーションとして伝わらなきゃダメだと思うんだ。その対立概念がわかってなきゃ見ようがないわけだし。オレは今回のW杯を見ていて思ったのは、国が一丸となって金掛けてプロモーションすれば何でもできちゃうなっていうことなの（笑）。実際、W杯が終わったら、サッカー人気というのは途切れると思うんだよ。アッサリ忘れ去られると思うんだけども、盛り上がった10のうち1が残って支えるわけじゃない。それがドンドン底上げになっていくっていうね。

山口　プロレス・格闘技の専門誌の役割もそこしかないよね。テレビを見て集まったミーハーなファンの中から一割でも繋ぎ止めて、後に残していくっていうさ。

谷川　そのぐらいの役割しかないよぉ、専門誌なんて。

柳沢　いまサッカーの雑誌で、週2回刊をやってるところもあるけど、売れてるのかな？

谷川　ボ、ボクもそれが一番気になるんだよな（なぜか小鼻を膨らませながら）。

柳沢　始まる前は資料性として欲しいというのはわかるけど、日本vsロシア戦を検証する本とか速報号がはたして売れたりするんだろうか？

谷川　専門誌がいつもより少し増えるだけで、答えは、まったく売れてないと思うけどね。

マット界をWORLD CUPから語ろう！

山口 俺もそう思う。でもさ、W杯を見てると、K−1や『PRIDE』の活字的アプローチの仕方まで考えてしまうよね。

谷川 ボ、ボクも考えちゃうよぉ（さらに小鼻を膨らませながら）。

山口 それで、谷川編集長はその答えは出たんですか？

谷川 んあ〜。何の答え!?

柳沢 ガハハハハ！

山口 専門誌としての今後のアプローチの仕方ですよ（笑）。

谷川 答えはあるよ！……も、もうやめたい！

山口 ガハハハハ！　でしょ？　専門誌なんかやめたくなるよね。その気持ちはよ〜くわかる（笑）。

谷川 ホント、やめたいよぉ！

柳沢 それは何でかっていったら、プロモーションというものを知ったからなんだよね。これがプロモーションの力かと思うと、プロレスや格闘技で仕掛けたり、ページ取ったり、新聞に載って大喜びしている次元が虚しくなってくるんだよ。

山口 ホント、そうだよなぁ。だから、『K通』を見て恥ずかしくなるのはそこの部分じゃない？『K通』は『K通』なりのプロモーションをやってるわけでしょ。

柳沢 そのレベルがイヤなんじゃなくて、オレらも一緒なんだよね（笑）。そこら辺がとても恥ずかしい。

山口 やめたくなるよね、雑誌なんて。極端に言うと、無駄だもんね（笑）。

谷川 雑誌をつくるその労力たるやハンパじゃないんだけどねぇ……。

山口 W杯を見ていると、このオレらの労力を、どこか他に使えばいいことあるのになぁって、なぜか思っちゃうよ（笑）。

谷川 雑誌を作る労力があったらさ、それこそどこの大学でも行けそうな気がするもんなぁ。

一同 ガハハハハハハハ！

谷川 だって、学生時代の勉強だってこんなにやっていなかったよ！

山口 俺も高校に行き直せるかな（笑）。

谷川 世界中のどの高校にも行けるよ！　それくらい仕事してる！

山口 ドイツ語も喋れるようになる？（笑）。

谷川 要は『紙プロ』やるか、ドイツ語を喋れるかっていうことですよ！

山口 凄い天秤だ（笑）。

谷川 会長！　人生どっちが得なんですか！

山口 んあ〜。でも、それぐらいこの業界は報われないもんなぁ（笑）。

柳沢 だってW杯を見てるとさ、完全に負け犬にされてるじゃん（笑）。何かに負けたとかオレが負けたわけじゃないんだけどさ、とにかく負け犬なんだよ（笑）。オレ、口が裂けても言えないよ。「オレがやってることのほうが面白い」なんて（笑）。

山口 だから、この座談会にターザンだけは絶対参加させたくなかったんですよ（笑）。

一同 ガハハハハ！

山口 ターザンとかは「W杯？　あんなのクソですよォォォ！」って言えるじゃない。でも、そんな断言してるヒマはないっていうか、そんなアジテーション通用しないっていうか。考えなきゃいけないこと、やらなきゃいけないことは腐るほどあるからね。業界も専門誌も大きな転機に差し掛かってると思うよね。

谷川 ターザンはいいときがあったもんね。頂点を極めた人だからさ。ボクらや会長の世代はターザンのあとをどうするのかというときに、紙媒体がまったく通用しなくなってるからさ。ターザンたちの世代が羨ましいよね。

本文中で触れられているナショナリズムを感じさせる闘い「桜庭vsホイス」（右）と「小川vs佐竹」（左）。夕方からのTV中継にも関わらず、高視聴率を叩き出したこの闘いは、プロレス・格闘技ファンのみならず一般視聴者からも注目を集めたのだ。

W杯を見てると、マット界がハードをないがしろにしてたのが痛いほどわかる〈山口〉

山口 いまのターザンは羨ましくないけどね（笑）。ガンツなんてまだ紙媒体でなんとかなると思ってるでしょ？

ガンツ 爆発するとは思わないですけど、そうですね。

柳沢 それは「面白ければいい」ってことだろう？

ガンツ まあ、そうなりますね。とくに不満はないというか。

谷川 それじゃダメだよ、キミ！　ボクは「面白ければいい」ってことにイラ立っちゃうんだよ！　んあ〜！（怒）。

柳沢 ガハハハハ！

山口 サダハルンバでさえそうなんだ（笑）。

柳沢 オレらが「面白ければいい」っていうのは、10年前に終わってるからさ（笑）。

山口 版型が小さいころの『紙プロ』で終わってるよな。それもある時期の2〜3号で（笑）。

柳沢 面白いけど、こりゃダメだなっていうね（笑）。

山口 「面白ければいい」っていうのにも一流から五流まであるからね（笑）。でもこんなことさ、20代の人たちからすればオヤジの戯れ言でしょ。

谷川 いや、そういう時代の転機だと認識しないと置いていかれますよ。自分たちがやってる土俵に可能性が見出せたらもっと上に行こうと思うけど、もうこれ以上高い所に行けないような気がするんだよね。だから、いまはプロレスや格闘技雑誌で、職業として自信持ってやってる人間いないと思うんだよね。ボクらの世代以下は絶対い

ない。ボクらの場合は雑誌が天下の時代だから、この業界に飛び込んで上を目指したわけだけど。いまの業界の状況を考えて、格闘技雑誌に行こうと思ってる時点で不合格じゃない（笑）。

柳沢　その時点で負け犬だね（笑）。

山口　ガハハハ！　ウチもこの間、社員を募集しといて何なんだけど、おもいきり同感です（笑）。プロレス雑誌に入りたいなんて、世間の流れを知らなすぎる奴しかいないよ（笑）。

谷川　そこで異常なるコンプレックスを持って頑張るならいいんだけど、妙に居座ってホンワカしちゃってるヤツらばっかりだからね。イライライラしちゃうよぉぉ！　んんあああ〜！（怒）。

山口　んあ〜って言いながら怒ってる（笑）。

谷川　プロレスや格闘技にW杯並のプロモーション力があればねぇ。だって、日本vsロシアなんて誰が中継しても視聴率取れるじゃない。

柳沢　極真の決勝の日本vsロシアだって、70％取れるって話じゃん（笑）。そういうことだと思うよ。

山口　破壊王は、小川vsコリノで取れると思うだろうな（笑）。

柳沢　それはどうかと思うけど、取れるんですよ、ホントに（笑）。それが取れるっていうカラクリに気づいた瞬間に、もの凄い敗北感に襲われるというかさ（笑）。

山口　それがサッカーと格闘技という、扱ってるソフトの差なのか、時代性の中での敗北感なのかっていうのも微妙じゃない？

柳沢　ソフトの差じゃないと言うと負け犬の遠吠えになるけども（笑）、根本的にハードの問題だと思うよ。だから、日本vsロシアが66％で、イングランドvsアルゼンチンが41％とか、そういうソフトの差はあるんだよ。それはプロレスや格闘技の中でもあるわけでさ。でも、結局はハードの差になってくるんだよね。

山口　それだけプロレス・格闘技界が、ハードをないがしろにしていたのが最近になって如実に出てきてるよね。ＦＭＷの荒井さんの自殺なんて、この業界がハードの変革をやってきてなかったことの痛々しい証明だもん。

谷川　プロレス・格闘技の世界は、雑誌が天下を取っていたジャンルだもんね。そもそもそこがおかしいでしょう。

柳沢　テレビが主導になってくると、今度は専門誌の存在意義がなくなってくるからね（笑）。

山口　存在意義がなくなりそうだっていう焦燥感のなかでの日陰者根性っていうのも、活字の世界にはあるでしょ。映像に対してのコンプレックスというか。どうせ、テレビの人間なんかミーハーにしか考えてないんだからっていうさ（笑）。でも、そのテレビの仕組みを少しでも足を突っ込んで知れば、雑誌作りと労力は一緒だもんね。

谷川　労力は一緒だし、テレビの方法論はいっぱいあるからね。それこそ緻密な計算も雑誌以上にあるしね。

山口　ホント、伝える側としてW杯を見ていて、いまほど雑誌をやめたくなったことはないな。でも！　それはネガティブな気持ちじゃないんだよね。ポジティブな気持ちでやめたいというか（笑）。紙媒体じゃなくても活字は活きるし、それこそ我々もハードのことを真剣に考えないとね。

柳沢　プロモーションのカラクリを知ってしまえば、何だってできるのがわかったからね。ネガティブな人間は日陰者のまんま、「あんなのクソ面白くねぇ。プロレスのほうが100倍面白い」とか言いなが

ら、それはそのまま埋もれていくんだよね（笑）。それがターザン山本なんだけどさ（笑）。

山口　ガハハハ！　負けは負けであることを認めないと、ホントこの業界はヒドイことになるよ。ターザンなんかほっといて、W杯に打ちひしがれよう（笑）。

柳沢　まだ打ちひしがれるよ、多分（笑）。決勝トーナメントもあるし。

山口　全然興味ないふりして、非常に気になってるもんね。試合がどうのじゃなくてさ（笑）。

柳沢　その現象に、だよね。

谷川　この現象はね、格闘技やプロレスの夏のイベントへの影響も大きいですよ。これ以上の刺激をプロレス・格闘技はつくるしかないわけだから。メチャクチャ不利ですよ！

山口　プロレスや格闘技には、世間に響かせるプロモーション、それを届かせるハードづくりの機運がまったくないしね。唯一K―1が、テレビ局を何局かにまたがってやってるだけだから（笑）。

谷川　（真顔で）もう、この時期を乗り越えるには天災しかないよね。

山口　格闘技じゃないじゃん、それ（笑）。

谷川　（突然）じゃあ、剣道なんかがいいんじゃない？

山口　は？

谷川　サッカーが流行ってるからこそ、武道的に濃いことをやるってのがいいと思うよ。

山口　まあ、日本から世界に発進できるのは武道的なことだけどね（笑）。

会長もね、このまんま『紙プロ』やってたら、ダメ人間になるよ！〈サダ〉

谷川　そういうことそういうこと。ボクは剣道がやりたいなぁ。

柳沢　オレもさ、W杯見たら、何かしなきゃって思って、携帯（電話）変えちゃったもん（笑）。

山口　ガハハハハ！　なぜだ！

谷川　（しつこく）ボクは剣道がいいと思うけどなぁ。

山口　（無視して）実はね、俺も何かしなきゃいけないと思って、ポケット付きの半袖シャツを買っちゃったりしてね（笑）。

谷川　へぇ〜、いいなぁ。妙に嫉妬するなぁ。でも、ボクは剣道なんだよなぁ。

山口　ガハハハ！　まだ言ってるよ（笑）。で、みんな散々W杯に打ちひしがれたわけだけど、そこでZERO―ONEの存在が重要になってくるんですよ！

柳沢　ガハハハ！　なぜだ！（笑）。

山口　いや、何事にも動じない、あの破壊王の揺るぎのなさは脅威的。

柳沢　逆に言えば、そういうことに気が付かないし、自分が稲本であるとさえ思ってるんだよ（笑）。

山口　ガハハハハ！　破壊王の面白さはそこなんだよな。まったく揺るぎがないんだよ。

谷川　ステキだよねぇ（笑）。

山口　だから、W杯とハードの差であるっていうんなら、ハードさえなんとかすれば、面白いことになる……気がしないでもない（笑）。でも、実にいい〝たたき台〟だと思うな、ZERO―ONEは。

谷川　橋本は、ゴールデンでやろうが、テレビが付かなかろうが、やってることは一緒だからね。

山口　面白いとしかいいようがないもんな、破壊王は。でも、面白いだけじゃダメなんだよね（笑）。そこがまた悩みの種なんだけどね。今年の3月以降のZERO―ONEはバツグンだよ、ホント。お笑いで例えると、俺らは『ひょうきん族』とドリフで言うと、世代的にも思考的にも圧倒的に『ひょうきん族』のほうが好きでしょ。でも、よくよく考えると子供のころはドリフで育ってるんだよね。ドリフも好きだっていう遺伝子が残ってるわけよ。ZERO―ONEの面白さというのは、橋本や小川やゴルドーといった『ひょうきん族』の世界の住人がさ、真剣にドリフをやろうとしている面白さなんだよね。

谷川　んあ〜。なるほどねえ。

山口　全日本の小島聡もいいんだよ。「行っちゃうぞ、バカヤロー！」なんて2〜3年前までは嫌悪の対象だったけど、いまの時代性のなかでは、いい！（笑）。「バカヤロー！」だけで銭取れるなんて「なんだ、バカヤロー！」の荒井注以来だよ（笑）。でも、その小島なんかは、そもそも子供の頃からの趣味趣向としてドリフがやりたかったっていうのがわかるでしょ、なんとなく。武藤敬司なんかも新日本のグリーンボーイ時代に、船木誠勝と一緒に全日本プロレス中継を見て「オレ、こっちのほうが向いてるんじゃねえかな」って言っていたわけだから、断然ドリフをやりたかったほうでしょう。（笑）。でも、小川や橋本というのは成り立ちが全然違うじゃない？　そういう人たちがドリフの世界を真剣にやってるっていうギャップが何かを解放させてるんだよね。WWF（現WWE）もドリ

フだから面白いっていうか、ドリフの面白さを思い出させてくれたんだよね。
谷川　ボクはドリフじゃダメだって思いますね。メチャクチャ抵抗しちゃうんですよね。
山口　いや、俺もドリフだけでいいとは思ってないよ。
谷川　ボクは名古屋にいたからドリフより吉本新喜劇なんですよ。吉本の遺伝子がボクにはあると思うけどなぁ。
山口　いや、サダちゃんはオリジナルだよ。何の遺伝子もない（笑）。しかし、何話してるんだ、俺たち（笑）。
ガンツ　2時間、ボヤキっぱなしですよ。
30代後半の男が3人集まって（笑）。
一同　ガハハハハ！
山口　ボヤかせてくれよ、たまには（笑）。
谷川　ボヤキたくなるよねえ。
山口　いまの現状はホントそうだよ。ある種『K通』みたいに、ねじ曲がった自信をもってやれるのは、うらやましいよ。そのねじ曲がったことに気がつかないところがうらやましい（笑）。

マット界をWORLD CUPから語ろう!

谷川　うらやましいよねえ。
山口　破壊王みたいな揺るぎのなさは、まったく感じないけどさ。で、サダちゃんは、これからどうするの？
谷川　そんなことを考えるヒマもないほど、生活に追われてるんですよぉ。だから、とりあえず、風邪を治そうかなあって（笑）。
山口　それが当面の目標（笑）。
谷川　会長もね、このまま『紙プロ』やってたら、ダメ人間になるよ！
柳沢　ガハハハハ！　問題発言！　今日の結論としては雑誌はやめたほうがいいってことかね（笑）。
山口　やめようか、みんなで！（笑）。でも、この状態のまま手をこまねいてないですよ、俺は。『紙プロ』なんて、どんな形でもできるんだから。な、ガンツ？
ガンツ　？？……それはそうと、ボクも稲庭うどん食べていいですか？
谷川　あ、じゃあボクも、もう1個！
一同　んあ〜!!
【02年6月13日／稲庭うどんがおいしい青山の「季菜」にて収録】

長州、怒りの決別会見！　矛先はアントン総帥だ!!

「感謝すらしてない!」

皆さんはすでにご存知と思われますが、
5月31日に行われた長州力・新日本退団会見において、
その長州力がアントン総帥を徹底的にカチ喰らわしました。
この騒動について『紙プロ』では、I編集長が言うちゃ悪いが一刀両断し
「Tスポ」紙上が発端で巻き起こった「長州藤波・迷勝負数え唄」の行方は
「紙の新聞」(→P155)で追跡しております。
この2つのコーナーを楽しむためにも、この"長州語"を十分にカチ喰らってください！

猪木をカチ喰らわした!!

- ●オレの中ではもうあの人（猪木）はなんていうか……感謝すらないですね。
- ●（猪木に押し切られてしまう藤波は）なんのための代表取締役なのかっていう部分もあるし……そこを責めたって彼は彼で可哀相だなっていう部分もあるだろうけど。
- ●あのアントニオ猪木に対して許せないっていうものは、役員全員そういう考えを持っているんだろうけど。
- ●本来あの人（猪木）に弟子とか、そういう人はいないでしょうね。神輿を担ぐ人間はいたかもわかんないけど。もうほとんど周りにいないでしょ。
- ●ここ10年間、世界発進っていったって、な〜にやったのかっていうか。なんのメリットが新日本にあったのか？　興行会社の立場としてですよ。ただ興行会社は名前が出ていく効果はあったかもわかんないけど、なにひとつ身にはなってない。
- ●オレはアントニオ猪木は常に脅えてる人間だと思う。これは中傷でもなんでもないですよ。
- ●ジャイアント馬場が最後まで（猪木を）信用しなかったっていうのは、なんかわかる気しますよね。
- ●オレが入門して30年近く、（猪木が）唱えたもので出ていくものは大きいけど、返ってきたものって何一つないですから。
- ●（猪木は）何かコンプレックスがあるのか、やっぱり欠落してますよね。

ほぼ独占スクープ!!

美空ひばり(妹)とアントン(兄)が強力タッグ結成!歌謡界に殴りこみ!?

追いかけるのは試合だけにあらず!!

RADICAL BOUT REVIEW
紙プロ的観戦記

現役ミュージシャン参戦!プロレスラー、当然のごとく勝利

5月24日 六本木TSK―CCCホール「r」
『r vol.2』

○内藤恒仁vsザ・グレート・タケル●
試合後、タケルのセコンド・MAX宮沢との対戦を表明

△篠原光vs亜利弥'△
亜利弥'がリードするも、エスケープとブレイクでドローに

現役ロックミュージシャンがプロレスラーと闘う!――前号情報ページでも触れさせていただいたように、現役ミュージシャン・NAOKI・ISAOが参戦した今大会。試合は2人とも斜にかまえることもなく、まっすぐにぶつかってなかなかの健闘をみせたものの、NAOKIはK-DOJOの真霜拳號に、ISAOはSPWFの高智政光に見事に敗戦した。

ISAOに勝った高智は「なんでミュージシャンなんかとやらなきゃいけないんだと思いました。でも、闘ってみたら、なかなかやりますよね。このミュージシャン」と、ISAOを評価。プロレスラーとして、ミュージシャンに勝っても自慢にならない上に、負けたらプロレスラー生命にかかわる赤っ恥である。この試合を受けた真霜拳號と高智政光には拍手を送りたい。ケンカが強いことに自信をもっていた男たちが、さして名もないプロレスラーに敗れるという、良いシーンだった。

気になったのは高智に負けたISAOの「(先にリングを降りた高智に対して)マイクなげぇよ。ミュージシャンにとってマイクは大切なんだよ。大事に扱えよ。クヤシイからもっと頑張って、一番つえぇドラマーになってやる!」という、とんちんかんなマイクアピールだった。ISAOは、自分を見に会場に足を運んだ観客へのサービスとして語ったのだろうが、試合に負けたバツの悪さをそんな形でごまかしてどうする。負けた選手がダラダラしゃべるのは、WWE・ロック様の粋にでも達していない限りは格好悪い。試合内容が良かっただけに残念だった。「マイクなげぇよ。プロレスラーにとってマイクは大切なんだよ!」と、ISAOに対しては言い返させていただきたいと思う。プロレスラーはミュージシャンより強いんです!……あれ?

(ささきぃ)

期待されなかった若手達の試合はこちらの望む以上に面白い!!

5月25日 ディファ有明
『CLUB-K SUPER necessary,,,,』

○藤田ミノル&MIYAWAKI(2－1)
TAKAみちのく&柏大五郎●
新日本に乱入した藤田ミノルが、K－DOJOを藤田色に塗り替えた

○PSYCHO&お船vs
アップルみゆき&DJニラ&境魔夜●
お船ちゃん、勝って浜田文子に対戦表明、元アルシオンの山縣優乱入

J'dとの対抗戦や、藤田ミノルの参戦で話題になっている元WWE・TAKAみちのく率いるKAIENTAI-DOJO。藤田・TAKAの2人は言うまでもなく面白いし、お船ちゃんやRyoko・対抗戦に出場しているTSUNAMI等女子も素晴らしいが、こちらは改めて触れさせていただくとして、ここで評価したいのは序盤に登場しているレスラー達である。

序盤、全くと言っていいほど知名度がなく、おそらくそんなに期待されもしていない若手も若手な選手たちが繰り広げる試合は、旗揚げ・第2戦とも、とても面白い。自分たちの理想のプロレスを体現しようと必死な彼らの試合は、TAKAや藤田抜きでも見に行く価値がある。まだ何も語れることがない、だから、試合を見てもらうしかない、とばかりに無言でひたむきに闘う若手という、本来ならどの団体でもあるべき試合がK-DOJOにはある。

若手勢のなかで、私が飛びぬけていいなと思うのが真霜拳號。〝真剣〟と名づけられた必殺技のキックはけして名前負けしていないし、ひとつひとつの技が確実に相手を追い詰めていく様が試合としてとてもいい。この日の試合も、ジョー青山を追い詰める真霜の技に説得力があったからこそ、クライマックスでの青山のふんばりが観客に伝わるものになったと思う。6月9日・バトラーツ再旗揚げ興行でも、真霜とU-FILE CAMPの越後隆の試合は抜群に面白かった。

黒い空手着の真霜拳號と、普通の成人男性よりも貧弱そうな肉体でありながら、素晴らしい身のこなしをみせるPSYCHOは要注目。そしてK-DOJOを見にいけば、必ずこの2人の他にも光る試合を見ることが出来るはずだ。この際、Ryokoの一カップが目当てでもいいので、まずは見に行ってみて欲しい。

(ささきぃ)

“やってることは一緒”メジャーとインディーの差とは？

「メジャーとかインディーとか関係ないから。やってることは一緒なんだから」。

これは、DDTから新日本6・7武道館大会に提供試合という形で参戦したMIKAMIの試合後のコメントだ。天龍や武藤など“達人レベル”のレスラーは別格とすれば、このMIKAMIの言葉通り、どのレスラーたちも“やってることは一緒”である。しかし団体として見た場合、メジャーとインディーのどうしても拭いきれない差を感じてしまう。それは、非業の死を遂げたFMW元社長、故・荒井昌一さんの追悼式が行われたWEW後楽園大会でも体感したことでもあるのだ。WEW旗揚げ二戦目となったこの大会は、試合内容は合格点をクリアしていたと思う。しかし、冬木代表が、“エンタメ路線”の継続を宣言したWEWのは、エンタメには欠かせない“ゴージャス感”が感じられなかったのだ。言ってしまえば、WEWは選手や試合というソフトを活かすべき、ハード面がまったく機能していなかったのだ。

これはWEWに限ったことではなく、メジャーもインディーもソフト面で“やってることが一緒”ならば、違いはハード面ということになる。よりストレートに言ってしまえば、インディーがインディーじゃなくなるためには、“金”が必要だと思うのだ。

「好きだからやっている」「金がないんだから仕方がない」という意識から脱却し、いかに“金”という魔物と向き合えるか。プロレス団体といえども、資金的なことや経営戦略のあり方には真剣に取り組んで行かなければならない時代だと思う。

経営破綻により崩壊したFMWから派生したWEWにとっては、あるいはマット界全体にとっては、この問題は避けて通れないテーマだ。荒井さんの死で考えなければならないことは、ハード面の構築なのだと思う。ガンバレ、WEW！　（ジャン斉藤）

5月27日　東京・後楽園ホール　WEW

『WEW第2弾興行』

○金村キンタロー&黒田哲広vsディック東郷&高木三四郎●
終盤戦で突如して高木を裏切った東郷は、そのままWEW勢に加担。劣勢となった高木はフォール負けを喫した。試合後もWEW勢から攻撃を受ける高木を、TAKAみちのくが乱入して救出。次回大会に繋がる物語を演出し、6・30後楽園大会で金村&黒田vsTAKA&高木のカードが発表されることになった。

『PRIDE』参戦絶望!?……美濃輪敗れる!!

「僕はプロレスで勝負します！」と、何がなんでもプロレスにこだわり続ける美濃輪が、ある意味、予想通りというかGRABAKAの佐藤光芳に判定で敗れてしまった。悪いことは重なるもので、試合後、美濃輪はドクターから3カ月の休養を勧告され、本人も希望していた『PRIDE』参戦の道まで遠くへ行ってしまった。試合はGRABAKAの中でも組み技に絶対の自信を持つ佐藤が終始、美濃輪をリード。何度か一瞬の切り返しで美濃輪も見せ場を作ったものの、佐藤のポジショニング地獄の前にはどうすることもできず、文句なしの判定負け。「結果は結果なんで次また勝てばいいです。後退したって思うなら、そう思って下さい。ボクの中では後退してないんで、革命に向けて、大きなことをドンドンやっていきたい」と、平成の革命戦士ぶりをアピールしたが、美濃輪が最近連発している“革命”って一体何なんだろう？　ここにきて突如、大噴火を始めた本家・革命戦士の長州並の爆発力を美濃輪には期待したい。やれんのかーッ!?

ちなみに、この日のベストバウトは、“東洋の神秘”矢野卓見とMAキックのウェルター級王者・士道館の佐藤堅一の一戦。

佐藤のセコンドには『紙プロ』でも、お馴染みの田中健一の姿が。それだけで1人で勝手に盛り上がってしまったが、結果は2R55秒、パンチでダウンを奪われたかと思ったヤノタクが上から襲いかかった佐藤を電光石火の三角絞め！　お見事!!

「最後の三角は身体が勝手に反応して。今日はキャリアで勝たせてもらいました。とにかく、お客さんが沸いてくれたんで、それだけでも良かった」とヤノタクが満足げに語れば、佐藤は「このままじゃ終われない。総合に本腰を入れて、これ一本でやっていく。マジで悔しい」と、これ以上ないほどの無念の表情。ならば、やっちゃって下さい佐藤さん！　（携帯人）

5月28日　東京・後楽園　ホールパンクラス

『PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR』

○佐々木有生vsJ・グローバー●
この日も見事な一本勝ちの佐々木は試合後、「PRIDE」そしてUFCへの参戦をアピール。

○国奥麒樹真vs岩崎英明●
これまたUFCへ参戦表明をしている国奥が、なんとか勝利を収めたものの盛り上がりの欠ける展開に。

※近藤有己がリング上から、7月大会でプレミアムチャレンジで敗れた禅道会の“パンクラスハンター”百瀬善規との再戦を発表

美空&アントン、世紀のタッグ実現！コンサート・ツアー実現か!?

これこそ、命懸けのエンターテインメント？

昨年、心筋梗塞で生命の危険にさらされ、心臓に負担が掛かるため大声を出すのは非常に危険であり、歌を歌うなどもってのほか。そんな身体にも関わらず、「生き延びたこの命、歌に捧げます」との決意を胸に、初リサイタルを強行開催したパブロ猪木こと猪木快守（よしもり）スポーツ平和党代表。さすがアントン総帥の実の兄貴、シビれるぜ！　歌唱リサイタルとはいえ、この鬼気迫る闘いを、バウトレビューに載せない手はないのだ！

その会場となった東京・代々木上原の「ムジカーゼ」ホールには、有閑マダムが多数来場。その中には新宿のクラブのママの姿もあり、「ボクはモテるんですよ。ンムフフフ！」とアントン総帥ばりのゴキゲントークで会場を沸かせた快守氏。「ブラジルでもリサイタルを開きたい」というアントンチックな夢を激白したり、ブラジル酒を嗜んでのほろ酔い進行で関係者を慌てさせるなど、どこを切ってもアントニイズム満載だったのだ。

そしてどうしてもサービス精神が旺盛なせいか、あの美空ひばりさんの妹である勢津子さんをステージに登場させるビックサプライズも演出。ひばりの妹とアントンの兄貴のやたら豪華なこのツーショットは、会場後方でブラジル酒をカッ喰らっていた某国民的写真週刊誌のS波記者がその絵を見るや、猛牛のように最前列に飛び出しカメラに撮らえたぐらい貴重なシーンなのだ。

将来的にはこの強力コンビでブラジルでのリサイタル開催のプランも浮上するなど、自分の生死を省みずに夢に向かって歩を進める快守氏。自宅周りを熱唱しながら散歩することで近所では有名な存在らしいが、もし、世田谷近辺の路上でステキな「荒城の月」の歌声が耳に届いたら、「パブロ・ボンバイエ！」とエールを送りましょう。　（ジャン斉藤）

6月1日　ムジカーゼ　パブロ猪木リサイタル

『我が歌 我が人生 音霊を語る』

「荒城の月」（滝廉太郎）「この道」（山田耕作）「初恋」（越谷達之助）など、十八番である日本の叙情歌を熱唱したパブロ猪木は、ブラジルに移民するため乗り込んだサントス号での祖父の死を語るうちに涙の詰まるシーンも。その思い出を込めてか、ブラジル民謡「ランピオン・デ・ガス」を心より歌い上げた。

RADICAL BOUT REVIEW

藪下めぐみスマック初登場！三晴塾から期待の新星現る!!

6月2日　ディファ有明　SMACK GIRL

『SMACK GIRL LEGEND 2002』

○高橋エリvsナナチャンチン●
篠代表と絶妙な掛け合いを見せたナナチャンチン、K-DOJOの刺客・高橋に敗れ、またもや連敗記録更新

★小畑千代、リングに登場
「いずれは参戦を…」の言葉に「出るからには無様なことは出来ないんで」とキッパリ。参戦間近か!

〝格闘女神〟藪下めぐみが総合2戦目のキックボクサーに敗れる！　昨年の『Ｒｅｍｉｘ』で身長差約30センチ・体重差１００キロ近くというグンダレンコと闘い、女子格闘技の知名度を大きく広めた藪下めぐみ。試合内容もさることながら、何よりそのイキイキと闘う様子が、女子総合を知らない人間にも高い評価を得た藪下が『スマックガール』のリングに初登場！

対する彩丘めぐみは、総合2戦目のキックボクサー。２Ｒ、彩丘の打撃で足を真っ赤に腫れ上がらせながらも果敢に攻めこんだ藪下が、見事な水車落としを彩丘に決めた！　大熱狂の会場の中、その後は彩丘がリードを続け試合は判定に。終始打撃でリードした彩丘がフルスコアで勝利した。

昨年は女子総合のリーダーともいえる存在だった藪下の敗戦。女子総合というジャンルの技術進化の早さ、他ジャンルからの強豪選手が続々参戦しているという状況をまさに象徴するような試合となった。藪下は試合後、その状況を全て飲みこんだ上で闘いつづけるという決意のように「（総合は）私は今年いっぱいは負け続けます」と語った。

この他、藪下も練習する三晴塾より参戦した新星・タマちゃんこと玉井敬子が、禅道会・杉本由美子と対戦。玉井のとにかくアグレッシブに攻め入る様や、試合後、自分の技術が思いについていかないことが歯がゆそうな顔等、ずっと見ていても飽きない上にこちらが応援せずにはいられないような、天性のかわいさがある選手だった。確実に連敗記録を更新するナナチャンチンの他にも、続々とニュースターが登場する「スマックガール」、次回はなんと〝最強タッグ決定戦〟！　要チェック!!

（さささぃ）

大日本に現れた新たな〝超獣〟の実力はいかに!?

6月3日　後楽園ホール　大日本プロレス

『WEC ～CENTRAL FLAME～』

ボブワイヤーボードデスマッチ
○O.D.DvsマークマンソンⅠ●
有刺鉄線チェーンを手に携えて、ブロディシャウトを轟かせながら登場したO.D.D.だが、試合中に凶器として使用したその有刺鉄線が髪に絡まり取れなくなるという珍事態が発生。レフェリーも必死に外そうとするが難易度の高い知恵の輪ごとく絡み合い結局取れず終い。その状態のままキングコング・ニードロップを炸裂させ、試合を終わらせた。

「仕事が忙しくて、東スポを読むヒマもないんです！」。

先日、編集部を解雇されたガイ子さんは以前にそう泣き叫んだことがあったが、そんな悲惨な状況からすれば桜井康夫先生の「激録！馬場と猪木」までもしっかり読んでいるボクは、し・あ・わ・せ（微笑）。そんな幸福を満喫しながら6月3日付けの東スポを何気なく読んでいたら、有刺鉄線ロープでバスを引っ張っている「O.D.D.」なるレスラーの写真を見て驚いた！　なぜなら、そのグレートアントニオな行為はともかく、その怪物はどこからどう見てもあの〝超獣〟ブルーザー・ブロディにしか見えなかったのだから。

いま〝超獣〟と言えば、ゼロワンで大暴れしているプレデターだが、O.D.D.はそのプレデターと比べるのが失礼なぐらいブロディにソックリ！　さっそく似ているだけの理由で取材をしたところ、意外な事実が次々と明らかになったのだ（次号掲載予定）。まず、そのリングネームはオリジナル・ダットリー・ダットリーの略であり、オリジナルというだけあってあのダッドリーボーイズの初代メンバーだった（らしい）のだ！　しかもカール・ゴッチにシュートテクニックを学んだ（らしい）O.D.D.は、当然、N西学なぞ足元にも及ばないゴッチイズムの継承者であり、プエルトリコでは正真正銘のブロディから観客を掌に乗せる術を教わった（らしい）というから幻想が膨らむばかり……だったのだが、取材後に行われた試合では、その御自慢のブロディヘアに有刺鉄線が絡まり失笑を買ったせいか、どことなく精彩を欠いたしまったO.D.D.。

ズバリ言うならば、かつて新日に登場した〝ダメ超獣〟イコライザーを思いだしてしまったわけだが、その逸材ぶりはたしかなだけに、次回の来日での活躍を期待！

（ジャン斉藤）

自分が熱く信じたことを大マジメにやる男にだけ奇跡は起こせる！

世界初！超ド級サッカーエンターテイメント日本上陸！

少林サッカー

渋谷東急他、松竹・東急系にて絶賛公開中!

『少林サッカー』

クロック・ワークス
ギャガ・ヒューマックス共同配給
監督・脚本・主演／チャウ・シンチー（周星馳）

『少林サッカー』は、プロレスファンなら心の琴線にガンガン触れまくること間違いなし！の熱い映画だ。ＣＭでもガンガン流れているので、ご覧になった方も多いだろう。

まず目を引かれるのはＣＧやワイヤーアクションを駆使した超絶映像！　シュートを受けた選手は風圧で高山善廣のような〝凄顔〟になったり、キックを身体で受け止めた選手は外道ばりの〝回転式受身〟で吹っ飛んでいったり、ファイヤー・シュートで金村や松永さながらに腕が燃え上がったり……いわゆる〝受け〟や〝セール〟では必要以上に肩の力が入りまくっている。

こういった超絶映像と共に、この作品の大きな根幹を成すのは主人公たちの「挫折」である。主人公の男たちは最初からサッカーをやって成功したわけではない。幼い頃から学校にもロクに行かずに少林寺で拳法を学んだものの、実社会に出てみたら拳法ではメシも食えずに最低の暮らしを送っているのだが、彼らはそこでサッカーで少林寺拳法を活かす術を学び、自信を取り戻していく。実際、一部のメジャー団体以外では皿洗いなどのアルバイトで食いつなぎながらリングに上がり続ける選手も少なくない現在のプロレス界には身につまされる話である。

少林寺拳法を信じ、少林寺拳法の素晴らしさを世に知らしめたい！と願いながらサッカーを通じて少林寺拳法の普及を考える破天荒な主人公・シンに、串焼きをひっくり返しながらプロレスの素晴らしさを信じて疑わない石川雄規の姿がダブった。ひょっとしたら、石川が串焼きを通じてプロレスの素晴らしさを満天下に示す時が来るかもしれない。普通の人が見たらギャグにしかならないようなことを大マジメにやり続ける男にだけ奇跡は起こせるのだ。この映画を見た後なら、本気でそう思える。そんな素敵なおとぎ話だ。

（スモーノブ）

「WWEがロック様ならWWSはポーゴ様だ!!」

ポーゴ様マニア待望の不定期連載 vol.1

暗黒通信

男なら、やっぱりポーゴ様！　というわけで、デビュー30周年を記念して、生まれ故郷の伊勢崎で、盛大かつ暗黒な興行をブッ放した、我らがポーゴ様。WWFがWWEに名称を変えたどさくさにまぎれ、いまWWSが猛烈に熱い！（ファイヤーで）

ポーゴの伊勢崎暗黒街計画をなんとか食い止めようと現れた市議会議員、約[illegible]名。ポーゴ様にかなうわけがない（右上）正直、この日の爆破は凄かった！　場内には情熱熱風セレナーデが静かに流れていた（左上）3面で被爆し、最後は残った面に組長と同体で突っ込んでいったポーゴ。宿敵・組長を絞首刑で失神KOに葬った！（右下）セミでは松永光弘とBAD BOY非道がエニウェアマット画鋲3万個&有刺鉄線ボードデスマッチで激突！　頭から背中からリングシューズまで両選手は、とにかく画鋲まみれ。そして伊勢崎のお客さんは悲鳴だらけ！　ポーゴ様の伊勢崎暗黒街計画は着々と進んでいる様子（左下）。

会場で一際目に付いたのが、この18歳未満不可という一回千円の超高級ガチャガチャ。「ガチャガチャ言わんでやってみろ!!」とのポーゴ様ギャグにつられチャレンジしたところ、大人のおもちゃがこんにちわ！

伊勢崎は今日も暗黒だった……もちろん、ポーゴ様も

M　いやぁ～、ポーゴ様の30周年興行は凄かったぁ。行かなかったヤツは一生後悔するぞ！

S　何がそんなに凄かったんだよ！　悔しかったら3行以内で説明してみろってんだ！　またミスター高橋がレフェリーでもやったのかよ？

M　うむ～、ミスター高橋は出なかったけど、ミスター・レディみたいな女だか男だかわかんないヤツがリングに上がってたよ！（事実）。

S　そんなの全然凄くないよ！

M　いや、最近、ZERO-ONEの地方興行が盛り上がってるって聞くけど、ポーゴ様のお膝元・伊勢崎の盛り上がりにはかなわないよ！　会場の伊勢崎市民体育館の敷地内にはポーゴ様の父上の銅像があるんだから！（事実）

S　まあ、それは確かに凄いな。でも、プロレスとは全然関係ねえじゃん！

M　あと、セミの松永対非道の3万個画鋲マッチで使用した画鋲をひとすくい千円で売ってんだよ（事実）。思わず、ふたすくい分も買っちゃったじゃねえかよ！　しかも痛えよ!!

S　そんなもん買ってどうすんだよ！

M　おかげで金がなくなっちまって東京まで戻れなかったんだよ。つーか、セミが始まる前の時点で、東京行きの終電はなくなってたんだよ（事実）。それで行くとこがなかったんで、こっそり選手の打ち上げに参加しちゃったよ！

S　打ち上げには誰が来たんだよ！

M　いや、この日参加したほとんどの選手が来てさ、面識もないのに、隣にシャーク土屋に座られたときのドキドキ感ったらないぜ！

S　そんなドキドキ感なんていらねえよ！

M　あと、画鋲マッチで背中から血が浮き出てる非道を見てるだけでヒリヒリしちゃったよ！

S　そんなヒリヒリ感なんていらないって！

M　それでよ、二次会に行くっていうんで、なんとポーゴ様自ら運転する車に乗せてもらって移動したんだぜ！　しかも、助手席には、銀河鉄道999のメーテルに似てるって評判のポーゴ様夫人までいたんだから、どうだ！（事実）

S　そ、それは凄いよ、パチパチパチパチ！

M　それだけじゃねえよ。地元伊勢崎ではポーゴ様は顔が利くんで、信号なんて一回も守りはしなかったんだから、ホント凄いよ！（事実）

S　それが一番、ドキドキするだろッ!!

紙のプロレス RADICAL スーパースター外伝

ミスター高橋本、新聞寿本、荒井社長本に続き、この男も禁断の衝撃本を出版か!?

'94プロレスリング
ワールドトーナメント

Uインターの黒幕、遂に登場!!

今、数々のスキャンダルの真実が明らかになる!

怖いくらいに大好評!
蘇れ! Uインター伝説
シリーズ第4弾

元・UWFインターナショナル取締役
現・串焼き「市屋苑」マスター

鈴木 健

かつてUWFインター取締役として、マット界に爆弾を投下し続け、“平成の仕掛け人”の異名を欲しいままにした鈴木氏。現在はマット界を引退し、串焼き「市屋苑」のマスターとして多忙な日々を送っているが、そんな鈴木氏が「Uインター本」出版を計画しているという情報を本誌はキャッチ!　数々の事件の真相が遂に暴露されるのか!?

聞き手／堀江ガンツ　助手／松澤チョロ
designed by matsu (Two three)

「WWEがロック様ならWWSはポーゴ様だ!!」

ポーゴ様マニア待望の不定期連載 vol.1

——え～、今日はですね、「Uインターの黒幕」と言われる、元Uインター取締役の通称〝悪い方の鈴木健〟さんが、ついに暴露本を出版すると聞いて伺いました（笑）。

鈴木　暴露本じゃないって！（笑）。でも、Uインターの本を出そうとはホントに思ってるの。だから、あんまり喋ると書くことなくなっちゃうから喋れないけど、喋れることは喋るよ。

——よろしくお願いします（笑）。もともと鈴木さんは、髙田（延彦）さんのファンクラブ会長だったんですよね？　それはどういういきさつで始めたんですか？

鈴木　いきさつって言うと髙田さんとの出会いから話さなきゃならないけど、一番最初に出会ったのは、ここ（「市屋苑」があるビル）で俺が『CAN』っていうファンシーショップをやってたとき、髙田さんが斜め前のマンションに引っ越してきたの。それで前の道をよく髙田さんが歩いてたんだよね。

——いつ頃の話ですか？

鈴木　髙田さんがちょうど新日本から旧UWFに連れて来られたときかな。それをウチの営業が「社長、髙田が歩いてる！」ってみつけて、「そりゃ大変だ、見に行こう」って下に降りて、ゴミ捨てに行こうとしてた髙田さんに挨拶したの。そのときにさ、「僕は上でファンシーショップをやってる鈴木です。遊びに来ませんか？」って言ったら「わかりました。じゃあケーキを持って行きますんで、鈴木さんは紅茶を入れといて下さい」って。

——さわやかですねぇ（笑）。

鈴木　それで2時間ぐらいしたらね、下駄でバタバタバタッて上がって来てさ、「鈴木さん、ケーキ買って来ました！　紅茶入れて下さい！」って。それで事務の女の子とかとみんなでケーキ食べながら話して。それから毎日練習終わったらここに来て遊んでいくようになったの。

——不思議な縁ですねぇ（笑）。

鈴木　そうしたら、俺も昔柔道やったりとか空手とかキックとかかじったことあるから、やっぱそういう強い人を見るとね、協力したいって気持ちになるんだよね。俺はプロレスってもの自体には正直言ってあんまり興味がなかったんだけど。

——あ、熱心なプロレスファンだったわけじゃないんですか。

鈴木　じゃないの。キックボクシングファンだったの。いまK—1のレフェリーやってる猪狩元秀とか、藤原敏男とかの試合を見に行ったり、プロレスより全然そっちだったんだけど、髙田さんとプロレスのこと話したら、「UWFはちょっといままでのプロレスとは違うんだよ。見ればわかるから、1回見に来ない？」って言われて。で、実際に行ってみたらホントに違うわけ。「あ、違う！　ロープに飛ばない」って（笑）。

——当時はそれが一番の違いでしたもんね（笑）。

鈴木　それから興行のたびに一緒にくっついていくようになってね、仕事放っぽらかして（笑）。そのうち、ちゃんと髙田さんに協力してあげたいなって気持ちになってきて。それには「ファンクラブとかいいかも知れないいな」って。で、始めたのが「髙田伸彦精神的後援会」。

——なんですか「精神的後援会」って？

鈴木　お金じゃバックアップできないから、「精神的」後援会なの（笑）。

——なるほど（笑）。

鈴木　でも、イベントはよくやったよ。ファンクラブっていうと垣根が高い感じがするじゃん。ウチは「髙田伸彦スペシャル・ファンクラブ」を名乗ってたんだけど、ファンとダイレクトなコミュニケーションを持てないとスペシャルとは言えないんじゃないかなって。そしたら髙田さんも賛成してくれてね。それでスタートして2ヶ月で会員が750人集まったの。

——2ヶ月で750人は凄いですね。

鈴木　最初20人くらいだったのが、一気に750人だからもう大変で。第1回のキャンプのとき、定員70とかで打ったら150人ぐらい申し込み来ちゃってさ。結局90人くらいで行ったんだけど、髙田さんだけじゃなく、前田日明、山崎一夫、中野龍雄、宮戸成夫、それから新弟子何人か、みんな行っちゃったの。

——UWFの若手オールスター勢揃いですか！

鈴木　ファンは大儲けだよ。値段もギリギリまで安くしてさ。でも、その頃って俺も素人だから、髙田さんのギャラなんて当然考えてなかったのね。それどころか、これはホントに悪いなと思ってるんだけど、キャンプに来てくれた前田さんとか山ちゃんからも会費取ったんだよね（笑）。

——ガハハハ！　ひどい！（笑）。

鈴木　その頃はもう新生UWFになってて、（UWF社長の）神さんがさ「鈴木さん、ギャラあげてる？」って聞くから「いや」って言ったら、「できればギャラをあげて欲しい」って。そしたら俺、反論しちゃってさ、「前田さんが『行きたい』って言ってるんであって、俺が誘ってるわけじゃない」って。髙田さんからは当然会費貰ってないよ。

——髙田さんまで払ってたら、わけがわからないですよ（笑）。

鈴木　だけど、それ以外で来る人には会費を貰わないと計算が合わないわけよ。俺もお金持ってなかったしね。でも、前田さんも山ちゃんも、ちゃんとお金くれて。凄い楽しかったよね、一緒になってさぁ……ホントにスペシャルだよ。公認だけど私設のファンクラブであったが故、そして俺が素人だったからできたことで、営利目的じゃなかったから。それで利益を上げるなんて1ミリも考えなかったし。髙田さんが「お金頂戴」なんて言うわけないと思ったし。もちろん言わなかったし、前田さんも山ちゃんも言わなかったし。そういう心を持ってる選手たちがいたから、いいファンクラブができたんだろうね。

——そのファンクラブ会長がUインターで経営に関わりだすっていうのは、どういう経緯があったんですか？

鈴木　その辺は本を出すから、端折って喋るよ（笑）。

——ギリギリまでお願いします（笑）。

鈴木　それはやっぱり髙田さんありきで、髙田さんを応援してきた延長だよね。髙田延彦っていう友を協力、応援していく最大限の役目。俺にとって最高の協力がUインターだったから。

SFCのイベントには前田さんが会費払って参加したんだよ(笑)

これが伝説のFC「髙田伸彦スペシャルファンクラブ（SFC）」の会報「RANDOM」だ!（吉田豪所有）もちろん鈴木健責任編集。イラスト（!）まで担当。タイトル周りには「やめてよケンちゃん編」と、自分の名前を入れてしまう妙な自己主張が素敵だ。

本当にうまい「市屋苑」のやきとり。値段も90円～とリーズナブルで最高だ。左は久々に紙面登場のジャイ子。家が近所だったこともあり、ジャイ子も中学生のころから鈴木氏のお店（「CAN」）に遊びに来ていたという。

驚天動地!!　6.23『PRIDE.21』
田村の相手は“暗黒大魔人”ボブ・サップだ!

Uインター旗揚げは俺にとって髙田さんへの最大限の応援

――では、Uインタープロジェクトっていうのを最初に言い出したのは鈴木さんなんですか？

鈴木　これは言えないよ。これは本の一番面白いとこなんだから（笑）。でも、『週刊プロレス』には、「髙田に〝悪魔の囁き〟をした人物がいる」って書かれたけどね。書いたのは、いま『格闘技通信』にいる「A氏」なんだけど。

――A氏……あ、グレイシー好きのあの方ですね（笑）。

鈴木　A氏に「悪魔の囁き」なんて書かれたからさ、すぐ本人に電話して、「どういうことだよ？〝天使の囁き〟じゃないの？」って抗議したの。だってさぁ、あんざ……A氏なんかね、その2週間ぐらい前に、一緒に女子高の文化祭連れてってあげたりしたんだから！

――ガハハハ！　その多大なる恩を忘れたのか、と（笑）。

鈴木　SFCのイベントとかもいっつも連れてってあげたりしてたのにさ、悪魔はねえじゃねぇかって！　俺としては結果的に「天使の囁き」になれたと思ってるしね。まぁ、その辺の全貌は本に書くから（笑）。

――鈴木さんが天使だったかは別としても、第2次UWFで伸び悩ん

紙のプロレス RADICAL スーパースター外伝

「WWEがロック様ならWWSはポーゴ様だ!!」

ポーゴ様マニア待望の不定期連載 vol.1

でいた感があった髙田さんが、Uインターになって大化けして、一気にマット界のエースにのし上がったのは確かですよね。

鈴木 そうだよ。やっぱりUインターでの髙田さんは輝きがハンパじゃなかったし、人気も凄かったしね。髙田さんとベイダーがやった神宮球場なんかは、あれ一発で3万枚以上売れたからね！

——実券で3万枚以上は凄いですよね！

鈴木 凄いよ！ 当日券だって2千人ぐらい並んじゃったから、ホントは契約違反なんだけど、外野席も空けてもらって、手書きでチケット作って売ったからね。帰りなんて、アタッシュケースに金入んなかったから！

——凄まじいですね（笑）。でも、あのときの神宮が、実は儲かってなくってトントンだったって噂を聞いたんですけど？

鈴木 とんでもないよ。大儲け！ 2億円ぐらい入ったのかな？ かかった経費は6千万ぐらいでしょ。どうやって損すんの？ だから、トータルすると儲かってないってことだよね。神宮で3回やったでしょ？ ベイダー戦と天龍戦と、あと日刊スポーツの『神宮花火ジャック』。日刊スポーツは売り興行だから、絶対損するわけないじゃん。それ以外はどっちも3万枚以上売れてるんだから。96年の9月11日にやった天龍戦のときなんか、川田（利明）選手が出るのを『週プロ』、『ゴング』で発表したら、その次の日にはソールドアウト！

——『週プロ』も当時は影響力あったんですねぇ。ボクもファン時代、「川田出場」を知ってすぐチケット買った覚えがありますよ。

鈴木 でしょ？

——あと、Uインターの大ヒット興行というと、やはり髙田vs北尾戦が思い浮かぶんですけど、北尾さんていうのはどういう関係で参戦に至ったわけですか？

鈴木「髙田vs北尾戦をやりたい」って話がUインターの会議で持ち上がって、俺が北尾選手がいるところに行って交渉したの。

——あの●●●協会に交渉に行ったんですか？

鈴木 そう。そこに行って3試合契約で●●●万円。でもまとめて払って持ち逃げされたら困るから、1試合●●●万円ぐらいずつ払っていこう、と。最初山ちゃんとの試合のときも●●●万円かなんか、たぶん●●●さんが持って逃げちゃったんじゃないかと思うんだよね。

——え！ 持ち逃げしちゃったんですか!? それで山崎戦と髙田戦では胴着に書いてある文字が違ってたんですね（笑）。

鈴木 たぶんそうだよね。それでウチとしても、山ちゃんがやられたまんまで逃げられたらたまったもんじゃないから、「髙田さんとやってくれ」って話したんだけど。「もう俺はあそこ所属じゃないし、そんな契約してないから」って。でも、「それは違う！ 3試合で●●●万って話になってんだから、ちゃんと出てくれ」って交渉が始まって。ホントは髙田さんの前に、もう一人誰か入れたかったんだけど、そうも言ってられないと思って……。

——ゲーリー・オブライト戦という話もありましたよね。

鈴木 うん。だけどとにかく「髙田vs北尾戦」をやってしまおう、と。それで……これ以上は喋れません！

——ガハハハ！ またいいところで、「続きは本で」ですか（笑）。

鈴木 その本でいっぱい書いちゃおっと。ちょっとテープ止めてくれたら話すよ。

（テープ中断）

——いや〜、大変貴重な話でしたねぇ。これは本を買うしかないですね（笑）。

鈴木 でしょ？（笑）。だからあの試合は文句なしに髙田さんのKO勝ちだし、北尾選手は何も言えないんだよ。

——その話を聞いても北尾さんの性格が出ちゃってますね、潜在能力はあるんでしょうけど、ハートが弱いというか。

鈴木 そうなんだよね。そのあと、北尾選手がバーリ・トゥードでルタ・リーブリの細い選手とやって極められちゃったよね。あれ誰だっけ？

——ペドロ・オタービオですね。

鈴木 そうそう、あれは寂しかったなぁ。

——その北尾戦にしても何にしても、鈴木さんが交渉役だったみたいですけど、Uインターフロント陣はどんな体勢だったんですか？

90年代のマット界をかき回しまくったUインター取締役トリオ。その暴れっぷりは、長州から「てめぇらがくたばったら、墓ん中に糞ぶっかけてやる」という名ゼリフを引き出させたほど。とにかくスキャンダルと経営が密接に絡み合っていたのがUインターだった。

鈴木 Uインターのときの体勢は、髙田さんが社長であって、実働部隊が宮戸、鈴木、安生の3名だよね。それで資金繰りは100パーセント俺だったの。

——資金繰りは全部、鈴木さんですか！

鈴木 でも俺にとってそれが一番大事だと思ってたし、それがないと交渉もできないしね。だから新日本プロレスに「髙田vs蝶野戦」の話を持っていったときの、「3千万円払え」っていうのがあったじゃない？

——ありましたねぇ。〝リスク料〟（笑）。

鈴木 巌流島決戦ね。そのとき宮戸ちゃんがさ、「鈴木さん、3千万円払ってやっちゃいましょうよ」って言うんだよ。

——さすが宮戸さんですね（笑）。

鈴木 でも、俺が「用意できない」って言ったの。「ホントですか？」「無理！」って。だって、〝リスク料〟ってことは、両方が3千万ずつ出し合って、勝った方が取るんじゃなくて、こっちが試合するのに3千万円出して、それを全部向こうが取るんだよ。それっておかしくない？

——やる前から負けるリスク考えるバカいるかよっ！ って感じですよね（笑）。

鈴木 要するに黙って3千万円なくなるわけよ。そのお金を俺がどっかから借りてきても、ただ消えてくだけのお金でしょ？ そのあとの計算がどうしても立てられなくってね。「3千万用意して」って言われてできる？ まずできないでしょ？

——『紙プロ』じゃ、3千円が精一杯ですね（笑）。

鈴木 俺だって普通の人だったんだよ。でも借りてくるしかないし、もう親戚巡りだよ。あとゴルフの知り合い巡りとかさ。そうやって用意するしかなかったから。大きなスポンサーがいたわけじゃないからね。そういう資金繰りのことなんて凄い大変だったのに、誰もわかっちゃくれないのがちょっとね、俺がUインターやってて最高に悲しかったことだよね。

——選手からってことですか？

鈴木 選手でも誰でも、当たり前だと思ってるかもしれないけど、「じゃあやってみろ」って。誰もできやしないんだよ！

——でも、Uインターって凄く勢いがあるように見えたし、いい話とかどんどん入ってきたりしなかったんですか？

鈴木 したよ。だから最初のうちはそんなに苦労しなかったわけよ。後半の方でいろんな経費がかかったから。契約料にしたって、いろいろ細かいのを合わせていくと、凄い大きな経費がかかるし。それで選手の給料は上がっていく一方、または据え置きでしょ。俺も選手には給料ちゃんとあげたいんだよ。ただ、その計算が見合わなかったんだよね。

驚天動地!!　6.23『PRIDE.21』
田村の相手は“暗黒大魔人”ボブ・サップだ！

電撃決定した「新日本vsUインター全面対抗戦」を控え、両団体のフロント、審判が集まり、ルール問題を協議。永島、倍賞、小鉄らが集まる中、和田（良覚）さんもしっかり同席している。しかし、喋っていたのはほとんど鈴木氏であろう。

紙のプロレス RADICAL
スーパースター外伝

宮戸ちゃんが「3000万払って“巌流島”やっちゃいましょう」って言ってたけど、その金を用意するの俺なんだから（笑）

——毎年、選手全員の給料が上がってたら、そりゃ破錠しちゃいますよね。

鈴木　やっぱり、そこらへんが一番苦労したとこだね。だから団体運営っていうのはホント大変でさ、その中でも一番大変なのは資金繰りだよ。だってＦＭＷの社長は自殺しちゃったわけでしょ？　命がなくなっちゃうぐらい大変だったっていうのが今回証明されたわけじゃん。だから夢をみんなに与えるために裏で苦労してる人がいっぱいいるんだよね。

——Ｕインターは、格闘技世界一決定戦であったり、いろいろヒット企画があった中で、表面上は解散間際までずっと話題がありましたけど、どの辺りから厳しくなってきたんですか？

鈴木　ラスト2年ぐらいだね。新日本との全面対抗戦のちょっと前から厳しかったね。

——じゃあ、全面対抗戦は厳しくなって、やむにやまれずやった感じなんですか？

鈴木　最初は違ったんだよ。厳しくなったからやろうとしたわけじゃなくて、最初は手段のひとつとして「若手同士の試合をやりませんか？」って、俺が永島（勝司＝新日本プロレス取締役企画部長・当時）さんに企画を持っていったわけ。

——永島さんとは、すでに接点があったわけですか？

鈴木　いや、いきなり電話して。「こういうのどう？」って。

——さすがですねぇ（笑）。

鈴木　それ永島さんの本にも書いてあるんじゃないの？　読んでないからわかんないけど。で、赤坂の全日空ホテルで会って、「若手同士の試合をやりませんか？」って話を持ってったら、次の日に電話かかってきて、「若手同士とか言ってないで、ドーンとトップ同士ズラッと並べてやっちゃおうよ」って言ってきたわけよ。それを聞いたとき、「新日本大変なのかな」「カードが決まってないんだな」って思ったの。俺はそのときは、全面でいっちゃうと、あとは尻すぼみになっちゃうから、ちょっとずつやってった方がいいんじゃないかなと思ったけど。ただ新日本が切羽詰ったように言ってくるからさ、「すぐやりましょう、すぐやりましょう」って。その話を髙田さんとかにしてさ、勝手に俺の方で動いてた話だからさ。

——新日本からしてみれば渡りに船って感じだったんですかね？

鈴木　そうだろうね。「新日本は大変そうだ」って他からも聞いてたからね。それでウチも厳しいことは厳しかったし、俺が考えていたことでもあったわけじゃない。だから、それはそれでいっちゃおうかな、と。ところが髙田さんが武藤敬司に4の字固めで負けて……そこからだよね。その次の後楽園は一瞬でソールドアウトしたんだけど、そこからちょっとずつ、ちょっとずつ落ちてきたよね。そのころから地方に売り興

「WWEがロック様ならWWSはポーゴ様だ!!」

ポーゴ様マニア待望の不定期連載 vol.1

行とか始めたんだけど、九州で騙されてさ。お金くんないんだよね、興行主が。いまだに貰ってないんだよ。そういうので資金繰りとかもホント大変になってきちゃって。

——10・9は、Uインターが負債を抱えて、起死回生でお金を払うために、いままでUインターが築き上げてきたものを新日本に売っちゃったみたいな言われ方をしてるじゃないですか。

鈴木　結果的には髙田さんが負けたことによってそうなってしまったんだけど……、俺が素人だったが故にね、新日本をいろんな意味で甘く見ていた。俺はちゃんと紳士的にやってくれると思ってたんだけど、試合にしてもお金にしても……俺が甘かったね。詳しくは言えないけどね。

——やっぱり「話が違う」という部分が多かったんですか？

鈴木　うん。髙田さんも最初は負けたけど、その後どんどん新日本のトップクラスを倒していって、上がっていけばいいと思ってたんだよ。でも、向こうが出してきたのは越中詩郎でしょ？　ギャラの面にしても、試合が終わってから違うことを言ってくるし、ホントずるいな、と思ったよ。

——その10・9を境に、田村さんが結局別行動になっちゃいましたけど、それは予期してたわけですか？

鈴木　うん、してたね（キッパリ）。どっちでもいいやって。もうそのときタムちゃんは辞める気だったじゃない？「給料●●●万円にして下さい」って言ってきたからね。山ちゃんが●●●万円で、垣ちゃん（垣原賢人）が●●万とかの頃だよ。それなのに「●●●万円にしてくれ」って。まだそれだけの集客力ないじゃない。タムちゃんをメインで垣ちゃんとやっても、売上がドーンと落ちるのよ。髙田さんがメインだと上がるわけ。集客力がないってことは、それだけのギャラをあげる選手になってないわけでしょ。それはできない話だよね。

——Uインターの方向性も変わって、辞める覚悟で吹っかけたのかも知れませんね。

鈴木　だよね。やっぱり、新日本とやって髙田さんが負けてから、興行成績が落ちてきて、その中で3人組ができちゃったじゃん。

——ゴールデンカップスですね。

鈴木　あれはウチの流れでいったら、ホントは生まれちゃいけないものだったんだよね。一時的には面白かったけど、それでUインターのイメージは壊れたよね。

——まったく違うものになってきましたからねぇ。

鈴木　違うもんになったよね。でも、それで肩の荷がちょっと下りた部分があるんだよね。だけど肩の荷が下りた反面、お金は重くなってきた（笑）。

——Uインターの末期はWARや東京プロレスと一緒にやってましたけど、端から見ていても大変そうでした（笑）。

鈴木　そうそう。東京プロレスの時は、ウチももうちょっとで危なかったからね。500万ぐらい貸してたんだけど、それが返ってこなくて。何度も言ったらなんとか返してくれて、それからすぐ潰れちゃった。東京プロレスはオーナーの本業が成功してるから絶対潰れないって言われてたんだけどね。

——ところが本業もダメになっちゃったらしいですね。

鈴木　そうそう。実は先週、知り合いがたまたまターザン後藤さんを連れてウチにきたのよ。で、チョコッと東京プロレスの話とかしてて、「ちゃんとギャラ貰った？」って聞いたら「8割貰ってない」って。

——きっと冬木さんあたりもそうなんでしょうね（笑）。

鈴木　Iさんのところは、結構仕事があって景気いいと思ってもらってたんだけどね。ウチの資金繰りがホントに大変だったから、Iさんにメインスポンサーになってもらって、場合によっては社長になってもらってもいいかなって思ったこともあったんだけど、とんでもなかったよね。

——それからしばらくして、Uインターは解散という形になったわけですよね。

鈴木　そう。結局、1億円の未払いが出ちゃったんだけど、その5割を髙田さんが持って、残りを俺と安ちゃん（安生洋二）で返済していこうというのがあったわけ。でも、それはUインターの分で、キングダムは全部俺が持ったの。

——全部ですか！

鈴木　だからUインターとキングダムを合わせて、髙田さんと俺が半分ずつ持っているような感じで、それをずっと払ってるから。もちろんまだ払い終わってないしね。そういうのを松井（大二郎）が聞いて、電話してきて「鈴木さん、頑張って下さい。僕たちの給料はいいですから」って。そういうのは凄い嬉しくてさ。毎月3万円ずつ「市屋苑」に取りに来た奴もいたけどね（笑）。

試合にしてもギャラの面でも、新日本はホントに「ずるいな」と思ったよ

——なんとなく想像はつきます（笑）。

鈴木　髙田さんなんてさ、ギャラ4千万ぐらい払ってないよ。それでおまけに負債まで負わせちゃってんだから。俺もずいぶん返したけど、まだ●●●●万ぐらい残ってるからね。凄い大変だったよ。

——ボクらの給料じゃ一生返せませんよ（苦笑）。

鈴木　でしょ？　だから自分がどっか勤めてたらできないよね。そのためには商売しなきゃいけない。この店をやるに当たっても、凄い力になってくれた人がいたわけ。清水さんっていって、キングダムの社長をやってもらった人がいるんだけど、Uインターのとき2千万出して、キングダムのときに5千万出してくれて、それ以外にもポコポコ出してくれて、最後には家持って行かれちゃったの。

——え！　お金出してくれた挙げ句、家まで持って行かれちゃったんですか⁉

鈴木　だけどその家持って行かれちゃう前に、ここの市屋苑をオープンする資金のために、国民金融公庫からお金を借りるために、土地と家を担保に入れてくれたの。それなのに結局どうしようもなくなっちゃって、家と土地を売却しちゃって、そのときに国民金融公庫に全額払ったの。だから国民金融公庫から俺は1円も借りてないの。

——そこまでしてくれた方がいたんですか……。

鈴木　清水さんにいま毎月10万円、死ぬまで払おうと思って。いま清水さんには700万ぐらい戻してるんだけど、一応死ぬまでやらなきゃいけないなって。もともと「キングダムの代表になって下さい」って、俺と髙田さんと安生洋二でお願いしたのよ。そしたら「いいよ」って。「こっちで全部やりますから、清水さん

は名前だけで、それ以外は一切迷惑かけませんから」って言ったんだけど。2～3ヶ月後に「お金貸して下さい」って（笑）。

――しまいには家まで持って行かれて（笑）。

鈴木　でも、それも返せる計画があったんだよ。入ってくる予定もあったし。

――スポンサーが決まったって話もありましたよね。

鈴木　ナムコとかね。でも、結果的にはお金が入らないから、俺とか、清水さんていうのは俺の叔父さんの友だちだったんだけど、そういうとこからお金全部出してやりくりしてたんだよね。でも、キングダムのときは、結果的には最初の計画とは変わってしまったんだよね。

――最初の計画っていうのは、どんな計画だったんですか？

鈴木　ここから先は本で書くから（笑）。

――ガハハハ！　またいいところで！（笑）。でも、キングダムの場合、会社的なこともそうなんですけど、試合のスタイルもバーリ・トゥードに近いものにガラリと変わりましたよね？　あれはどうしてああなったんですか？

鈴木　あの頃はまだ『PRIDE』がなかった時代だけど、みんな『PRIDE』みたいな試合をしたくなってたんだよね。俺もそれを望んでたから、安ちゃんに「グローブ着けて顔面パンチありでやったらどう？」って言ったら、「みんなそれを考えてた」って。じゃあ、それで行こうって決まって。顔面パンチもマウントパンチもありでやったんだよね。だからいまの『PRIDE』の人気なんか見ると、時期がちょっと早かったのかなって（苦笑）。

――いま『PRIDE』で活躍している日本人選手は、Uインター、キングダムの選手が中心ですもんね。

鈴木　いま思えば凄いメンバーだったよね。エンセン（井上）もよく練習に来ていたし。でも、あの頃から桜庭はヘビー級のエンセンともガンガンやってたから凄いよね。

――ああ、スパーリングを見ていて、そう思いますか。

鈴木　金原なんかもキングダムのときにシューティングジム大宮かなんか行ったりしてたんだけど、そしたらそこに●●がいて。エンセンが「やってみな」って言ってスパーリングやったら1分もしないで金原が腕取って勝っちゃったの。そしたらエンセンが「ね、弱いでしょ？」って（笑）。じゃあそれに負けちゃった●●●とか●●●●とかはどうなっちゃうのかなって。

――桜庭さんにしても金原さんにしても、そのころからすでに強かったんですね。

鈴木　だからさ、いまとなったら『PRIDE』が俺が一番見たかったこと、やりたかったことを実現してくれてるからいいよ。しかもお金の心配もなく見れるわけじゃん（笑）。

――強い選手とアイデアがあっても、やっぱりお金がないと始まりませんもんね。

鈴木　やっぱり、ある程度ブレイクしていくまでは最低限のお金が必要だけど、キングダムは収入より出ていく金額の方が多かったじゃない。その当時出ていくお金が月々1500万として、入ってくるのが1千万だから、そうすると毎月5百万ずつマイナスになって、1年で6千万マイナスになるわけだよ。

――やればやるほど赤字になっていくわけですね（笑）。

鈴木　だからキングダムは計算通りなくなっちゃったわけ（苦笑）。

――お金の減り方で余命がわかってきちゃった、と。

鈴木　まぁ、とにかくいまは気楽だ

紙のプロレス RADICAL スーパースター外伝

96・10・9東京ドーム　ドラゴンスクリューからの四の字固めという、プロレス以外の何者でもない技で髙田が敗れ、崩壊したUWF神話。髙田は2ヶ月後の1・4ドームで武藤にリベンジするが、10・9のインパクトがあまりに強すぎ、巻き返すには到底いたなかった（写真・上）。97・9・11神宮には川田が参戦。遂に全日とまでUが交わった。

「WWEがロック様ならWWSはポーゴ様だ!!」

ポーゴ様マニア待望の不定期連載 vol.1

紙のプロレス RADICAL
スーパースター外伝

2度とプロレス団体をやることはないけど、1個だけ最高最大のアイデアがあるの。これが実現したら凄いよ！

よ。市屋苑では、俺が世界チャンピオンだからね。店の子は新弟子みたいなもんで。みんな言うこと聞くし、利益もちゃんと上がってるじゃん。大きな利益は上がらないよ、何百円のもの売ってるわけだから。でも確実に返済できてるし、キングダムの家賃も今年の1月に終わったし。時間かかったけどさ。去年と今年で6本ぐらい終わったのかな？ まだデカいのはいろいろあるけど。でもみんな割引してくれたりとか。「3年間払い続けたら、残りはもう半額でいいよ」とか言ってくれて、それで終わらせたのもあるし。みんな結構わかってくれてね。

——お店の方は始めて何年ですか？

鈴木 今年で4年目。1年360日営業。正月だけ5日間休んで、それ以外は無休でやってるよ。

——無休ですか！

鈴木 だって1日に売上が10万円だったとしたら、月に4回休んだら40～50万でしょ、年間600万違うわけでしょ。そのぶん返済にまわせるわけだよ。それを続けてやってきて正解だったね。体は大変だったけど、そういうもの背負ってるとやる気になるし、やらざるを得ないし。髙田さんと「俺たちは逃げないでやり切ろう」って約束したしね。だからちょっとずつ、ちょっとずつでも終わらせてね。

——2号店の話もあるみたいですね。

鈴木 そう。おかげさまでオープン以来ずっと勝ちっぱなし、右肩上がりできたんだけど。つい先月、駅前に居酒屋のチェーン店ができて初めて前年割れしたの。いままで4年間、ほとんど同じメニューでやってきたんだけど、ちょうどいい時期だから、新しいメニューを投入して活性化させて、来年のあたまくらいに二子多摩川か駒沢に出したいなって。いまになっていろんな選手も来てくれるようになったりしてるしね。

97年12月27日、その激動の歴史に幕を閉じたUインター。しかし、その後の元Uインター勢の大活躍ぶりはみなさんご存じのとおり。いつの日か、またこのメンバーが一同に集結する日は訪れるのか？

——レスラーは「リングは麻薬」とか言って、辞めた人が戻ってきたりしますけど、経営者側の鈴木さんはもう一度プロレス団体をやりたいとかはないんですか？

鈴木 絶対戻らない！（キッパリ）。ただ1個ね、最高最大のアイデアがあるの。

——動き出してはいるんですか？

鈴木 動こうとして安ちゃんといまその方法を練ってるところ。それが実現したらいいなって。可能性は五分五分だね。これは本で書くよ。

——現時点でのヒントはなんですか？

鈴木 ヒントは……凄いこと！

——ガハハハ！ サッパリわかりません！（笑）。

鈴木 武道館とかさいたまスーパーアリーナだったら満員間違いなし！ ちょっと一生懸命動かなきゃいけないけどね。これ以上は言わないよ。

——格闘技関係の興行なんですか？

鈴木 内緒。テープ止めるんならいま言うよ。

（テープ中断）

——これは素晴らしい計画ですね！ 実現したら最高ですよ！

鈴木 でも、髙田さんがいなくなったら、もう俺は意味ないわけよ。俺のテーマはあくまで髙田さんをバックアップするってことだから。

——そうなると、髙田さんはキングダム末期に髙田道場を作ったわけですけど、「裏切られたと」かそういう思いはないんですか？

鈴木 それはしょうがないかなって。確かに凄いショックだったよ。でもしょうがないかなって。だってUインターの頃からの未払い金が髙田さんに対して●●●●万ぐらいあって。『夢の掛け橋』も髙田さん1人に●●●万ぐらいのギャラを上乗せしてくれて、「ちゃんと髙田さんに払うから出てやって」って言ったら「わかった」って出てくれたのに、お金振り込まれたら「髙田さん、払えない」って言ったら「うん、わかってるから」って。そんなんばっかりだよ。

——髙田さんもギリギリまでかぶってたんですね。

鈴木 しかも、毎月給料も半額だったからね。安ちゃんもそうだよ、毎月半額。俺も半額だし。いろいろあるんだよ。団体持ったらわかるよ、絶対やんない方がいいって（笑）。今日なんか『スマックガール』見てきたけど、篠ちゃんの〝団体〟じゃないじゃん、あれは。あくまで〝興行主〟だよね。だからやってけるんだろうと思うけどね。団体として持ったら、やってけない。ランニングコストが大変だしね。だから俺はその世界に戻らないから、絶対に。だって自殺したくないもん。

——う〜ん、ホントに大変な仕事ですよね。

鈴木 そういう羽目になるんだよ。だから、団体を運営してる人たちは命掛けてやってるんだっていうのをね、ファンの人たちにもチョコッと知って欲しいよね。で、選手はそういうのノーリスクなはずなのに、髙田さんはいまでも一生懸命払ってるじゃない。そこらへんは俺は凄い尊敬してる部分なんだよ。俺はここで一生懸命返してね、それも必ず終わりがくるから。一般のファンの子たちも、焼き鳥屋やりたいなって人がいたら電話ください（笑）。

——ガハハハ！ まぁ、今日の結論としては、詳しい内容は後ほど鈴木さんの本でということですね（笑）。

鈴木 きっと面白いと思うよ。裏話テンコ盛りで。

——ネタはいくらでもありますもんね。

鈴木 言えないネタも山ほどあるから、その中のどれを喋ろうかって。

——でもこのご時世ですから、鈴木健さんが本を出すっていうと暴露本を期待する人も多いと思うんですけど（笑）。

鈴木 だから暴露本じゃないって、天使の本（笑）。タイトルは『天使の囁き』にしようか。

——ガハハハ！ 本の帯は『格通』のA氏に書いてもらいましょう（笑）。では、皆さん、鈴木健・著『天使の囁き』にご期待ください！（笑）。

【02年6月2日／用賀「市屋苑」にて収録】

驚天動地!! 6.23『PRIDE.21』
田村の相手は"暗黒大魔人"ボブ・サップだ!

"赤いパンツの前科者"は、やっぱり理解不能 されど、それが田村潔司!!

体重差、約2倍! 田村、シウバ戦で頭打ちすぎたか!?

驚天動地!『PRIDE』のリングに帰ってきた田村の対戦相手は、170kgの"暗黒大魔人"ボブ・サップに決定した! 階級が違うというより、同じ人間ながら"種"の違いすら感じさせる、この理解不能のマッチメイクは、まさに異"種"格闘技戦。一寸法師の鬼退治のような現実離れしたこの闘い。はたして田村は生還できるのか!?

KIYOSHI TAMURA

聞き手／堀江ガンツ
撮影／中島ミノル
designed by さおとめの事務所

こんな試合を普通やらないよね 受けちゃう俺がおかしいんだよね

――田村さん、な、何ですか今回のカードは！

田村 アハハハ、だめ？（笑）。

――全然ダメじゃないですけど、前回あれだけの注目を集めた中で大敗を喫した田村潔司が、どんな形で再起するのか注目していたら、復帰戦の相手が170キロの〝暗黒大魔人〟ボブ・サップということで、みんなビックリするやら、呆れるやらというところなんですけど（笑）。

田村 呆れてるの？（笑）。

――呆れてるというか、要は「田村ってなんなの？」、「何を考えているの？」、「もうわけがわからない」という声がけっこう多いんですよ。だから今日は、「なぜボブ・サップ戦を選んだのか、承諾したのか」ということを、第一のテーマというか、質問にしたいんですよ。

田村 う～ん、というかね。この件に関しては、人のせいにするから！（キッパリ）。

――人のせいにしますか！（笑）。

田村 そう！ オレにとって今回のテーマは、「人のせいにする」だから。

――どんなテーマですか（笑）。

田村 だからね、「なぜオファーを受けたか？」という以前に、「なんでボブ・サップでこっちにオファーが来たか？」っていうことを考えてもらいたいのよ。

――ああ、確かに。普通に考えて80キロ台の選手に持ちかけるマッチメイクじゃないですよね？ 田村さん自身は、なんでこのカードでオファーが来たと思いますか？

田村 う～ん、どうなんだろうなぁ……向こうもいろいろ焦ってたんじゃないの？ カードが決まんなかったりしてたから。

――ということは、ボブ・サップ戦承諾の背景には、ある種、「カードが決まらなくて困っている『PRIDE』を助ける」という理由も含まれるわけですか？

田村 助けるじゃないけど、いま（マット界で）一番軸になってるのは、やっぱり『PRIDE』でしょ？ ということは『PRIDE』がコケると、業界全体がもうだめになると思うんで。だから喧嘩を売りつつも仲良くしていくと。

――でも、最初のオファーはサップだけじゃなくて、3人対戦候補がいたんですよね？

田村 あ、知ってるの？

――知ってるもなにも、U―FILEのHPにある田村さんの日記に書いてあったんですよ（笑）。

田村 恥ずかしいから読まないでよ（笑）。

――じゃあ、何のために書いてるんですか！（笑）。だからまぁ、3人候補がいたならば、おそらく想像するにボブ・サップ以外は体重差もあまりない、ビックリするようなカードではないと思うんですよ。

田村 いいとこついてるねぇ（笑）。

――そういう選手も候補にいる中で、なぜビックリするほど体重差があるサップを選んだのか、ということを聞きたいんですけど。

田村 う～ん、簡単な話、ビックリする選手じゃないとお客入んないでしょ？ だから、ホント言うと3人候補がいたときは断ってるの。それで再度オファーが来たときは、そういうインパクトがあるということで、ボブ・サップに絞ったオファーが来たわけよ。そこでオレ一人が「80キロ台の選手」とか、「体重が1キロでも違ったらやらない」とか、そういうふうに言ってたら今回の参戦自体がなかったと思うんですよ。

――う～ん、なるほどなるほど。

田村 だから「何を考えているか」と言われても、オレは今回わがままを言わなかっただけだから。その代わりU―FILEとしてのこっちからの条件も出して、先に繋がるようないい意味で、あっちとも付き合っていけたらと。

――じゃあ、U―FILEとしての条件との交換みたいな部分もあったりしたんですか？

田村 そうそうそう。U―FILEとしての条件を出したら、すんなりオーケー出ちゃったから、断る理由がなくなっちゃったのよ。オレも丸くなったんだろうね（笑）。

――でも、元々田村さんはリングス時代から、体重制の必要性を口が酸っぱくなるほど説いてきた方じゃないですか。その人がなぜよりによって倍の体重差がある相手とやるのか。言ってることとやってることが違うにもほどがあるんじゃないか、そういう疑問が渦巻いているわけなんですけど（笑）。

田村 そりゃそうだよねぇ（笑）。

――だからボブ・サップ戦を受けたということは、なにか企んでるんじゃないかという推測もできるわけです（笑）。

KIYOSHI TAMURA

田村 ていうか……人って変わるんだよね（かわいらしく）。

――もう、あの頃の自分じゃない（笑）。

田村 人は変わるんだよ。でもさぁ、オレだってあんな倍以上体重のあるヤツとやりたかねぇよ、ぶっちゃけた話！（笑）。同じ体重の人とやれればそれが一番いいけど、そうも言ってられないんだよ。

――でも、最近は総合格闘技でカードを組むにあたって、体重差というものが凄く問題になってきてるじゃないですか。

田村 うんうん。

――特にここ最近、体重制で揉めて『PRIDE』のカードの発表が遅れたりとか。そういう選手が多くなる中で、逆に、「オレはプロだから、やらざるを得ないときは倍の体重でも受けちゃうよ」というところを敢えて見せつけるという、そういう狙いもあるんじゃないかと思うんですけど。

田村 そういう計算もあるかもね（笑）。

――ガハハハ！ 否定しませんか（笑）。

田村 でも、正直言ってやりたくないよね。だって、倍だからね。いままでとは違う意味で、いろんな恐怖心みたいなものがあるから。

――でも、意地悪な見方をすると、同じ体重で負けると言い訳はきかないけど、「こんな怪物とやるんじゃ、負けてもしょうがないじゃん」っていう。言い訳作りで受けたんじゃないかという考えもできるんですよ（笑）。

田村 そんなのさぁ……もうなんでもいいよ！ 怖いんだって！ リスクを考えてなんて言うのは簡単だけど、そのために自分の倍の体重のヤツとやるってなったら怖いよ！ ホント、ぶっちゃけると。

――そりゃそうですよね（笑）。

田村 こんなマッチメイクね、普通の性格じゃやらないよね。受けちゃうオレがおかしいんだよね。

――「オレはおかしい！」（笑）。やっぱりいろんなタイプと闘ってきた田村さんでも今回は違う緊張感、恐怖心はありますか？

2試合やっても測定不能!

暗黒大魔人ボブ・サップ暴走BOUT REVIEW

4・28『PRIDE・20』 暗黒魔人台風164秒でヤマノリを粉砕

鉄柱でスネを鍛えたヤマノリによる、藤原道場仕込みのローキックにも微動だにしないボブ・サップ。体中が鎧のような肉体だ。

もの凄いパワーと圧力で、あっという間にコーナーまで追いつめられてしまうヤマノリ。接近戦になると体格差がさらにモノを言う。

もっとも怖いのは、グラウンドでサップに上を取られたとき。もし、ヒザをボディにでもいれられたら、肋骨骨折は免れないだろう。

○ボブ・サップ
（1R2分44秒 レフェリーストップ）
山本憲尚×

6・2 K―1 SURVIVAL～富山初上陸～ 前代未聞、サップK―1で反則大暴走!

K―1なのに、エルボー、ストンピングを繰り出す大暴走により、石井館長までリングに上がる大混乱。その暴れっぷりは下記参照。

スタンドでの圧力のかけ方、距離のツメ方が予想以上に巧く、中迫に攻撃する隙を与えないサップ。田村の打撃は通用するのか?

コーナーまで吹っ飛ばされた中迫に、容赦なくパンチを振り下ろすサップ。K―1では反則だが、『PRIDE』なら強力な武器となる。

○中迫剛
（1R1分30秒 反則勝ち）
ボブ・サップ×

田村 変なプレッシャーはもうないけどね、前回大きなコケ方してるから。まだそれに比べるとリラックスはしてるほう。試合直前になってちょっとナーバスになるぐらいじゃないですかね。

――試合まで1週間ですけど、今は、まだ?

田村 まだ全然。前のときはもう、試合の3ヶ月前から戦闘モード入ってたから。だから、その3ヶ月間は全然遊びにも行ってないし、練習漬けの毎日だったんで。なおかつそういう変なプレッシャーもかかってたんで、それに比べると一週間ちょっとのプレッシャーで済むから前よりは全然ラク。ラクっていうか、あれ以上のコケ方はないからね。

――やっぱり前回のシウバ戦はデビュー以来、最大の緊張感でしたか?

田村 いや、緊張感で言えば、一番はパトスミ（パトリック・スミス戦）だけど、長かったからね3ヶ月間。じゃあ今から3ヶ月間、遊びも行っちゃいけない、節制もしなくちゃいけないってなると気が狂いそうになるというか。だから、もうちょっとリラックスして、遊びは遊びでストレス解消して、やることをやってどこかで息抜きをしてね。前回そうしてたら今頃は……（笑）。

――ガハハハ! そしたら今頃は（笑）。

田村 「たら」「れば」の話だけどね（笑）。

――しつこいようですけど、ボブ・サップ戦のオファーが来たとき、「おいしいな」とか思いました?

田村 だから、そんなのはないって! 勝ちゃおいしいと思うけど、それ以前の問題だから。やっぱり怖いもん。だって六本木で黒人の大男とさ、すれ違うだけでも怖いでしょ?

――怖いです（笑）。

田村 ガッと睨まれただけで怖いじゃん。

――謝っちゃいますね、まず（笑）。

田村 だから、そういう心境を味あわないとオレの気持ちはわからないよ。おいしいもクソもないもん、ホントに。六本木に行って、黒人に喧嘩売るような度胸があるヤツだった

らオレに文句言ってこいって。
――『PRIDE』での山本戦、K―1での中迫戦というのはご覧になってますか？
田村　はい。テレビで。
――それを見て、ボブ・サップという選手の印象を聞かせてほしいんですけど？
田村　う～ん、パワーが凄いなと。やっぱり大きいだけにね。
――ちょっと突いただけでみんなふっとびますよね（笑）。中迫選手だって小さい選手じゃないのに。
田村　100キロくらい？
――100キロ近くあって、タッパもある選手なんで。190以上ありますよ。
田村　え!?　そんなに大きいの？
――あんまり分析はしてないんですか？
田村　あんだけデカいと分析のしようがないんで、ぶっつけ本番で。ただこっちの戦法、攻撃するイメージはある程度つくってるんで。それが通用するか、しないかは、ホント手を合わせてみないとね。
――山本戦を見てて、「こうすりゃいいのに」とか、思ったりはしませんでした？
田村　それはやっぱり、やる側と見る側では大きな違いがあるから。見てる人はけっこう簡単に「ああすりゃいいじゃないか」とか思うんだけど、実際それはなかなかできないんだよね。
――TVゲームのコントローラーで動かすみたいな感じじゃないわけですね。「ここで、いけ！」みたいな（笑）。
田村　そうだよね（笑）。
――やっぱり端から見ていると、山本（憲尚）さんなんかも、ローキックのいいのが入ってたから、「なんでローでいかないんだろう？」って思ったりもしたんですけど。

六本木で大きな黒人に喧嘩を売ってから俺に文句言ってこいって（笑）

田村　いいの、入ってた？
――と思いますけど。
田村　何回くらい？
――単発でしたけど、サップが顔をしかめてましたよね。
田村　そう……ホントに？
――写真でもこ～んな顔をしてましたよ。サップが。
田村　それ、たまたまじゃないの？
――たまたま（笑）。
田村　効いてるようには見えなかったけどねえ。
――え～、田村さんの判定では、山本選手のローキックはまったく効いてないとの公式発表がなされました（笑）。
田村　アハハハ！　わけわかんない（笑）。（ボブ・サップの試合記事を見ながら）でもさぁ、まず、見た目が怖いよね。筋肉が凄いし。腕なんかすごいよ！
――すごいですよね（笑）。
田村　ひどいよ、これ。どうするよ、これ？　こんなの目の前で見るんだよ。
――この身体の関節を極めるとなると、どこを極めるんですか？
田村　どこかねぇ……いや、これはわからん。これはもうわからんよ！
――いまはどんな練習をしてるんですか？
田村　いや、普通普通。今までと変わりなく、いつも通りの練習。だから、本能に任すしかないよね。

『フライデー』（6月27日号）に掲載された、「K―1乱闘男が反則負け直後にエステ美女ともう一戦」の記事を喰い入れるように見て、サップ研究に余念がない田村。K―1の試合後に、さらに60分間、中国美女にマウントから"攻められ続けた"サップの恐るべきスタミナを目の当たりにした田村は、驚きの表情を隠せない。

2m、171kg巨漢が大暴れの後に「フェゴ」
K-1乱闘男が反則負け直後にエステ美女ともう「一戦」

FRIDAY 読者アンケート

――いちおう、相手はK―1の秘密兵器じゃないですか。もともとボブ・サップは石井館長が契約して、引っ張ってきた選手なんですよ。
田村　あ、そうなの？　ふ～ん。
――田村さんはこの先に、vsK―1とかって興味はないんですか？
田村　う～ん、全然興味がない。全然興味がないけど、話があれば興味がある。
――うわぁ、汚い言い方ですねぇ（笑）。
田村　なんで？　話がないんだから。
――話が来ると見越してないですか？
田村　いやいや。まあ、それはない話だからね。ない話には興味はないし。オファーがあればの話だから。
――じゃあ、例えばミルコ・クロコップ戦のオファーがきたらどうします？　もちろん体重差はありますけど。
田村　だから、それも同じだよね。今は興味がない。今は興味がないけど、オファーがく

前回あれだけ大きなコケ方をしたから
もう変なプレッシャーはない

KIYOSHI TAMURA

れば興味がある。

——それ「オファーが来たら受けます」って言ってるようなもんじゃないですか（笑）。

田村　いやいや（笑）。その段階になってみないとわからないよ。だってね、いきなり「結婚はしないんですか？」みたいな質問でしょ？　好きな人つくって、彼女つくって、そっから付き合ってみて、じゃあ結婚っていう手順があるんだから。

——結婚相手として、今までは大きな人は嫌だったけれど、一回大きい人と付き合ったから、もう大きな人は大丈夫っていう部分はないですか？（笑）。

田村　それ、わけわからない！（笑）。

——要は体重差があっても、やりたいんじゃないかなと思ったんですけど（笑）。

田村　まあ、そのうちね（笑）。

——そのうち（笑）。まぁ、とりあえずは目の前に大きな敵がいますからね。これはもう「頑張って下さい」としか言いようがないんですけど。ホント、今度の試合はケガが一番怖いですよね。

田村　そうねぇ。ケガはやっぱり怖いよね。

——シウバ戦のようなプレッシャーはないにしても、「もしかしたら壊されちゃうんじゃないか」という怖さはないですか？

田村　いや、壊されるというより、その全部含めての恐怖心というのはあるから。それはもう、決まった以上しょうがない。ボクと同じ気持ちを味わいたい人は、六本木に行って大きな黒人に喧嘩を売れ、と。それをやんないヤツはオレのことをウダウダ言うな！

——ガハハハハ！

田村　（テレコに向かって）わかったか、この野郎！　さっきのゲームの話じゃないけどさ、自分の思った通りに動くと思ったら大きな間違いだから。（テレコに向かって）この野郎！　やってみろ！

——ガハハハハ！　でも、こういう試合って、田村潔司にしかできないかなっていう気もしますよね。オファーを受けるだけなら、できる人はいるでしょうけど。『PRIDE』みたいな大舞台で、こういうオファーが来る人ってなかなかいないでしょうから。

田村　そうだよね。逃げたくても逃げられないことがあるからね。

——ある時は、自分の信念を曲げなければいけないときもあると。

田村　いや、その一言で片づけられると語弊があるんだけど。一般の会社でも同じことがあるんじゃないの。やりたくない仕事でも、どうしてもやらなきゃならないことって誰でもあるでしょ？　そういう時期なのかな、オレがね（笑）。

——無差別級なんて、やりたくないけど、やらなきゃないないときがあるんですね（笑）。

田村　そうそうそう。階級別っていうのは、今でも訴えてるんだけど、さっきも言ったけどやるときはやらなきゃいけないし。やらないことによって格闘技界の流れが変わったりするだろうし。そういうところでやっぱり、時間をかけてでもケンカを売っていかなきゃいけないよね。あっちに。

——『PRIDE』にですか？

田村　そう『PRIDE』に。でも、倍の体重の試合を受けちゃったのはオレなんだよなぁ。……ちょっと矛盾してるな、オレは。うん、矛盾してるな。

——ガハハハ！　突然、自己矛盾を確認しないで下さい（笑）。

田村　俺の中でマッチメイク側と選手側とが入り交じってんだよね。マッチメイク側としてみれば、そういうカードを組まないと、面白くないし、客を呼ばないといけないし。選手側の立場から言うと、階級制っていうのは絶対必要だし。そういうのもけっこう考えて意見しないといけないような立場でもあるん

周りはサッカーでバカ騒ぎしてるけど
俺は格闘技が一番だと思うんで

で。どっちみちオレら、今やってる選手というのは、なんらかの犠牲にならなければいけないよね。

——プロ競技として確立するための実験台でもあるという。

田村　そうだよね。でも、今はまだ、そんなにルール的に確立はされてないけど、格闘技って凄く素晴らしいスポーツだと思うし、人を育てるという部分でも、なんか人生みたいなもんだと思うんで。格闘技というスポーツはみんなにやってもらいたいという気持ちは凄くあるんだよね。……あと、サッカーに一言物申したい！

——アハハハ！　なんですか突然。ワールドカップの話ですよね？　面白そうなんで、ゼヒお願いします（笑）。

田村　やめとこうかな。……やっぱり敵つくるからやめとこ。

——いやいや、聞かせてくださいよ（笑）。

田村　ていうかね、なんであんなに騒ぐの？

——すごいですよねぇ。『紙プロ』編集部は国立競技場から歩いて15分くらいなんですよ。

田村　うるさいでしょ？

——もう声が聞こえてくるんですよ、歌が。パブリックビューイングってあるじゃないですか？　ただ、国立競技場で画面を見ながらみんなで応援するっていうやつがあるんですよ。そこに入るために、ウチの会社まで列がきているんですよ。

田村　入りきれないで？

——入場で待ってる人達が、ずーっと徒歩15分くらいの距離を、一駅半くらいの列が来ちゃってるんですよ。

田村　あ、そう。異常だよね。おかしいよ。サッカー好きな人はしょうがないんだけど、好きじゃない人が、ああやって急に応援するのってどうなの？　って思っちゃうんだけどね。

——今までサッカーなんて見てなかったでしょ？　って（笑）。

田村　橋から飛び降りる人は見てないでしょ。

——ガハハハハ！　ああいう人は〝にわかファン〟ですか（笑）。

田村　あれはちょっとどうなのかね。選手が注意しなきゃいけないよね？

——日本代表が「橋から飛び降りないように！」って訴えるわけですか（笑）。

田村　橋からもそうだし、新宿で花火とかやってるでしょ？　あれはえらい迷惑ですよ。

——どこもエライ騒ぎみたいですからね。

田村　ねぇ。

——興行面で『PRIDE』にも影響があると思うんですよね、きっと。同じスポーツ娯楽として、W杯期間中は、格闘技まで目が向かない人が結構いるんじゃないかと。

田村　うんうん。ちょっと、話違うんだけど、格闘技ってやっぱり、自分が好きじゃないとできないでしょ？　でも、対世間っていう部分で他のスポーツと比べると、やっぱりもっとがんばんないとなって気持ちもあるし。オレなんかもそうだけど、ガンツなんかでも、やっぱり格闘技とプロレスって他のスポーツより一番だなって思うでしょ？

——もちろん一番面白いとは思いますね。

田村　だから、選手にとってもそういう気持ちが大事なのかなと思って。周りがもう、サッカーでバカ騒ぎしているヤツらがいるけど、ああいうんじゃなくて、自分のやってる仕事に対して、自負というか、そういう気持ちがあればいいのかなって。

——要約すると「バーリトゥードで喜んでる人は、バカじゃないかと思います」と語って物議を醸した田村潔司が、今回は「サッカーでバカ騒ぎしてる人は、バカじゃないかと思います」ということですね（笑）。

KIYOSHI TAMURA

田村　アハハハハ！　そんなこと言ってないって（笑）。やめとこうかな、今のは。

——いや、田村さんによる「格闘技はスポーツの中でNO・1」宣言ですから、これはすばらしいですよ。

田村　まあ、競技人口では絶対にかなわないけど、そういう問題じゃないんだよね。他にだっていいスポーツはあると思うし。例えば、ラクロスとか……あと、なんだろうね。

——なんで、一番最初に出てくるのがラクロスなんですか！（笑）。

田村　わかんないけど（笑）。でも、どんなスポーツをやっている選手人達でも、その人なりのプライドがあってやっぱりやっているわけだから。その気持ちがやっぱり一番大事なのかな。だから僕らも、もっともっと頑張らないといけないな、と思いますよね。

——わかりました。とりあえず、6月23日は、ボブ・サップにも、ワールドカップにも負けずに頑張ってください！（笑）。

【02年6月15日／登戸・カラオケ『Uカラ』にて収録】

6.23「PRIDE.21」
直前スクープ
インタビュー

ロシアン
トップチーム

噂は本当だった！
リングスを震撼させた
“最強軍団”が
遂に「PRIDE」に進軍!!

エメリヤーエンコ・ヒョードル
ラバザノフ・アフメッド
ウラジミール・パコージン代表

E-mail interview

かねてから噂されていた“リングス・ロシア”勢の『PRIDE』参戦が遂に決定した。今年下半期の『PRIDE』マットの勢力図を必ず変えるであろう今回の参戦。彼らは、はたしていま何を考え闘いに備えているのか？ Eメールインタビューにて答えてもらった。

構成／堀江ガンツ
designed by さおとめの事務所

“リングス・ロシア”ことロシアン・トップチームの総監督

ウラジミール・パコージン

2・15リングスラストマッチ後、ハンが「ボスの指示にしたがう」と語ったように、ロシア勢の全権を掌握する総監督。『PRIDE』に参戦するまでの経緯、現在のロシア勢の状況、そしてリングス、前田総帥との関係にいたるまで、じっくりと答えてもらった。

まず我々の試合を見て下さい その後またお話しましょう

ウラジミール・パコージン■リングス・ロシア代表を長く務めた、ロシアン・トップチームの総監督。本国ロシアではスポーツ省格闘技委員会副委員長を務めるエリート官僚。V・ハンらが全幅の信頼を置くロシアのボスである。

Q 『PRIDE』にはどんなイメージがありますか？

・プライドのスタイル、ルールは、我々が11年間参加したリングスと近いと思います。もちろん、『PRIDE』のルールは、より厳しいので、選手はいろいろなことを学ばなければなりません。また、多くの最高レベルの選手が参加していることが素晴らしい。彼らからも学べる点が多くある筈です。我々にとって厳しい道だと思う。だからこそ、大いなる魅力を感じざるを得ないのです。

Q その『PRIDE』には以前から出場したかったですか？

・日本に来てからいつも参戦してきたリングスは、我々にとって故郷のようなものでした。リングスと我々の関係は実にうまくいっていました。ようするに、我々は満足してきましたし、リングス以外のことを考えたことはありませんでした。

Q 今回から『PRIDE』に参戦する一番の目的は何ですか？

・最高の結果を得ること、そして、リングス時代のように最高の技術を見せることです。

Q 4月に日本の格闘技雑誌で「6月のPRIDEに出る」という趣旨のパコージン氏のインタビューが掲載されましたが、あれは間違いだったと聞きます。その真偽を聞かせてください。

・4月に出た日本の格闘技雑誌には、電話インタビューという形で、私（パコージン）の「6月の『PRIDE』参戦が決定した」という発言が記事になっていましたが、それは誤訳であり、そういう発言をした事実はありません。これについては5月6日の『プレミアム・チャレンジ』でも、雑誌社に対し口頭で厳重に注意しています。『PRIDE』参戦の意志は確かに以前からありましたが、4月の時点で6月の『PRIDE』に参戦が決定していたという事実は100%ありません。むしろ、その記事をきっかけに、『PRIDE』のワールドワイドなネットワークに通じている、ある国の仲介者から「事実関係を確認したい」という形でコンタクトがあったのです。

Q バーリ・トゥードのルールに不安はないか？

・『PRIDE』のルールは、これまでやってきたものと異なっていますが、我々はこれに適合することが出来ます。最も大事なことは、試合のいくつかをビデオで見たが、レフェリーの判断が適切であり、怪我をするリスクを最小限に抑えていることです。細かい点は、会場で実際に試合を見てからでないと、何も言えません。

Q ロシア勢は、普段バーリ・トゥード用の練習はしているのですか？（主に今回参戦の2選手。それ以外のロシア勢の練習方法も教えて下さい）

・プライドでの試合に向けて、準備してきました。今回参加する2人の選手は、対戦相手及び自分のコンディションに応じたプランをたて練習してきました。

Q パコージン氏から見て、ヒョードル、ラバザノフは、世界の強豪が集まる『PRIDE』に通用すると思いますか？

・もし我々の選手を信じることが出来なければ、また可能性がないならば、『PRIDE』で試合をすることにはなりませんでした。『PRIDE』の試合に慣れることは、それほど容易なことではないと思います。また、新しいルールは、どの選手にとっても高いハードルになると思います。

Q ヴォルク・ハンは今回のロシア勢の『PRIDE』参戦に関して何と言っていますか？

・ハンとは今回のことについては、何度も話しをしました。彼は、ロシアの選手が『PRIDE』でも活躍出来ると確信しています。

Q ヒョードル、ラバザノフはロシアでバーリ・トゥードはやったことがあるのですか？ あれば結果はどうでしたか？

・ラバザノフとヒョードルの2人は、バーリ・トゥードの試合の経験があります。そうでなければ、今回の参加は難しかった筈です。ラバザノフは、バーリ・トゥードのロシアのチャンピオンになったことがあり、ヒョードルも何度か勝利しました。

Q セーム・シュルト、ゲーリー・グッドリッジの試合を見たことはありますか？

・ビデオで見ました。

Q シュルト、グッドリッジに勝つ自信はどのくらいありますか？ また、どんなところに気をつけたいですか？

・ロシアの選手が勝つ可能性はあると思います。しかし、具体的な数字（確率）を言うことはできません。なぜならば、実力の似通った同士の試合だからです。2人の選手が勝利のために全力で闘うことは、間違いありません。

Q ヴォルク・ハン、アンドレイ・コピ

ィロフも今後『PRIDE』に参戦する可能性はあるのでしょうか？

・もちろん可能性は高いです。ただし、彼らの場合は時間が必要ですね。というのは、ハン、コピロフともにスポーツ以外にビジネスに多くの時間を取られているからです。

Q アイブル、オーフレイム、田村、山本憲尚ら、元リングスネットワークの選手が『PRIDE』であまり良い結果が出ていないことをどう思いますか？

・田村やオーフレーム、その他のリングスの選手のことですか？　実際に試合をみていないので、答えようがありません。

Q 『PRIDE』出場候補選手は、無名選手も含めてロシアにどのくらいいますか？

・20人ほどいます。

Q ハン、コピィロフ、ラバザノフは、リングス時代、揃ってノゲイラに敗れていますが、機会があればリベンジさせたいですか？

・ほぼ互角な戦いでしたが、ハンはノゲイラに敗れています。試合前に重病で2週間ほど入院していたわけですが、一方的に負けたわけではありません。リベンジはぜひ果たしたいと思います。

Q 今回の参戦にあたって前田日明CEOとは話をしましたか？　また、どんな話になりましたか？

・ミスター・マエダとはもちろん話し合いを持ち、ミスター・マエダの理解を得て、今回の参戦に至りました。今後も何か重大な決定をする際には、ミスター・マエダのアドバイスをもらうつもりです。

Q 前田日明 or リングスは、パコージン氏にとって、どういう存在でしたか？

・ミスター・マエダとは、11年も一緒にやってきました。決して忘れられないことです。お互いに成功や失敗がありましたが、ミスター・マエダと私は同じ立場でお互いに向き合ってきました。私もプロスポーツビジネスに携わって30年になりますが、この11年間、ミスター・マエダの協力を得て実に多くのことを学びました。本当にミスター・マエダに感謝しています。

Q リングスヘビー&無差別級王座は返上という形になるのでしょうか？

・これはミスター・マエダに聞いてもらったほうがいいでしょう。

Q 「リングス・ロシア」の活動（興行 or 大会）はこれからも続けますか？　また、名前を変えて活動を続けることはありえますか？

・リングスはロシアで愛されています。ロシアでの試合も続けていくでしょう。ニコライ・ズーエフは、エカテェリンブルクにスポーツ・センターを建てていて、ここで試合をしたり練習生の指導などにあたることになるでしょう。

Q 「第2次リングス」がスタートした場合、あるいは前田日明が新しい格闘技活動を始めたとき、参戦 or 協力することはあり得えますか？

・具体的に何も決まっていませんし、話を聞いていないので、具体的に何を協力していくかは決まっていません。しかし、ミスター・マエダが今後、格闘技大会 or 興行をおこすときは、前向きに協力したいと思っています。

Q リングスのファンに何かメッセージはあるか？

・既にリングスは、活動を停止しています。そこで私は、リングスのファンのみなさんにお願いがあります。我々を忘れないでほしい、と。我々の試合をこれからも応援してください。

Q 6月9日にサッカーのワールドカップで、ロシアは日本に敗れてしまいましたが、土壌は違うとはいえ、「ロシアの強さを日本のファンの前で見せてやる！」という気持ちはありますか？

・サッカーでは、ロシアは残念ながら日本に負けました。私はサッカーの専門家ではありませんが、試合の前から日本がロシアに勝つだろうと予想していました。客観的に見ると日本の選手のレベルの方が高かったからです。スポーツの世界はこうしたものです。オリンピックやその他の国際大会をみれば、スポーツに関してはロシアの優位に気付かれるでしょう。『PRIDE』では、先ず試合を観ましょう。その後で、また話しましょう。

この『PRIDE』のリングで師匠ハンのように成功したい

ロシア白兵戦大会を制したハンの秘蔵っ子

ラバザノフ・アフメッド

新生「ロシアン・トップチーム」のトップバッターとして『PRIDE』に参戦する、ラバザノフ・アフメッド。実戦を想定した戦場の格闘技・ロシア軍白兵戦大会で4度優勝。ヴォルク・ハンの秘蔵っ子は、『PRIDE』に衝撃を与えることができるのか？

ラバザノフ・アフメッド■1978年アゲスタン共和国出身。ヴォルク・ハン格闘術所属。ロシア版アルティメット、ロシア白兵戦大会で優勝の経験を持つ、ヴォルク・ハンの秘蔵っ子。ヴァレンタイン・オーフレイムを3分で破ったアキレスは強烈。190cm、94kg。

Q 『PRIDE』にはどんなイメージがありますか？　またはどんな情報を知っていますか？

・『PRIDE』は日本でとても人気があると聞いています。私はバーリ・トゥードの試合経験がロシアでありますが、早く『PRIDE』の試合に慣れたいです。

Q その『PRIDE』には以前から出場したい気持ちがありましたか？

・もともと私はこうした試合に参加したいと思っていました。

Q 今回から『PRIDE』に参戦する一番の目的は何ですか？　『PRIDE』でトップを取りたいと思いますか？

・リングスで人気を獲得したハン選手のように人気を得たい。『PRIDE』でNO・1になりたいです。

Q バーリ・トゥードのルールに不安はありませんか？

・ルールは、私に合っていると思います。

Q 普段バーリ・トゥードを想定した練習はしていますか？

・もちろん参加する以上は練習は不可欠で、充分練習できなければ、参加することは出来ません。いつも『PRIDE』をイメージしてトレーニングをしています。

Q 具体的にいまはどこで、どんな練習を、どのくらいしているか？

・慎重にトレーニングしています。トゥーラでハントと共同で作ったプログラムに基づいた練習をしてきました。

Q 『PRIDE』で強いと思う選手&闘ってみたい相手は誰ですか？

・知りません。

Q いま『PRIDE』のヘビー級王者はノゲイラですが、ハン、コピィロフ、そしてラバザノフ選手も、リングス時代にノゲイラに敗れています。そのノゲイラとは『PRIDE』でも闘ってみたいですか？

・もちろん闘ってみたいです。しかしま

6.23「PRIDE.21」“PRIDEの門番”ゲーリー・グッドリッジと激突

鳴り物入りで初参戦する、ロシアン・トップチームをまず迎え撃つのはやはりこの男、グッドリッジ。PRIDEの門番と言われる彼だが、着実に実力を上げており、ハードルは高くなるばかり、オーフレイムも返り討ちにあった門番を白兵戦王は仕留めることができるか？

だまだ経験をつまないといけません。

Q 今回の闘いを通して、日本のファンになにを見せたいですか？ またはどんなところを見てもらいたいですか？

・まず、私はお詫びしなくてはなりません。これまで日本であまりいい試合をお見せ出来なかったからです。

Q リングスは残念ながら活動休止となってしまったが、リングスという場は、ラバザノフ選手にとって、どういう場でしたか？

・リングスは私にとっていろいろな意味を持っています。リングスのおかげでプロの選手になれました。ハン選手のような素晴らしい格闘家になりたい。

Q 日本では、まだ本領を発揮していないが、今回は発揮できそうか？

・勝利のためにすべてを尽くしたい。そのためのトレーニングをしてきたわけですから。

Q 対戦相手のゲーリー・グッドリッジの試合を見たことはありますか？ 見たことあるなら印象は？

・ビデオで観ました。とてもタフな試合になると思います。もちろん彼にも弱点はあります。体力的には優れていますけど。

Q グッドリッジに勝つ自信はどのくらいありますか？ また、どんなところに気をつけたいですか？

・勝ちたい、それだけです。

Q 試合まで日がないが、現在の心境を聞かせてください。

・とにかく早くリングに上がりたい。この間練習してきたことを見せられれば、良い結果が得られると思う。

無敵のリングス2冠王

エメリヤーエンコ・ヒョードル

遂に「ノゲイラを倒す可能性が最も高い男」「リングスが生んだ最強最後の怪物」の『PRIDE』参戦が決定した。リングスで無敵を誇った強すぎる男は、『PRIDE』でどんな闘いを見せてるのか。ロシアから静かなる自信をみなぎらせた言葉が送られてきた。

勝つ自信がなければ参加しません。すべては試合当日わかることでしょう

エメリヤーエンコ・ヒョードル■1976年、ウクライナ共和国出身。96年柔道ロシア選手権、97年サンボロシア選手権、97年サンボ欧州選手権を制す輝かしい実績を持つ。その後、「ヴォルク・ハン格闘術」に入門。リングスではヘビーと無差別の2冠を制す。

Q 『PRIDE』にはどんなイメージがありますか？ またはどんな情報を知っていますか？

・『PRIDE』は、素晴らしい大会であり、自分の力を確かめる場でもあると思います。

Q その『PRIDE』には以前から出場したかったか？

・リングスが終わったあとは、参加したいと思いました。しかし、もっと経験をつみたかった。

Q 今回から『PRIDE』に参戦する一番の目的は何ですか？ 『PRIDE』でトップを取りたいと思いますか？

・私に出来ること、自分の能力を確かめてみたい。トップに立ちたいという希望を持っています。

Q バーリ・トゥードのルールに不安はありませんか？

・ルールは別に問題ない。私に合っていると思う。私は、決められたルールで勝利のために闘うだけです。

Q ふだんバーリ・トゥードを想定した練習はしていますか？

・もちろん今は、『PRIDE』の試合の準備中ですから試合をイメージして練習しています。

Q 具体的にいまはどこで、どんな練習を、どのくらいしていますか？

・トゥーラ、ペルゴルド、エカテリンブルグでいろいろなトレーニングを積みました。

Q 対戦相手のセーム・シュルトの試合を見たことはありますか？ また見たことがあるなら印象はいかがですか？

・ビデオで観ました。彼のテクニックについてのある程度のイメージは持っています。

Q シュルトに勝つ自信はどのくらいありますか？ どんなところに気をつけたいですか？

・勝つ自信が無ければ『PRIDE』には参加しません。いろいろと考えていますが、試合当日にわかることです。

Q 『PRIDE』で強いと思う選手&闘ってみたい相手は誰か？

・知りません。

Q いま『PRIDE』のヘビー級王者はノゲイラですが、ハン、コピィロフ、ラバザノフが、リングス時代に揃ってノゲイラに敗れています。ノゲイラとは闘ってみたいと思いますか？

・ノゲイラ選手の試合は見たことがあります。いい選手です。よい技術を持っていると思います。将来的に彼と闘ってみたいです。

Q 今回の闘いを通して、日本のファンになにを見せたいですか？ またはどんなところを見てもらいたいですか？

・我々を応援していただければ、大変うれしいです。

Q リングスは残念ながら活動休止となってしまいましたが、リングスという場は、ヒョードル選手にとって、どういう場でしたか？

・リングスで私は、プロの選手としてスタートを切りました。最初の勝利もリングスでした。リングスを通じて日本を知る機会を得ました。

Q 日本で闘った中で、一番強いと思った選手は誰ですか？

・ヒカルド・アローナです。

Q 試合まで日がないが、現在の心境を聞かせてください。

・試合まで時間がほとんど残っていませんが、最後まで準備します。出来るだけ良いテクニックをお見せしたいと思います。みなさん、応援して下さい。

6・23「PRIDE・21」〝パンクラス王者〟セーム・シュルトと激突

リングスとパンクラスの無差別級王者対決実現！ 最強の男・ヒョードルのPRIDEデビューの相手は、ヘビー級トップコンテンダーである、シュルトに決定。『PRIDE』無敗を誇る〝巨大格闘ロボット〟を〝怪物〟は倒すことができるか？

RUSSIAN TOP TEAM

プライド初上陸

記念Tシャツ

Здравствчйте!

Прекрасно!

夏ダー! Tシャツダー! 新作ダー!

ロシアン・トップ・チームTシャツ

カラー
レッド
定価
¥3,800
サイズ
S・M・L・XL

カラー
ホワイト
定価
¥3,800
サイズ
S・M・L・XL

(紙のプロレス)紙Tシャツ

カラー
ネイビー
定価
¥3,000
サイズ
S・M・L・XL

カラー
ホワイト
定価
¥3,000
サイズ
S・M・L・XL

今回皆様の要望に応えまして、XLサイズを用意しました。
S・XLは希少在庫の為、注文はお早めに!!
通販方法はP160参照して下さい。
WHO ARE U・RUSSIAN TOP TEAM　Tシャツは、『PRIDE』の会場でも買えるぞ!!

6.23「PRIDE.21」さいたまスーパーアリーナ

"NOAH"が驚愕の参戦！ 杉浦貴vsダニエル・グレイシー

怪物解禁

"秘境"に潜む純プロレス最後の刺客 満を持して『PRIDE』出陣 新グレイシーと激突！

杉浦貴

純プロレスの怪物、バーリ・トゥード解禁！
デビュー当時からノアのリングで凄玉ぶりを発揮し、密かにバーリ・トゥード特訓を積んできた杉浦貴がいよいよその本性を剥き出しにする！　怪物の鎖はいま解き放たれた！

文／スモーノブ
designed by さおとめの事務所

「よし、俺が倒してやる！」

名古屋のブラジリアン・キャバクラで、隣に座ったオッパイの大きい女の子がビクトー・ベウフォートのファンであることを聞くやいなや、杉浦貴はこう断言した。キャバクラでの冗談だと笑うなかれ。男として正直すぎる下世話なモチベーションが、プロとしての〝スケベ心〟と直結しているのが杉浦の最大の魅力なのだから！

その格闘キャリアを遡ってみると杉浦が怪物と呼ばれるに値する男であることは一目瞭然だ。アマチュア・レスリング（グレコローマン）では国体優勝3回、全日本社会人選手権優勝2回、全日本選手権優勝1回という輝かしい実績を誇っている。オリンピック出場の夢は果たせなかったものの、同じ自衛隊OBの本田多聞とのつながりから全日本プロレスへ。当時の社長・三沢光晴が一度会っただけで入団を認めたという話は、杉浦が漂わせている大物感やその肉体の凄みを物語るエピソードと言えるだろう。ZERO-ONEとの対抗戦では先輩を差し置いてデビュー4ヶ月で出場し、あのアレクサンダー大塚をグラウンド・レスリングで完封した。プロレスの試合でも力皇猛などを軽々とリフトしてしまう驚異的な体力の持ち主だ。純プロレスのリングでは明らかに規格外の存在なのである！

昨年4月のZERO-ONE武道館大会で、杉浦はアレクを相手に本性むき出しのつばぜり合いを展開。デビュー4ヶ月ながら、レスリング技術でアレクを圧倒し、「杉浦強し」を強烈に印象づけた！

そんな杉浦、じつは自衛隊時代から『PRIDE』や修斗の試合を熱心に観戦していたことを本誌35号のインタビューで語っている。そのインタビューはNOAHの事務所で行われていたため、杉浦が周囲の選手やフロントの目を気にして小声でしゃべっていたのが印象的だった。NOAHという団体の中で自主規制し続けてきた怪物が、このたび念願かなって『PRIDE』出場の夢は果たしたのだから、これはじつに喜ばしいことではないか？　自主規制し続けてきた〝本能の格闘獣〟が、その才能を満天下に知らしめる時が来たのである！　デビューから約1年半ということもあり、杉浦の『PRIDE』参戦には「NOAHを背負って」とか「プロレスラーを代表して」といった悲壮感はない。こうした状況は、杉浦自身もリラックスして試合に臨めるので、プラスに作用するはずだ。

NOAHから独立していち早く『PRIDE』参戦を果たした高山善廣が早くからその才能に着目し、『PRIDE』出場前のスパーリングパートナーとして杉浦を指名したため他団体の道場で出稽古を積んできた実績もある。現在は高田道場で桜庭和志らと共にスパーリングを行っているので準備にぬかりはない。他誌のインタビューでは「極められまくって自信喪失中」と語っているが、その潜在能力は誰もが認めるところ。その発言も、シャイな杉浦の自主規制という可能性を否定できない。心配される打撃への対応は自衛隊でボクシング特訓を積んでいるというから、こちらもどんな才能を秘めているのか興味深い。いかつい体型は、和田〝最強〟良覚を彷彿とさせるだけに豪快なKO劇も期待したいところだ。

気になる対戦相手だが、実力未知数のダニエル・グレイシー。ヘンゾやハイアンの従兄弟ということは、おそらく技術も気性も兼ね備えた選手なのだろう。新たなるグレイシーの出現である。常に目立つことを意識している杉浦にとって、グレイシーと対戦できる機会は非常においしいはずだ。妻子もちながらも「キャバクラ大好き」を公言してはばからない杉浦が、お店でモテるためには「グレイシー狩り」の勲章が絶対に必要不可欠！　『PRIDE』で勝つことによって、杉浦がキャバクラにおいて得られるメリットは計り知れない。杉浦が持ち前の〝スケベ心〟を120％発揮するためには、絶好の舞台が整ったと言えるだろう。ここで実績が得られれば、〝心のライバル〟ビクトーへの挑戦にも一歩近づくことになる。プロレスファンのために、そして何よりも自分自身のために、杉浦には秘めた才能を全開にして是非とも勝ってほしいと心から願わずにはいられない。

ヘンゾの秘密兵器 遂に公開

ダニエル・グレイシー

「相手は〝藤田2世〟だって？ ノープロブレム！」

松井大二郎を破ったホドリゴ・グレイシーに続いて、新たなグレイシーが「『PRIDE』に来襲する！

ダニエル・グレイシーは、グレイシー一族中最もバーリトゥードに適した〝ヘンゾ軍団〟の一員。ヘンゾが『紙プロ』NO・48で語っていた、ヘンゾ道場で「特にオススメ」の男・ダニエルは、ヘンゾ・ハイアン・ハウフの従兄弟にあたり、幼少期はずっとヘンゾやハウフと共に過ごしていた。幼き頃から、グレイシー一族としての精神論・技術を叩きこまれた上で、ヘンゾ軍団の技術と狂気を身につけた男が『PRIDE』に登場するのである！　「ダニエル、君の相手は、次世代の藤田と言えるようなレスリングの強豪だ。大丈夫か？」　この問いに、ダニエルはニヤリと笑ってこう答えた。「ノープロブレム。問題ない」。

ダニエル・グレイシーは、こちらの想像以上の強豪だ。日本人期待の星・杉浦貴はグレイシーの技術に撃破されてしまうのだろうか!?

写真／Luca Atall　協力／Booker K

負傷欠場したコールマンに代わって
ドン・フライと対戦!

6.23『PRIDE.21』
さいたまスーパーアリーナ

自ら設定した高い高いこの山を
どうやって登るつもりなのか!?

高山善廣という名の“エベレスト”

真夏の格闘技戦争直前!
生き残るのは誰だ!?

大山峻護 vs ヘンゾ・グレイシー

ギルバート・アイブル vs ジェレミー・ホーン

アンデウソン・シウバ vs パウロ・フィリオ

ワールドカップにカチ喰らわせろ!
6・23『PRIDE.21』決戦

◆会場　さいたまスーパーアリーナ
◆開場／14:00　試合開始／16:00
◆入場料／VIP席100,000円(専用入場ゲート&グッズ付)
RRS席25,000円　スタンドS席15,000円　スタンドA席7,000円
◆会場アクセス／JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩3分、JR埼京線北与野駅から徒歩7分
◆お問い合わせ／ドリームステージエンターテインメント
TEL.03-5775-5700

〝試合1週間前〟に出陣決定! まさしく怖いもの知らずの高山善廣が、脊椎損傷負傷をしたコールマンに代わり、〝アメリカの星一徹〟ドン・フライと対戦する! 7・20の新日本・札幌、8月のG─1で〝高山の夏〟を演じるべく動いていただけに、日程的には無謀とさえ感じられる今回の電撃参戦だ。

しかし、高山は「『ノー』というのは簡単だけど、普段あーだこーだ言っているノーフィアーの高山としては、収まりがつかないんで。自分のバックギアを壊して前進するのみ」と、15日に行われた会見で言い放った。自身が持つ〝プロレスラー像〟を追求するために、フライ戦に臨むことを決意したのだ。しかし、そのプロレスラーとしての心意気は十分に賞賛に値するのだが、『PRIDE』においていまだ未勝利の高山には、その〝心意気〟だけではなく〝強さ〟も見せつけることが重要な一戦となってくる。

全てにおいてBADな環境が揃ったといえる今回のフライ戦は、土壇場、崖っぷちの闘いになってくるが、自ら設定した高い高い「高山善廣という名の〝エベレスト〟」。これをどうやって高山は登るつもりなのか? これは、フライという超強敵を選んだ自分自身との闘いになりそうだ。

一方、網膜剥離に見舞われ、一時は選手生命の崖っぷちに立たされていた大山峻護が、万感の想いを胸に復活をはたす。相手はヘンゾ・グレイシー! このカードは以前、ヘンゾの負傷で流れた経緯があった。大山にとってはあらゆる意味で仕切り直しの一戦となる。

続いては「もう、ブラジル人はカンベン!」と日本人ファイターが後に嘆くのが目に見えるような、脅威の的となる実力派ファイター同士の激突! 修斗最後の幻想と言われた桜井〝マッハ〟速人を破ったアンデウソン・シウバと、『DEEP』において、パンクラス勢をことごとく蹴散らしてきたパウロ・フィリオ! シュート・ボクセvsブラジリアン・トップチームという血を血で洗う軍団抗争の図式も絡んでくるだけに、一時も目が離せない一戦になるだろう。

そして、7・14K─1で、あのミルコ・クロコップに、『PRIDE最狂の刺客』として挑戦するアイブルが、手慣らしとばかりに久しぶりの『PRIDE』参戦!……とはいったものの、〝アメリカが生んだ究極のトータル・ファイター〟ジェレミー・ホーンが相手ということもあり、ミルコ戦前の手慣らしでは済まされない内容になるのは確実だ。ホーンに喰われるのか、ミルコに喰われるのか? それとも逆にアイブルが2人とも食い尽くすか!? しばらくはアイブルからは目が離せない!(サミングも含めて)。

田村vsサップ、ロシア勢や杉浦参戦以外にも興味深いカードが並んだ『PRIDE.21』。

W杯の血の騒ぎ方よりも、もっともっと根源的な血の騒がせ方を味わいたいヤツは、23日、たまアリに集まれ!

(ジャン斉藤)

I'VE NEVER LOST.
(but I have been a little behind when time ran out)

5・2新日東京ドームで着用!
高山善廣
「ノーフィアーTシャツ」

高山本人がデザインをセレクトしたニューノーフィアーTシャツは通信販売をしているぞ! 高山本人同様のスケール感をTシャツから味わえ!

【通販要項】 ¥4200(送料込み。複数枚申込みの場合は要連絡)。住所・氏名・年齢・電話番号・サイズ(S・M・L・XL)を明記の上、現金書留で申込みください。先着100名様にはノーフィアーステッカーをプレゼント!

【現金書留郵送先】 〒150─0011東京都渋谷区東2─21─9─803号「高山堂」
TEL. 03─5464─2806

“ SHOOT BOXING WORLD TOURNAMENT ”

S-cup

7月7日(日)
16:00ゴング
横浜文化体育館

リングスKOK一夜限りの復活
ヴォルク・アターエフ参戦正式決定!

昨年10・20リングス代々木大会で総合格闘技の洗礼を浴びた緒方が、背水の陣で出撃。相手は強豪が予定されているという。

WSBA世界ウェルター級王者
土井広之

ゴールデントロフィー王者
サミー・スチアボ

WKA世界Sウェルター級王者
アンディ・サワー

ストームエタイ王者
マノエル・フォンセカ

DRAKA世界Sミドル級王者
アンドレイ・スタチバン

散打70kg級王者
郭裕薫

WMTA世界Sウェルター級王者
ダニエル・ドーソン

JSBA日本Sミドル級1位
後藤龍治

シュートボクシングが総力を結集した〝立ち技バーリ・トゥード〟のスーパーイベント『S−cup』の概要が遂に決定!

メンバーの充実度は、あの『K−1 WORLD MAX』以上の声も上がる立ち技中量級最強トーナメントと、「リングスKOK一夜限りの復活マッチ」の2枚看板で勝負することとなった。

リングスが活動を休止して早4ヶ月。いまだ「第2次リングス」の具体的な見通しは立っていないだけに、再びKOKルールの試合が見られるのは、朗報だ。

ここへ〝リングス代表〟として参戦するのは、〝ハン最強の弟子〟ヴォルク・アターエフ。同門のヒョードル、ラバザノフが『ロシアン・トップチーム』として、『PRIDE』参戦を決める中、バーリ・トゥード嫌いのアターエフは、KOKを選択した。対戦相手を次々と病院送りにする、戦慄のKOシーンが蘇るか? 対戦相手の発表が待たれる。

また、昨年10月にリングスに参戦したものの、無名の柔術家にわずか43秒でタップを奪われたSBの緒方健一が、リングスルールへのリベンジを胸に再び総合格闘技に挑戦することが決定。弟子に試練を与えることでは定評があるシーザー会長だけに、強豪との対戦となりそうだ。

当日は〝審議委員〟として、赤いブレザーの(?)前田代表も来場を予定。七夕の夜にリングスの夢を見よ!

チケット情報

SHOOT BOXING WORLD TOURNAMENT
“S−cup”
7月7日(日) 16:00ゴング
横浜文化体育館

■チケット
SRS席 ¥20,000 RS席 ¥15,000
SS席 ¥10,000 S席 ¥7,000
A席 ¥5,000 B席 ¥4,000

■問い合わせ
シュートボクシング協会
03-3843-1212

UFC38

BRAWL at the HALL

7月13日 ロンドン ロイヤル・アルバート・ホール

“UFC−J王者”須藤元気、UFC初出場!

UFCウェルター級タイトルマッチ
カーロス・ニュートン チャレンジャー vs マット・ヒューズ チャンピオン

決定カード

UFCヘビー級3ラウンド
イアン・フリーマン(UFC2勝1敗) VS フランク・ミア(UFC2勝0敗)

UFCミドル級3ラウンド
ユージーン・ジャクソン(UFC3勝3敗) VS マーク・ウェア(UFC初出場)

UFCライトヘビー級3ラウンド
レナート・ババル(UFC1勝1敗) VS エルビス・シノシック(UFC1勝2敗)

須藤元気 ビバリーヒルズ柔術クラブ vs レイ・レメディオス イングランド

4月からWOWOWの独占放送もスタートし、急激にファンを増やしつつあるUFCが、アメリカを離れ、ヨーロッパに初進出!

なんと、あのビートルズ、ボブ・ディランが立ったロンドンの名門「ロイヤル・アルバート・ホール」での開催が決定した。

この世界的なロックの殿堂で行われる、記念すべきUFCに日本から須藤元気が参戦。イングランドの新鋭、レイ・レメディオスと対戦することとなった。須藤は昨年12月にリングスマットで山本喧一を破り、不認可ながらUFCジャパン王者のベルトを奪取しているが、実際にUFCに上がるのは初。K−1でも爆発した変幻自在のファイトスタイルはオクタゴンでも通用するか? ロンドン市民の度肝を抜く闘いぶりに期待したい。

また、メインイベントには、前回「両者失神」という壮絶な結末となったマット・ヒュームとカーロス・ニュートンの決着戦(UFCウェルター級タイトルマッチ)が決定。さらにレナート・ババルvsエルビス・シノシックという、日本のファンも注目の対戦も組まれている。

この現地7月13日に行われるイベントを、WOWOWが翌14日に放送! 見逃すな!

TV情報

7月14日(日) 午後10時30分〜0時30分
WOWOW
(BS5ch、BSデジタル191CH)
問い合わせ WOWOWカスタマーセンター
0570-008080

『PRIDE』メインキャスターあの小池栄子が『紙プロ』初登場!!

掟ポルシェが小池栄子に迫りまくった!

私は女子プロレスラーじゃないですから(笑)

立ち技より寝技好きのノゲラー

小池栄子

『(下)北の最終兵器』こと『PRIDE』メインキャスター小池栄子が遂に『紙プロ』初参戦! 肉弾相打つ野獣リングに突如降り立ったイエローキャブ解説戦士は、どんな男性がお好みですかーッ!? 鶴見五郎? ニセ大仁田(森谷)? クラッシャー高橋? 巨乳とアイドルが大好物の男一匹ド☆変態・掟ポルシェが、誰もが気になるそこんとところを不躾にインタビュー! 読めコラーーッ!

聞き手/掟ポルシェ 構成/松澤チョロ
撮影/吉場正和
designed by gutty (Two Three)

小池　（掟ポルシェをマジマジと見つめ）いつもそのメイクで、その格好なんですか？

掟　（シレッと事も無げに）だいたい、こんなもんですよ。コンビニ行くときも電車に乗るときも（当然嘘）。

小池　（疑った目で）ホントに〜？　朝起きて、顔洗って、化粧水かなんか塗って、そのラメを付けるんですか？

掟　（表情ひとつ変えずに）そうですね。冠婚葬祭の時もこれで（全部嘘）。

小池　プロレスとかもやるんですか？

掟　やりませんよ！　どう見たって（立ち上がって）ほら、肉体的に何かが足りないじゃないですか！

小池　すいません（笑）。

掟　まあ俺がプロレスラーだったら、今頃、小池栄子と付き合ってるかもしれないですけどね……。

小池　（「それだけはない」という表情で）アハハハハ！

——以前、TVで『紙プロ』を紹介してくれたことありましたよね。

小池　あ、私がノゲイラ好きってことで、『紙プロ』にノゲイラが載ってるのを紹介しましたね。それに『紙プロ』は買ったこともありますよ。

掟　買ったことがある！　言って下さいよ！　もうバックナンバーが山ほどあるんで送りつけますから（笑）。

小池　マジで？　一番新しいヤツ（『紙プロNo.50』）にノゲイラ兄弟が載ってるんですよね。

掟　載ってますねぇ、大好きなノゲイラ兄弟。ノゲイラは双子ですけど、2人同時に求婚されたらどうしますか？

小池　（即座に）兄！

掟　即答、兄！　普通、見分けつきませんよ（笑）。

小池　この間『PRIDE』の会場で見て、弟は、ないなぁって思いました。

掟　どうみても同じに見えるんですけどねぇ（笑）。

小池　弟もカッコイイんですけど、弟の方は肌がツルンとしてるんですよ。私、あんまり肌がツルツルでキレイな男の人、苦手なんですよ。

掟　巨人の松井みたいな、じゃがいも系が好きだと？

小池　じゃがいも系好きです。

掟　じゃがいも系好きなら、衣笠とかでもいいんじゃないですか？

小池　衣笠さん？　あんまりわかんない、ごめんなさい。その人は寝技系なんですか？　K-1とか立ち技の人？

掟　う〜ん、打撃系です（笑）。でももう『PRIDE』でメインキャスターやって結構経ちますよね。

小池　もう三回やりましたね。

掟　いや、結構キッチリ話せますよね。もう「逆乙葉！」というかね（笑）。

小池　いやぁ、ちょっとやめてくださいよ！

ノゲイラ兄弟に同時に求婚されたらどうするかって？（即座に）兄！

掟　いやいや、乙葉（『ワールドプロレスリング』マスコットガール）はできないところがいいんですよ（笑）。

小池　あぁ、そうなんだぁ。

掟　乙葉の場合は小学生の感想文並みのユルい解説がいいんですけど、でも小池栄子のオタオタしてる姿はみんな見たくないですからね。

小池　でも難しいですよね。楽しいは楽しいんですけど、ファンの意識で楽しめないところが、もどかしくて。もっと叫びたい！

掟　「今の関節技は角度的に極まってない」とか専門的に言われても逆にキツイような気もしますけどね（笑）。

小池　ホント難しいですよねぇ。

掟　高田さんや桜庭さんから「試合終わったら飲み行こう！」とか誘われたりしないんですか？

小池　え〜、そんなこと言われたことないですよ（笑）。それに桜庭選手には、この間（『PRIDE20』）、初めてお会いしたんですよ。

掟　そうなんですか。桜庭さんもそうだと思うんですけど、選手はみんなスケベなんで気をつけて下さい！（笑）。

小池　えぇ〜、そうなんだぁ。それは、ちょっとショックだなぁ。桜庭選手の顔って私、凄い好きなんですよ。自分の中で二枚目だから。

掟　ど真ん中なんですか？

小池　かなりストライクです。日本の方だったら。私、あんまり日本の方をカッコイイってそこまで思えたことは、そんなにないんですけど。

掟　桜庭＝ノゲイラ兄同路線説（笑）。

小池　なんか闘ってる顔と雰囲気があってるなぁって。

掟　飄々した顔で飄々とした試合スタイルですからね。

小池　そういう人が好きなんですよ。一見無口な感じで。そういう人の方が恋愛のしがいがあるなって思うじゃないですか。

掟　恋愛対象としては、ストレートにスケベな面を見せて欲しくないと？

小池　そうですね。

掟　誠実そうな男の人がタイプ？

小池　ハイ！　この間、ZERO-ONEを見に行って初めて試合見たんですけど、坂田亘選手はカッコイイ〜って思いましたね。

掟　全然顔が違うじゃないですか！　ノゲイラと桜庭さん、今頃、道場でズッコケてますよ！（笑）。

小池　そうなんですよ〜（照）。私の路線では、かっちりジャニーズ系みたいな二枚目系って好きになったことないんですけど。どっちかっていうと味がある役者さん系が好きだったんで。でも坂田選手は二枚目系ですよね？

掟　顔もそうだし、ポーズもビシッとキメるタイプの人だし意外ですねぇ。

小池　なんか飄々としてるじゃないですか。それに一見無愛想そうな感じで、素直に笑ってくれなさそうな感じがいいなって思って。すぐに橋本真也さんに電話して、「とりあえず、友達でもいいからならして下さいよ！」って言っちゃいましたね（笑）。

掟　小池さん的には坂田さんに対して好意をもってるのに、実際声をかけてきたのはスティーブ・コリノでしたからね（笑）。外人にモテますよね。

小池　私、南米系なのかなぁ。何故かラテン系にはモテるんですよね。

掟　どっちかっていうと、小池さん自身、日本人顔じゃないですか？

小池　菩薩顔って言われますからね。

掟　菩薩顔！　ありがたい感じの。ある意味、桜庭さんと同系列ですね。

小池　でもねぇ、コリノ選手みたいに、ベタベタに誉められたり、冗談でも「好き好き！」とか言われるともうダメなんですよ。自分のペースが全部乱されそうで。だからコリノ選手に声掛けられてたときは凄い苦しくて、あの何分間は。

掟　正直、嫌だったと（笑）。

小池　「来ないで来ないで」って（笑）。

掟　ノゲイラも本当は好き好き言いたいけど、奥さんがいるから素直になれなかっただけかも知れないですよ。

小池　そうですね。ノゲイラはシャイな感じが好きですね。

掟　ノゲイラ好きということで、ノゲラーを自称してるみたいですけど。

小池　ノゲラーです！　でも、あんまりいないですよね、周りにノゲラーって。

掟　まぁそういないですよね(笑)。やっぱり同年代の女の子達は、ノゲイラよりジャニーズの方が好きなんじゃないですかね。仕事柄ジャニーズの方と出会う確率は多いでしょうけど、普通女の子からしてみればそっちの方が圧倒的に羨ましいですよ（笑）。

5・23ZERO-ONE後楽園大会を観戦した小池栄子。スティーブ・コリノから必用以上に迫られ戸惑う栄子ちゃんだったが、彼女の目に止まったのは坂田亘だった（泣）

コリノ選手に声掛けられた時は凄い苦しくて、「来ないで」って（笑）

ƐIKO KOIKƐ

小池　でもやっぱり、見てるだけでいいかなと思っちゃう。

掟　マスコットとして？

小池　そう。みんなのマスコットって感じですよね。

掟　じゃあ、ノゲイラとかは実用向きって感じで？（笑）。

小池　そうそうそうそう（笑）。

掟　「使える男」ノゲイラ！（笑）。タンスとか大量に運びそうな顔ですよね。「さざんかの宿」とか歌いながら（笑）。だったら大川栄策とかは好きじゃないんですか？

小池　えぇ～、大川さんはまた別格なんですよ～。でも、大川さんくらいの年の方は好きですよ。おじさん大好きなんで。それに私、結構なんでも「はいはい」って聞くし。おじさんにとって凄い扱いやすい女だと思いますよ。

掟　言うこと聞きたいタイプ？

小池　よくSに見られるんですけど、好きな人には従うし、芸人の嫁向きって言われるんですよね。「浮気しても帰ってくりゃいいわよ」側だから（笑）。

掟　なるほど。そりゃ、もう男の人にとっては最高の女性像ですね。この間、水道橋博士が『笑っていいとも』に出たとき、タモさんに突っ込まれてましたけど「小池栄子が博士のことを好きらしいよ」って。

小池　ホントに好きなんですけどね。でも博士は彼女作らないって噂聞いたこともあったし、私がこんなに「好き好き」言ってるけどプライベートなオファーも何もないからいいやと思って。そこでガンガン攻めたてるのもどうかなぁと思って、やっぱりガンガン攻めたてる女の子ってカッコ悪いじゃないですか？

掟　でも向こうからガンガン来られたら、それはそれで気持ち悪いんでしょ？

小池　博士みたいなタイプが自分のプライドをちょっとづつ捨ててでも、近づいてくれるのはいいんですけど、コリノ選手みたいに、あからさまに攻めてくるのはダメなんですよ。

掟　とにかくコリノはダメと（笑）。

——これウチの雑誌でやった対談なんですけど（と言って『紙プロNo.48』でのノゲイラ&マリオ&小川の3人が乳をモミモミしている写真を見せ）。この時のイメージモデルは小池さんだったんですよ（笑）。

小池　ホントだぁ、嬉しいわ（笑）。

掟　今は小池栄子さんを中心に『PRIDE』は回ってますから！（笑）。勝利者賞とかが小池栄子だったら、もうみんな死に物狂いで頑張りますよ！

小池　えぇ～、ホントですか？

掟　「今年の『PRIDEグランプリ』のグランプリの優勝賞品は小池栄子です！」って発表されたら、みんな目の色変えますよ！　判定決着なんて絶対ありえません！

小池　でもなんか、普通に格闘家として弟子にされちゃいそうだけど（笑）。

まだ私のこと女子プロレスラーだと思ってる人いっぱいいますもん。

掟 『めちゃイケ女子プロレス』（CX）でプロレスやってましたからね。アレを見て俺も一気に小池栄子のファンになりましたよォォォ！（炎上）

小池 あれからバラエティが増えたんですけど、あれを見て小池栄子はプロレスやってる人ってイメージが強いみたいで。あと吉本から出てきた新人レスラーと思われたり。

掟 Jd'のアストレスと間違われたりして（笑）。

小池 そういう人が多くて。それに、あの後にプロレスとか観に行くと「次の試合いつですか？」みたいなことをよく言われますね（笑）。

掟 ガハハハ！ まったくレスラー扱い（笑）。でもホント面白かったですし、下手な女子プロレスラーより全然才能あると思いますよ！ またやって欲しいですけどね。

小池 やりたいですよ。見方が変わりましたね、プロレスやってからは。自分に置き換えて痛さで観ちゃう。

掟 この技の説得力はどの程度とか？

小池 そうそう。私も三つくらいしか技ってわからないですけど、なんとなく想像できるし。

掟 三つってどういう技ですか？

小池 私はフィッシャーマンとブレーンバスターと、ころころ転がるヤツ。

掟 ローリングクレイドルですね。小池さん自身、格闘技経験とかはないですもんね。

小池 ないです、ないです。一回、事務所で空手とボクシングやったんですけど、三日坊主なんで続かないんです。

掟 でも、格闘技とか習いに行ったら、好みのタイプのじゃがいもメンズがいっぱいいるじゃないですか（笑）。

小池 ホストクラブみたいなもんだもんなぁ（笑）。

掟 泥臭いホストクラブだなぁ（笑）。でも逆に飲み代奢ってもらえますよ。

小池 でも、ああいう場って真剣に行く場じゃないですか？ 「闘うためにボクは生きてるんだ！ 女なんて二の次だ」っていうイメージがあるんですよね。「第一は闘うため」って感じで。ノゲイラに「ファンです」って言ったときも、「ボクは真剣に闘いに来たのに、そういうことを言う子がいる」とか、引かれちゃうんじゃないかと最初は思ったんですよ。

掟 でもノゲイラも巨乳好きって言ってたし、そんなこと心配する必要は全くないですよ！

小池 エッ、そんなこと言うんですか？

掟 ノゲイラも女好きですよ（笑）。でも奥さんいるからなぁ。さすがに日本妻とかじゃ嫌ですよね。

小池 日本妻でもいい！ そのぐらい好き！

ノゲイラだったら日本妻でもいい！ そのぐらい好き！

掟 ガハハハハ！

小池 でも一回、ノゲイラの彼女が会場に一緒に来てて、ちょっと怒ってるように見えたんですよ。

掟 ノゲ妻と視殺戦が行われてたんですか。「アンタ、なにウチのノゲに色目使ってんの！」って（笑）。

小池 彼女が、私が握手したノゲイラの手を拭い取って、上から握手を重ねたんですよ！ 「こわ〜」と思って「すいません」って言って、すぐに出てきちゃいましたけど。

掟 ラテンの血は熱いですねぇ（笑）。小池さんはプロレスと格闘技なら、やっぱり格闘技の方が好きなんですか？

小池 どっちっていうか、K-1は私、一回しか観に行ったことなくて。『PRIDE』も13からしか観てないんですけど、立ち技より寝技がある方が好きみたいで。

掟 それはUWFの遺伝子が体に入っている証拠ですよ！ プロレス向きです！

小池 でも、昔はプロレスとかテレビでも観れなかったんですよ。血とか痛いのダメだったんで。でも自分がプロレスやってから観れるようになったんですけど。

掟 『めちゃ女』のビデオはいまだに見ますよ！ 今朝もまた見ました！ 小池栄子最強伝説の序章ですよ！

小池 アハハハ！ 私も最近いろんな人に言われるから、また見たいなって。

掟 アレは、男のエロっ気を喚起するところが多分にあると思うんですよ。

小池 そうなんだぁ。あのときプチンてキレた瞬間あったんですよ。光浦（靖子）さんに何度も叩かれたときに。

「紙プロNO48」での小川＆ノゲイラ＆マリオの驚愕のモミモミ3ショット！ この写真を見せると「ホントだぁ、嬉しいわ（笑）」と微笑む栄子ちゃん。最高です！

アレク対菊田戦はもう見たくないという声も多いが、コージー富田対水道橋博士の「PRIDE」ルールの試合なら見てみたい！ そして、小池栄子に「TV出過ぎ！」と突っ込まれる我らが破壊王。そんなシーンも見てみたい！

掟　そうなんですか。プロレスの試合はそういうムキ出しの怒りがたくさんある方が面白いですからね。

小池　あぁ、なんとなくわかります。

掟　ある意味、光浦さんがわざと怒らせるために本気で殴ってきて、それにキレた小池さんが本気で怒って反撃するっていうのはプロレス的にはアリだと思いますよ。試合をヒートさせるために、猪木さんなんかよくやってましたけど（笑）。

小池　あぁ、私も猪木さんとかの試合をリアルタイムで観たかったなと思いますね。どれだけ凄い人だったかっていうのは、やっぱり実感ないですし。

掟　今の若い子にとっては〝ダーのおじさん〟でしかないんでしょうかね。試合するわけでもないのに一番おいしいとこ持ってくなこの人、みたいな（笑）。でも誰か、桜庭さん以外に『PRIDE』に出てる日本人で気になっている選手っていますか？

小池　この間出てた菊田さんはカッコイイと思います。

──菊田さんは水道橋博士に似てるって、よく言われてますからね（笑）。

小池　そう！　私、菊田さん対アレクサンダーさんの試合は、博士対コージー富田に見えたんですよ（笑）。

掟　ガハハハハ！　コージー富田！　ハゲてるだけじゃないですか（笑）。

小池　顔似てるって絶対に！　上向き加減ににらんだ顔とか似てますよ。

掟　（コージー富田調で）「一度でいいから見てみたい女房がへそくり隠すとこ」って言ってるアレクサンダー大塚はちょっと見てみたいけど（笑）。

小池　アハハハハ！（『紙プロ』に出ていた小川の写真を見ながら）小川さんは凄い顔を作るのうまいなぁ。

掟　役者として、プロレスラーの顔の作り方に見るべき所ってありますか？

小池　個人的になんですけど、小川さんとか橋本さんがテレビに出るのはあんまり嬉しくないんですよ。ドラマとか2クール続けて出てる小川さんは、あんまり好きじゃない。

掟　ガハハハハ！　2クール出るヒマあるなら練習しろと（笑）。

小池　そうじゃなくて、小川さんのことは、あんまり詳しくないけど、リングで闘ってるときがカッコいいんで、なんかこうイメージ的に「テレビなんて」って言ってる方が好きだなぁって思って。いつも橋本さんに会うと「出過ぎよ！」って言うんですけど（笑）。

掟　ガハハハハ！　小池栄子が破壊王にやさしくダメ出し（笑）。2人とも芸に対して色気出しすぎだと？

小池　そう！

掟　まぁ確かに多くの人が思ってることなんでしょうけどね。小川選手には、強さっていうものを、もっと全面に出してくれと。強さってある意味、怖さと一緒の部分があるんで、テレビなんかに出てニコニコしてて欲しくないんですよ、きっと。プロレスラーはやっぱり、テレビカメラが向かってきたら、タイガー・ジェット・シンみたいにサーベル持って襲いかかって欲しいじゃないですか？

小池　う〜ん、そっちの方がいいなぁ。（『紙プロ』をパラパラめくりながら田村のインタビューに目を止める）

掟　あ、タムタムは好きですか？

小池　好きです。（嬉しそうに）セコンドにいましたよね、坂田選手。あとでちゃんとビデオで見ましたよ。

掟　また坂田さんですか（笑）。

──次の『PRIDE21』も田村さん出るみたいだし、楽しみですね？

小池　そうですね。セコンドも楽しみですけど（笑）。

掟　結局、坂田選手の話ですか（笑）

──坂田さんとの対談は、是非やりたいですね。

小池　お願いします。全然しゃべれないと思うけど。普通に女の子の部分が出ちゃうと思う。坂田選手って結構しゃべる方ですか？

──そうですね、明け方とかでも電話掛かってきたりしますし（笑）。

小池　え〜、いいなぁ（羨ましそうに）。

掟　「坂田坂田」って、あ〜なんかもう悲しくなってきましたよ！（苦笑）。せめてじゃがいも顔になって出直してきますよォオオオ!!（泣）

【02年6月11日／都内某所にて収録】

プロレスではZERO-ONE、総合では地元・名古屋での「CLUB DEEP」へ出場するなど、活動の場を広げている坂田亘。はたして小池栄子との対談は実現するのか？

EIKO KOIKE

男なら一度は夢見る小池栄子のチョークスリーパー。得意技のローリングクレイドルで、まわされたい！

大好評！ ギョーカイ・マスクド座談会第3弾

灼熱の格闘技興行大戦の「真実」と「噂」

中　他流試合づいてるK－1だけど、今度の7・14マリンメッセ福岡大会では、「K－1 vs PRIDE 5 vs 5全面対抗戦」というのがブチ上げられたね。

小　ルールは、若干の調整があったにしても純K－1ルールですけどね。

中　対抗戦は4vs4になるみたいだね。「ミルコ・クロコップvsギルバート・アイブル」「武蔵vsジョシー・デンプシー」「宮本正明vsクイントン・〝ランペイジ〟・ジャクソン」の3つは正式決定。あとはノブ・ハヤシか天田ヒロミのどっちかが〝片肺戦士〟のトレイ・テリグマンを迎えうつことになるんじゃないかな。

小　他に純K－1として「ピーター・アーツvsアレクセイ・イグナショフ」が決まりですね。あとはシリル・アビディ、グラウベ・フェイトーザの相手が誰になるかじゃないですか。

中　アイブルは6・23に続いて連闘だね。それにしてもZERO－ONEで無効試合ばっかり繰り広げてる、あのアブナイ常連ガイジンのジョシー・デンプシーがホントに出てきたのは笑ったな。

小　なぜか『PRIDE』に参戦してないのにPRIDE軍だし（笑）。でも、ジョシーは侮れないですよ。なにせ伝説のボクサー、ジャック・デンプシーの曾孫だし、98年にボクシングのIBFランキング4位だったときは、当時10位だったマイク・タイソンよりランキングが上なんですからね。子どもの頃からストリート・ファイトはお手のものの暴れん坊だし、シュート・ボクシングルールながらリー・ハスデルをボコボコにしたシリル・ディアバデを、今年の2月にバーリ・トゥードルールで破ってますから。闘争本能を表に出さない武蔵との対決は対照的で実に面白いですよ。

中　ZERO－ONEファンや、プロレスファンからすれば、K－1ルールでもジョシーが実力を発揮して武蔵をボコボコにしたら溜飲が下がるんじゃない？（笑）。

小　ジョシーはZERO－ONEの7・7両国にもタッグながら参戦するし、こっちもアイブルと一緒で連闘なんですよ（笑）。PRIDE軍はルールも相手の土俵だし、かなり情勢的にはキツイですよね。

中　あとSBの7・4『Sカップ』に出場するヴォルク・ハンの秘蔵っ子・アターエフも福岡のK－1にPRIDE軍として投入されるなんていう話が一部では出てたけど、なくなったね。

大　でもリングス・ロシア勢で形成されている〝ロシアン・トップチーム〟総監督のパコージン氏は、独占契約ではないにしろ、今後『PRIDE』に優先的に選手を派遣するらしいから、アターエフの『PRIDE』出場、あるいは『PRIDE』を経由してのK－1出場は可能性としては大アリだろうね。

『PRIDE vs K-1』は8月末に変更!!

中　あとは、4・21K－1ジャパン広島、4・28『PRIDE．20』でのシウバvsミルコ戦、6・20のK－1ジャパン富山大会、今度の7・14福岡の総決算的なビッグマッチとなるのが8月に国立競技場開催案がある『PRIDE vs K－1』だね。これはどうなる？

大　これは前にも行ったけど、春先には、8月11日にK－1、その1週間前の8月4日には『PRIDE』の興行として行って、「PRIDE vs K－1」を2分割して行うプランもあったんだよ。11日のほうはTBSの27時間テレビで生放送するべく動いていた。

中　でも11日だと、大会場は有明コロシアムしか空いてないっていう状況だったらしいね。

大　うん。だから、8月上旬に共同開催で、有明じゃ小さすぎるほどのデカイやつをっていう線で落ち着いて、そこから国立競技場っていう話があちこちで出はじめた。

小　じゃあ11日に国立競技場っていう一部の報道通りでいいの？

大　それは完全に先走り。上旬だったら、むしろ10日のほうが可能性が高かった。いまは、UFOの8・8東京ドームとの兼ね合いや、会場問題、放映の調整等で、8月下旬開催の方向に向いてる。これは間違いないよ。それから、これは『PRIDE vs K－1』の全面対抗戦ということで間違いじゃないんだけど、例えば『コロシアム』みたいな、新しいイベント名をつけた大会になるかもしれない。

小　桜庭vsミルコ戦が取りざたされてますけど、その一戦は行われそうなんですか？

中　だから、サクの復調ぶりも含めて、8月末に開催っていう方向なんだろうね。サクvsミルコの他には、昨年大みそかの『猪木祭り』と対（つい）になってるドン・フライvsシリル・アビディ戦も浮上してるね。

小　しかもそれって、K－1ルールですよね！

中　よく知ってるな（笑）。大みそかはアビディが初のバーリ・トゥードで、向こうっ気の強さを見せつけながらも敗れたけど、今度はホームのルールでってことだろうね。こういうふうに昨年の大みそかと対になってるカードや、今年の大みそかに線で繋がるカードも出てくるでしょう。

大　今回は、『猪木ボンバイエ』ルールばかりじゃなく、いろんなルールが混在するっていう話だね。そのカードに一番合った、あるいはそのカードで一番見たいルールをカードごとに設定していくって方向らしい。

小　レイ・セフォーが「シウバと闘いたい」って言ってましたよね？

大　あれはリップサービスの可能性のほうが高いと思うけど、セフォーが他流試合に出てきたら面白いね。

中　あとはマーク・ハント、ジェロム・レ・バンナ、ピーター・アーツ、マイク・ベルナルド、それからボブ・サップ。場合によってはフランシスコ・フィリョのバーリ・トゥードが見れる可能性まである。

小　噂レベルでは、目玉はサクvsミルコ戦ばかりじゃなくて、やっぱり吉田秀彦のデビュー戦というのも、この大会が一番可能性が高いですね。

大　8・8UFOっていう報道もあ

大会名は『LEGEND』 8・8"UFO・東京ドーム"の全貌

ったけど、吉田は恐らく『PRIDE』だろうな。都内の世田谷区に道場も構えたし、8月末にスペシャル・マッチでデビュー戦を行う可能性は高いね。

小　吉田の相手が高田延彦総裁っていう話も出てますよね？

中　たしかに高田は「自らのスイッチが入った」と高田道場のHPに心境をUPしてることからも、8月に試合を行う可能性はあるよな。でも、「バーリ・トゥードはあと一戦」と言ってる高田が吉田のデビュー戦を選ぶかとなると「？」マークも付く。

小　引退試合とデビュー戦ですか。それも面白いかもな。「PRIDE魂伝承マッチ」ですよ（笑）。

大　より大きな舞台で、よりインパクトのある闘いを望む高田が選択しないとも限らないけど、あとはその試合にテーマを見つけられるかどうかじゃない？

中　それから、その吉田が上がるっていう話も一部で流れたり、未確認飛行情報が飛びまくっていた8・8東京ドームだけど、編集部のオーちゃん直撃と、我々の周辺取材でわかってきたことがあるね。以前から〝UFO自主興行〟と囁かれていたこの大会は、実はUFOという団体が推し進めているものではなくて、そのUFOの社長でもあり、芸能界の大実力者でもある川村龍夫氏率いる特別チームと日本テレビの共同プロジェクトによって進められている〝総合格闘技〟のビッグ・イベントという位置づけのようだね。『猪木祭り』や『コロシアム』のようなものと捉えたほうが早いだろうな。

小　さっきの『PRIDE vs K—1』と一緒ですね。完全な格闘技興行大戦争だ（笑）。

大　イベント名も『LEGEND（レジェンド）』で決定しているらしいね。日本テレビの事業部が柱になって、生中継も検討されている。チケット販売に関しても代理店が動き出していることは確かなんだけど、いかんせんソフト面に関しては、締め切り時点（18日）において、決定事項はまったくない（笑）。マッチメイクについても情報はちょぼちょぼ出てるんだろ？

小　はい。川村氏のパイプから、A・R・ノゲイラやM・スペーヒーらのブラジリアン・トップチーム（BTT）をマネージメントしているU氏を中心にして、水面下ではマッチメイクが進めてられてるみたいですね。具体的な候補としては、先月末からブラジル修行に出ている村上和成vs元リングスの坂田亘戦。宇野薫を破ったジェンス・パルバーvs現・修斗ライト級王者のアレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラ戦。これは以前はパルバーvsホイラー・グレイシー戦で想定されていたんですけど、こっちが有力になってるみたいですね。その他にも、パンクラス、『DEEP』に出場している選手、もちろんZERO—ONEなど、多方面に出場の打診はされてますよ。クラス的にも重量級から軽量級までけっこう幅を持ったラインナップになりそうですね。

中　俺はドス・カラスJrに『DEEP』の佐伯代表を通じてオファーが行ったとか行かないとかの話を聞いたな。

小　でも、肝心の〝後ろのほう〟のカードがまったく見えてこないですよね。BTT勢にしても、A・ノゲイラは『PRIDE』との契約問題もあるし、腰の負傷の回復が思うようにいっていないみたいだし。

中　この大会での「吉田秀彦デビュー戦」が行われる可能性も、さっき言ったみたいに可能性はゼロと断言してもいい。

小　吉田の出番もないとなると、自然と出番は、小川、藤田、安田という猪木グループの大物たちに向いてくる。特にUFO社長である川村氏が中心のプロジェクトということで、オーちゃんの参戦が取りざたされるのは至極、当然のことですよね。

大　でも小川は、このプランが立ち上がったときに「去年の大みそかにいろいろあって決着を付けられなかった、K—1のトップ選手との対戦じゃなければ意味がない」という旨の意見を川村氏&テレビ側に伝えてあるというんだ。そこから候補として挙がってきたのがピーター・アーツだよね。だけど、同じ8月中に『PRIDE vs K—1』というビッグ・イベントも控えてるし、10月初旬にはGPも始まる。だから、アーツに限らずK—1戦士の担ぎ出しは、スケジュール的にも難しいと言わざるをえないよな。

中　他にもオーちゃんには、前田日明戦、長州力戦などの噂があるね（笑）。川村氏が前田日明と最近会ったのは事実だよ。でも、それはこの大会とは別件で、まだ長州戦のほうが可能性としては高いよ。K—1戦士が飛んだ場合、長州戦で再度、小川に参戦を促すというのは、まだ現実味がある。前田戦はないよ。

小　長州も、新日退団会見のときに、今後バーリ・トゥードをやることに関しては完全否定はしなかったですからね。

大　あと業界内では、大逆転で、小川vsヒクソン戦が実現というビッグな噂が、また最近出てきてるね。これは、この大会がパンクラスに出場の打診をしていることから、パンクラスと繋がりの深いS社を仲介にしてヒクソンを呼ぶのではないかという憶測や、さっきのU氏がキム夫人と仲がいいこと。さらにヒクソンの側近が「11月から映画の撮影に入る。その前に日本で1試合やる」と言ったということ。それらが絡まって広がっていった話だろうね。

小　となると、オーちゃんの相手はいったい誰なんですか？

中　う〜ん（笑）。藤田戦やノゲイラ戦、さらには安田戦までが聞こえてくるけどね。いずれにしても、小川が参戦するかしないかによって〝UFO〟という冠が付くのかどうかも変わってくるでしょ。この大会にアントン総帥が、どういった形で関わってくるのかも注目だよね。

小　『PRIDE』側も当然アントン総帥には、なんかしらの形でオファーは出すだろうし。アントン争奪戦ですかね？

大　オマケについさっき、川村氏の新日本プロレスの取締役就任が発表されたね。今日（18日）は株主総会が行われたんだけど。

中　猪木オーナーによるオーナー裁定だっていう話だね。でも、ホント、猪木ワールドは魑魅魍魎すぎるね。猪木さんと川村さん。川村さんと小川。猪木さんと小川。新日本とUFO。猪木さんと『PRIDE』の関係。わけがわからない（笑）。

小　でも、これでオーちゃんが出なかったら「出る出る」って言われてたオーちゃんが、また貧乏クジ引くことになりますね。最初からK—1としかやらないって言って任せてたということですから。

中　でも、川村氏が新日本の役員になったことで、小川が出なくても決行される線も出てきたね。新日本勢が参戦する可能性も出てきた。

小　バーリ・トゥードの大会にですか？　G—1も近い日にちなのに？

中　新日の取締役になった蝶野は「興行戦争だ」って言ってたけど。

大　まぁ、いまのところ、6月24日に、この『LEGEND（レジェンド）』の会見が開かれる予定になってるんだよ。だから、少なくともその日には、この先マット界に大きな衝撃が走るのか？　このまま水面下での動きだけで終わるのか？　それがハッキリするだろうね。

中　業界の地盤沈下が囁かれるこの時期だから、やるんなら起爆剤となるような大成功を望まずにはいられないよね。そのためにも万全の態勢で臨んでもらいたいけどね。

横井&辻ちゃんの仲良しコンビがこの夏、ZERO-ONEマットを襲う!!

横井宏孝

総合、プロレスだけではあきたらず、女子格闘技にも殴り込み!?

辻結花

8・4ZERO-ONE熊本大会で藪下めぐみ戦が決定！

聞き手／松澤チョロ
撮影／丸山剛史
designed by gutty（Two Three）

――まずは、横井さんと辻さん、2人の関係を知らない人も多いと思うんで、2人の関係を教えて下さい！

横井　ボクらの関係ですか？（遠くを見つめながら）まぁ、一言で言うとぉ～。

――なんで遠い目なんですか（笑）。

横井　なんやろなぁ。練習仲間！

辻　何回か練習に来たんでしょ？

――辻さんは、横井さんのことをそんなに覚えてないみたいですけど（笑）。顔と名前一致してます？

辻　ヘッヘッヘッヘッ（笑）。

横井　失礼な話ですねぇ、ホントに。

辻　だって、そんなに目立ってなかったでしょ？

横井　……失礼でしょ？（笑）。

――ホントに失礼です！（笑）。

横井　でもホントに目立ってなかったんですけどね。その頃、ボクはライルーツコナンってとこに所属して、闇愚羅さんにも練習に行かしてもらってたんです。

辻　でも初めて一緒に練習したの覚えてます？

横井　覚えてますよぉ！（笑）。もちろんですよ。

――お互い覚えてないんじゃないですか？（笑）。

横井　そんなことないですよぉ。

――お互いの第一印象はどんな感じだったんですか？

横井　何人か女の子がいたんですけど、動きは一番良かったですねぇ。天才肌って感じで（笑）。

辻　アハハハハハ（笑）。

横井　よくイジメられました（笑）。コロコロ転がされて、マウントパンチで殴られてましたからね。

――今の横井さんの強さのモトは辻結花の存在があるわけですね？

横井　あの時の顔面パンチですね。

――今だ負けなしの横井さんですけど、女性には弱いんですね（笑）。

横井　ボクは、ジゴロなんで（微笑）。

辻　今年の目標は達成できた？

横井　達成されてないねぇ（苦笑）。

――今年の目標って何なんですか？

横井　今年の目標は彼女を作ることなんです！（キッパリ）。

――今のところ、まだなんですか？

横井　現時点では負けっ放しで。

――一応、何戦かしてるんですね？

横井　はい（微笑）。

――リング上とは裏腹ですね（笑）。

横井　そうですねぇ。どうやったら格闘技みたいに勝てるんですかねぇ。それが知りたいです、ホント。

――辻さんの目標は何なんですか？

辻　う～ん……（考え込む）。

横井　（小声で辻に）オモロイこと言わな、大阪人なんやから！

辻　プレッシャーかかるなぁ（笑）。う～ん………楽しく生きる！

横井　なんか、おばあちゃんみたいやな（笑）。

辻　私、いつもおばあちゃんと一緒だから（笑）。

――そうですよね。お互いのリング上での印象を聞かせて下さい。

横井　スピードあるし、ムチャクチャ、タックルうまいじゃないですか？　あと打ち合う度胸もあるから凄いですよね。どんな状況になっても対応できる選手だと思いますね。

――辻さんは、どうですか？

辻　（小声で）見たことない（笑）。

――あ、やっぱり（笑）。

辻　でも凄いですよね（笑）。

横井　なんで、そんなに適当なの？

——あ、やっぱり（笑）。

辻　でも凄いですよね（笑）。

横井　なんで、そんなに適当なの？

辻　そんなことないよ！（逆ギレ）。

——でもお互い一敗もしてないっていうのは単純に凄いですよね。

横井　いや、そこまで負けるリスクのある相手とやってないんで。これからはリスクのある相手と闘っていきたいです。それにボクは負けることをマイナスと思ってないですから。負けた方が学ぶことが多いと思うし、絶対強くなれると思うし。

——でも、ここまで連勝で来ちゃったら、負けたくはないですよね？

横井　それはないッスよ。勝ちにこだわって面白くない試合をするより、動いて動いて負けた方がボクはいいし、見てる人も面白いですよね。

——そういう感覚って、いつぐらいからなんですか？

横井　う〜ん、明日ぐらいから生まれてくるのかなぁ（笑）。

辻　アハハハハハ（笑）。

——その辺は辻さんも一緒ですよね。判定は嫌みたいですけど。

辻　（こっくりうなずく）。

——いま一番闘いたい相手っていうのは誰になるんですか？

横井　とにかく強い人とやりたいです！　あと、U-FILEの大久保（一樹）ちゃんとは闘いたいですね。

——それは何ルールで？

横井　大久保ちゃんなら何でもいいッスよ。頭突き金的、全部ありで。

——個人的に何かあるんですか？

横井　いや、特にないんですけど、大久保ちゃんはボクのライバルなんです。永遠のライバルでありアイドルなんですよ（笑）。

——それは知りませんでした。

横井　あと、桜庭さんも。

——桜庭さんと闘いたいんですか？

横井　はい。あつこさんと（笑）。

辻　アハッハッ（笑）。

——まあ、あつこさんの方も総合の試合に出ましたからね。

横井　総合的にやりたいですね、いろんな意味を込めて（笑）。

——ソフトオンデマンド提供マッチで実現させて下さい！（笑）。

横井　はい（笑）。（大人しい辻に向かって）ねえ、聞いてる？

辻　いや、難しい話やなぁって思って（笑）。

——辻さんは8月4日のZERO-ONEに出場が決まりましたけど、ZERO-ONEって知ってます？

辻　橋本さんがいる団体でしょ？

——正解です！

辻　……しか知らないです（笑）。

——橋本さんのこと、ホントに知ってるんですか？

辻　いやぁ、よくわからん（苦笑）。

——ここまで知らないと逆に気持ちいいですね（笑）。藪下戦に対してはどう思ってます？

辻　楽しみです！　凄い楽しみ。

——藪下さんの試合は何か見たことあるんですか？

辻　（小声で）まだ見てないです。

——じゃあ、どうしてそんなに楽しみなんですか（笑）。

横井　ホンマやん！（笑）。

辻　クーネンとやってるんで、どんだけ強いんかなぁって。あんだけ体格差があるのに、やろうと思うって凄いじゃないですか？

横井　俺も負けますからね、クーネンとやったら。

辻　フフフフフ（笑）。

——クーネンには勝てませんか？

横井　俺でも勝てないでしょうね。でもボクは、里村明衣子対辻結花とか見たいんですけど。

——え？　もしかして横井さんはガイアファンなんですか？

横井　ボクはデビル雅美のファンなんですよ。

——あ、そうなんですか。藪下戦の勝算はどのぐらいあるんですか？

辻　勝ちたいとは思ってるんですけど、勝てるとは……思ってないんで。

——プロレス団体の大会に出るっていうのはどう思ってます？

辻　いやぁ〜、私、プロレスするわけじゃないんで。でもお客さん多いんですよね？

——会場のツインメッセ熊本ってかなりデカイみたいですからね。

辻　それは楽しみです。見てもらう人が多い方が燃えると思います。

——会場は火の国・熊本ですからガンガン燃えて下さい！

横井　ボクも大舞台の方が気持ちいいは気持ちいいですね。アタシを見てって感じで（笑）。

辻　アハハハ。

横井　でも試合前になると緊張しちゃうんですけど、ボク（可愛らしく）。

辻　（疑った目で）え〜？

小畑千代、辻ちゃんにガチンコの奥義を伝授!!

この日のスマックは「SMACK LEGEND」と名付けられ、まさにリビングレジェンドと言える小畑千代選手が遂にリングに登場！　試合前には、辻ちゃんともガチンコトークを交わし、新旧格闘女王の揃い踏みが実現。休憩明けにリングに登場した辻ちゃんは「またスマックで試合がしたいと思います」と宣言。8月の藪下戦後、再びスマックに登場？

――辻さんは8月の藪下戦まで試合はしないみたいですけど、それは何か深い意味はあるんですか？

辻　ケガもあったし、試合ばっかりだと練習がちゃんと出来ないんで。それに新しい技も覚えたいんで。

――横井さんは、プロレスも始めたわけですけど、試合間隔はどれぐらいがベストなんですか？

横井　身体にダメージとかがなければ毎週でも毎日でもいいですね。

辻　（感心して）へぇ〜、凄いなぁ。

――プロレス初挑戦の試合ではダメージはなかったんですか？

横井　いやぁ〜、ちょっと身体、痛かったですけどね。でも、それを耐えてこそプロレスラーかなぁと。

辻　（感心して）ホント、凄いなぁ。

――2人とも次の試合はZERO-ONEになるんですよね？

横井　はい。次はコリノとやりたいッスね。ボクの目標なんで（笑）。

――コリノが目標！（笑）。

横井　デビル雅美対辻結花もZERO-ONEで見たいですね。あ、広田さくらとやったらええやん？

辻　知らない知らない（笑）。（突然）あ、私、横井君の試合見たことある。

――誰との試合ですか？

辻　UFCでセコンドに付いてるところ見た（自信満々に）。

――あぁ、この間の高阪さんの試合のときですね。

横井　俺の試合ちゃうやん！（笑）。

辻　そっか（笑）。でも「足関、足関」って叫んでたでしょ？　やっぱり凄いなぁって思って。

横井　返しが困ること言うなぁ（笑）。どこが凄いと思いましたか？

辻　いや、テレビに出てたんで（笑）。

横井　根本的におかしいやん！　まあでも、アメリカデビューやからね。英語はよくわかんないけど。

――英語は全くダメなんですか？

横井　はい（笑）。頭弱いんですよ。身体ばっかり鍛えてたんで、それで逆ハイブリッドボディになってしまったんですよ（笑）。あ、そうだ。この間、アメリカ行ってジョシュ（・バーネット）と逆ハイブリッド同盟を結成しましたから。

――確かにジョシュは逆ハイブリッドですね（笑）。誰か他に入ってもらいたい選手とかいるんですか？

横井　候補的には、ボブチャンチン、ヒョードル、コピィロフ、ヒーリング、ジェレミー、あとは、マーク・ハントも逆ハイブリッドですよね。

――言われてみると、最近の格闘技界のトップどころは逆ハイブリッドが多いですね。

横井　時代が来てるんですよ。これからはボクの時代ですかね（笑）。

――かもしれませんね（笑）。2人は共通して、試合になったらガラッと豹変するタイプですよね。

横井　ボクはあんま変わんないッスよ。リング上でも人を殴ったり出来ない優しい人間なんで（笑）。

辻　フッフッフッ（笑）。

横井　怖くないの、試合してて？

辻　怖い……かな？（笑）。

――2人とも嘘つきですね（笑）。

横井　でも見てて怖いですよ。「女の子が顔殴ってる。アカンアカン、女の子同士が殴り合っちゃ」って止めに入ろうかと思いますからね（笑）。（辻に向かって可愛らしく）ダメよ、顔は女の宝だから！

辻　アッハッハッハッ。

――横井さんから見て、女の子同士の顔面パンチはダメですか？

横井　ちょっと嫌ですね。可哀想ッスね。自分でも殴られるの嫌なんで。

――殴る方は大丈夫なんですよね？

横井　いや、ボクは殴る方がダメなんですよ。心が痛んで。殴りながらも痛いっていう感じで。

――殴りながらタップですか（笑）。

横井　今度やりますよ！　マウントパンチしながら涙を流してタップするっていう（笑）。

辻　ハッハッハッハッ（笑）。

――あっ、稲垣吾郎！（取材場所の近くにドラマの撮影でスマップの稲垣吾郎が現れる）

辻　エッ、どこどこ!?

横井　サインしてもらっておいで！

辻　（嬉しそうに稲垣が乗っているロケバスに向かって走る辻ちゃん）

横井　ボクは男は興味ないですから。小池栄子とかいたら全速力で走って行くんですけどねぇ。

辻　（嬉しそうに戻ってきて）本物本物！　どうしよ？

――どうしようって言われても（笑）。

横井　やっちまえ、やっちまえ！　オマエなら絶対勝てるで！

辻　えぇ〜、無理無理！（笑）。

――最後に2人で、何か意気込みでもお願いします！

横井　そうだなぁ？　あ、2人でNWAタッグ王座を獲る！

辻　フッフッフッフッ（笑）。

横井　あと、プレデターとトム・ハワードとやってやります！（辻に向かって）プレデターは頼むで!?

辻　プ、プレデター？　頑張ります。

【6月1日／東京駅・駅前広場にて収録】

プ、プレデター？
頑張ります!!

2人でタッグ組んで
プレデターと
ハワードと
やってやります！

薮下めぐみ、三十路の青春!!

『もう年も年なんで、これからは仕事（プロレス）も趣味（総合格闘技）も両方やっていきます！』

8・4 ZERO-ONE
熊本大会で
辻結花戦決定!!

一昨年『Remix』に登場し、グンダレンコに勝利した薮下めぐみ。骨法師範・堀辺先生も絶賛の素晴らしい闘いを見せた“格闘女神”が、スマックガールのリングに初登場！……結果はムエタイ戦士に判定負け！　しかし8・4ZERO-ONE熊本大会で女子総合のトップ・辻結花と闘うことが電撃決定!!　“仕事はプロレス、趣味は格闘技”と語る薮下の心の叫びを聞け!!

構成／松澤チョロ
撮影／丸山剛史
designed by gutty（Two Three）

――久々の格闘技戦はどうでしたか？　試合後には「今年は負け続けます」宣言も飛び出しましたけど。

薮下　もう勝ち負け関係なしに、自分の好きなことを好きなようにやりたいだけなんで。それで勝てたらラッキーだなぁと思いますよ。

――前から言ってるように、面白い試合をして、お客さんが沸いてくれるような試合が出来れば満足だと。

薮下　はい。でも結果的にお客さんが認めるってのは勝ち負けだと思うんですよ。勝ち負けだけに、こだわる人は、こだわってもいいと思うんですよ。でも、こだわらない人もいてもいいのかなって思うんですよ。

――薮下さんは、こだわらないと？

薮下　いや勝てばそれはラッキーですよ！　負けたら批判とかいろいろ書かれたりもしますけどぉ。本人が納得できたらそれでいいかなって。これで若かったら「絶対勝ちます！」って言いますけど（笑）、なんかそういう感じじゃないんですよ。

――でも、これから同体格の日本人と闘っていくんであれば、リスクは前より大きいんじゃないですか？

山本カントクには、「だったら、お前プロレスやってみなよ」って思いましたよ!!

薮下　おっきいですねぇ。でもアタシは別にそれは周りの人の意見なんで、どう思おうといいかなって。試合を見たお客さんがちょっとでも「おぉ～！」とか、「薮下、打撃できるようになったじゃん」とか、そういう風に思ってくれる方が嬉しいですねぇ。

――山本晋也カントクの「プロレスラーなんか問題ない！」っていうヤジは聞こえてました？

薮下　アタシ気付きましたよ！　カーッときて岩石落としたんですよ。

――「うっせー！」って言ってましたし、カチンときてましたよね？

薮下　プロレスと格闘技って本当に別物だと思うんですよ！　猪木さんとかは一緒にしてますけど。やっぱり格闘技やってる人にも失礼だし、プロレスを一本でやってる人にも失礼だなぁと思うんですよね。アタシは、まるっきり別のモノとして考えてるんで、プロレスで強かろうが格闘技で強かろうが関係ないと思うんですよ！　そりゃ両方強かったらいいんですけど、そんなに人生甘くないじゃないですか（笑）、ハッキリ言ったらね。

――男子でも、格闘技とプロレス、きっちり両立させてる人って、ほとんどいないですからね。

薮下　いないですよねぇ。だからなんか、ああいうことは言って欲しくないなって。だったら「お前プロレスやってみなよ！」って。

――山本カントク、プロレスデビューですか（笑）。

薮下　どんだけ大変なものかって。『トゥナイト』終わったのになんで来てたのかなって思ってたんですよ。ホントに「山本カントク、お前がやれよ！」って思いましたからね。あの試合勝ってたら多分、降りてその場で言ってましたよ！

――単純にプロレス対キックっていう、異種格闘技戦みたいな雰囲気だったから、キックよりのカントクは熱くなってそういうヤジを飛ばしたんじゃないですか？

薮下　そうなんですかねぇ。

――それに対して感情を露わにした

2002・6・1　SMACK GIRL 〜SMACK LEGEND〜　ディファ有明

薮下、スマック初参戦はムエタイ戦士に判定負け!

キックボクサーに対して真っ向から打撃で向かっていった薮下。固いガードを前に、有効打はなかなか放つことが出来ないものの、その立ち向かう姿勢に観客の目が惹きつけられた

タックルをかけるものの、彩丘の徹底したガードに阻まれる薮下。やや不格好ながらパンチも放って対抗するものの、ローキックを受けまくったその足がみるみる腫れあがる

グラウンドになると「寝技30秒ルール」が大きく影響してきた。彩丘の戦略の前に、薮下が攻めあぐねるシーンが続出。ガブられた状況でボディーへのヒザ蹴りがガンガン飛んでくる

スマックガールの歴史に残る好試合となったが、極めるまでには至らず判定となり、3－0で彩丘の勝利。彩丘は「キックの試合にも足を運んでくれると嬉しいです」とコメント

藪下さんは抜群でしたけどね。

藪下　そうなんですか？　でもあの一言はなんか……「お前がやれよ！」って。それか「お前がキック受けろよ！」って思っちゃいましたけどねぇ（笑）。

――タチ悪いですね（笑）。で、試合終わってから小畑千代さんっていう、今でも現役の女子レスラーなんですけど、リング下で何か声を掛けてましたよね。

藪下　ホント、ビックリしました！　わざわざリング下まで来て下さってると思わなくて。

――今でも現役で、それもガチンコやりたいって言ってるんですよ。

藪下　そうなんですかぁ。「良かったよぉ」って言われて。「これからも頑張ってね」って言われたんですけど、アタシがビックリしちゃいました（笑）。「えぇ！」って思って。

――で、藪下対辻結花戦がゼロワンで決まったということなんですが、男子のプロレス団体で格闘技戦をやるっていうのはどうなんですか？

藪下　ゼロワンとかに出たら、「藪下めぐみ」って名前を知らない人達が覚えてくれるかなって思うんですけど、（急に嬉しそうな表情になり）それより何より熊本大会のスポンサーがパチンコ屋さんらしいんですよ！　アタシそっちの方が興味あって。パチンコ一杯積ましてくれないかなって（笑）。

――積ませてもらうには、いい試合しないとダメですよね（笑）。で、藪下さんは、あまり知らないと思うんですけど、辻さんは、いま総合のトップクラスの選手なんですよ。

藪下　4戦4勝でしたっけ？

――詳しいですね。まだ一度も負けはないですからね。

藪下　高橋（洋子）さんがよく言ってますよ。「辻は強いよ」って。「そうなんですか～？」って。なんかもう、強いとか云々じゃなくって、今のアタシじゃ、辻とかに勝つ自信ないですもん！　ハッキリ言って。

――自信はないですか（笑）。

藪下　今の私は勝つ自信ないですもん（キッパリ）。

――やっぱり今年は負け続けるわけですか（笑）。

藪下　ただ負けるんじゃなくて、今の私はいい試合をして負け続けようかなって思ってるんですよ。なんか（試合を）やってるだけで満足なのに、「あんまり注目しないで下さい！」って感じで（笑）。

――注目されたくない！

藪下　呑気にやりたいなって。

――でも、藪下さんが思ってる以上に、「辻結花対藪下めぐみ」ってみんな期待してるんですよ。

山本晋也監督の「彩丘、プロレスラーなんか問題ない！」という言葉に対して藪下は、「他のプロレスラーの人に申し訳ない」と、「うっせぇ!!」の声とともに見事な水車落としを敢行!!　とコメントを残したこれには観客も大興奮!!　この一撃には彩丘も「あれは結構脳天にきましたね。プロ根性を見せられました」。

藪下　（他人事のように）そうみたいですね～。多分今の私とやっても……なんかよくわかんない（笑）、ようわからん！

――ま、熊本で楽しみながらやりたいだけだと。

藪下　美味しいモノを食べながら！　だから絶対減量はしません！（笑）。

――減量は拒否ですか（笑）。で、ゼロワンが今、男子のプロレスの中で一番盛り上がってて、勢いがあるってことは知ってます？

藪下　そうみたいですね。

――その中で、ゼロワンの中心になってきている「火祭り」っていうシリーズの優勝戦がある会場なんですよ。その中で、いい試合をして注目を集めてやろうっていうのは、レスラーとしてありますよね？

藪下　そうですね。やっぱりすっごいチャンスだと思うんですよ！　プロレスでは上がれないですけど（笑）、格闘技でこれだけ上げてもらって、雑誌とかでも取り上げてもらって、会場も提供してもらって。すっごく恵まれてるって思うんですよ。やっぱり規模が違うじゃないですか、男子と女子は。女子の会場は知れてるじゃないですか、入る人数って。でも男子の会場って入る規模メチャクチャおっきいじゃないですか！

――今度の会場も、かなり大きな会場みたいですからね。

藪下　みたいですね。すっごい幸せだなって。（ソフトオン）デマンドさんには感謝ですよね。

――8月の試合とかも、男子のゼロワンファンが来るわけで、男子ファンだとどうしても偏見で女子のプロレスも格闘技も見ないって言う人が多いじゃないですか。

藪下　そうですね。偏見を持たずに純粋にファンの人に見て欲しいなって思いますね。だから勝ち負け関係なしにこの「藪下めぐみ」っていう名前と、女子でもここまで出来ますよっていう……ここまでやってますよっていう。これからガンガン広げたいっていうのを知っていただければ凄くいいのかなって思いますね。

ゴッドファーザー愛のテーマで貫禄十分に入場してきた小畑さん。「闘うつもりはありますか？」とリングアナにマイクを向けられると、「やるんだったら不様な姿は見せられないんで、しっかり体調整えて、チャンスがあったら出たいです」と観客の前で宣言！

――勝ちます宣言はしないけど、面白い試合をやりたいんですよね。

藪下　したいですね。取りあえず今は広めたいです。だから負けてもいいんです。勝っても負けてもいいんです。1人でも、女子の格闘技がありますよ～ってことに気付いてくれれば。女子プロレスは認識度は一般の方でも知ってる人はいるじゃないですか。でも女子格闘技があるっていうのはそんなに知られてないと思うんですよ。だからこの機会に知ってもらいたくて。ホント、ウチらは土台でいいと思うんですよ。この2～3年後に盛り上がってくれれば。

――可能性はありますよね。スマックもテレビとかで取り上げられる機会も多いですからね。

藪下　ですよね。

――これからもプロレスと格闘技と両立していくんですね？

藪下　女子では、まだ両立して、ちゃんとやってる人いないですよね？　っていうかリスクがおっきいんですよね。格闘技戦で負けた時にプロレスに響くリスクっていうか。

――ああ、それはありますよね。

藪下　でも、それは一緒にしてしまうから出来ないのかなって思うんで。だから2つ分けて考えて、あえて2つの道を行こうかなって。自分的には器用じゃないんですけど、アタシもう若くないんで、やりたいことをやろうかなって（笑）。

――頑張って下さい！

プロレスマスコミの哲人
元・週刊ファイト編集長
井上義啓氏
（通称＝I編集長）
狂乱のマット界時事批評

喫茶店トーク

緊急スペシャルインタビュー

Inoue mode

――井上さん、大変です！『紙プロ』前号で行われた井上さんのインタビューが「面白かった記事」の読者アンケートで第二位に輝いたんですよ！

井上　ほほう（ちょっと嬉しそうな声で）。

――というわけで、好評につき今回もよろしくお願いします！　最近、最大の話題と言えば、長州が新日退団の際に猪木批判をした会見だと思うんですけど。井上さんは、率直にどう思いましたか？

井上　そんなもんアンタ、言いたいことがあるんだったら、猪木に直接言えばいいんだよ！（ドン！とテーブルを叩いてるハズ）。

――会見で言ってる場合じゃないと（笑）。

井上　日本には「立つ鳥あとを濁さず」という言葉があるわけですよ。それを立つ鳥あとを濁しとるわけだ、長州は！

――かなり濁してましたよね（笑）。

井上　だいたい、長州というのはね、一度新日本を出ていった人間なんだよな！

――ジャパンプロレスですね。結局、新日本にまた戻りましたけど。

井上　あのな、馬場なんか戻ることなんて絶対許さんよ！　猪木だから黙ってたんだから。それなのにそういったことは全然言わないで、猪木のことをやいのやいの言うとるわけですよ。「30年間唱えて実現がどうたら」とかな！

――「感謝すらない」って言ってましたね。

井上　ああ、よくそういうことをテメェは言うなと！（ドンッ）

――「テメェ」ですか（笑）。

井上　言うちゃ悪いけど、オレは長州が、角刈りとか坊主刈りのころから知っとるんだから！「吉田です、よろしくおねがいします！」「あ、キミが吉田か。まぁ、頑張ってやりなさい」とね。そういったときから、ずっと見てきとるわけですよ。アイツが偉くなってから付き合ってきたんと違うわけよ。金沢なんてのは、俺が「長州の取材しろ」と言うたんだから！

――長州―GKラインは井上さんが作ったんですか！（笑）。

井上　だから、あえて言わしてもらうけどね、お前何様なんだ！　と。お前が新日本の重役かなんか知らないけどね、ハッキリ言って、坊主頭じゃなかったかと。ここまでしてもらったのは誰のお陰だと。マスコミのお陰だろ！　ファンのお陰だろ！　そしてお前を黙って受け入れてくれた、猪木のお陰だろ！　それを忘れたらいけませんよ、アンタ！

――井上さんからすれば、今回の長州の言動はおかしいわけですか？

井上　そうなるんだけどな。しかし、長州ほどの男が、そんなことはわかっとるはずなんだ。その長州があれだけのことを言うからには、何か裏があるだろうなって俺は読んでるんだよな。

――あの言動には裏がありますか!?

井上　おそらく全日本プロレスのリングに上がるんだろうな。だから全日ファンに受け入れられるためのパブリシティなんですよ。

――パ、パブリシティですか!?

井上　「新日を潰してやる！」「オレと武藤が組んだら新日なんて潰れるぞ！」とかね。そういったプロモーション・ビデオにするんじゃないかと見とるんだけどな。

――なぜビデオなんだ（笑）。

井上　そりゃそうですよ、アンタ！　全日はここで武藤がスパイダーマンかなんかになるんだから！

――新ムタらしいですけど。スパイダーマンをご存知なんですね（笑）。

井上　知っとりますよ、スパイダーマンぐらい。そんなもんアンタ、蜘蛛男なんだから！

――蜘蛛男なんだから、って言われても（笑）。

井上　武藤は30日にその蜘蛛男やって、31日に今度は長州と一騎打ちかなんかやるんだろうな。だからそういうことで客は入るだろうけど、それこそ客が「わーわー」叫ぶのは新日と全日の喧嘩ですよ。これは昔からの鉄則なんだよな。

――いまだったらもの凄く盛り上がると思いますよ！

井上　だからな、新日本プロレスは長州が出ていくのはわかっていたし、8月の30、31日（の全日武道館）に長州が出てくることは目に見えてたわけですよ。全日本が2月の時点で30、31日に押さえたときから考えていたんだろうな。だから、新日本も2月の時点でドーンと武道館を押さえているんですよ。

――そんな早い時期からそんなことを予測していたんですか!?

井上　そんなもんプロレス者なら常識ですよ！　そもそも日本武道館なんて、半年前ぐらいから押さえないと無理なんだから！　だから、新日本も全日本も「お互いに儲けましょうよ、喧嘩しましょうよ」と

今月のお題

「猪木には感謝すらない」長州発言の真意とは何か？

前号大好評を博したI編集長こと井上義啓さんインタビュー。30周年を迎えた新日本の現状をその鋭い視点から斬り捲ったわけだが、アントン総帥を徹底糾弾し、マット界を震撼させた5・31長州力・新日本退団会見をどう分析していたのだろうか？　『紙プロ』人気連載だった「喫茶店トークi－モード」が久しぶりに復活！　この「長州問題」を言うちゃ悪いけど一刀両断した！

聞き手／堀江ガンツ　構成／ジャン斉藤

話し合ってるはずなんですよ！

——話し合ってますか！（笑）。

井上　フロントや選手が互いに「わーわー」言うてるけども、けっきょくは客を一人でも集めるための工作であって、「ホントにあそこが憎い、ここが憎い」と言ってんだったら、ドスをもって殴り込みかけるからね！

——そ、そこまでしますか！（笑）。

井上　そんなもん当たり前ですよ、アンタ！　喧嘩なんだから！　これがヤクザの世界だったら血の雨が降ってますよ！　アル・カポネの世界ですよ。力道山の世界でもありますよ！

——力道山の世界（笑）では、長州さんの上がるリングは、全日本で間違いないわけですか？

井上　おそらく天龍が引退興行やりますよ。これはいつかわからないけど、おそらく10月27日か、そこらへんじゃないかと思うんだけどね。いや、8月30日か31日もあるな。そこで長州は天龍とスクラムを組んで出るんじゃなかろうかとな。これは俺が、ずっと前から言うてるんだよ。おそらく長州が新日本を出ていったのはそれを睨んでるんじゃないか、と。

——あ、長州さんは天龍さんの引退試合にでるために辞めた可能性もあるんですか!?

井上　どんなことがあっても5月31日にケリをつけておいて、必ず天龍の引退興行に出ると。俺はずっと前からこれは言ってきたのよ。当たるかどうかわからないけどな。それは元子夫人が長州に対して、どういう心境変化してるかわからんしな。

——馬場さんに後ろ足で砂をかけて出ていったわけですからね。

井上　でも、「出さしてください」って言ったらね、「よろしい」ってことになりますよ。それはなぜかと言ったら、天龍と長州の友情ですよ。だから、そこらへんでおそらく元子夫人も「うん」て言うんじゃないか。

——長州さんは団体を旗揚げする可能性はどうなんでしょうか？

井上　そりゃないね。長州は影の実力者でやったきたからね。そんな人間が団体つくってね、「今日記者会見しますんで、記者のかた来て下さい。お願いします。『週刊ファイト』さんお願いします」なんて、アンタ、長州が言うと思うか!?

——想像もできません（笑）。

井上　俺はね、長州自身をそんなに悪い人間だと思ってませんよ。長州という人間は非常に友情というか仁義っていうことを重んじる人ですよ。

——いままで見てきてそうですからね。

井上　昔、東大阪だったかな、どっかで百貨店がねドーンとオープンしたんですよ。その時に「オープンの記念にプロレスラーのトークショーをやろう」という話が俺のところにきたわけですよ。で、誰がいいかとイベント屋に聞いたら「猪木、藤波」とか言いよるからね、俺が言ってやったわけですよ！「アンタね、いまは長州でしょうが」と！

——井上さんが長州を推薦したんですか！

井上　そういうことですよ。それで長州に持ちかけたらな、「編集長にお願いがあるんですけど。ボクだけじゃなくて、浜さん（＝アニマル浜口）も一緒にやってくれませんか？　2人だったら、私はOKさしてもらいますけど、私一人だったらダメです」と言うわけなんだよ。しかも、アンタ、「できたら浜さんのほうに、ボクのギャラを全部上げてください」とまで言うとったからな。

——それは長州さんのちょっと良い話ですねえ。

井上　それで俺がいろいろ奔走したわけですよ。その時に長州も関係者からそういう話を聞いたんだろうな。口べたで、人に頭を下げることがイヤな男がね、わざわざ俺の所にきて、「ありがとうございました！」と。深々と頭を下げたんだよな。

——あの長州さんがですか！

井上　オレは何も長州から一銭の金ももらったわけでもないし、一緒に酒を飲んだこともないし、レスラ

―長州というのは嫌いですよ。でもな、人間長州っていうのは、興味深いところがあるんだよな。アントニオ猪木にしたって、新間（寿）氏が言ったように「猪木寛至っていうのはオレは嫌いだ。だからあの本（『アントニオ猪木の伏魔殿』）を書いたんだ。でも、猪木寛至のなかでも好きなところがある」。俺が言いたいのは、これですよ！（ドンッ！）。

―好きでも嫌いでも、偏った感情を抱いてはいけないということですね。

井上 そういうことですよ、極端に言えば。この前のなんか、（ロフト）プラスワンか？ イベントをやったんですよ。

―竹内さんや新間さんと一緒にでたんですよね？

井上 そのときに新間氏が「オレは立場上好き勝手なことというから、編集長はマアマアと引き留め役にまわってくださいよ」と、俺の顔見た途端に言いよりましたよ。

―井上さんが引き留め役ですか!?（笑）

井上 そうなんだよ！ わかっとるからな、新間氏も。

―でも、それがプロレスですよね。それで、話を戻したいんですけど。長州さんが抜けられて、これから新日本プロレスに影響はありますか？

井上 ないだろうな。やめるってわかってたことだしね。新日本プロレスのファンにしたって、長州が出ていくときにあんなことを言ったことに対して、反感があるんだよな。拾ってもらった恩義を忘れおってみたいにな。アンチ猪木派、アンチ新日本プロレスファンは「ざまぁみやがれ！」って言ってるだろうけどね。

言うちゃ悪いけど今日の結論

プロレスの喧嘩は「お互い儲けましょう」というプロモーションビデオなんだよ！

言うちゃ悪いけど、ファン全体の対数の法則って調べてみると、そうなるんだな。

―ファン全体の対数の法則でそんなのがわかるんですか!?

井上 わかりますよ、そんなもん！ み～んな、猪木が（長州に会見に対して）黙ってたっていうのはみんな拍手喝采してますよ！ プロレスっていうのはお互いが言うてたら、きりがないのよ。これはね、底が見えない底なし沼だから、どうにもならない。

―底なしの沼の言い合い！（笑）。たしかに今回、藤波さんが長州さんに言い返したら、また言い返されちゃって、ボロが出ちゃいましたからね（笑）。

井上 だから俺が言うてるんだよ！ お互いに醜いところはさらけだして終わりになっちゃうって！ 高橋本に関しても、『週刊ファイト』だけじゃなくて、他の専門誌も何も触れないことにしようと、言ったのはそこに理由がある。

―それで終わりにしちゃうと。言いたいことはあるけど、もう何も言わない。言い始めたらまたきりがないんだ！ だから、きりをつけさせるためには、言われても黙ってると。わかる人はわかるはずだというね、この絶大なる自分に対する信頼感ですよ。

―自分に対する信頼ですか。

井上 そうですよ！ 井上義啓はこう言った。ガタガタ言うヤツもおる。しかし、俺をわかってる人達、プロレス者、井上義啓のファン、そういった人達は絶対わかってるはずだという確信が俺にはあるからね。俺はなんにも言わないですよ。俺を信じてくれてる人、俺の言うことは正しいと思ってくれてる人は、はっきり言うて日本だけで10万や20万じゃききませんよ！ 15万はおるだろうな！

―井上さん、減ってます（笑）。

井上 （聞かずに）猪木にしたってそうだったと思うよ。何を言われようとアントニオ猪木という部分を気に入ってくれてる人は、気に入ってくれてると。長州が猪木をあーだこーだ言うてもしょうがないんですよ！ 俺が言いたいことはそういうことだな！

―冒頭でもそう断言していたような気がしますけど（笑）。でも、この問題が大変良くわかりました！ また次回もよろしくお願いします！

【02年6月9日／電話取材にて収録】

いのうえ・よしひろ■1934年岡山県出身。「週刊ファイト」の編集長を長く務めた、「活字プロレス」と呼ばれるジャンルの創始者。ターザン、GK、ケンファー佐藤等、プロレスマスコミでI編集長に影響を受けた人間は数知れない。

紙のプロレス RADICAL スーパースター外伝

5・23後楽園では「中村」ボードまで登場!

中村

マニアも認める ZERO-ONE大ブレイクの“黒幕”はこの男だ!!

ZERO-ONE 渉外・営業部長 中村祥之

NWAやUPWをはじめ、様々な選手、そして関係者が好き勝手に暴れているかのように見えるZERO-ONEマットだが、その陰には渉外部長として日米を頻繁に行き来する中村祥之氏の涙ぐましい努力があるのだ。5・23後楽園大会では「中村」ボードまで飛び出し、マニアには、すっかりZERO-ONEの“黒幕”として認知されている中村氏に、ZERO-ONEとは何か? たっぷりと語ってもらった。

聞き手／松澤チョロ
助手&撮影／堀江ガンツ
designed by matsu (Two three)

――しかし、中村さん、ここ最近のZERO―ONEの大ブレイクぶりは凄まじいですね。

中村　ありがとうございます。でも『紙プロ』さんもそうですし、いろんな雑誌を読めば読むほどプレッシャーを感じるんですよ。「こういうものを求められてるんだな」っていうのと、「こっちに行っちゃいけないんだ」っていうのがあって（苦笑）。難しいですね。ウチのファンの中でも、アメリカ的なものが好きなファンと、橋本さんがやってきた新日本流の、いわゆるストロングスタイルの試合が好きなファンがいるんで。僕はどっちかっていうと新日本出なんで、そもそもそれがプロレスだと思ってたんですよ。

――新日出身の人は、「新日本こそがプロレスだ」っていう人が多いですからね。

中村　僕も新日本の中で、ずっと育ってきたんで、やっぱり橋本さんや小川さんがやるような試合がプロレスだっていうのがあったんですよ。でも新日本と同じことをやっても歴史も違うし、しようがないなっていう発想から突然変わりましたね（笑）。

――ZERO―ONEが変わったきっかけっていうのは具体的に何かあったんですか？

中村　まだ試行錯誤の段階なんで、それがいいのか悪いのかわからないですけど、ウチはアメリカに何度も何度も行ってるじゃないですか？

――よく行ってますよね。

中村　橋本さんとも行ったし、僕一人でも何度も行きましたし。アメリカのファンっていうのは会場が大きくても小さくても、関係者、選手、お客さん、みんな一生懸命なんです。全てがひとつになって、ひとつの興行なんです。日本のプロレスっていうか、僕がこれまで見てきたのは、関係者がセッティングをして、選手が試合をこなして、お客さんが見るって感じで分割されてるんですよ。アメリカは関係者も選手もお客さんもひとつになって雰囲気を作ってますよ。日本じゃ、絶対つまみ出されるような輩ばっかりなんですよね。選手が入場してくるところをいきなり中指立てて挑発したりしますからね。

――それこそ、新日本だったら間違いなくつまみ出されてますね。

中村　ですよね。ましてやアメリカなんて入場料金が10ドルとか、高くて15ドルなんですよ。それで思いっきり楽しんで帰っていきますからね。それを間近に見て、だいぶ影響を受けましたよね。

――払った分だけモトを取って帰ろうっていうようような？

中村　そうなんです……いや、モト以上は確実に取ってますね（笑）。日本ではプロレスっていうのはアメリカと比べたらあとから入ってきたわけですけど、正直、日本のプロレスは凄いと僕らも慢心してたんですよね。だけど本物のプロレスリングの試合というか、向こうでは完全にショーって言ってますけど、イベントとしてはアメリカの方が上ですよ。

――中村さんもアメリカに何度も行ってプロレスに対する考え方が変わってきたわけですね。

中村　変わりましたね。要するにプロレス本来の良さっていうのは、日本でもそうですけど、子供からお年寄りまでが見てわかるものっていう部分なんですよね。猪木さんが言うプロレスは万国共通じゃないですけど、言葉がいらないってヤツですよね。日本でも歌舞伎とかは日本語だったり日本人でなければわからないところがありますよね。でもプロレスっていうのは万国共通でわかるじゃないですか？

イベントとしては日本よりアメリカのプロレスの方が上です

――WWF改めWWEなんか世界何ヶ国でやってますからね。

中村　ですよね。それにアメリカのプロレス会場では4～5才の子供がギャーギャー騒いでるんですよ。日本って、今はそういうのがないじゃないですか？

――地上波のプロレス中継が深夜枠になってから、お年寄りや子供離れが進んでますからね。

中村　僕は最低限のマナーだけあったら、お金を払って見てるお客さんは本来何してもいいと思うんですよ。ボードを上げようが、罵声を浴びせようが、面白いつまんないって言うのはあって当たり前。全体の雰囲気を乱すようなものじゃなければ、ある程度のものは認めなければいけないんじゃないですかね。

――そういえば、この間の後楽園大会では「中村」ボードまで上がってましたね（笑）。（と言って、扉写真を見せる）

中村　出てましたねぇ（苦笑）。そのお客さんは知ってるんですけど、FMWにサンドマンが来たら追っかけたり外人選手が好きな人たちなんですよ。

――今のZERO―ONEというか、中村さんが、外人選手好きなファンのお眼鏡にかなったんでしょうね（笑）。

中村　ありがたいはありがたいんですけど、あれは、たまんないですよね（苦笑）まあでも、ああいうのもドンドンやってかまわないし、もっと楽しんで欲しいですね。今のウチは観客だけでなくジム・ミラーにしても、リック・バスマンにしても普通に考えたら有り得ない世界になってますからね。社長業だけやってればいいのに、ボディプレスまでやってくれますからね（笑）。……私が言うのもどうかと思いますけど（笑）。

――確かに中村さんが言うのもなんですが（笑）、ホント今のZERO―ONEは、何でもありって感じですよね。

中村　そうかもしれませんね（笑）。

――その辺も含めて、マニア層からはZERO―ONEの影の仕掛け人というか、平成の新間寿とも言える中村さんの存在が注目されてるわけですよ（笑）。

中村　いや、僕は仕掛けてるわけじゃないんですよ（苦笑）。ただ力が抜けたって言うか、新日本にいたんで、どうしても今までは気負ってしまうところがあったんです。それに僕は営業だったんで、切符を売ったり、スポンサー集めたりそれだけじゃないですか。だからZERO―ONEに来て1年間は「新日本プロレスでは、うまくいってたのにZERO―ONEじゃうまくいかないのはなんでだろう？」っていう闘いの連続で。営業でもそうだったし、スポンサーでもそうだし、「なんでお客さんが来ないんだ？」って。それが去年12月の真撃っていうのがあって、あの結果を自分で認めればいいんだって思って。

――12月の真撃は、お客さん入ってなかったですからねぇ（笑）。

中村　小川さんは出てくれる、相手もそれなりにいる。でもなんでお客さん入らないんだろう？　これは何かが違うなって気づいて、そこからですよね。

――逆に、そこで吹っ切れたというか。

中村　もう「こりゃダメだ」と思って（苦笑）。僕が思ってた真撃の理想のスタイルは初回のUFOみたいな、ああいうイメージだったんですよ。

――旗揚げの頃のUFOですね。

中村　そうです。だけど真撃はちょっと違う感じになっちゃって（苦笑）。やっぱりプロレスラーが一番輝くのは何かといったら、本当のプロレスをやることじゃないかなと思って。思い切ってその後に橋本さんに話をしたんです。「代表のやりたいプロレスは代表の中でやってもらって、他に関しては僕らの意見も聞いて下さい」って。前までは、橋本さんから言わせれば「スティーブ・コリノなんて嫌だ」っていうのがあったんですよ。

――以前の価値観から考えると認められなかったんでしょうね。橋本さんはストロングスタイルっていう部分に凄くこだわりを持ってますし。

中村　絶対に嫌だと思いますよ。ああいうコテコテのアメリカ人って（笑）。だけどファンの立場で考えたら、選手が嫌がる者同士

の試合っていうのは見たいものが多いんです。これは絶対に。

――それは間違いないですね。

中村　そこですよね。ウチはカードの案が固まったら一応選手に聞いてみるんですけど、それで選手が「いやぁ……」っていう表情をしたら、逆に「これだ！」と思いますからね（笑）。

――「もうリリース流しちゃえ！」みたいなノリで（笑）。

中村　そうですそうです（笑）。もちろん橋本さんに断りは入れますけど、あんまりカードに関しては橋本さんは最近言わないですね。「代表は今度この人とやって下さい」という風に言えば、大体「わかった」っていう感じで。橋本さんも自分の中で葛藤があったと思うんです。例えばプレデターなんかは、3月の旗揚げの前に、デカイし見栄えもいいんでUFOベイダーでやらせたんです。だけど、ハッキリ言って業界用語で言えば、しょっぱかったじゃないですか？（笑）。

――かなり、しょっぱかったですね（笑）。

中村　それで、今年の3月の両国の時、ちょうどノアさんとヘビー級の交流するとかしないとか言ってた時に結局流れちゃったんですよね。その時にZERO―ONE単体でやるしかないとなれば、もうなんでも出来るんじゃないかと。気を使うこともなく、もう吹っ切るしかないなということで。一回アメリカに行って、UPWの事務所でバスマンに話した時にプレデターは（ブルーザー・）ブロディに似てるっていう紹介をしてきたんで。僕もブロディ好きだったんで、マネしろとは言わないけど、チェーン持たせるから好きにやってくれって話をしたんですよ。最近いないじゃないですか、会場中暴れるレスラーって。

――少なくなりましたよね。

中村　でも橋本さんは、それは大反対だったんですよ。

――何が反対だったんですかね？

中村　真似事が嫌いなんですよ。「人のマネをさせるな！　オリジナリティを持たせろ！」と。でも橋本さんには内緒で音楽もブロディと同じ移民の歌に変えちゃったんですよ。それでチェーン振り回して出てくるプレデターを橋本さんがたまたまモニターで見てたらしいんですけど、僕がやれって言ったの忘れて、「ほら見ろ！　これや！」って(笑)。

――アハハハ！　さすが破壊王（笑）。

中村　「だからオレは前から言ってたやろ！」「そ、そうですね……」って（笑）。で、その後に「オイ！」って呼ばれて、また怒られるのかなぁと思ったら、「チェーンが細いやろ！」って(笑)。

――アハハハハ！　抜群です！（笑）。

中村　「もっと振り回させろ！」「は、はい」って。ちょっと前まではマネさせるなって言ってて、どうしたことか（笑）。

――最近、橋本さんはインタビューとかでもプレデターをブロディって言ってますからね（笑）。

中村　ご満悦ですからね（笑）。コリノなんかも今でこそ注目されてますけど、去年の7月のZEPP2連戦に呼んだ時は、代表もそうですし、大谷君とかも、「ああいう選手はちょっと……」っていう感じだったんですよ。でも僕はアメリカに何度も行って、コリノの試合とか見ましたけど面白いし、コリノ対橋本戦なんて会場中ヒートしまくりなんですよ。それで「代表、コリノと日本でやるのは嫌ですか？」って聞いたら、「絶対に嫌だ！　日本でやったらファンに笑われるやろ！」って言うんですよ。

――橋本さんらしいですけどね。

中村　それをなんとか説得して「お前がいいって言うんだったら、1月に呼んでもいいよ」って話になって、また呼んだんですけど、それから爆発ですよね。ロープに足引っ掛けて、（佐藤）耕平からカウント3取ったり、2月の後楽園も評判良くて、気がつけば『週プロ』の表紙にまでなっちゃいましたからね（笑）。

――さすがに表紙は、やりすぎかなとは思うんですけど（笑）。

中村　ですよね（笑）。でもね、ホント、コリノには感謝してもらいたいぐらいですよ（笑）。

――この間の後楽園大会での長すぎるタッチロープとか一連の小ネタは中村さんのアイデアらしいですからね。

中村　どうなんでしょうね（笑）。でも多分、新日本プロレスにいた選手にしろ、僕にしろ、いろんなものにとらわれすぎてたんですよ。新日本こそがプロレスで他はプロレスじゃないっていう。もしかしたら初期のFMWなんかを楽しんでたファンとかはウチには入ってきやすいんじゃないかなって思うんですよ。

――あぁ、それはあるかもしれませんね。

中村　よく「インディだ、メジャーだ」って言いますけど、選手の方が、そういうプライド持つのはいいんですけど、関係者がそういうプライドを持っちゃいけないんじゃないかなって。「インディでもなければ、メジャーでもないです。うちはプロレスリングZERO―ONEです」っていう試合が一番いいんじゃないかなって。一時は新日本プロレスを辞めて、色々なこと言われて「チクショー」と思って、打倒・新日本みたいなこと思ってましたけど、今は全く気にならなくなりましたね。

――あ、そうなんですか？

中村　新間さんとかがいた頃って、僕もファンだったからわかるんですけど、ファンは怒りとかストレスを溜めさせられたわけですよね。毎週プチンとキレて、「チクショー」みたいなね(笑)。

――最終戦まで引っ張りますからね（笑）。

中村　今は時代も違うし、ウチはテレビも地上波は付いてないんで、そういうやり方じゃなく

5・23後楽園大会では敵対するUPWリック・バスマン代表にボディプレスを喰らわした"クソデブ"ことNWA会長ジム・ミラー。表情といい、パフォーマンスといい（もちろん体格も）、レスラー顔負けのキャラクターである。

て、僕らが楽しければファンも楽しいんじゃないかって思ってやってるんですよ。

――それは言えますよね。

中村　僕らがつまらなそうであれば、ファンはもっとつまらないだろうし。それに、僕なんかただで会場に入れますけど、ファンの人はお金払って入ってくるわけですから。やっぱり今のファンの人たちは欲が大きいんで、誰を呼んでくれっていうリストを自分で言ってくるんですよね。何でそんな選手知ってんだろうなっていうのばっかり（笑）。日本に来たこともないのに。

――僕もマニアの人から「中村さんに誰々っていう外人呼んでくれって頼んで下さい」とか言われますからね（笑）。

中村　やっぱりインターネット社会だからでしょうね。ウチで次に面白いキャラクターを呼べるとしたら、元KGBとかね。ホントにいたらしいんですよ。

――キャラクターじゃなく本物だと。ZERO—ONEに来てる外人はトム・ハワードも本物のグリーン・ベレーだし、ネイティブ・ブラットもホントにネイティブみたいですからね。

中村　そうなんですよ。まあUPWっていう宝を掘り当てたのが大きかったんでしょうね。それで、UPWってプロレスリングスクール持ってて、ハワードが全部教えてるんですけど、スクールで基礎が終わって、いつでも試合はできますっていう選手が60人ぐらいいるんですよ。

――60人もいるんですか!?　まあ、それだけいたらいいキャラもいるんでしょうね（笑）。

中村　これが、もう全部見せてあげたいくらいですよ（笑）。なかには「ん?」っていうのもいますけどね。

――UPWもいいんですけど、一方のジム・ミラー率いるNWAと絡んだきっかけっていうのは何だったんですか?

中村　NWAっていう名前は結局日本で受け入れやすかったっていうだけで（笑）。でも僕らも、代表の信念からしてNWAは大反対だったんですよ。今更って部分もあるし。みんなにも、そう言われてたんで大反対だったんです。

――それがまた、何故?

中村　代表が新日本の若手の頃、転戦してたらしいんですね、蝶野さんとかと。その時に修行してたテリトリーがNWAだったみたいなんですよ。それで、その時のNWAヘビー級チャンピオンはスーパースターだったらしいんですよ。それこそ車も違えば、食ってるものも違えば、ドレッシングルームも違えばっていう。だからきっとNWAっていうものに凄い憧れがあったと思うんですよ。だから「オレはNWAだ」って、とにかくこだわりは凄かったんですよ。

――オレはNWA！（笑）。

中村　だからしつこくアメリカにオファーして、無理矢理行って、しかも自費渡航ですからね。

――そうだったんですか（笑）。

中村　呼ばれてもないのに行って、とにかく「NWAに挑戦させろ！」って（笑）。獲ったかと思ったら取り上げられたりして、なんなんだろうと思いながら（苦笑）。

――さすがジム・ミラーですね（笑）。

中村　それで12月に、また獲って、それが本人も嬉しかったみたいで、家にベルトを持って帰ってましたからね。それで、会社に次の日持ってきたんですよ。そしたらピカピカになってて（笑）。

プレデターには「チェーン持たせるから好きにやれ」って話したんですよ

――アハハハハ！

中村　昔、IWGPのヘビー級のベルトを最初に獲った時も、僕が聞いた話だと、代表はベルトをしたまま道場でちゃんこを食べてたらしいですから（笑）。

――アハハハ！　ベルト巻いたままですか（笑）。

中村　そうです（笑）。あと初めてベルトを獲ったすぐあとに代表の地元で興行があって、みんなにベルトを見せてまわるんですけど、誰にも触らせないんですよ（笑）。

――オレの物はオレの物だと（笑）。

中村　その時は朝の7時まで僕の目の前でいろんな話しをしながら、ずっとベルトを磨いてましたからね。綿棒とか使ったりして。それが毎日みたいなんですよ。

――別に、そんなに汚れとかあるわけじゃないんですよね?（笑）。

中村　ないんですけど、本人曰く「輝きが鈍くなってきてる」って。それだけひとつのベルトに執着心を燃やす人って、やっぱり強いですよね。でもこの前のナショナル・ヘビー級はストライプの昔懐かしいベルトでしたけどね（笑）。

――さすがの橋本さんも「こんなベルトはいらん！」って言ってましたからね（笑）。

中村　それで6月19日に、もし行ければ行きたいんですけど、ダン・スバーンがNWAのベルトを剥奪されて、決定戦をロイヤルランブルでやるっていうんで。そこにケン・シャムロックも出るらしいんで、ケンと代表が絡んでも面白いかなって。

――橋本さんとシャムロックと言えば、かつて東京ドームで実現し損ねた幻のカードですからね。

中村　因縁もありますからね。小川さんは怒るかもしれないですけど、例えば、これは僕は代表にも言ったんですけど、ジェフ・ジャレット対小川戦とか見たいですよと。大谷対ジェフ・ジャレットなんかは当たり前すぎるし。あとは個人的には、ジョシー・デンプシー対タイガー・ジェット・シンも見たいし、ゴルドー対ウィリー・ウイリアムスも見たいですし。

――それはいいですねぇ。

中村　デンプシーをシンがサーベルでボコボコにするとか見たいですね（笑）。そういった、いろいろな発想の中でひとつづつ出来るものからやっていけば、まだ出来るかなって思ってますけどね。

――ここ数年は、ほとんどの団体が外人選手を活かしきれてない状態ですからね。

中村　コリノなんかも、いま凄いやる気で、この間なんかWWFのオファーも蹴ってくれたんですよ。

――WWFからコリノにオファーが来てたんですか?

中村　ホントに来てましたからね。アメリカっていうのは、やっぱりWWFっていうのはメジャーじゃないですか。そこで一番になることが希望だし勲章なんですよね。コリノは、だからといってギャラを吊り上げようとかいう意志は全くなかったですし、「今後もZERO—ONEにオレは上がれるか?」って言ってくれて。「上がれるかって言うか来てよ」って話をしたら「それならば」って。コリノはWWFよりアイ・ラブ・ジャパンなん

紙のプロレスRADICAL スーパースター外伝

ですよ(笑)。

――へぇ～、そうなんですか。まあ、コリノはゴルドーから小池栄子まで誰と絡んでも魅せてくれますからね(笑)。

中村　何をやらせても絵になる男ですよね。三枚目ですけど(笑)。ウチのポリシーとして同じキャラクターは呼ばないっていうのがひとつあるかもしれないですね。プレデターがあってトムがあってデンプシーがあって。デンプシーなんかいつのまにかK―1からオファーが来るようになって。僕はホントに耳を疑いましたよ。有り得ないだろうって（笑）。

――デンプシーはウチでインタビューした時もK―1だろうが『PRIDE』だろうが、どこでもチャンピオンになるって真顔で言ってましたからね。

中村　ホント『紙プロ』さんのおかげで(笑)。今またファンの中でデンプシーが見たいって言う気持ちが段々高ぶってきているし、ホントは次のシリーズ全戦参加させようと思ったんですけど、石井館長が武蔵とやらせるようなこと言ってたんで、デンプシーはもうやる気になって、連日午前3時間、午後3時間、合わせて6時間練習やってるみたいですからね。

――一日6時間！　でも、デンプシーには、この間の中迫戦でのボブ・サップ以上の暴れっぷりを期待したいですね。

中村　多分デンプシーはアレ以上やってくれますよ。真撃の公開募集みたいなのをLAボクシングとUPWでやったんですけど、そこにデンプシーが来て、橋本さんに「デンプシーって選手いいじゃないですか?」って言ったら、「あんな狂って殴ることしか知らないようなヤツはダメだ。絶対嫌だ。それに大体、あの顔は入国できない。無理だ！」って言ってましたからね（笑）。

――あの顔は入国できない（笑）。

中村　本当に狂ってますからね。目を見るのも嫌です（笑）。

――デンプシーは今のZERO―ONEを象徴するように、どこまで本気で、どこまでキャラなのか全くわかりませんからね。

中村　僕もわからないですね（苦笑)。でもホントにアメリカにはいい外人たくさんいるんですよ。

――中村さんはアメリカン・プロレスとかも昔から好きだったんですか?

中村　いや、僕はアメリカのプロレスなんて見てなくて、新日本にいたらアメリカなんかイージーって感覚だったんですよね。ところが行ったら行ったで妙に楽しい空間っていうか、ホントに楽しいんですよ。もちろん、たまにつまんない試合もありますけど(笑)、さっき言ったようにお客さんもレスラーもみんなが一体化してひとつの興行ですからね。それを演技じゃなくて、自然に全てをこなしているっていう。僕らじゃ恥ずかしくてなかなか出来ないと思いますよ。ジム・ミラーみたいにお腹にNWAと書いて、ボディプレスはねえだろうって(笑)。

――アハハハ！　中村さんは出来ませんか？（笑）。

中村　ちょっと無理ですね（苦笑)。でもジム・ミラーとかバスマンなんていうのは、こっちが何にも言わなくても勝手に出て行くんですよ。自分達の居場所をみつけるっていうか。多分アメリカのオフィスのフロントの方がひとつのイベントとしてのワビサビを知ってるかもしれないですよ。そういう部分は僕らも勉強になるし、沖田にも言ってるんですけど、「リングアナウンサーだって、ただ言えばいいってもんじゃない。いろいろ仕事があるはずだよ」って。レフェリーにしてもそうですよね。

――フレッドなんか見てると特にそう思いますけど、レフェリー1人でだいぶ変わってきますからね。

中村　フレッドには次のシリーズも一応オファーかけてるんですけど、自分が人気者になったと思って「ギャラを倍にしろ!」って言ってきましたからね（苦笑)。

――アハハハハ！　悪徳弁護士ですね（笑)。でもフレッドぐらいまでいくと引き抜きもあるかもしれないですけどね。

中村　そうですよね（笑)。あと、この前来たミスター・マイケルはどうでした?

――やっぱりフレッドに比べると落ちますけど、観客からはマイケルコールも起きてましたよね。

中村　僕は物足りなかったですね。表情はいいんですけど、キャラ的になんか中途半端で。まあ他にもレフェリーだけでもまだ3～4人いるんですよ。どれを呼ぼうかなって。

――レフェリーの招聘でも頭を悩ますわけですね（笑)。

中村　でも超高速カウントはアレですけど、アメリカはホント、カウントが早いんですよ。それに日本みたいにいちゃもんつけられたからってカウント途中で止まらないですからね。コーナーポストに登って1、2、3、4、5で反則だって終わりですから。厳格なのはアメリカのレフェリーの方ですよ。

――へぇ～、そうなんですか。

中村　ハッキリ言って今までアメリカのプロレスは馬鹿にしてましたけど、日本よりプロレスに関しては上ですよ。それに3月にWWFが来て、あれを見て僕は勝負がついたと思いますね（キッパリ)。

――これは、もうかなわないと(笑)。

中村　もうかなわないですよ。あれこそ客も選手もスタッフも一体化してひとつのイベントを成立させてましたからね。あれがプロレスなんじゃないかなと。メジャーって言うと日本では新日本プロレスかもしれないけど、世界を見渡して新日本とWWFって言ったら、10対1ですよ。絶対にWWFですよ。楽しんでますもん、お客さんが。選手も煽られて、この間日本に来たときは

手首のテーピングをコーナーにくくりつけ長すぎるタッチロープを作りパートナーを救出するコリノ。腰に巻かれたベルトは、なんとPWF王座！　と言ってもPWFのPはフィラデルフィアのPというから、さすがはコリノ！

WWFでは考えられないような試合してましたもんね。

――日本向けの試合してた選手もいましたよね。

中村　ですよね。ってことは出来るんですよ、彼らは。あえてやってないっていうだけで。そこら辺が凄いですよ。最初は「ロックなんか」と思いましたけど、やっぱりロック様ですよ。

――ロック様ですか(笑)。

中村　ファンにね、「ロックなんか」って言ったら、「中村さん、申し訳ないですけどロック様って訂正して下さい！」って注意されたことありますからね(笑)。

――アハハハハ！

中村　ファンの人からしたら、それだけ昔の猪木さんの信者じゃないですけど、「猪木さん！」って言うほどの熱狂ぶりですからね。ロック様なんか外国人だったら一時のハルク・ホーガンよりも上じゃないですか？

――そうかもしれませんね。

中村　いくらホーガンっても、あそこまで日本人に人気なかったですよ。プロレスはこれなんだと思って。それを全て日本に持ち込むとツライかもしれないですけど、あれを日本流にアレンジしてやっていければとは思ってますね。

――橋本さん的にはどうなんですかね？

中村　橋本さんも言ってましたけど、「ボードじゃなくて日本だとなんだ？」って考えて、「ウチでは、のぼりとか凧あげるか。『頑張れ破壊王』とか書いてもらって」って(笑)。

――アハハハハ！　凧ですか！(笑)。そうなったら屋外でやるしかないですね。

中村　ですよね。でも僕も凧は思いつかなかったなぁ(笑)。

――それは斬新ですね(笑)。

中村「アメリカ人に日本人が馬鹿にされてるから見返してやる」と。元々サインボールとかボードはアメリカ独自のものだから日本らしいものでいこうって。だからといって凧はないだろうって思うんですけどね(笑)。

――みんなで凧あげましょうよ！(笑)。

中村　あげましょうか(笑)。でも想像したら面白いですよね。川崎球場あたりで「頑張れ破壊王」とか「火祭り男」って書いた凧がたくさん上がってたら。

――それは最高ですね(笑)。

中村　そういうのも含めて、少しずつ違う色のものも入れていこうかなと。

――具体的に言うと？

中村　選手で言うと具体的にはルチャが欲しいんですよ。橋本さんも前から「ルチャを呼べ！」って言ってますから。

――ルチャは橋本さん的にオッケーなんですか。

中村　大好きなんですよ(笑)。ここ1年でだいぶ変わってきたと思いますけど、多分、橋本さんはレスラーの中ではプロレスが一番好きですよ。社長業っていうのを頭の中から切り離していちファンになりきってますからね。

――そうかもしれませんね。話は変わりますけど中村さんが新日本に入ったきっかけっていうのは何だったんですか？

中村　僕はですね、大学2年生

橋本さんはレスラーの中でプロレスが一番好きな人だと思いますよ

の時に昭和60年か61年にリキプロダクションでアルバイトしてたんですよ。たまたま先輩が、そこでアルバイトしてて、「リキプロダクションでバイトしないか？」って誘われまして。あの頃は長州力のリキだとは思ってなかったんですね。

――プロレスファンではあったんですか？

中村　ファンはファンだったんですけど、そんなにのめり込んではないです。それで「リキプロダクションに来い」って言われて、入ったら怪しい雰囲気だったんですよ。アルバイトの内容が商品配達を車でしてくれっていうのだったんですよ。グッズとかの。行ったら、その当時加藤さんっていうジャパンプロレスの人がいて、「おう、お前か！」って。金の装飾をジャラジャラさせて怖かったんですよ(笑)。

――それは怖いですね(笑)。

中村「お前はクルマは運転できるか？」って聞かれて「はい、出来ます」って言ったら「じゃあ合格だ！」って(笑)。

――話が早いですね(笑)。

中村「お前、社長に挨拶させるからちょっと来い」って言って社長室に入ったら目の前にサングラスをかけてふんぞり返っていたのが長州力ですよ。「今度アルバイトをすることになりました中村です」って挨拶したら(長州のモノマネで)「あぁ。お前大学生か？」って(笑)。それで「そうです」って答えたら「どこだ？」「専修大学です」って。

――長州さんと一緒なんですね。

中村　そうなんですよ。それで「お前もだいぶ馬鹿だな！」って言われて(笑)。それに、その頃は僕はアントニオ猪木ファンでプロレスを見てましたから、長州力は悪なんです(キッパリ)。

――猪木ファンから見たら悪だったでしょうね。

中村　ましてやその時は新日本を裏切って全日本に上がってる時なんでホントに悪なんですよ。でも悪と思いながらもやっぱり怖いんですよね(苦笑)。

紙のプロレス RADICAL スーパースター外伝

――そりゃ怖いでしょうね（笑）。

中村　それで「専修！」とか呼ばれながら（笑）、3日ぐらいしたら商品配達から長州力の運転手ですよ。いきなりBMWの鍵を投げられて、「お前、車運転できるか？」って聞かれたんで「はい、できます」って答えたら「俺はメキシコで免許買ったから運転できねえんだよ。ちょっと頼むよ」って言われて、それから大学の4年生の夏まで運転手ですよ。

――大学に通いながら長州さんの運転手をしてたんですね。

中村　ちょうどその頃、新日本にジャパン軍が移るときで、その時に親からしたらプロレスの仕事をしてるというのが嫌だったみたいなんですよ。そのころ景気が悪い時代じゃないんで、「大学まで行ってプロレスじゃねえだろ」って。「そうなのかな」と思って、6月かなんかにリキプロダクションのアルバイト辞めて8月くらいまで遊んでたんですよね。それでたまたま新日本の役員の上井さんに「ウチでアルバイトしないか？」って言われたんです。別に長州力が嫌いとかじゃなかったんで「それもいいかな」と思って。「新日本プロレスの本社に行って、倍賞部長がいるからそこに行ってくれ！　あと一週間分の着替えも忘れずにな」って言われて、スーツケース、ゴロゴロ抱えて新日本に行ったら、倍賞部長から「来たか！話は聞いてるよ。じゃあこれな！」って渡されたのが大分行きのチケットなんですよ。

――え!?　それは、どういうことなんですか？

中村　「お前も今年大学4年だから、いろんなとこ旅するのもいいだろう」って。いきなり旅行させてくれるなんて、なんていい会社だなと思って（笑）。

――新日本は素晴らしい会社じゃないですか（笑）。

中村　そのままそのチケットを持って羽田に行って、大分空港に着いたんです。そしたら、そこに笑顔の上井さんがいたんですよ。

――最近、藤田ミノル選手との絡みで注目されている上井さんですね。

中村　そうです。「よう来たなぁ」って。「1週間分の着替えを持ってきたんですけど、僕はどうしたらいいんでしょうか？」って聞いたら「1週間!?　お前、騙されたな。よう考えてみろ。1週間分着替えがあったら、洗濯したら1年持つやないか」って（笑）。

――アハハハ！

中村　「じゃあ、これ車の鍵、これ乗れ！」って、見ると宣伝カーがあるんですよ。「じゃあ、ワシは行く。あとは頼むな」って。

――また無責任な（笑）。

中村　ですよね（笑）。その後もいろいろと騙されたりあったんですけど（苦笑）、結局、長州さんにメシを誘ってもらった時に「どうしても人がいないんだ」って頼まれて、ダラダラ続けちゃって、気づいたら15年近く経ってましたね。

――長州さんと共に15年ですか。

中村　今も本音でそう思うんですけど、長州力のそばにいれたっていうのは自分にとっては大きいかもしれないですよね。ある時は喧嘩をしたり怒られたりもしましたけど。あと健ちゃん、佐々木選手ですか。彼とは新日本の第一試合に出るか出ないかの頃から一緒に洗濯とかファミコンとかしたり遊んでたんで、そういう人が頑張ってるんだからオレもやらなきゃなっていうのでやってこれたって部分も大きいですし。結局、なぜか今はZERO―ONEですけどね（笑）。

――なぜかZERO―ONE（笑）。

中村　元々、僕はZERO―ONEに来るっていうことじゃなかったんですよ。僕は営業しかできなかったわけですから、橋本さんには違う人が付いてZERO―ONEをやるはずだったんですけど、途中でいろいろあって、また騙されたりして（苦笑）。それが3月2日の旗揚げでは小川さんと三沢さんの絡みがあったり、ホントに有り得ない話を橋本さんが実現してしまったわけですよね。

――旗揚げ戦は大成功でしたからね。

中村　次の試合が4月の武道館で決まってたんですけど、そこで新日本から出てきた話が、旗揚げ戦の成功が驚異に感じたのか、目の上のたんこぶなのか、ZERO―ONEから手を引けっていう話になったんですよ。こっちもやりだしたものは潰せませんよっていう話して。その時は僕らからしたら新日本プロレスから出向という形でZERO―ONEに行ってたんですけど、出向という形は無理と。会社に残るか辞めるかっていう選択を迫られて、じゃあ素直に辞めますという話なんですよ。

――それで現在に至ると。

中村　そうですね。その時に応援してくれたフロントの方たちもいたわけですよ。「悔しいけど頑張れよ」とかって。もちろん、冷たいことも言われましたよ。「お前だけ、いい思いして」みたいな。でもその時に、いろんなこと言ってくれてた人たちは気がついたら全日本に行きましたよね。

――武藤さんたちと一緒に新日本を辞めたフロントの人たちですね。

中村　そうですね。今考えてみれば僕が1年早かっただけの話で、彼らもそのチャンスがあれば行ってたのかわかんないですけど。結局、新日本プロレスの中枢にいて支えてた人たちが行っちゃいましたからね。

――この間の長州さんの会見では、フロントの人間が武藤さんと一緒に辞めたことが一番堪えたって言ってましたね。

中村　そうでしょうね。長州さんが可愛がってた営業の方たちが全日本に行ったわけですからね。全日本に行った渡辺さんなんかは長州さんと、よく話したり、正面からぶつかった人たち

先シリーズ、NWAから送り込まれた新たなレフェリー、ミスター・マイケル。ECW時代はトップレフェリーだったというマイケルだが、やはりミスター・フレッドには、表情からアクションから、まだまだ及ばず。トゥー！

―長州とい
な、人間長
いところが
オ猪木にし
言ったよう
はオレは嫌
ントニオ猪
んだ。でも
きなところ
のは、これ
―好きで
抱いてはい
井上 そう
言えば。こ
プラスワン
んですよ。
―竹内さ
でたんです
井上 その
立場上好き
集長はマア
ってくださ
端に言いよ
―井上さ
!?（笑）
井上 そう
からな、新
―でも、
それで、話
長州さんが
日本プロレ
かってたこ
井上 ない
スのファン
いくときに
に対して、
ってもらっ
いにな。ア
本プロレス
れ！」って

だったんで。長州さんからしたら今の事務所は、そういう人がいなくなったからか、最近は写真を見てもコメント聞いても暗かったですし、前向きじゃなかったなと感じてましたね。

―あまり元気はなかったですよね。

中村 ただ、あの人はこういう時にわけのわからない力を発揮する人ですから(笑)。

―わけのわからない力！（笑）。

中村 これから秋にかけての長州力の行動は僕らからしたら意識しますよね。

―運転手時代からとなると長州さんとは付き合いもかなり長いわけですし、ぶっちゃけた話、そのパイプを活かして接触してみようとは考えてないんですか？

中村 出来れば会ってみたい気はしますよね。でも「お前とは会わない」って言われそうですけど（笑）。新日本プロレス辞める時も相当言われたんで。

―中村さんもお互いが嫌がるカードこそファンが望むカードって言ってましたけど、そういう意味では橋本対長州戦っていうのは、まさにそれですよね？

中村 組んじゃえば可能なんですよね。橋本さんが嫌なのか長州さんが嫌なのかは別として、組んじゃえばやらざるをえないですし。それに、僕らからしたら、もう一回見たいですからね。

紙のプロレス RADICAL
スーパースター外伝

OH砲以外にも、ウチには長州さんと、かみ合う相手はたくさんいるでしょうね（ニヤリ）

―新日本じゃなくてZERO―ONEでやるなら見たいですね（笑）。小川さんとの試合も有りでしょうし。

中村 逆に言ったら、長州さんが日本のプロレス界の重鎮であるならば、田中将斗対長州力とかやらせてあげたいし。長州力とデンプシーもやらせてみたいし。ウチには長州さんとかみ合う相手はいるんじゃないかなと。乗ってきてくれればいいですけどね。

―OH砲以外にもコリノやゴルドーとの絡みも見たいですし、ZERO―ONEには是非上がってもらいたいですね。

中村 OH砲とで考えると長州さんが誰と組むかって話ですけどね。天龍さんがそこにいたら一番面白いですよね。

―それがベストなんでしょうけどね。

中村 ある意味、長州力っていうのは今年の秋までの鍵じゃないですか。道場でやったインタビューを見た限りでは長州さんは腹を括ってましたからね。

―かなり括ってますよね。中村さんから見て、猪木さんに対して長州さんがあそこまでボロクソに言うだろうっていうのは、やっぱり意外でしたか？

中村 長州さんの最後の我慢がどこかで越えたんでしょうね。それを感じてたのが坂口さんの還暦パーティーの時です。そこに猪木さんが来なかったんですよ。

―当初は来る予定だったのが、結局、猪木さんは現れなかったみたいですね。

中村 あの時に僕も大谷さんと高岩さんと一緒に行ってて、入り口で長州さんと会ったら「元気でやってるか」って声かけてくれたんですよ。でも、その後に何かあって長州さんはパーティーに出ないで帰っちゃったんですよ。

―顔だけ出して？

中村 いや、顔も出さず。会場の中にも入らないで、入り口で永島さんとコソコソ話して、真っ赤な顔して帰っちゃったんですよ。普通に考えたら役員がやっちゃいけないことじゃないですか。

―新日本の会長の坂口さんのパーティーですからね。

中村 その時に長州さん、なんか違うなって気がしてましたよね。ただ僕らには凄い優しく接してくれましたし。長州力って橋本さんは嫌いかもしれないけど、僕は嫌いじゃないですからね。今はZERO―ONEとして橋本さんを目一杯サポートするっていうのは当然ありますけど、やっぱり僕の中では長州力っていうのは特別なものを占めてますから。

―長州さんに対しては特別な思いがあると？

中村 十何年一緒にやってきたし、いっとき運転手もやったし、思い入れは凄く強いですよ。それは佐々木健介に対しても同様ですけどね。

―橋本さんは、その2人とは、あまり関係が良くないみたいですからね(笑)。

中村 ですよね（苦笑）。そういう意味では橋本さんは僕のことなんか信用してなかったと思いますよ。「どうせアイツは長州側の人間だ」って。で、たまたま見渡したらいたのが僕だったと（苦笑）。

―そうなんですかね（笑）。では最後に7・7両国大会の見どころでも語ってもらいましょうか？ 現時点では、カードもほとんど決まってませんけど（笑）。

中村 どうしたらいいんでしょうね、正直(笑)。ホントは（7月）6日の新潟大会でシリーズは終わるはずだったんですよ。だけど、いろんな話をしてるうちに「両国とかでできればいいね」ってなって、電話してみたら両国が空いてたんですよ。そしたら代表は「七夕か？ 七夕決戦で両国はいいな。やれ！」って。

―即決ですか（笑）。

中村 せっかくウチも、いま雰囲気いいですし取り戻してますから、前日の新潟大会には小川さんも出てくれるし、集客も見込めるんで、そこで有終の美じゃないですけど、「代表、やっぱり両国はキツイですよ」って言ったんですけど「やれ！」って。「空いてるんだろ、やれ！」の一点張りで（苦笑）。

なかむら・よしゆき■1966年東京都出身。専修大学時代にアルバイトとして入ったリキプロダクションからプロレス界に。長州力の新日復帰とともに新日本プロレスへ入社。新日本では営業として活動していたが、橋本とともにZERO-ONEへ。現在は営業だけではなく、渉外担当としても、多忙な日々をおくっている。ちなみに、元々、営業畑出身の中村氏が、交渉事を進めるにあたって、一番参考になっているのはNOAHの仲田龍氏だという。

―もう、やるしかないですね（笑）。

中村 そこで何を求められてるかっていったら、今年上半期の集大成をやらなければいけないわけじゃないですか？ やっぱり集大成としてやるんだったらゴルドーからケアーから全てを呼ばなければいけないんですけど。

―7・7は全日本やNOAHも都内で大会があるし、あとシュートボクシングのビッグマッチもありますからね。

中村 そうなんですよねぇ（苦笑）。まあ基本的にはウチに来たお客さんには100％喜んでもらうっていうのが橋本さんのポリシーなんで。

―何と言っても、お客様は神様ですからね（笑）。

中村 どっちの方向に行くかはわからないですけど、あまり深く考えないで自分たちで想像してつまんなそうだったら早くやめる。いいと思ったらそれを突き進む。それでいいんじゃないですか。僕たちが面白かったらファンも面白いと思うし、やっぱりこだわりを持つのも大切ですけど、持ちすぎるのもよくないって痛感しましたからね（しみじみと）。

―話を聞くと、新日本を辞めてから、だいぶ視野が広がったみたいですからね（笑）。

中村 ホントに広がりましたから（笑）。まあ気楽に考えて気楽にやろうよっていう感じで。それでファンが着いてきてくれたら一番いいですからね。

―今後もZERO―ONEには必要以上に期待してますので頑張って下さい！

［6月4日／ZERO ONE事務所にて収録］

REBIRTH

「今に見てろよ!!」

「バトラーツはもう終わった!!」と思ってるヤツらに告ぐ――

聞き手／スモーノブ
撮影／遠藤政文
designed by matsu〔Two three〕

バトラーツ“再生”記念インタビュー

石川雄規

集客？　そんなもん、どうでもいいんですよ（怒）。評価は後からついてくるものだから！

昨年11月以来の休眠期間と居酒屋・石川屋のオープンを経て、石川雄規率いるバトラーツは再旗揚げ戦を迎えた。そのリングで浮かび上がったのはバトラーツの原点・バチバチだった！

――昨日は再旗揚げ戦、おつかれさまでした。

石川　なんとか無事に終わりましたね。盛り上がりも凄かったし。

――集客は少し苦戦してたみたいですが？

石川　そんなことは、どうでもいいんですよ‼（怒）。評価とか集客は後からついてくるものだから。大事なのは来てくれた人を熱狂させて、心に何かを刻み付けて帰ってもらうことだから。それを成功と呼ぶなら、昨日は大成功だよ。

――全6試合、殴る・蹴る・極める・投げるといった要素だけの試合でした。

石川　それを意識して試合するようにということは、あらかじめ全選手に伝えてありましたから。逆に参加してくれた選手も、そういった試合がやりたくてバトのリングを選んでくれたんだろうし。言ってみれば、昨日の大会は石川雄規プロデュースですね。

――初期バトラーツ的な試合でしたよね。

石川　うん、味つけ的には近いでしょうね。ただ、当時の俺たちはああいうレスリングしか出来なかった。藤原組長や（カール・）ゴッチさんから受け継いだ緻密なレスリング、そして殴ること、蹴ること。それも当然のことながら思い切って。知ってることを最大限やってたら、それが評価されて「バチバチ」という名前がついた。今回のコンセプトは、最初からそういう試合を作ることが目的だったから。今後もバチバチ専門店としてやっていきますから。余計なものはいらない！　凝縮された試合だったでしょ？

――ええ、ダラダラした試合は一切なく進んでいきましたね。

石川　変に器用に見せようとしたり、見栄張ったり、そんな試合はいらないんだ。自分の中の覚悟とかロマンが滲み出るような闘いであれば、お客さんの心を揺さぶることは出来るんだから。お客さんから拍手をもらうことだけ考えたり、喜ばせようと狙ってみたり、そんな予定調和はいらないから。

――社長自身はタイツも髪形も変えて、新たな心意気で試合に臨んでた印象を受けたんですけど。

石川　あのタイツは、せっかく作ったけど『PRIDE』に出たときの2分間ぐらいしか陽の目を見てないんで着てみようかなって。

――以前の黒タイツから変わって、試合の中にも延髄斬りや卍固めが出てこなかったんで、社長自身も変わったなと思ったんですよ。脱・猪木したな、というか……。

石川　（言葉を遮りながら）あれを猪木だと思ってること自体、時代遅れ！　全然関係ないから。だって、黒タイツ&黒シューズの選手なんかいっぱいいるじゃない？

――でも、社長の中で猪木的なものには特別思い入れありますよね？　それを敢えて封印して、さらに先へ進もうとしている印象を受けたんです。実際、バチバチの試合の方が疲れるものなんでしょうか？

石川　それは間違いなく疲れる！　観るほうも疲れたんじゃない？

――う～ん、社長が出たメインの前まではサクサクと流れてたんで気持ちよく観てましたけどね。

石川　じゃあ、俺のは気持ち悪い試合？

――ハハハハ、もの凄く濃厚な試合でしたよ。

石川　それだけ感情移入しちゃう試合ってことですね。人間って、思いっきり感情移入して観ちゃうと映画にしても何にしても気持ち悪いじゃないですか？　寝転がってポーッと観てる方が楽だもんね。平成のプロレスの軽さって、それだよね。俺たちが子供の頃は、TVの前で正座してプロレス観てたもん。俺たちが求めているのは、そういうものだね。

――昨日の大会は全6試合行われて、その中でバトラーツ所属選手は4人。かなり手薄な印象は受けるんですが……。

石川　でも、大事なのはクオリティだから。まあ、ホントは有望な若手がいたんだけどね……。まあ、そんなことはどうだっていいや！　他にも所属選手じゃないけど、個性的な選手が名乗りを挙げてきてくれてるからね。幸いなことにTAKAみちのく選手も、次からリングに上がってくれると言ってるし。自然の流れに任せておけばいいんじゃないかな？

――今後、どんどん所属選手を増やしていく方向性というのは考えてないですか？

石川　それは考えてないなぁ。お客さんに何を伝えていくかと考えたときに、バトのリングに上がっている選手が、一体何を求めて、何をリスペクトしてくれてリングに上がっているのか？　それをファンに発信していきたい。そこらへんのインディーの数合わせの試合に思われたくないんだよね。それじゃ、お客さんも思い入れ出来ない。

――たしかに難しいですよね。

石川　今まで、バトラーツは上がってくれた選手からはすごく評価が高いんですよ。だからTAKAみちのく選手も来てくれるわけでしょ？　なのに、業界内部では評価が凄く低い！　不当な評価になってるんだよ。そのへんを絶対にいつか見返してやりますよ。ふざけんじゃねえって！

――怒りのパワーはいまだ燃えてますね。

石川　ブランドとか流行に振り回されて、自分が偉くなったような気になって……真実を見る目のないヤツらに評価を下される筋合いはねえよ！

――昨日の対戦した臼田選手ですが、今まで何度となく闘ってきた相手ですよね？

石川　うん、勝手知ったる相手だけど、闘いの中のエネルギーは重さを増してますね。それは、このいろんなことがあった休眠期間中に背負ってきた覚悟の重さでしょうね。だから、闘ってても今までとは一味違った。

6・9の再旗揚げ戦でメインを張ったのは石川と臼田のシングル対決！　骨が軋み、拳が唸る壮絶なバチバチが約20分間繰り広げられた。数年前の勢いは消え、当時を知るものは2人しか残っていない。が、ある意味この2人がバチバチの根幹を担っていたとも言える。

――その臼田選手は石川屋で、どんな仕事をしてるんですか？

石川　仕込み系をやってるね。

――じゃあ、串に肉を通したり？

石川　やってますよ。俺もホール係やってるし、調理もするし。

――その2人が闘うんだから、重くないはずがないですよねぇ……。

石川　まあ、オープン当初はバタバタしてましたけど、今は仕事の内容もだいぶ整理されてきたんで、みんなイキイキと忙しくやってます。午前中に練習した後は、みんなでチャンコを食って、その後は仕込みとかやって、夜は下のジムで練習したり、ジム生のコーチをしたり。忙しいですよ。

――経営は軌道に乗ってきましたか？

石川　いや、まだですね。去年11月のNKホール大会のクソ赤字を処理しなきゃいけないから。

――クソ赤字（笑）。どうなんでしょう、ぶっちゃけた話、見通しは明るいですか？

石川　まあ、何とかね。でも、やっていくしかないからさ。

――あのNK大会を最後に多くの選手が別々の道に進んで生きましたけど……。

石川　いいんじゃない？　これによって、バトラーツは初めて統一思想の下に集まることが出来るわけだから。最初のバトラーツは、まだ自分の価値観やこだわりを見つける前の選手たちが、たまたま一緒にやってただけだもん。レシピなんか何も知らないヤツが作った料理が妙に旨かった、というだけの話でしょ。結局、バトラーツ第一章は何の専門店だか分からなくなってしまったでしょ？　飛び技やったり、ロープに走ったり……それ自体を否定する気はないけど。だから、今度は俺がプロデュースをしようと思うんだ。だって、初期バトは俺がプロデュースしてたんだからね！

――選手離脱で、いろいろゴタゴタしたという話も聞きましたけど……。

石川　まあ、そんなことは小さいことだからさ。ようやくバトラーツが形になり始めたのが3～4月頃かな？　お店は去年の12月からオープンしてたんだけど、その頃は忙しくて1週間で7キロ痩せたもん。

――4月頃からは、ついに因縁のZERO―ONEと対戦することになりましたね！

石川　うん、以前はずっと島田（裕二）君が外交をやってたんだけど……それを今度から俺がやるようになってね。

――今は社長が直接やってるんですか？

石川　うん、当然。もう人には任せないから。島田君に任せていた頃は、まあ俺はいろいろ報告を受けた中では、どうしてもああせざるを得なかった。「ドタキャン」とか言われて、結果論から言えば、たしかにそうだったかもしれないけど……で、いざ蓋を開けてみたら、俺のところに上がってきた報告や情報が、若干違ってた部分があった。その真実を聞いたら、申し訳ないなという気持ちになりましたね。

――社長も雑誌とか新聞を読まないじゃないですか？　情報的に後手後手を踏んでいた部分って少なからずありますよね？

石川　うん、読まないからね。読んだって、ウソばっかじゃん。直接会うにしたって、1日や半日でアポなんか取れるわけないでしょ⁉　その中であぁいう判断をせざるを得なかった。自分で過去を紐解いて考えていくと、そういう部分もあったかなって。

東京駅八重洲口で裸になり、大谷に謝罪。4・27大阪大会で行われた禊マッチは一方的なTKO負け。6・9にはTAKAも登場。状況は好転しつつある。

――それが謝罪に繋がったわけですね？

石川　うん。だけど、謝罪をしたからリングに上げてくれっていうわけではないから。これから新しい体制でやっていく上で、「申し訳なかった」ということは自分の口から言いたかったからね。そしたら橋本さんには、「●●●●とは関係ないんだろうな⁉」って。

――ハハハハハ！　橋本さんもそこだけが気になってた、と（笑）。

石川　4回ぐらい聞かれましたけどね、「もう関係ないです」とハッキリ言いましたよ。そしたら橋本さんが「よしっ！」って言ってくださったんでね。ちょうど、そのとき橋本さんは頭の中でカードを組んでいた時期みたいで、「よし、石川！　試合を組むからな！」って。

――謝罪に行ったその場で「カード組むからな」って（笑）。橋本さんも懐深いですねぇ。

石川　ビックリしたよ、俺も。「いやぁ……でも、大谷選手の気持ちもありますから」って答えたんだけど、「いや、大谷のことは大丈夫だ！」って（笑）。我々としては試合に出させてもらえるなんて思ってもいなかったけど、「出して頂けるのであればいい試合をすることが償いにも恩返しにもなると思うので、精一杯やらせて頂きます」とは言いましたけど。

――大谷選手とは、駅で上半身裸になって話し合いまでしてしまいました。

石川　あれについても、なし崩し的に謝罪をして、試合に出ようとしてると思われるのが嫌だったから。大谷選手に、そこだけはわかって欲しかったんだよ！

――大谷選手の怒りももっともですよねぇ。

石川　たしかに。「こんなのがまかり通ったら業界がダメになる」っていう考え方は、まったくその通りだと思うし。だからこそ、きっちり謝罪して、筋を通したかった。その気持ちを伝えたかっただけなの。それを否定されてしまったから……。なし崩しにリングに上がろうと思えばいくらでもやりますよ。いきなり乱入して、「オオタニ～！　俺と闘え～！」ってマイクで言えばいいんだから。だけど俺は頭を下げて、筋は通した。それだけはわかってほしい。

――で、いざZERO―ONE出場してみたら、観客からは大ブーイングでした。

石川　それはしょうがない。覚悟してたし、当然のことだと思うから。

――しかし、昨年7月の『火祭り』ボイコット問題に端を発したバトラーツの一連の騒動でしたけど、ホントに茨の道ですね。社長も、相当マイってるんじゃないかと思ってたんですけど。

石川　踏んだり蹴ったりですよ。でも、俺がマイった顔をしたらダメだから。どうってことねぇよ。もともと何もない状況から

始まったんだから！
――確かに。でも、今の状況って何もないところ以下じゃないですか？
石川 うん。でも、今のバトラーツにはすごい宝物がありますよ！ あれだけの人が会場に来てくれたじゃないですか⁉ 彼らがいてくれたら、俺はまだまだ頑張りますよ！

――ホントに熱い観客でしたよね。先日のZERO-ONEの会場の凄いブーイングを聞いていると、再旗揚げ戦は大丈夫かな？って心配になったのも事実なんですよね。
石川 たしかにね。ブーイングはいくらしてもらってもいいですよ。怒っていいんですよ、それだけのことを俺はしてしまったわけだから。ただ、そのブーイングの影に隠れて人を誹謗中傷しようとする輩は許せない。
――あまり人の善意とか、温かい心には期待できない時代になってきてますからね。ただ、そこはプロの世界なんでファンの声は厳しくあってほしいとは思いますけど、社長のムカつきがなかなか治まらない状況だとは思います……。
石川 もう、別にどうでもいいですけどね。
――ムカつくといえば、「社長がサッカーW杯にムカついてるらしい」という情報を入手したんですけど？ せっかくの再旗揚げ戦の日に、日本vsロシア戦という国民的一大事がぶつかってしまいましたよね？
石川 へっ⁉ 別に怒ってないよ（笑）。
――66％という力道山を超える脅威の視聴率をハジキ出してますけど？
石川 別にねぇ……マジでバトを観たい人だったら会場に来てるでしょ。それにプロレスファンとサッカーファンはシンクロしないんですよ。
――えっ⁉ そうなんですか？
石川 そうですよ。俺なんかサッカーに全く興味ないもん‼（キッパリ）。面白くも何ともない！ 何が面白いんだかわかんない！ どうしても観たいならビデオ録画すりゃいいじゃない⁉ 今のところ、バトはライブでしか観られないんだよ？ 俺は自分を基準に考えますから！
――ハハハハハ！
石川 応援してくれてる人が義理売りしてくれる部分もあるじゃないですか？ 「俺の応援してるバトラーツって団体のチケットなんだけどさ……」「いや、その日は日本戦があるから」って言う人も多かったみたい。だから俺は言いましたよ、「そうやって断る人とは付き合い方を考えた方がいいですよ」って（笑）。そうやって断る人間は、他の機会でも……たとえば飲みに誘われるんでも絶対同じことしますから。そんなもん、大事な人のお誘いだったら這ってでも行けって話ですよ。
――じゃあ、このW杯は、ある意味でリトマス試験紙になりましたね（笑）。
石川 そうだね。こういうドン底にいると、いろんな人間が見えてきますよ。
――後ろから刺してくる人間もいれば、後ろ足で砂をぶっかけてく人もいるし、そうかと思えば破壊王みたいに懐の深い人もいるわけですね（笑）。後ろ足で砂をぶっかけて出て行く人たちを見ている心境って、どういうものなんですか？
石川 いいんじゃないですか？ 俺はこういう状況をすべて乗り越えたときに、またひとつ人間的に大きくなれると思ってるから。人に後ろ足で砂をぶっかけていくような人間は一生大きくなることは出来ないですよ。背負うものがない人間は強くならない！ 臼田もそれを感じてると思いますよ。だから「クソッタレッ‼」っていう怒りをね。（次第に興奮し始めて）いつか見てろよ！ 俺たちは一生満ち足りちゃいけない、一生消えないコンプレックスを持ってないといけないんだ！ たとえば俺たちがいつか6万人の観客を動員したとする。でも、それは1億人が振り向いてないというのと一緒だから、俺たちはその1億人にムカつかないといけない。そのエネルギーが「プロレス」なんだよ‼ 昨日、会場に来てくれた人はそういうエネルギーを感じてくれたんじゃないのかな。

こういうドン底にいると、いろんな人間が見えてきますよ

――たしかに、そのコンプレックスから生まれるエネルギーは凄かったですよ。で、社長は「いずれ新生バトラーツをこうしたい！」というビジョンはありますか？
石川 まず経済的にしっかりと安定したものを作っていきたい。その中で、俺たちの表現をやっていきたい。そうしないと、プロレスの興行で自転車操業していくようになってしまうから、それじゃ絶対に破綻するから。いずれ、（この建物の）1階のアマチュア・ジムと2階の石川屋でバトラーツのスポンサーになりたいね。
――つい先日も、インディー最大手と言われていたFMWでさえ、荒井社長の自殺という悲しい結末を迎えてしまいました。世の中も不況だし、プロレス団体も経営のあり方を考え直さないといけない時期ですよね？

ゴッチイズムは、そんなもんじゃない！もっと奥が深いものなんだよ！

石川　荒井社長のことは……本当に残念なことですよね……。でも、俺たちがやってることはサイドビジネスじゃなくて、全部プロレスにシンクロしてるんですよ。この店だって、ここでプロレスファンを開拓してるんですよ。来てみればわかると思うけど、片手間でやってるお店じゃないから。銀座に出しても恥ずかしくない店だよ。そこにさりげなく試合の映像を流したり、写真が飾ってる。アメリカのスポーツ・バーみたいにね。そこに俺がホール係として、さりげなくお酒や料理を運んでいくと「あれっ⁉」となる。そこで俺は「そうなんですよ。じつは俺はプロレスラーで、プロレス団体がやってるお店なんですよ」って説明すると、お客さんも興味を持ってくれるんですよ！　そういうお客さんが、今度は大会に来てくれる。ゆくゆくは石川屋とB―CLUBで給料から経費まで全部出せるようになって、有り余る金を手にしてから仕掛ける！　俺の究極の夢は、その有り余る金を持って誰も行かないようなクソ田舎に行ってプロレスをやりてぇんだよ！

――ど、どこですか、その誰も行かないようなクソ田舎って（笑）。

石川　おじいちゃんとお婆ちゃんしかいないような、全然プロレスの巡業も行かないようなところだね。

――そういえば破壊王も「離島でプロレスがしたいんや！」って言ってましたよ。ある意味、今のZERO―ONEでやろうとしてることって、『蘇れゴールデンタイム伝説』ではありますよね？

石川　すごく面白いと思いますよ。だからって、今の俺たちが同じことをやろうとしても、知名度といい経済力といい全然違う。だから、俺たちは自分の信じてるバトラーツ・スタイルをやらなきゃいけないでしょうね。このバトラーツ・スタイルが、プロレスにはなきゃいけないんだから。睨み合っただけでドキドキして、組み合っただけでドキドキして……ボーっと鼻クソほじりながら見て、雪崩式ナントカが出たときだけワーッ！とか、カウント2・9のときだけワーッ！とかさぁ。俺はそういうのは嫌だッ！（キッパリ）。俺はいつでもゴッチイズムですから。昨日の石川vs臼田みたいな試合こそゴッチイズムだと思ってますよ。ピリピリするようなレスリングですよ！

――そんな社長的には、中西学選手がゴッチ直伝のジャーマンを体得してしまったことについてはいかがですか？　直伝らしいですよ。2時間しかゴッチさんの家にはいなかったらしいですけど（笑）。

昭和42年2月8日、神奈川県小田原市出身。学生時代からスーパータイガージムなどで身体を鍛え、単身フロリダへ。"神様"カール・ゴッチに地図も持たずに会いに行く。帰国後、藤原組へ。平成4年4月19日東京体育館、髙橋和生戦でデビュー。平成8年バトラーツを旗揚げ。平成10年には両国国技館大会も成功させるが、昨年のZERO-ONE「火祭り」不参加問題など、様々な問題が噴出して活動休眠。6月9日再旗揚げ戦を後楽園ホールで行う。本名・石川豊彦、通称・トーイ。

石川　うーん（苦笑）。俺の場合は、フロリダのゴッチさん宅に3ヶ月間いたときは毎日ブリッジばっかりやらされたよ。いろんなバリエーションのブリッジばっかり。あるとき、突然「よし、ドラゴン・スープレックスで投げてみろ」って言われて、100キロ近い人間を投げてみたら、出来るんだよ！　その後、藤原組にゴッチさんが来たときは3ヶ月間×2回ぐらい身の回りのお世話をさせてもらいましたから、そう考えると藤原さん、木戸（修）さんに続いて長いんですよ。

――2時間なんて比べものになりませんね（笑）。最近、ゴッチイズムがプロレス界の中で軽んじられてる傾向は感じませんか？

石川　なんかね。だから俺はゴッチイズムのレスリングをやっていこうと思ってますよ。ファンの人も、当然観れば違いはわかるんだろうけど……なんか、目を向けないんだよ。もったいないね！

――プロレスファンもゴッチイズムの何たるかがわからなくなってしまうと思うんですよね。ちゃんと提示してくれないと。

石川　「ゴッチって流行の人？」とか思われちゃうよねぇ。そんなもんじゃないのに！　もっと奥が深いものなんだよ！　80代なのに今でもレスリングのことばっかり考えてますよ。この店内にゴッチさんからの手紙が飾ってありますけどね、凄い内容ですから。

――どんなことが書いてあるんですか？

石川　去年、アメリカでゴッチさんと会ったときに写真をいっぱい撮って、それを送ったの。そのお礼の手紙なんだけど、お礼もそこそこに「ところで……」以下はずーっと技術論（笑）。で、最後に「とにかくバトラーツは頑張れ」と。「追伸・ところで、あのタックルのことだが……」ってまた技術論（笑）。

――イカレてますね（笑）。普通の人の目から観たら完全に狂ってますよ。

石川　そういう意味で、人はみんな狂わないといけない。狂ってないから、みんな二流なんだ。狂った人間だけが一流と呼ばれるんだよ。だから臼田も原学も狂ってますよね、こんな茨の道を進むんだから（笑）。

――そんなことといったらバトラーツは超一流団体じゃないですか（笑）。

石川　でも、俺の闘いはまだまだこれからですよ！　プロレス人生10年間で、普通の人が一生かかって経験するようなことを全部経験したからね（笑）。それぞれの背負ってる人生が滲み出るようなプロレスをこれからやっていきます！

【02年6月10日、「石川屋」にて収録】

試合は当然バチバチ!!

村田卓実君、バト登場!!

星川、バトラーツ再登場!!

真霜拳號
バチバチで鋭く光る!!

活きのいい若手がぶつかり合う!!

6月9日(日)東京・後楽園ホール大会『REBIRTH』

怒り、哀しみ、そして希望を拳と串に込めて、石川は観客や鶏肉に思い切り突き刺す!

大会翌日、インタビューに答える石川の表情は終始うつろなままだった。前夜の試合で頭部への打撃をボコボコ受けまくり、足元もおぼつかない状態だという。それほどまでに、石川の試合には気持ちがこもっていた。延髄斬りも卍固めもナーシャ! もなく、まだ猪木化する前のように打撃・関節・投げだけで一切相手をロープに振らないまま20分ほどの試合を構築してしまった。積み重ねてきたバトラーツの5年間のをすべてを失って、初めて石川は何一つ満たされることのなかった初期バトラーツの試合に、つまり原点に回帰できたのかもしれない。

そのリングに集ったのは、TAKAみちのく率いるK—DOJOからサンボ大石と真霜拳號、田村潔司のU—FILE CAMPからはデビュー戦となる新人・越後隆、そして野武士・中野巽耀、無我戦士・倉島信行、ZERO—ONEの星川尚弘、髙田道場の松井大二郎——彼らが、石川の理念に共感してバチバチの試合を繰り広げた。ちなみにアマチュアマッチ「FUTURE—B」には本誌の読者投稿ページで旋風を巻き起こした村田卓実君までもが登場してしまったのは驚いた。ベテラン選手たちはキャリアに裏打ちされたじっくりとした試合を、若手は非常にイキがいい試合を、といった具合にそれぞれのバチバチを繰り広げた。

特に真霜拳號は表情からしてイッちゃった表情で狂ったように繰り出す蹴りと鋭いレスリングがじつにヤバい。そして、新たなバトラーツの戦力となった原学（佐藤学改め）と宮下智也は、潜在能力の高さを感じさせてくれる活きのいいファイト。特にやられっぷりの良さは気持ちいい。石川→アレクと受け継がれてきた「受けのバチバチスタイル」に目覚めれば、今後の大きな見どころとなることは間違いない。

あいにく超満員とはならなかったが、観客は彼らを温かく受け入れた。W杯の日本vsロシアがある当日だというのに800人（主催者発表）も集まったのだ！　おそらくB—CLUBの関係者、石川屋の常連客などが多かったのだろう。他団体にバト勢が浴びせられるようなブーイングは最後まで聞こえなかった。いわゆるプロレスマニアは少なかったが、この日の試合がそんなプロレス初心者の心に火をつけて熱く燃え上がらせていく。これはバトラーツの企業努力が実った結果であり誇っていい事実だ。石川屋やB—CLUBがプロレスとひとつになって、有機的に回転し始めたという印象を受けた。

かつての仲間たちの不在は過去のバトに熱狂した者には気になるかもしれないが、バトに勢いがあった頃から「狂ってる」と言われ続けた石川である。その狂いっぷりはいよいよ拍車がかかってきたようだ。狂った人を見続けることは決して楽しいことばかりではないが、常人にはない発想力で現在のプロレス界にはない新しい何かを生み出してくれるだろう。そんな予感のする旗揚げ戦だったということだけは、プロレスマニアに向けて言っておきたい。

半額 紙のプロレス 本誌 Back Number

第8号 1994年1月号
特集 さらば新日本プロレス

仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが「紙プロ」初登場！ ２０ページにも及ぶ大特集！

¥700 ⇒ ¥350

第16号 1995年6月号
特集 新日本凸凹大学校

「紙プロ」的・昭和新日本プロレス大検証！ マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊／ビックリ！ 糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現！

¥780 ⇒ ¥390

撮影／荒木経惟 プロデュース／南部虎弾
格闘男

桜庭和志、藤田和之、村上和成、アレクら11人のプロレスラーが天才アラーキーと勝負した！ カメラの前で"生身"をさらけ出し「男の張る」姿を見逃すな!

¥3000（税金・送料込み）

第13号 1995年3月号
特集 道場破りとは何か?

安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！ 山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／『平成ファミコン・プロレス』馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦

¥780 ⇒ ¥390

第17号 1995年7月号
特集 実況パワフル北朝鮮

あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！ アントニオ猪木＆永島勝司・村松雄視・破壊王・ブル中野／バトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」

¥780 ⇒ ¥390

2000年4月
情念〜夢一途なり〜石川雄規

『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆＋書き下ろし！ 情念とは何かがわかる一冊である。

¥2100（税金・送料込み）

第14号 1995年4月号
特集 神秘とは何か?

佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

¥780 ⇒ ¥390

第19号 1995年9月号
特集 さようなら紙のプロレス

「紙プロ」を偲んで── ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁／石井館長、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会

¥780 ⇒ ¥390

インタビューという名の鉄拳史
紙の前田日明

『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！ 引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！

¥2000（税金・送料込み）

第15号 1995年5月号
特集 インディペンデントの逆襲

あんた誰？ 山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／Ｋ－とは何か？ 石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのＫ－１三兄弟（当時）インタビュー

¥780 ⇒ ¥390

極真魂溢れる16人を直撃!
極真とは何か？

松井章圭／磯部清次／N・ベタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／盧山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏

¥1530 ⇒ ¥800

パンクラス公式読本【矛】

９７年夏、横浜道場所属のパンクラシストを直撃！ 鈴木みのる／近藤有己／山田学／故・長谷川悟史／そして佐山聡、カール・ゴッチも登場だ！

¥1260 ⇒ ¥630

パンクラス公式読本【盾】

９７年夏、東京道場所属のパンクラシストが語る！ 船木誠勝／パンクラス非公式座談会／ナゼか、故・ジャイアント馬場vsターザン山本が実現！

¥1260 ⇒ ¥630

No.45
01年12月 ¥880

K−1vs猪木軍」は命懸けのエンターテインメントだ!!『紙プロ』旗揚げ10周年＆RADICAL創刊5周年記念号

●「ケーフェイ」以来の爆弾本投下!ミスター高橋本特集! ミスター高橋独占インタビュー／前田日明、ミスター・ヒト、佐山聡が「悪魔の書」を語る!
●ジェラルド・ゴルドー人生相談
●葛西純／ウルティモ・ドラゴン／望月成晃／A大塚／金原弘光／矢野×須藤／グレート小鹿／語録で振り返るマット界2001

No.46
02年1月 ¥880

PRIDE.LOVEをぶち壊す男!! 時は来た! 田村潔司、『PRIDE』へいざ討ち入り!!

●さらばリングス! 金原弘光／浅草キッドの「おつかれさんでした!」
●"ならず者"がDEEPで快勝!ーエル・カネック
●プロレススーパースター列伝・キラー・カン
●金メダルを落とした男・小林孝至

No.47
02年2月 ¥880

WWF日本侵攻5秒前! 激動の新日本、怒りの急展開を読む!!

●"天才"武藤敬司が『紙プロ』驚愕の初登場!
●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る!
●第一次リングス閉幕特集
●プロレススーパースター列伝・ストロング金剛
大谷普二郎／小笠原和彦／葛西純／K−1中量級／サスケ／ミスフィッツ

No.48
02年3月 ¥880

見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!

●奇跡のメガトン対談実現! 小川直也vsノゲイラ
●和田最強伝説が遂に現実に! 語り部・金原弘光
●伝説の男が笑撃の登場! ジョー・サン
小川直也／武藤敬司／ミスターボーゴ／ウォーリー山口／ジョシー・デンプシー

No.49
02年4月 ¥880

この夏に究極の格闘技大戦争勃発!? マット界灼熱の噂!

●和田さん快勝記念対談! 高山&金原&和田
●アレクに怒りの火を付けた菊田早苗とは何者か!?
●凄! 小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行! 破壊王も火のヤリ特訓だ!
レッスルマニア座談会／CIMAvsドス・カラスJr.／ウォーリー山口／小畑千代

No.50
02年5月 ¥880

早く試合がしたい!! サクが笑えば、世界が笑う!!

●「地方初世界」開始! 小川直也&橋本真也
●充電完了! 桜庭和志が久々の登場!
●パンクラス取材解禁! "尾崎の野郎"も初登場!
●I編集長が新日本に三くだり半!
菊田早苗／大仁田厚／小島聡&NIGO／アレクサンダー大塚／リングスロシア軍団の軌跡

紙のプロレス RADICAL【常備店】

- ■アイドール新宿店
- ■新宿ファイター
- ■大山アメリカン
- ■プロレスマニア館
- ■チャンピオン
- ■リングスパレス
- ■バディスラム
- ■タコシェ
- ■レッスル渋谷
- ■レッスル池袋
- ■書泉ブックマート
- ■書泉ブックタワー
- ■書泉グランデ
- ■ワールドスポーツ
- プラザKINGS
  - ・池袋
  - ・渋谷WEST
  - ・新宿
  - ・名古屋
  - ・大阪
  - ・札幌
  - ・福岡
- ■グレートアントニオ
- ■東京イサミ

通販申し込み方法

●お申し込みは郵便振替と現金書留の2通りになっております。（バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません）。

【郵便振替】
00130-3-769154（株）ダブルクロス
【現金書留】〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

●郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。

※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

●送料1冊＝310円 2冊＝380円 3冊〜4冊＝450円 5冊＝520円 6冊以上＝700円

★『紙のプロレス』 NO.1〜NO.7／NO.9〜NO.12／NO.18／NO.21〜NO.22 『猪木とは何か？』『猪木とは何か？キラー編』『大山倍達とは何か？』は完売!!

紙のプロレスRADICAL Back Number

アントン総師の本名は、猪木“正洋”ですッ!

こんなマチガイをしないためにもバックナンバーで日々学習!

「紙プロ」を電撃解雇されたガイ子さん。

No.5 97年8月 ¥680

高田延彦、樹海へ……初めてのヒクソン戦直前大特集!
●ドン荒川vs藤原喜明“昭和新日対談”
●前田日明の大好評人生相談「人生は語らず」
●世界格闘技連盟とは何か!? 佐山聡
長与千種&ライオネス飛鳥/ビクター・クルーガー

No.7 97年12月 ¥680

反骨の剣ー田村潔司 赤いパンツの頑固者、『紙プロ』初のロングインタビュー記念号
●プロレススーパースター列伝・木村健悟
●全女分裂! それでもローリングドリーマー松永会長
●オクタゴンの喧嘩屋・タンク・アボット
前田日明/T・ファンク/アジャコング/ジャガー横田/冬木弘道

No.10 98年6月 ¥680

大和魂は連鎖するー前田日明vsエンセン井上 各方面に波紋を投げかけたスクープ対談!
●松永高司vsザ・グレート・サスケ夢の経営者対談
●冬木弘道「プロレスを進化させるとWWFだ」
●元リングスレフェリー北沢幹之引退記念
谷津嘉章/桜庭和志/前田日明/ダイアナ/宮内美穂

No.11 98年8月 ¥780 完売間近

またもや衝撃対談実現! 高田延彦vsエンセン井上!!
●引退試合直後に前田日明が激白!
●プロレススーパースター列伝・ザ・グレート・カブキ
●SWS多重アリバイ・アポロ菅原
折原昌夫×小野武志/ダンプ松本

No.15 99年2月 ¥780

目を覚ましてください!! 小川vs橋本“1・4事変”勃発!
●A旧戦犯か、それとも真の革命児か!? 佐山聡
●前田日明inUSA カレリン戦前のシアトル特訓! 浅草キッドの熱烈応援文
●S多重アリバイ・佐野なおき/Mr.K
A・カレリン/高阪剛/馬場さん追悼/語ろうマサ・サイトー/A・浜口親娘/北原光騎

No.16 99年3月 ¥780

格闘ノストラダムス'99 エンセン井上のプロレス雑誌表紙奪取記念号
●環境問題を「紙プロ」で語る!?ーアントニオ猪木
●語ろうジャンボ鶴田
●相撲多重アリバイ・石川孝志
前田日明/高阪剛/坂田亘/M・コールマン/石川雄規/村上一成

No.24 00年2月 ¥840

頭打ちすぎたかアレク!! 『PRIDE.GP』特集
●田村潔司がグレイシー討伐を公約!
●船木vsヒクソン座談会
●WWF大検証! 猪木・鶴田・前田・高田らが黒船を語る!
●サスケ×矢追純一UFO超私極宇宙対談!
桜庭和志/堀辺正史/守山竜介/太刀光/嵐/中西百恵

No.25 00年3月 ¥840

格闘ロマン続行ーッ!! 猪木イズムを携えた藤田和之『紙プロ』初登場
●グレイシー撃破後の田村潔司を直撃!
●アニマル浜口は15年前から“火の呼吸”を研究!
●暴露本の原点はここにある! ミスター高橋
前田日明/小川直也/村上一成/サスケ/ダン・ヘンダーソン/ザ・ロック座談会/石川雄規&小路晃

No.26 00年4月 ¥840 完売間近

格闘ゴールドラッシュ! やっちゃってくれサク! 世紀の大一番ホイス戦直前!
●前田、田村にロレックスを贈呈
●ゴールデンタイムで破壊王をまたもや壊滅! 小川直也
●あのミスター高橋が告白した!?
村浜武洋/TAKAみちのく/斉藤彰俊/山本宜久/大仁田厚/CRUSH2000/ReMix/エンセン井上

No.29 00年7月 ¥840

「格闘環境」は刻一刻と変化する! ノア解禁! 方舟の舵を取るのは誰だ!? 秋山準初登場!
●今度はホイス戦! 桜庭和志
●プロレススーパースター列伝・仲野信市
●本誌独占ジャンボ鶴田夫人真実を語る!!
三沢光晴/ノア勢フルメンバー/村上一成/ボビー・ホフマン/TKおかん/里村明衣子

No.30 00年8月 ¥840 完売間近

燃えよ! 闘魂の火種!! 小川、ヒクソン戦へ一直線!
●元祖日本人ユセフトルコがエンセン井上を激励!
●プロレススーパースター列伝・永源遙
●ケンドー・カシン暴言害ファイル
前田日明/金原弘光/高阪剛/滑川康仁/村上一成/秋山準/ジャイアント落合/桜庭あつこ

No.31 00年9月 ¥840

真のストロングスタイルは『PRIDE』にあり!! 歴史に残るベスト興行『PRIDE.10』大特集号
●桜庭和志×高阪剛のトークバトル中継! レフェリーは浅草キッドだ!!
●川田利明語録
●プロレスという物語について・ダン・スバーン
小川直也/高山善廣/谷津嘉章/堀辺正史/永源遙/ユセフ・トルコ/島田裕二/田村潔司

No.32 00年10月 ¥840

本誌は“新プロレス”を独占します!! 10・9新プロレスvs純プロレス開戦!
●田村潔司に快勝!ーA・ホドリゴ・ノゲイラ
●打倒プロレス同盟結成!? 青柳政司×小路晃
●藤波辰爾語録
●プロレススーパースター列伝
前田日明/桜庭和志/山本喧一/金原弘光×滑川康仁/本田多聞

No.34 01年1月 ¥840

プロレスは「闘い」を忘れた時に老いてゆく!! 「猪木祭り」「長州vs橋本戦」を斬りまくり!
●UFCミドル級王者ティト・オーティズ
●プロレススーパースター列伝・ミスターヒト
●修斗から「猪木祭り」へ! 宇野薫
小川直也/高田延彦/桜庭和志/藪下めぐみ/ボブチャンチン&オバチャンチン/田中正志/紙プロ大賞2000

No.35 01年2月 ¥840

ジャングルを守るだけじゃなくジャングルをつくれ!! 「純プロレス」を考え倒せ! 500人アンケートも実施! 徹底検証号
●ZERO−ONE始動! 橋本真也×アレクサンダー大塚
●プロレス界統一コミッショナー(就任予定)馳浩が爆弾発言!!
●プロレススーパースター列伝・ジョー樋口
坂田亘/成瀬昌由/滑川康仁/大仁田厚/小路晃/杉浦貴/堀辺正史/田中正志

No.36 01年3月 ¥840

新生「闘いのワンダーランド」に闘魂の火種!! 面白くなきを面白く! 純プロレス復興記念号
●ノアから独立「PRIDE」参戦! 高山善廣を確認せよ!!
●桜庭和志初のシウバ戦ド直前!!
●KOKをしゃぶりつくせ! 5大企画で大総括!!
金原弘光/ノゲイラ/ヴォルク・ハン/レナート・ババル/TK/田村潔司
三沢光晴/橋本真也/前田日明/大山峻護/W☆ING/ザンディグ/ジニアス×ハリー・レイス/鍋野ゆき江

No.37 01年4月 ¥840

長州!! 本性出せんのかオラッ!! 小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻
●安田忠夫が借金から自殺未遂まですべてを語る!
●アブダビコンバット2001ー大探検記! 菊田早苗/田村潔司×ヘンゾ・グレイシー/シェイク・タルヌーン王子
小川直也/橋本真也/桜庭和志/成瀬昌由×山本憲尚/村上一成×小路晃/堀辺正史/石川雄規

No.38 01年5月 ¥840

高田の“忘れ物”は小川!! ラスト・オブ・「もう一丁ッ!!」 5・5小川と長州はどちらが孤独だったのか!?
●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子エメリヤーエンコ・ヒョードル
●プロレススーパースター列伝・阿修羅原
●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー
高田延彦/グンダレンコ・スベトラーナ/力皇猛/杉浦貴/丸藤正道/谷津嘉章/ジミー鈴木/高山善廣

No.39 01年6月 ¥840

どうなるんだ、リングス! 前田isデッド!? すべての“騒動”に前田日明総帥が答えた!
●選手離脱後の前田道場新エース・金原弘光/滑川康仁
●怪物か!? それとも……藤田和之座談会
●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
秋山準/山本憲尚/小川直也/成瀬昌由/田上明/石川×臼田×島田/DEEPとは何か

No.40 01年7月 ¥880

開戦間近! 猪木軍vsK−1に見たいものは“地上最強のプロレス”
●蘇れ! Uインター&キングダム伝説! 高山善廣×金原弘光[前編]
●本当か? 本当なのか!? この叫びを聞け! 大谷晋二郎
●プロレススーパースター列伝・グラン浜田
小川直也/三沢光晴/橋本真也/サスケ/郷野聡寛/坂田亘/上山龍紀

No.41 01年8月 ¥880

Can you カミングアウト? “最後の黒船”WWF襲来! どうする「日本のプロレス」!!
●リングス10周年大会! ハンがリングスを振り返る
●真樹日佐夫×三池崇史巨頭対談が実現!
●W☆INGの真実・茨城清志
小川直也/高山善廣×金原弘光//WWF座談会/辻よしなり/秋山準語録

No.42 01年9月 ¥880

猪木なら何をやっても許されるのか!? アントン総帥の言葉はマット界にとって“福音書”か?“テロ行為”か!?
●失われた“新日本”がここにある! ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
●大反響! “ヒャッホー”辻よしなり
●蘇れ! UWFインター伝説!! 高山善廣×宮戸優光×金原弘光
高田延彦/谷津章嘉/カト・クンリー/マァ☆ティン/WWF上陸直前特集

No.43 01年10月 ¥880 完売間近

サクと「PRIDE」のケツに火がついた!! 10・8猪木と小川が「純プロレス」と「純K−1」にリンクを張った!!
●ブラジリアン・トップチーム3大柱インタビュー
●大谷普二郎の「俺をしんじろう!」人生相談
●金原弘光×サスケの新日本プロレス学校同窓会
小川直也/桜庭和志/谷津×グッドリッジ/中野巽耀/須藤元気

No.44 01年11月 ¥880

ノーモアBADアングル!! サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か?
●プロレススーパースター列伝・グレート小鹿
●その修羅場の数々! シーザー武志
●怪物伝承! 高山善廣&杉浦貴
ハンス・ナイマン&ディック・フライ/田村潔司/闘龍門大特集/E・ヴァラビーチェス

★『紙のプロレスRADICAL』 NO.1〜NO.4/NO.6/NO.8 NO.9/NO.12〜NO.14/NO.17〜NO.23/NO.27 NO.28/NO.33は完売!! 常備店で探しましょう!

リング内・リング外の情報を読者にお届けする RADICAL情報局

>>>7・20武道館大会、ファン投票実施!

全日本プロレス30周年記念大会第一弾となる7月20日武道館大会では、試合カードのファン投票を実施する。ハガキもしくはEメールで受付。以下の出場全選手の中から、シングル、タッグ、6人タッグを各1つずつ選出すること(2つ以上の記入は無効)童心に返って夢のカードを投票してみよう!

★出場選手★

天龍源一郎　嵐　荒谷信孝　平井伸和　武藤敬司　小島聡　ケンドー・カシン　カズ・ハヤシ　太陽ケア　渕正信　長井満也　奥村茂雄　本間朋晃　保坂秀樹　宮本和志　安生洋二　相島勇人　愚乱・浪花　土方隆司　グラン浜田　スティーブ・ウイリアムス　マイク・バートン　マイク・ロトンド　ジョニー・スミス　ジム・スティール　ジョージ・ハインズ　ジミー・ヤン　アブドーラ・ザ・ブッチャー　ミル・マスカラス　ドス・カラス　ブライアン・アダムス　ブライアン・クラーク

【応募方法】

★ハガキ 〒106-0032 東京都港区六本木7ー3ー12
全日本プロレス　「7・20　ファン投票」係

★ eメールinfo@oudou.co.jp
「7・20ファン投票」と表題をつけること。

★ファクス 03-3403-0394

応募の際には、必ず名前・ご住所・ご職業(学年)・電話番号・年齢・性別・eメールアドレスを明記すること。

【応募締切】 6月末日必着!

【応募特典】

★MVP賞 採用された人の中から1名が、7月20日の試合の勝利者賞のプレゼンテーターを行うことが出来る!

★ベストバウト賞 応募した人の中から抽選で30名に7月20日出場全選手の寄せ書きサイン色紙をプレゼント。全選手!　これは欲しい!

【選考方法】

マスコミ代表者、及び全日本プロレススタッフにて、30周年にふさわしい試合カードを検討し選考するとの事。
※試合形式、試合順は、選考されたカードに準ずる。

>>>G1出場戦士決定!! 今年も名試合が飛び出すか!?

昨年はドラゴンVS村上でのＧ１史上最短の36秒試合「このままじゃ済まさん！」という、「紙の新聞」的には名試合の飛び出したＧ１。今回もカード発表前から「体の動く今年は頑張りたい。Ｇ１と10月のドームは、強引にでも出るつもりです」と宣言していたドラゴン。"チャンピオンの権限"としてＧ１で蝶野と同じブロック入りを要求した永田裕志に勝手に呼応し、「それならオレも同じブロックに入れろ。偏る？　偏っていいんだ！」と一喝。ファン投票案など、せっかく蝶野なりにいろいろ考えていた中のドラゴンの"社長権限要求"。現場責任者の苦労がしのばれていたが、これがなんと、本当に実現してしまう事となった！　出場全選手・ブロック組み合わせは以下の通り。

◆Aブロック
佐々木健介　越中詩郎　吉江豊　棚橋弘至
天山広吉　高山善廣

◆Bブロック
永田裕志　藤波辰爾
中西学　西村修
鈴木健想　蝶野正洋

越中も復活する上に、なんと、社長・現場責任者・IWGP王者が同ブロックで闘うという"夢のG1"がこの夏、実現することとなった。ゼヒもう一度G1を楽しんで、新日本を見なおしてみよう。大会概要は以下のとおり。

◆日程　8月3、4日の大阪府立体育会館2連戦で開幕。5日の高松市総合体育館、7日の福岡国際センター、初開催の8日の広島グリーンアリーナを経て、東京・両国国技館大会の2連戦(10、11日)で準決勝、決勝戦を迎える。
◆対戦方式　12選手がA、B各ブロック6人ずつに分かれ、総当たりのリーグ戦(30分1本勝負、勝ち2点、負け0点、引き分け及び両者リングアウト1点)を行う。各ブロックの得点上位2人が決勝大会に進出する。決勝大会では、各ブロック1位と2位同士によるたすき掛けのトーナメントを行う。優勝賞金1000万円。

ケビン山崎氏のトータル・ワークアウト

>>>フィットネスセミナー開催決定!

「行って行って、カモ〜ン!! 」ケビンさんことケビン山崎氏のジム、トータル・ワークアウトが特別セミナーを行う。ケビンさんのジムというと、巨人の清原やTKのイメージから、プロのスポーツ選手用トレーニングというイメージがあるが、本来は一般の方に向けたフィットネスだという。今回のセミナーでは「トータル・ワークアウト・パーソナル・プログラム」をもとに、誤解されやすい運動処方のアレコレや、最も早く体を変えるためのノウハウ(栄養学を含む)を解説してくれる。分かりやすく、楽しく学ぶことができるケビンさんのセミナーに、ゼヒ参加してみよう!

日時 6月23日（日）13:00 〜16:00
会場 青山ダイアモンドホール
費用 ¥15,000(消費税別)　定員 200名

詳しくは、トータルワークアウトフィットネスセミナー運営事務局・株式会社ネオテリックまで問い合わせること。
TEL　03-5728-8233

>>>トークショー、やっちゃうぞバカヤロー!!

『COZY MANIA　TOUR』として名古屋・大阪でトークショーを行ってきた全日本・小島聡。東京は「昼下がりのお食事会」のタイトル通り食事付き!トークショーのチケットは全日本プロレスショップ『王堂』他、チケットぴあでも発売中。全日本プロレスファンクラブ会員は10%割引となる。

『小島聡・デイ・ライト・ライブ』〜昼下がりの食事会〜
日時:6/30(日) 13:30スタート
場所:東京都渋谷区 KITSUNE(バー&ダイニング キツネ)
チケット料金:10000円　限定プレミアム・グッズ+お食事付
申込&問:全日本プロレスショップ『王堂』:03-3403-7344

『ノリノリ情報局』終了後、ガイ子さんがカッ飛ばした『マットナイガイ』からいきなりベタなタイトルになった、その名の通り要するに情報ページです。紙プロ的情報ページの正しい有り方は、相変わらず模索中です。担当はささきぃです。よろしくです。

ブッコミ ノリノリ★NEWS

>>>大会NEWS ANOTHER

■TRIAL（トライアル）
『TRIAL ～空手の逆襲！～』
7月6日（土） 試合開始 12:30
東京・ディファ有明
パンクラス・近藤を破った男、百瀬善規の所属する禅道会が新たな大会を行う。禅道会理事・市瀬猛氏が運営する「ファイティングワールド」が中心となり開催する「TRIAL」がそれだ。各試合、選手の意志によって、寝技の制限時間やグローブの着用の有無等が変更できる「トップスルール」が大きな特徴。今回は「空手の逆襲」をテーマに、空手系と組技系の選手が対戦する（特別試合を除く）。出場選手も実力者が勢ぞろいし、メインでは禅道会中量級のエース・熊谷真尚が、パンクラスのベテラン・冨宅飛駈を迎え撃つ。
問：TOYBOX（ファイティングワールド）0265-34-2170

■『AX vol.4』
6月26日（水）試合開始19:00
東京・ディファ有明
6月26日後楽園大会に、元クラッシュ・ジュニアの桜井亜矢が出場することが決まった。突然のクラッシュ・ジュニア脱退の後の参戦なだけに、試合が注目される。マァ☆ティンこと星野育蒔、ドレイク森松らも参戦決定済み。
【6月26日後楽園大会決定カード】
★星野育蒔VSウィンディ智美
★久保田有希VSアンジェラ・ラスタッド（USA）
★ジェット・イズミVSベッタ・ヨン（USA）
★桜井亜矢VSエリカ・モントーヤ（USA）
★岡裕美VS角田紀子
★ドレイク森松VS加藤悦子
問：AX事務局 03-3478-4605

■『格闘技エンターテインメント SMACK GIRL～最強タッグトーナメント2002』
7月6日（土）試合開始18:30
東京・ディファ有明
スマックガールは、格闘技大会でありながら「最強タッグトーナメント」という前代未聞の興行を行うことを発表。タッグは2人の合計体重が124kg以内が条件。ナナチャンチンはタッグでなら連敗街道を脱出できるか!?
問：スマックガール実行委員会
03-5545-4766

■『キングダムエルガイツ東京大会～キングダムスピリッツ』
6月22日（土） 試合開始 18:00
東京・Z－ZONE NAGAYAMA
今月号発売日当日！ メインで入江が大物"X"と対戦！ またしても入江がその実力を見せ付けるか!?
問：キングダム 042-331-2797

■『大仁田FMW ディファ有明大会』
7月14日（日） 試合開始 13:00
東京・ディファ有明
WEWとZERO-ONEが本格的に激突！ 金村キンタロー&黒田哲広&チョコボール向井VS大谷晋二郎&田中将斗&佐々木義人戦決定！ ポーゴ様も出るぞ！
問：バビーズ 03-5411-9911

>>>イベントNEWS Another

■セーム・シュルトの特別セミナー開催決定!!
PRIDEでは無敗の大巨人・セームシュルトのセミナーが開催決定!!
日程：6月24日19:00～20:30
場所：東京・麻布十番 BCGジム
参加費：BCG会員4000、一般会員は8000円。PRIDEファンクラブ会員は7000円で受講できる。また、BCGでは女性スタッフが新たに加入。シャワーも完備しているので、女性も安心して入会できるぞ！
問 BCG：03-3560-7911

■エンセン井上の総合格闘技セミナー・第2弾開催決定！
日時：6月30日（日）13:00～17:00
場所：フィットネスショップ格闘技水道橋店格闘技スタジオ（JR水道橋駅西口下車徒歩1分）
料金：5250円（税込）
問：フィットネスショップ格闘技水道橋店
03-3265-4646

■コーセーアンニュアージュトーク開催
138回を数えたコーセーアンニュアージュトーク。ゲストは瀬名じゅんVS平尾誠二。
日時：6月26日（水）
18:00開場 19:00開演
場所：恵比寿ガーデンプレイス／ガーデンホール
料金：前売2100円/当日2500円（ドリンク付） 問：マーク・アイ 03-3464-0761
チケットぴあでも発売中。

>>>ブッコミ ノリノリNEWS

■今号発売日と同じ6月22日より待望のロードショー！
映画『GAEA GIRLS』
「絶対、あきらめない。」――畑のど真ん中にあるガイア・ジャパンの練習場が主な舞台になっているこの映画、中心になっているのは、竹内彩夏という練習生。彼女が1年以上に渡る練習生としての生活を経て、プロのリングに上がるまでの物語だ。あまりにも激しいプロのレスラーへの道、ひたむきに努力する姿を見よ!!
シネセゾン渋谷で毎夜21:20より上映。
また、シネセゾン渋谷では、7月6日は公開記念オールナイトとして「ビヨンド・ザ・マット」と「四角いジャングル～世界一決定戦」を同時上映するほか、7月20日は広田さくらと里村明衣子のトークショーを予定している。
詳しくは直接シネセゾン渋谷へ問い合わせてみよう。
問：シネセゾン渋谷 03-3770-1721

■鈴木みのると行く"KAZEツアー"in沖縄
沖縄の名所観光はもちろん、ツアー最後の夜はゲーム大会、ビデオ上映、内容充実のトークと盛り沢山。
また、パンクラス認可ジムのハイブリッドレスリング武限の旗揚げ5周年記念大会を観戦しパンクラシストを目指す有望選手たちの熱闘を応援しよう！ 今年の夏休みの計画を思案中の皆、鈴木みのる選手といっしょに盛夏の沖縄の"KAZE(風)"を感じリゾート気分を存分に満喫しよう！
旅行期間：2002年7月20日(土)～7月22日(月) 2泊3日
旅行代金：¥88,000
（消費税、諸入場料、朝食2回、昼食1回、夕食2回の食事料金を含む）
募集人員：先着20名
申込&問：ワイエムオーツアーズ
担当/菊田TEL（03）6761-5599

■今後のミスター高橋、セッド・ジニアス情報は「紙プロ」が独占させていただきます！
マニア必見ミスター高橋乱入、"悲しき天才"のインド人に対してリメンバー・パール・ハーバー!? と挑発しての砂漠の嵐作戦。そして貴様の体を切り刻みインドカレーにしてコツコツ煮込んで一晩じっくり寝かしてやるぜと暴言を吐きシン激怒のジニアスvsシン戦の完全ノーカット秘蔵裏ビデオを何と4500円ポッキリで腕ポッキリというお手頃価格で発売!!
購入希望者は下記住所まで、代金4500円と送料500円を現金書留に同封の上、下記住所まで送るのダァ～!! 郵便為替でもOK!!
そして、専門誌はおろか「紙プロ」でも絶対に読むことのできない「ミスター高橋本」を上回る危ない話オンパレードの大好評裏情報紙「ザ・セメント」が毎月1日に発売されることが決定!! 購入希望者は、現金書留に代金1000円、90円切手が貼られた住所、氏名が記載された返信用封筒同封の上、下記住所まで送るのダァ～。郵便為替でもOK！ 次号発売日は7月1日（水）ダァ～!!
〒164-0003
東京都中野区東中野4-4-5-311
渡辺事務所宛
（※この文章はタイトルも全てセッド・ジニアス氏本人によるものです※）

大会★GUIDE

>>>須藤元気の参戦も決定!!! メインカードは因縁の再戦!!

今や、本拠地アメリカのみならず、世界中にブームが広がりつつあるこの世界最高峰の総合格闘技大会が、ついに欧州初上陸を果たす！ 今回の注目カードは『PRIDE』でもおなじみの"褐色の浪人"こと、日本語も達者なカーロス・ニュートンと、先日のUFC36において桜井"マッハ"速人の挑戦を退けたマット・ヒューズのタイトルマッチ。実は、この2人、UFC34（2001年11月2日）において同タイトルを争い、微妙な判定（ヒューズ勝利）で物議を醸したという因縁の過去を持っている。さらに、須藤元気の参戦が正式決定！ 詳しくはP80をチェック！
【現在決定済みの試合】
《UFCウェルター級タイトルマッチ》マット・ヒューズVSカーロス・ニュートン
イアン・フリーマンVSフランク・ミア
ユージーン・ジャクソンVSマーク・ウェア
レナード・バババルVSエルビス・シノシック
須藤元気VSレイ・レメディオス
UFC「UFC38 BRAWL at the HALL」
7月13日（金）イギリス・ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール

現地7月13日に行われる、この記念すべき大会の模様をWOWOWでは翌日に放送する！ WOWOW（BS-5ch,BSデジタル191ch）
7月14日（日）午後10時30分～0時30分
解説：中井祐樹 実況：高柳謙一

>>>宇野薫が小林聡とエキシビジョン！

6月9日は小島×APE興行に突如参戦し、素晴らしい試合内容で"プロレスLOVE"を見せつけた宇野薫が、なんとあの藤原道場主催のグローブ空手の大会に出場。ムエタイ王者を倒したキックの小林聡とエキシビジョンを行う！ 意外かつゴーカな組み合わせの見られるこの大会、入場は無料！ 行くべし!!
藤魂塾連盟「第1回藤魂塾連盟オープニング大会藤原敏男杯」
日時：6月30日（日） 試合開始：12:00
場所：東京・台東リバーサイドスポーツセンター
入場無料！
問：大会事務局 03-3805-1457

>>>コンテンターズ7開催！

打撃・蹴りを禁じ手とした総合格闘技「コンテンターズ」。格闘技と映像・音楽のコラボレーションをコンセプトにしたライブは、格闘技を初めて生で見る人、格闘技をあまり知らない人、そして女性も楽しめるイベントになっている。今回は宇野薫・高瀬大樹・戸井田カツヤ・門脇英基・矢野卓見といった面々の参戦予定に加え、海外から大物選手の参戦も噂されている。宇野薫商店の出店も決定！ Tシャツのチェックも忘れずに!!

写真は昨年10月に行われたTFMホール大会。

G.C.M「THE CONTENDERS-7 NEXT」
7月7日（日）試合開始：17:00
神奈川・横浜赤レンガ倉庫1号館
問：GCMコミュニケーション 03-3538-5801

イベント★GUIDE

>>>現代のサムライ、堀辺師範の言葉を聞け！

「祖国を忘れし者に告ぐ」と銘打たれた格闘技界の哲人・堀辺正史師範の講演会。内容は、世界における日本の存在意義、戦争と平和、そしてこれら諸問題の根源となる宗教・哲学などの難解な問題について武士道という観点から分析したものになっている。
なお、次回でこの講演会は第1部最終回を迎える。次回は秋ごろスタートの予定だが、全くの初心者でもわかりやすい内容になっているので、次からと言わず、ぜひ今回から参加してみよう。

開催日：毎月最終日曜日（次回は6月30日）
時間：13:00～15:00
場所：骨法武術館（JR東中野駅前）
参加費は無料。参加希望者は日本武道傳骨法會まで問い合わせること。（予約制）
TEL：03-3362-0010
HPアドレス：
http://www9.big.or.jp/˜koppo/

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

PART 2

吉田文豪人生劇場

書評の星座

サッカー最高！（花火で跳ねながら）キャン・ユー・ディグ・イット・サッカー!? ……ということで、“SUCKA!”ことブッカーTが大好きなボクは、こう見えても流行り物だって大好物。いまは、やっぱりワールドカップ？ それとも、あえて田村対ボブ・サップ（「ップ」繋がり）？ いいよねえ、クルクル回るチャンピオンって（ブッカーTのスピン・ルーニーをうっとり見つめながら）……と、放っておいたらいつまでもボケ続ける流行り知らずの書評コーナー。〈e-mail:go@kamipro.com〉

『アントニオ猪木の伏魔殿』（新間寿／徳間書店／1300円）

昭和のプロレスファンならきっとわかってもらえるだろうが、全盛期の猪木と元祖・闘魂二人三脚を繰り広げてきた過激な仕掛人こと新間寿は、まさにプロレス界随一のアジテーターであった。

そのリズミカルで無闇に人を高揚させるアジテーションはいまもイベントなどで聞くと心からシビレてしまうほどなのに、原稿ではそこまでのパワーが感じられないのが本当に残念の一言。いっそ演説をそのまま活字化して、「声に出して読みたい日本語」というサブタイトル付きで売り出すのもいいんじゃないかとさえ、ボクは思う。

さて、この本はそんな新間寿が**「猪木寛至という男にこのままプロレス界を委ねてしまうと、日本のプロレス界は滅びかねない」**という**「本書はそうした危機感から緊急出版した」**そうなんだが、さすがに猪木絡みのネタに関しては独自の裏話も多くて、かなりの説得力。

「プロレスラー・アントニオ猪木は**「猪木の前に猪木なし、猪木の後に猪木なし」、史上最高のファイターだったと、今でも私は信じて疑わない。だが、人間・猪木寛至は多重人格者だ。人を裏切り、人を移用し、人の誠意を自分の成長の肥やしにしてきた最悪の男である」**

そこまで言い切るだけあって、これは「闘魂とは人の誠意を踏みにじる行為」との言葉で体現した“キラー猪木寛至”部分にのみひたすらスポットを当てまくる一冊なのであった。

たとえば、第一回IWGPでハルク・ホーガンのアックスボンバーを喰らった猪木が失神&緊急入院したかと思えば、なぜか坂口征二が**「人間不信」**と書き残して失踪するに至ったあの事件の新事実も、かなり衝撃っぷり！ なんと新間寿が入院先に見舞いへ行ったら、**「猪木は私たちの目を盗み、夜中にこっそり病院を抜け出していた」**ため、なぜか**「ベッドには猪木ではなく、猪木の弟・啓介が寝て」**いたそうなのである！ 誰もが「猪木神話は終わった！」などと思っていたときに人知れず引田天功ばりの入れ替わりマジックに挑んでいた猪木、恐るべし！

さらに、あの福田赳夫元首相がアントンハイセル事業について**「ブラジルという国は非常にインフレ率の高い国だから、ボクはブラジルに投資をすることには反対なんだ」**と筋の通った忠告をしていた事実も明らかになるんだが、もちろん猪木はそんなことに耳を貸すほど聞き分けのいい男ではない。なんと素直に忠告を聞くどころか、こんな逆ギレまでブチかましていたようなのだ。

「新聞、福田先生も老いたな。冗談じゃない。ブラジルには地下資源がいくらでも眠っているんだよ。金もある。銀もある。石油だってある。これからブラジルはどんどん発展していって、大変な金持ちの国になるんだよ」

もちろん猪木の目論見は大きく外れて結果的に多額の借金を背負う羽目になってしまうんだが、それでも決して懲りやしないから、さすが猪木。

「ただし、猪木が出したアイデアでなるほどなと思ったことがある。すごいなと感心したのは、将来、環境が悪化して地球上の酸素不足が深刻な問題になったとき、アマゾンの熱帯雨林が吐き出す酸素を止めるぞと世界を脅せば、各国はブラジルへの援助を惜しまないだろうという観測だった」

酸素をネタに世界を脅して、援助金を奪い取る!? それ、違う意味ですごいよ！

ただし、**「猪木という男、時として天才的なひらめきを見せる。惜しむらくは、鶏じゃないが3歩歩くと前言を忘れて考えが変わることだ。猪木はブラジルは熱帯雨林を大事にすべきだと言っておきながら、同時にブラジルの東西を結ぶ一大鉄道を貫通させようという構想も練っていた」**とのことで、やることに一切筋が通っちゃいないのも、やっぱり猪木。アントン・ハイセルへの興業収入流出疑惑が原因で山本小鉄らにクーデターを起こされたとき、**「アントン・ハイセルはやめるわけにはいかん」「お前たちに迷惑をかけているのは新間だから、新聞をやめさせる」**と迷わず言い放った男は、一味違うのであった。

かくもタチの悪い猪木に美人秘書の告発による金銭スキャンダルが吹き荒れていた頃、「東スポ」などで拳銃密輸&地下射撃場設立疑惑が持ち上がっていたのを憶えているだろうか？

もともと**「ロスで銃のインストラクターもやっていた」**D氏が拳銃28丁、実弾1000発の密輸で現行犯逮捕されたとき、**「実はアントニオ猪木に頼まれて、拳銃を持ってきた」**と証言したことから始まった、この騒動。

「あの男のおかげで捕まったのに、自分には一言の見舞いもねぎらいもない。チリ紙1枚も差し入れしてくれはしなかった。いったい、なんてヤツなんだ」

なんと**「8年も臭いメシを食うハメになった」**D氏がここまで激怒していたため、猪木は彼から逃げるべくアメリカに移住しただの、PRIDEの怪人と行動を共にするようになっただのとここまで一部で噂されていたんだが、なんとビックリ。もともと猪木は、D氏にこう話を持ち掛けていたらしいのである。

「Dさん、将来、日本でも拳銃を持つことができるようになるかもしれないよ。そのためには、やっぱり地下に射撃場でも作って、みんなに習わせるようなことも考えなきゃいかん」

……あれ？ 別に猪木も拳銃密輸までは命じていなかったのか？ 何かと思えば、この騒動の真相はこういうことだったようなのだ。

「悲劇だったのはDさんは日本語が話せても、小学校3、4年程度。その理解力たるや非常におぼつかないことだった。猪木一流の「ジョーク」を謎かけとカン違いして「ピストル持ってこい」という話だと早合点したD氏は、女性でも撃てる軽い拳銃ばかりを持って来日したというわけなのだ」

ジョーク!? 猪木は全然悪くないじゃん！

その他、**「競馬を許すと、生活態度がゆるむ。遠業先でも競馬新聞は読む。漫画本ばかり読む。花札はやる。そのうちゴルフバッグ担いでプロレスの巡業に来る……。実はそれがクーデター首謀者・山本小鉄の素顔なのである」**という天敵・小鉄批判や、**「（倍賞）鉄夫は猪木の夫人・倍賞美津子の弟だが、とにかく仕事ができない。営業をやらせてもさっぱりで、しかたなくリングアナを任せていた」**という倍賞鉄夫批判など、とにかくシビレるエピソード満載なので昭和のプロレスファンなら絶対必読！ プロレス仕掛人は死なず！

唯一の問題は、もう一つの出版理由である**「ミスター高橋のようにプロレスを食い物にしている輩と徹底的に闘いたかった」**という部分が、ちょっとばかりパワー不足なことだけなのであった。

まず、**「すべてのプロレスは筋書きのある出来レースである、とする彼の主張はK-1などの打撃系の格闘技を勢いづかせるだけ」**とピーターの著書にダメ出しする気持ちは、ボクにもよくわかる。

ただ、**「意識を失った（ストロング）小林に対して、首四の字で目を覚まさせた猪木の「情」が」**だが、ミスター高橋、二人の試合は出来レースでも、仕組まれたものでも決してない」**とキッパリ断言しつつプロレスをこう定義付けているのが、いまとなっては説得力が感じられないのであった。

「プロレスは相手に体を預ける。腕を与え、首を与え、足を与える。しかし、その与えるなかで、鍛え抜かれた肉体と精神力によって極限まで我慢し、相手もこれ以上やったら傷つけてしまう、その一歩手前で止め、我慢の限界を確かめ合うスポーツ競技である」

誰も書けなかったカリスマ「闇素顔」
アントニオ猪木の伏魔殿
FUKUMADEN
元新日本プロレス専務取締役
新間寿
「すべてを知る男」新間寿が書き下ろした「衝撃の書」!!
プロレスファンよ、目を覚ませ!
徳間書店

我慢のスポーツ……。そんな昔ながらのプロレス論よりも、**「余人の知らない世界に身を置いたことを奇貨として、あのような本を書くとは何ごとなのか！」**という一言に、彼の隠された本音を感じてしまうのはボクだけだろうか？
　やっぱり、その辺に関しては同じ新間寿の文章でも、「週刊アサヒ芸能」で短期連載していた「アントニオ猪木『金とヤラセ』誰も書かなかった『闇素顔』」における描写の方が圧倒的なリアリティが感じられたものなのである。
「かつて猪木が新日本プロレスを旗揚げして『いつ何どきだれの挑戦でも受ける』と標榜していたころ、道場にキックボクサーが殴り込みに来たことがあった。そのときに相手したのが藤原（喜明）で最初はすぐに腕を決めて勝った。ところが2本目になると、相手は間合いを取ってキックやひじ打ちをバカバカ入れてきて、藤原のほうが血だるまになってしまった」
　永田がミルコにやられると、すぐさまこんな秘話を引っ張り出してくるのみならず、猪木対アリ戦についてもこんなとんでもないことをいきなり言い出すんだから、とにかく新間寿は最高なのだ。
「猪木は先ごろ出版した本の中で対アリ戦のルールについて触れて、そこでは、禁じ手のオンパレードだったということになっているが、真実はまったく違う。実際のルールは『両者正々堂々と戦う』という前提で、急所への攻撃禁止、目の中に指を入れてはいけないなど、現在のプロレスでも当たり前のルールにすぎなかった。それは私が今でも保存している書類を見れば一目瞭然だ。猪木が言う『がんじがらめのルール』などというのは存在しなかったのだ、私が交渉の最初から最後まで担当し、作り上げたのだから間違いない」
　……え!?　猪木がアリキックをやる以外に術がなくなってしまった「がんじがらめのルール」は、そもそも猪木が言い出したホラだったのか？
　要するに「もちろん、猪木が〝言い訳〟をするのもわからないではない」「猪木も本当に深く落ち込んでいた。そんな彼に代わって私は必死に『過酷なルールだった』と説明し、彼の名誉を守った」とのことで、これは新間寿のホラだった模様。
　ゆえに、「それを、いまさらルールのせいにしてはいけない」と糾弾していたはずが、なぜか単行本では**「アリ陣営は試合直前、ルール変更を申し入れてきた」「アリは立ち、猪木は寝てという試合スタイルは、実はこの話し合いのときにできたルールの結果だったのだ」**というように、まったく正反対の描写になっていたから、つくづくプロレスは底が丸見えの底なし沼なのであった。

『倒産！　FMW』（荒井昌一／徳間書店／1300円）

　正直言ってこの本を発売直後に読んだときの感想は、冷たいようだが「この人は、プロレス業界にも社長業にも致命的なまでに向いていなかったんだな……」というものでしかなかった。借金関係のエピソードは重すぎてとても他人に読ませるようなレベルじゃなかったし、社長業に関しても借金に関しても「なぜ、そこでそんなことを？」と言いたくなることばかりで読んでいてイライラするしで、興味深く読めたのは裏話部分のみ。
　つまり、ポーゴのいい人話やら、メキシコに行った**「小兵のA選手」**（おそらくバトレンジャー）の悪質なイジメ話やら、**「お前なんか、とっとと死んじまえ」**などなど引退後も**「ファンを装って女子選手の悪口を書き連ねた手紙を送ってきた」**女子選手（おそらく工藤めぐみ）の話やら、レズ話やら、そうした「アサ芸」イズム溢れる下世話な部分と、**「お前今日襲われろ。ジュースいけ、ジュース」**と大仁田から命令されるようなダークサイド部分に目がいってしまったのである。
「日本でも、最近、いくつかの出版物で、プロレスは真剣勝負でもスポーツでもなく、ショーであることが明らかにされています。ごくまれに、段取りなしの試合や、『アングルを作っておいたのに、選手同士が夢中になってそれを忘れてしまい、素で闘ってしまった』という例外はあるものの、プロレスというのは、基本的にストーリーも段取りもあるショーなのです」
「ミスター高橋氏の著作などで多くの人が知るところとなりましたが、プロレス団体において、マッチメイクというのは、対戦相手と順番を決めるだけではなく、基本的に試合のすべてを決めています。この中で、誰と誰がどんな因縁を持ちどのように闘っていくかの流れ、これをアングルといいます」
　こうして荒井社長がミスター高橋に続くカミングアウトを果たしたのはなぜかと思ったら、**「旧FMWでは、こうしたマッチメイクやアングルは、すべて大仁田さんが練り上げていました。当然、自分で『オイシイ』役どころを務めます」**というように、要は大仁田の「俺が俺が」な姿勢をより強調するためだったのである。
　なにしろ、ハヤブサこと江崎英治が大仁田引退の直前に長期海外修行に出ていたのだって帰国と同時にブレイクさせるためでも何でもなく、実はこんな理由でしかなかったらしいのだ。
「旧FMW体制にあっては、弾き出されていたともいえます。なぜ江崎が弾き出されていたかというと、大仁田さんが彼のことを嫌っていたからでした。江崎は新弟子時代、大仁田さんの付き人になったものの、たった1週間で外されてしまいました。理由は簡単で、大仁田さんにとって江崎の顔立ちが気に入らなかったからです」
　そんなハヤブサを新生FMWのトップに据えたら、そりゃあ大仁田が**「江崎をエースにして、ツマんねえプロレスやってるらしいじゃねえか！　俺の作ったFMWを馬鹿にしてんのか！」**と激怒するのも当然の話。
　やがて大仁田は**「俺の興行の際には、選手を新生FMWから貸し出せ。NOと言う選手はクビにしろ」**などの無理難題を押し付けるまでになっていくんだが、**「彼を『お山の大将』にしてしまったのには、私にも責任があります。とにかく、旧FMWの頃からの習慣のようなもので、大仁田さんに怒鳴られると、原因はさておきとにかくまず『すいません』と謝ってしまわずにはいられないのです」**と自ら告白しているように、FMWの迷走は大仁田ではなく彼の介入を許した荒井社長の弱さが原因だとしかボクには思えないのであった。
「今となってみれば、社長だった私が身体を張ってでも止めなければいけなかったのですが、それができなかったのが、私の弱さでした」
　当然、現場に土足で介入してくる大仁田に対して選手たちは反発しまくったが、**「当時の私には選手たちの怒りも諦めの気持ちも受け止めることができず、ひたすら大仁田さんのご機嫌取りに走ってしまった」**荒井社長は、もはや社長失格なのだ。
　まあ、**「この頃の私は、すでに社長として、会社のリーダーであることを放棄していたような気がします。もともと、裏方で地道な作業を積み重ねる方が性に合っていたのです」**とも告白しているように、自分が社長として不的確なことだけは自覚していたようなんだが。
　その後、サラ金で最初に「家の権利書を持って来い！」と言われても**「そんなものかと納得」**して本当に持って行こうとしたり、そこで夫人が**「何でそこまでしなきゃいけないの？」と烈火のごとく怒りだした」**というごく当たり前のことを**「トラブル」**と表現したりで、借金にも不向きだったのは間違いないだろう。
「貯金は全て使い果たし、多額の負債を負うことになりました。金目のものは全て売りつくし、あげくは金融業者から追われ、家も取られました。親兄弟、親戚からも借金をし、親族にさえ会えない状態です。妻とは離婚し、最愛の娘の顔を見ることもできません」
　思えば、新生FMWがスタートするとき、**「借金するぐらいなら潰せ。赤（字）が出たら解散しろよ」**とアドバイスしていた大仁田は、本当に正しかったわけなのである。といっても、その大仁田もまた新生FMWを借金だらけにした張本人だったりするかわけがわからないんだが。
　最後は**「横になりたい。誰の声も聞かずに1人になりたい。少しでもいいから眠りにつきたい。いや、今ならいっそ、永遠の眠りにでもつければ」**などとヘヴィすぎる心境を告白しつつ、**「死んでお詫びをしよう……あの2月14日以降、ずっと、そう思っていました。最後に態度で示せる、誠実しか取り柄のない、私の誠意だと思っていました。しかし、私は負けたままで終わりたくない。カウント2・99でいいから、立ち上がりたい」**と、崖っぷちでアイ・ネバーギブアップな姿勢をアピールしてみせた荒井社長。
　せめてボクも何かしら力になれないかと思い、この本の発売記念として荒井社長のインタビューを「紙プロ」でやろうと計画してみた。間に入った担当編集者の尽力もあって一度は「ギャラが取っ払いなら」との条件付きでOKが出たものの、なぜか土壇場になってキャンセルされ、その数日後には自殺の第一報が流れてしまったのだ……。
「……ほんとにこの前わざわざこっちまで来てもらってせっかく話をしてもらったんですけど、やっぱりいろいろ考えて、自分の気持ちは変わりません。……美学ってわけじゃないんですけど、そんなカッコいいもんじゃないんですけど、やっぱり何か迷惑をかけたのに、ずうずうしく生きていくようなこととかは、やっぱ、できなくて」
　これは「週刊アサヒ芸能」に掲載された「『首吊り自殺』FMW荒井社長『遺言テープ』を衝撃公開！」なる記事からの引用なんだが、実はこの発言。ウチのインタビュー依頼の件で担当編集者が潜伏先に出向き、そのとき自殺を思い留まるよう説得したことに対する荒井社長の解答だったと、ボクは後から知ることになったのである……。
「まあ正直、死ぬのは怖いです。（大きく息を吸う）テープを事前に吹き込もう、吹き込もうと思ってたんですけど、（深いため息）やっぱり、もう、決行する当日ぎりぎりになっちゃいました……。ほんと、いろいろ言っていただいたにもかかわらず、ほんと、すいませんでした。（略）本を出してもらえることになって本当によかったと思います。もし何かまた、FMWの選手とか、うまく取り上げてもらえることになったら、ぜひよろしくお願いします。ありがとうございました。（力を込めて）さようなら」
　結局、最後まで自分ではなく選手のことばかり考え続けた荒井社長の愛すべき生真面目さに合掌……。しかし、それでもあえて倍賞美津子の主演映画「生きてるうちが花なのよ　死んだらそれまでよ党宣言」を、ボクは荒井社長に捧げたい次第なのである。図々しく生きてこそ、人生！

祝★第2回！ 元気が一番な読者ページ

紙プロ 元気大学

元気ですかーッ！（ヒネリ無し）無事2回目を迎えた読者ページ・紙プロ元気大学担当のささきぃです。読者ページ前々々回担当の武田いづみちゃんが辞め、前々回担当・佐藤耳男がクビになり、前回担当・ガイ子さんまでもがクビになってしまいました！ 担当が次々と病気になって辞めていくという、もはや呪われているような気さえする読者ページですが、ワタシはそういうのは単に本人の問題だと思うのでサクサク行きます。ハガキが増えて嬉しい。ガンガン行きまっしょい。元気が一番!!

奈良美智風
ガイ子

（青森県・青木雄大）「以前はジャイ子のイラストとかずいぶん描いたもんだが、最近の連中はネタにしようにもすぐ辞めちゃうからさぁ……。ガイ子には頑張って事件起こし続けてもらいたいっス」

➡せっかくのお言葉ですが、一カ月遅かったです

今月の太平洋タッグ選手権王者

太平洋タッグ選手権王者
小畑千代・佐倉輝美

「前略、日頃はお疲れ様で御座います。この度は、大変な手間を掛けて取材をして頂き、感謝して居ります。私は、命ある限りプロレスを愛し続けます。そして、生涯現役で頑張って行く心構えで居りますよ。どうぞ皆様方も、女子プロレス界の灯を消さない為に力を注いで頑張って下さいね。それから、季節柄お体にはご自愛下さい。平成14年5月吉日　小畑千代」➡49号・50号にインタビューで登場し大反響の小畑千代さんから、素敵なおハガキが届きました。スマックガールの会場でお見受けした小畑さんは、シャッキリしてて格好良かったです。

紙プロ50号・読者が選ぶ面白かった記事ベスト5

1位 **小川直也&橋本真也　OH砲対談**
2位 井上編集長、新日本30周年に三下り半
3位 ZERO-ONE地方興行旅日記
4位 桜庭和志インタビュー
5位 菊田早苗インタビュー

【つまらなかった記事・同率1位】

1位 菊田早苗インタビュー／尾崎社長インタビュー
大仁田厚インタビュー／アレクサンダー大塚インタビュー

➡ブッチギリで一番人気はOH砲インタビュー。地方興行旅日記と合わせて、ZERO-ONE記事全部、って感じの投票が多かったです。2位は「分かりやすい」「爆笑」等の意見が多く集まった井上編集長インタビュー。「樋口一葉」は井上編集長からしか出てこないだろうなぁ。反対意見も膨大だった菊田インタビューは5位にランキング。そして、「つまらなかった記事」は、話題騒然の4人のインタビューが驚異の同率1位。あらら。

読者が選ぶ2002年上半期ベスト試合&ワースト試合

★ベスト試合 1位 **ヴァンダレイ・シウバvsミルコ・クロコップ（4.28『PRIDE.20』）**
2位 田村潔司vsヴァンダレイ・シウバ（2.24『PRIDE.19』）
小川直也&橋本真也vsザ・プレデター&トム・ハワード（5.3 ZERO-ONE松山大会）
4位 魔裟斗vs村浜武洋（2.11『K-1 WORLD MAX～日本代表トーナメント』）
カーロス・ニュートンvsペレ（2.24『PRIDE.19』）
ザ・ロックvsハルク・ホーガン（3.17『レッスルマニア』）

★ワースト試合 1位 **アレクサンダー大塚vs菊田早苗（4.28『PRIDE.20』）**
2位 三沢光晴vs蝶野正洋（5.2新日本『闘魂記念日』）
3位 小川直也vs佐々木健介（1.4新日本『WRESRING WORLD 2002』）
4位 安田忠夫vsドン・フライ（5.2新日本『闘魂記念日』）
5位 中西学vsバス・ルッテン（5.2新日本『闘魂記念日』）

➡とにかく意見が割れて集計泣かせだったベスト&ワースト試合。ベストは僅差ながらミルコvsシウバがトップ、次いで田村vsシウバ。ベスト5以降、ドン・フライvsケン・シャムロック（『PRIDE.19』）、コヒvs魔裟斗、コヒvs須藤元気が続きました。K-1 JAPANの試合は名試合が多すぎて票が割れてしまったようです。
ワーストは菊田vsアレクがダントツでトップ。でも、この結果はこの試合についてはホメ言葉でもあると思います。他の試合については全て新日本、しかも無効試合となった小川vs健介をのぞいては全て5.2ドームというあまりにも偏った結果でした。このベスト・ワースト結果について考える座談会を、次号行います。乞うご期待。

校内巡回

★犬の散歩で金持ちにはなれませんが、野良犬をつかまえて、さばいて犬肉料理屋にでもしたら、なれるかもしれませんね。まず手始めに、ハガキの意見が掲載されたらプレゼントもらえるようにして欲しいです。
（横浜市・甲下雅也・32歳・犬裏の散歩者）
➡欲があるのは構いませんが、他力本願で図々しいです。あげません。

★紙プロ元気大学載ったのはうれしいけど、ささきぃは冷たい！ 文章は人間味が出るもの。ささきぃさんもっと心の広い人間になりましょう。冷たい事はいい事ではありませんよ！ 私はこれからもガイ子ファンでいきますよ～！　ガイガイ。
（小平市・鶴田喜樹・21歳・学生）
➡真っ向から人を名指しで冷たい冷たいと書ける貴方のほうが、私の基準からいくと冷たい。

【面白かった記事】
紙プロ50号記念座談会
★座談会大好き。でもターザンも出して欲しい。

【つまらなかった記事】
紙プロ元気大学
★正直、読んでない!!
（横浜市・大塚恵美子・35歳・会社員）
➡読んでないのにつまんないと判断するとは何事か。ターザンからそういうことを学んだんですか？

尾崎パンクラス社長インタビュー
★友だちに尾崎社長に似ていると言われたから。特に髪型が。
（千葉県・内野さとし・35歳・会社員あらため無職）
➡それって『紙プロ』が悪いの？

菊田&アレクインタビュー
★梅雨入り前に、ジメジメしていた。
（明石市・河合健治・33歳）
➡さわやかな五月の風のようなインタビューって、たとえば誰でしょう。宇野薫&カーロス・ニュートンとか？ さわやかそうだ。

アレクサンダー大塚インタビュー
★インタビューの中では、大きいことを言って結局、菊田早苗に負けたから。
（豊橋市・中神信介・31歳・会社員）
➡ヒネりすぎた意見が多く届きがちな『紙プロ』で、なんと真っ当な批評であることよ。

橋本真也&小川直也
★チキンとポークなら、そのへんのヤツに、たべられちまえ！
（盛岡市・吉田善一・28歳・公務員）
➡「たべられちまえ！」ってところに怒りが感じられていいですね。食ってみろって感じです。

イラスト部（勝手に設立）掲示板

イラストレーター 中川雅博画伯のコーナー

（埼玉県・中川雅博・24歳・イラストレーター）
➡祝！　越中復活!!　9月以降にもならず無事復帰。前々号の「ザ・検証」で皆が復帰を願ったかいがあったというものです。

（埼玉県・中川雅博・24歳・イラストレーター）
➡マァ☆ティンこと星野育蒔ですね。最近のマァ☆ティンって確かにこういう顔をしているなぁ、としみじみ感心しました。次は久保田有希を……って、勝手にリクエスト。

（埼玉県・中川雅博・24歳・イラストレーター）
「PRIDE GIRLの福澄美緒さんという方がウェンディーヌを演じていらっしゃるという意味であります」。
➡マニア野郎ホドリゴにさらなるマニアックなネタ返し。訳して本人に見せてあげたいです。

今月の山口日昇賞

（青森県・青木雄大）
➡いきなり山口日昇が大爆笑したので、何事かと思ったらこのハガキでした。特に何があるわけでもないですが、山口日昇賞をあげます。おめでとう。面白かったです。

あいかわらずオモロイ青木雄大コーナー

（青森県・青木雄大）
「『ドラゴン』と言ったら一般的には強いとかカッコイイとかいいイメージなのに……。名前は改名すれば済むけれど、アダ名は一度定着しちゃうと変更しようがないんで困りますね。それにしても『ドラゴン・カップ』って……」。
➡アダ名はもっと強力なのが付けば消えるんですが、コンニャクとかダメ社長とかじゃしょうがないですしね。

（埼玉県・小川徹・16歳）
➡前号小島を描いてきてくれた小川君。この武藤は似てるな。今月の人生相談は相当面白いぞ。全日好きですか？　次はカシンをよろしく（勝手に決めてみた）。

（墨田区・しげる・33歳）
「ささきぃさんがんばって下さい。僕は原田知世が好きです」。➡……どうも。がんばります。私も別に原田知世嫌いなわけじゃないですが、それは何かの暗号ですか？　ハインズはもっと目つき悪いほうがいい、と思う。

（大阪市・英加直純）➡ビンス様。切り絵ですよ切り絵。すげぇ。ビンスは何してても絵になるなぁ。次はロック様とかどうっすか（これまた勝手に決めてみた）。

24時間、元気をデリバリ〜!!（それは「はりMON」）なお便り★投稿大募集!!

最近、ネット他で「ZERO-ONE中毒」を略して「ゼロチュー」って言葉をたまに見かけます。そういう言葉が出来ること自体は嬉しいのですが、他に言い方はないものでしょうか。吉田豪案「ゼロファン（ZERO-ONEファン）」山口日昇案「ゼロカン（ZERO-ONE患者）」女性ファンのみ「ONEギャル」……編集部ではこれ以上考えるのが面倒になってきたので、募集します。いいのがあればそれを広める努力をしますが、なければあきらめます。その他お便りは、

メールは radical@kamipro.com
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702
（株）ダブルクロス 紙のプロレスRADICAL編集部
紙プロ元気大学「ガイ子さんがカイコ」係まで。
（本名NGの方はペンネームを記入することを忘れないよーに！）

（愛知県・たっつぁん）➡「ほんとにジョーク」宛に来ていたおハガキですが、絵も面白かったのでこちらにも載せてしまいました。

※投稿はなるべく7月5日頃までにお願いします。早いっていうそれだけで採用の可能性はそこそこ高くなります。

!!今月のタレコミ同好会!!

◎◎◎◎◎活動発表◎◎◎◎◎

先日、私が浅草のスポーツクラブに行くと、パンチパーマのおっさんが筋トレをしていました。が、Tシャツからスポーツブラが透けていて、すげー趣味だなと思っていた所、「紙プロ」にて小畑千代とわかりました。今思えば一丁稽古でもつけてもらえば良かったかな。ちなみに数日後健康ランドのカラオケ大会で熱唱してる千代姫見ました。そこでも、ガチンコ勝負で他を圧倒してました。（全て実話）（台東区・平岡広仙・43歳）➡（全て実話）なんてつけなくても、絶対に本人だろうなという気がします。貴重なタレコミありがとう。右上に本人の写真があるというのに、前半ちょっと気にさわりそうな記述がありますが、後半千代姫って書いてあるから大丈夫でしょう。

（静岡県・目ガ覚メタロウ）
➡前号公開お願いした「紙のプロレスバンザイ!!」のボードの人、目撃情報です。いまだ本人から名乗り出がないので真相は不明ですが、これ、やっぱりオーちゃん好きな会長（山口日昇のあだ名）が地方でわざと変装して子供返りしてたんじゃないんでしょうか？　私の上司に対する疑念は相変わらず晴れぬままです。本人、至急名乗り出て下さい。なんかあげます。

ひとりでも
(株)ダブルクロス・IT事業部改め
電気部のページ

電気ですか〜〜〜ッ!!

２月から始動した"ＩＴ事業部"は現在「電気部」として活動中です。仕事は主に携帯サイト「紙プロＨａｎｄ」の更新、「紙のプロレスＲＡＤＩＣＡＬ」公式ＨＰ発表！　さらにその先の極秘プロジェクトにむけての活動を主にしていますが、編集部のお手伝いとして読者ページやその他のページの作成もしたりしています。そんなひとり電気部・ささきぃの半月を振り返ってみました。こんな感じで仕事してます

6月1日（土）編集部→スマックガール　ディファ有明
今月、携帯サイト「紙プロHand」で、着メロ配信サービスがいよいよスタートする。出来るだけ早く配信スタートさせて、聞いた人がアキレたり喜んだりするような顔が見たい。
ひとり電気部生活も、もう２カ月が過ぎようとしている。現状ではＨＰ制作に取りかかることは出来なくて残念だけど、この頃ゆとりが出来たような気がする。それは、編集部の皆さんに記事を書いてもらっているから。今日のスマックの記事は私が書いた。藪下の闘いはステキだった。

6月2日（日）
お休み。起きたらもう午後の３時だった。

6月3日（月）編集部→新宿→編集部
休んだ気がしないのでなんとなく不機嫌な気持ちで会社へ行く。用事があって出かけたついでにソフトクリームを食べる。あっさりご機嫌。

6月4日（火）編集部
読者ハガキを読むのは面白い。まだまだ小さな事しかやっていないけど、自分のやった事に対する意見はものすごく気になるし、何か書いてあれば凄く嬉しい。書く方はあまり意識していないのだろうけど、ハガキ一枚の書き方と言葉だけで、結構、その人がわかる。
アンケートの2002年上半期ベスト＆ワーストバウトは、めちゃめちゃに意見が分かれている。昨年、安田VSバンナがベストバウトになったように、また今年もこれから想像もつかないようなモノ凄い試合が起こるのだろうか。そして、その試合は、桜庭VSシウバや、田村VSシウバのような残酷さを持っているのだろうか。

6月6日（木）
編集部→『PRIDE.21』会見　京王プラザホテル
携帯サイトの、団体別に情報や試合速報をアップしているコーナー【団体別TOPICS】を大幅リニューアル完成。嬉しいので大量に記事を更新して「PRIDE」の会見へ。
京王プラザホテルは一度行ったことがあるのでわかる。ここは駅から遠いので自転車で行こう。道も覚えて来ている、えらいな私、と、はりきって出かけたものの、テレコを忘れる。記者失格である。後から出たガンツさんに持ってきてもらう。後輩失格である。
エメリヤーエンコ・ヒョードル、ラバザノフ・アフメッド、杉浦貴の参戦が決定。大ニュース。さっそく会社に帰ってニュースをアップ。メールマガジンでお知らせを流す。ふっふっふ、凄いニュースだろう。早く見に来い、とわくわくしていたら、サーバー不調が起きた。短い間ではあったが、アクセスしても記事が見られない状態になっていたのでいじける。
この日のＴ２Ｐは最高に面白かったらしい。ああ、行きたかった。夜は会社に泊まって仕事。

➡疲れ切って机の下で眠るささきぃ（一応、女）

6月9日（日）編集部→バトラーツ　後楽園
ＯＬだった時より、初対面の人と話す機会が格段に増えた。自分が好きな人や、凄いと思う人と会った時、話したいことも話せず、上手な行動がとれていない自分に、いつもムズムズする。でも、いまはムズムズしても恥をかいても、いっぱいいろんな人を見たい。話したい。
ワールドカップ・日本vsロシア。会社から随分離れたところにある国立競技場まで、長い長い行列が出来ていた。歴史的な一戦だったこの日、紙プロ編集部では一応テレビこそついていたものの、見ている人は誰もいなかった。がんばれニッポン。

電気部では人材を募集してます。パソコンが普通に使える方で、『紙プロ』のＨＰ上展開に興味と熱意のある方、キツイ仕事を楽しめる方、ゼヒ一緒にＨＰ作り、携帯サイトの日々更新を楽しみましょう。なんだかマジメなおさそいになってしまいましたね。マジメに募集してるんですけどね。よろしく。

JUNE.2002

BEST OF THE スタコラム™

次号から、いつ何時でもノリノリの某格闘家のコラムが始まります！　さあ誰でしょう？

ラインナップ

UNITY

Sing it
Shout it

ワッハッハッハッハ

ランディ・サベージ

やあ
ゲーリーグッドリッジ
だよ！

ボブ・サップ

TEAM BLACK

Title&Illustration/Jerry Luv for ADS

※武田いづみさんの『ディスカバー・シンニホン』と真下純子さんの『ひりきな奥さん』はお休みです。

この夏、ピーズが復活ってホントですか!!

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

杉浦

ただいま6月7日、杉浦貴プライド参戦！ と刺激的ニュースが流れるも、昨日の『東スポ』（長州、ドラゴンをコテンパンにこきおろすの巻）の面白さが今も残る。

私にとって長州・藤波の名勝負数え歌は、後楽園での「かませ犬発言」から～蔵前で長州が勝った「俺の人生、一度くらいいいことあってもいいだろう」の日までの期間が黄金期。それ以降はだんだん倦怠期になり、UWFと長州が戻ってきてからやりだしたの（コインの裏表で長州の相手がドラゴンか前田に決めるやつ。そういえばあの話ピーター本で書いてほしかったな。実際あん時コインどっちだったのかしら？）なんか、完全にどうでもよくなり、もうやめてくれつまんなすぎると、わがままなファンぶりを発揮していた。そんな、とっくに終ってた名勝負数え歌の興奮が昨日突如復活。

「あの会（月曜会）は出席する必要がない。彼が社員の顔色をうかがうための会合だから。社員に全く信用されていないということを、彼は気がつかないのかね。いろんな情報は最後にやっと彼のとこに行くんだ。あれだけ、何も知らない代表取締役社長は他にはいないだろう」

『東スポ』トップ面の長州インタビューは出だしからこんな調子で最高すぎる。以降もこの調子でズバズバ、ドラゴンを斬りまくる長州。活字読んでこれほど心が躍動するなんてそうはない。この日の夜の電車内は普段より、顔がニヤつく男率が上昇していたハズでしょう。名勝負数え歌黄金期、長州のひねりの効いたバックドロップが炸裂したときのときめきが20年ぶりに蘇った。

それにしてもここまでいわれるドラゴンの社長ぶり。ふぞろいの林檎たちのパート2か3で、佐竹（嫌な後輩のおぼっちゃん）に「ウチの会社で部長やってください よ、先輩！」と引き抜かれハリキッて転職したが、なんの権限もない部長で哀れなピエロの西寺（柳沢慎吾）の姿とオーバーラップしてくる。気の毒だけど面白すぎて、正直スマンです。

フジテレビ日曜2時のノンフィクションとかで、ドラゴンのドキュメント作ってほしい。平成の金の卵シリーズに匹敵する名シリーズ物になるでしょう（それにしても、金の卵での名越はどう成長してるんだろう、新作見たい）。映画でもいい、ブレット・ハートが裏切られる「レスリング・ウィズ・シャドウ」のように「ドラゴン・ウィズ・シャドウ」。

男道コーチ屋稼業・掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の

業☆勝ちます

『ワールドカップ改造計画』の巻

どいつもこいつもどいつもこいつもサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーサッカーんぁーーーーーーーっっっっ!!!!!! オリャッ！ いいいいいいい加減にしろこの野郎!!!!!!!!!!!!!! 連日連夜のワールドカップTV実況中継＋スポーツ新聞サッカーネタ当然風一面奪取＋にわかサッカー熱狂肉棒死ぬほど大好きおめこギャル夜の球入れハットトリック!!!! ナ、ナ、ナ、ナ、ナメてんのかオリャッ（監獄固め）!! オイコラお前ら！ なにか忘れちゃいませんかーーーーっ!? 日本の国技はなんですかーーーっ!? ……そりゃ昔っから日本はプロレスリングの国と相場が決まってるんよ!! 美智子妃殿下だって天覧試合の巨人×阪神戦で長嶋コール聞いて「すごいですね、猪木コールかと思いましたわ」って言ってたぐらいなんだから（ほぼ実話）！ それが一体どこがどうなってんだか、ワールドカップサッカー見るのに日本国民全員忙しくてワールドプロレスリングTV中継なんて誰も見ないじゃねぇの（そうでなくても見ないだろうが一応責任転嫁）！ 永田が健介をボコボコ葬にしようがスポーツ新聞の一面はどこも中田中田中田じゃねぇの（それは単に試合がショッパかっただけだと思うが一応責任転嫁）！ 中学生の休み時間の話題は大阪の健介戦に5時間寝坊してきて5分で負けた安田で持ちきりじゃなきゃおかしいんじゃねぇの（そんなスモーイズム丸出しのいい加減さにビンビン感動する中学生が

映画といえば、こないだ映画の日に「少林サッカー」見に行ったら、最前列にタイガーマスク（新聞配達のほう）がいました。あのまんまの格好で。その意外性は、昔フジテレビのイベント夢工場かなんかで、なぜかひっそりとマスカラスが来てたのを思い出した。

そんで意外といえば、スマックガールの会場に現れた山本晋也カントク。トゥナイトのレポートでもないのにそこにいるのが、ちと意外なら、「プロレスラーなんか目じゃない！」とヤジる姿も更に意外！ それもそのヤジが試合に影響与えるほどだったからオドロキ。見かけに寄らず、実は心にイチモツ持ってる武骨な人だったのでしょうか？ こうなったら、カントクにはヤジ将軍となって意外なとこにあちこち出没してほしい。

プライド会場で、技かけられたら場外へ出ようとする松井に「自分から場外へ逃げてるぞ！ 反則反則！ レフェリー見逃すな!!」とヤジるカントク。

ZERO-ONEの会場では、横井に「それでいいのかな」。小川には、「大ノゲイラとプロレスしたら承知しないぞ！」。

テレ朝で井筒監督に、「モンスターズインクほんとにいいのかよ！」。ドラマ収録中のキムタク見たら、「ほんとに短足だなあ」。

そんなカントクを夢見る僕に、「ほとんどビョーキだよ」。

はなくま・ゆうさく■7月18日に単行本「サイボーグサラリーマン メカ★アフロくん」（マガジンハウス刊）発売しますのでよろしくねんのねん。

大量発生しても日本の未来が暗くなる一方なのでとりあえず責任転嫁）!!

ジャパンていうのはZINGーの国よ？ わかってんの？ ワールドカップさんよ……『ワールドカップ』と『ワールドプロレスリング』……一体どっちが先に『ワールド』を名乗ってこの国で商売始めたと思ってんの!? そりゃワールドプロレスリングの方に決まってんだろオォオォオォ!!!!!!!! 猪木とゴッチが大田区体育館で死闘を繰り広げてから30年……重い。あまりにも重い歴史の重み。昨日今日日本にやってきて勝手にワールド名乗って好き勝手に商売してもらっちゃ困るんだよ！

同じ『ワールド道』の良き先輩として、ワールドカップはワールドプロレスリングを立てるべき！ 「私どもこれからワールドプロレスリング様と同じく『ワールド』を名乗って商売させていただきます『ワールドカップ』という新参者で御座います。右も左もわからない若輩者で御座いますが、ワールドプロレスリング様におかれましては、今後ワールドの良き先輩として御指導御鞭撻賜りますよう御願い奉り申し上げます」よと、菓子折でも持ってひとこと挨拶行ったってバチあたんないんじゃないの!? アントンが水羊羹好きかどうかはまた別の話として、アントンは糖尿だから甘いもん持っていったって食べられないんじゃないのとかはまた別の話として、とりあえずなんでもいいから手土産持って仁義切れサッカー！ それが筋ってもんだろうが!!

MF中田英寿好アシスト？ ……自分で点数入れたわけでもねぇのにハッチャケてんじゃねぇよ！ 中田なんて力道山がブチ切れて頸動脈にカラテチョップ叩き込んだら一発で即死だよ、悪いけど！ ゴン中山ハットトリック？ 一試合三得点？ ……全っっ然たいしたことないね！ 武藤敬司四冠王だよ！ 三沢なんて一時五冠王だったよ、悪いけど！ 悔しかったらトルシエ・ジャパンの誰か一人でも腕ひしぎ逆十字返してみろって!! 『三都主・アレサンドロはダブル・ジョイントだから関節技が効かない』とか、そんな話聞いたことあるか？ ねーだろ。だったら黙って『東スポ』の一面を譲れって、橋本真也に。小笠原和彦との抗争、『東スポ』のプロレス欄にさえあまりスペースさいてもらってねぇんだから。ちったぁ橋本にも気ぃ使ってやれよ、サッカー協会!!

中村俊輔がトルシエ・ジャパンから代表落ちしたよな。アレ、なんでかわかるか？ ……髪型がマッシュルーム・カットで見た目に全然迫力がねーからだよ！ サッカーってのはな……シバキ合いだ！ 見た目の段階でナメられたら、それはイコール死を意味する!! イギリスからフーリガンが有刺鉄線バットとか割れた蛍光灯とかタライとか、様々な凶器を持って密入国してきてんだ！ 殺られる前に殺れなきゃイカン！

凶悪フーリガンを駆逐するためにもういっそのことトルシエ・ジャパン全とっかえだ！ とりあえず殺傷能力重視でFWにゴルドー！ MFはヴォルク・ハン！ GKにはクリス・ドールマンを配置！ ジャパンっていっといて全員外人なのは気にすんな！ みんな前田の兵隊だ！ 青い目の大和魂軍団大量投入でワールドカップ（俗称・あばしりケンカ血祭り）は日本の優勝間違いなし！ 言っとくけどゴルドーがサッカー出来るかどうかは俺は知らん！ よしなに！

おきて・ぼるしぇ■イボ痔の手術とメロン記念日のおっかけの両立の難しさに苦悩する日々。性病イボ痔治療痛すぎ。夏の夜は（肛門が）デインジャー!!

プロレスが好きな人、この指止まれ!!

実録 最狂プロレスファン列伝

聞き手&構成／スモーノブ

No.23 CROWN28

PROFILE

本誌39号に登場したマイカデリックのラッパー・ダースレイダーさんにそっくりな左・Rei Da Crownと、本誌48号P145のWWF特集で「CROWN28」というプラカードを持った人にそっくりな右・Rei Da Crown（ともに両者は「し、知らねえよ！　別人じゃん？」と否定）の“タッグMC”CROWN28。そのビジュアルは完全にロード・ウォリアーズ？。「違う、違う！　あいつらが真似したんだから！　俺らがオリジナル。向こうの方が体格いいから文句言えないけどさ（笑）。ウォリアーズのメイクもザ・グレート・カブキのメイクから影響を受けたものだし、じゃあカブキは何に影響受けたかといったら俺たち！　その俺たちはKISSから教えてもらったもんだし。でも、KISSも歌舞伎から影響から受けてるんだけどね。もう、何がオリジナルだかわかんないけどさ（笑）」（Joe）、「認めねえぞ、パワー・ウォリアー！」（Rei）。中央はドン・オショウ。

——大日本のスキンヘッダーズに入場テーマを提供したラッパーのユニット、という情報しかないんですが……。

Joe（以下J）それは俺らの活動を知られるようになったキッカケの一部に過ぎない！

Rei（以下R）過ぎない！

J　じつは大日本プロレスとは、ちょっとした因果があってね。顔すら知らない俺の親父とGK（＝グレート小鹿）が、たまたま知り合いだったらしいんだ。一緒にカニ漁をやってたという話なんだが……俺らはもともと「ちびっこハウス」という孤児院で知り合ったんだよ。その後、紆余曲折を経て現在に至る、と。

R　至る、と。

——いや、その紆余曲折を聞きたいんです（笑）。

J　そうか？　そこでプロレスごっこしたりして育ったんだけど、「ちびっ子ハウス」から別々のところに売り飛ばされてしまってな（遠い目）。その後、二人ともライブハウスのPAとかバンドのローディーしながら全米サーキットしてたんだ。ある日、たまたまどこかのライブハウスで乱闘があったとき、俺はラリアットを食らって吹っ飛んだんだけど、「これはちびっこハウスで味わった感覚だ」って思い出したんだよ。次の瞬間、「ジョーッ！」「レイーッ！」って抱き合って再会を喜んださ。

R　喜んださ。

J　せっかく再会したんだし、「2人で何かをやろうぜ」ってことになって、タッグMCとして全米を荒らしてやろうじゃないか！　と。でも、いきなりメジャーなシーンに行けるわけもないからカナダの田舎を転々として、たまたまカルガリーに流れ着いたときにハート一家の世話になったんだよ。

R　なったんだよ！

——へ？　でも、ハート一家ってプロレス一家ですよね？　ラッパーのお二人がどういった形で世話になったんですか？

J　レスリングの興行の休憩時間にリングに上がってSHOWをやらせてもらったり……それが終わった後にヒロ・マツダさんにバンプ100本やらされたりね。「バンプだけはやっとけ」と。俺らラッパーなのに（笑）。ハート・ダンジョンからは、いつも俺たちの悲鳴が聞こえてきたという伝説が残ってる。

R（当時を思い出したのか震えながら）ヒーッ！　ヒーッ！

J　その後はブリティッシュ・ブルドックスと少しずつ一緒にサーキットを回ってたけどね。彼らは無口なんで、俺たちが代わりにマイクアピールしてあげてたんだ。

——ホントですか？　そんな話、聞いたことないですよ!?

J　当時、俺たちは「ステロイドだけはやめとけ」って言ってたんだけどね……あのとき止めておけば。もちろん、俺たちは使ってないよ。「声が太くなるよ」「すごく

プロレスとエロどっちも裸のおしごとです

エロ♥サムライ

最終回『エロと格闘技の理想型』の巻

文・大坪ケムタ

「闘いとスケベ」という本能直撃なテーマで1年とちょっと続けてきたこのコーナーですが、デビューがあれば引退があり、愛撫があれば発射があるということで、遂に最終回を迎えることと相成りました。ではエンディングに相応しく、これからのエロ業界とプロレス・格闘技の交わりを発展的に語れるお客様ということで、今回は当コーナーで散々お世話になってきたAVメーカー・ソフトオンデマンド（以下SOD）の広報・横澤正剛さんに登場していただいた。

何だよ特定メーカーとの癒着かよ、金もらってんだろ！　と言うなかれ。日本女子総合のエース、高橋洋子・藪下めぐみへのパーソナルスポンサード選手や試合セッティング、そしてゼロワン両国大会の冠スポンサード、全日本女子プロレスへのリング提供など、SODの格闘技・プロレスへの協力体勢を実質仕切っているがこの人。今や『マネーの虎』で有名になった高橋がなり社長がプライドの森下社長なら、横澤さんは影で暗躍するブッカー川崎。いわばAV界の「ブッカーY」なのだ。

「最近ではゼロワン両国大会効果は大きかったですね。元々リングアナの（オッキー）沖田さんが知り合いで、飲んでるうちに『今度両国大会あるんですよ』って話になって。そこで高橋洋子を出せないかなってピンと来たんですよね。彼女を売り込む計画ってのをずっと考えて、それには自主興行より提供マッチだと思ってたんですよ。それで『ウチが冠でやるってのはありえますか』って聞いたら、『それは歓迎しますよ』と」

そこで「SOD提供・女格闘家スペシャル」として高橋洋子対久保田有希の一戦が組まれるのだけど、実はスンナリとはいかなかった。

「橋本選手がちょっと……と難色を示して来たんですよ。これまでやってきたストロングスタイルという自負もあるんだろうし、それまで女子総合の試合を見たことなかったと思うんですよね、橋本さん。でもそこでウチも退けないので何とか出来ないか……と思ってたら、ゴルドーとショーン・マッコリーが彼女たちを押してくれたんですよ。『高橋や藪下は知ってるけど、アイツらは本当にスゴイぞ』って。それで橋本選手から最終的なOKが出たんですよ」

ステージ裏では人情家なゴルドー&ショーンって素敵！　プレデターやミスター・フレッドまで出しといて、いまだにストロングスタイルとゴネる橋本もらしくて素敵ですが。

「それに久保田選手が橋本選手の知り合いの娘さんだったらしくて、彼女が地元で向かう所敵無しの柔道家だったと聞いて一層印象良くしたみたいですね。実際の試合も気に入ってくれたらしくて、某若手選手が橋本選手に試合後呼びつけられて『あれが女の試合と思えるか、お前も見習え！』と叱られてたそうです（笑）」

SODとゼロワンの協力体勢はその後も続いており、先日は専属女優の杏野るりちゃんが後楽園大会で富豪富豪夢路と黒毛和牛太のマネージャーとして登場した。

「アレも最初リング一周回るだけだったのが、橋本さんが『リングに上げてやれよ！』って言ってくれて。彼女もホール通いしてたほどのプロレスファンなんで喜んでましたね。あとゼロワンさんとは映像ソフトの面でも協力していくことが既に決定してますので、これは楽しみにしてもらっていいかと」

それって『橋本真也の一軒家デスマッチ』『大谷晋二郎の火祭りin商店街』とか作られるのか？　何げにキャラが違和感なくしっくりハマりそうな所が期待ですな。

またSODは女子プロ・女子総合の方でも今年は一層積極的に動くという。

「まず当社のスポンサードの高橋洋子選手ですが、6月23日にオランダでイルマ・ヘルーホフ（※ボブ・シュライバーの奥さん）と対戦します。しかもメインでタイトルマッチらしいんで

ライミングがうまくなるよ」とか言われて、危うくケツに馬用ステロイドを打たれそうになったけど（笑）。デイビーボーイには、この場を借りて「Rest in peace!!」と言わせてもらうよ。

R Rest in peace!!

J その後、「俺たちジャンルも違うし、冷静に考えたら一緒にやっていく必要ないじゃん!?」って別々の活動をすることになった。そりゃそうなんだけどね。彼らが新日本に上がるようになり始めた頃に、俺らもNYへ行ったんだ。ブッキングをしたのが俺らのマネージャー、ドン・オショウさ。

――オショウさんは今回のアルバムに参加してますよね。

J そう。たまたまカルガリーで俺らのSHOWを見て、「こんなところでくすぶってないで、ラッパーだったら本場のNYに行かないとだろ!? お前ら、本場のMSGで客をROCKさせないで一人前なんて言えるか!?」って。その言葉で俺らも目が覚めてNYに3人で乗り込んだんだ。

※このとき頂点にまで登りつめた彼らだが、周囲によって張り巡らされた陰謀に巻き込まれてNYから出入り禁止となってしまう。その模様はアルバム『CROWN28』の「5・21 SUMMITBATTLE」でラップされているので必聴！

J そのときに丁度、俺らの北海道コネクションを通じて大日本がアプローチしてきてくれたんだ。

――それで横浜アリーナ大会で、弁慶選手の入場テーマを歌いながら入場してきたわけですね。弁慶選手とはどういう経緯で？

J じつは彼は15年位前、当時ディスコでブイブイいわせていたという知られざる過去があるんだ。当時、流行ってたエレクトロ・ヒップホップでガンガン踊ってて、たまにNYに来ちゃクラブをROCKさせてたらしいんだよ、この場合のROCKは床を揺らすって意味でのROCKだけど（笑）。

R Rock the house!!

J 俺らも当時はNYにいて「あぁ、でっかいヤツがいるなぁ」としか思ってなかったんだけど、大日本の会場で「弁慶選手はヒップホップが大好きなんですよ」って紹介されたときに「あぁっ！ NYでガンガン踊ってたヤツじゃねえかよ！」って旧交を温めて。それが今や大日本ヘビー級王者だからね、世の中わかんない。

――最近、弁慶さんの活躍は凄いですよね。

J そこでね、弁慶も「これからは大きな試合も増えていくし、新しい入場テーマ曲にしたい。それでいろんな人に名前を覚えてもらいたい」って言ってたし、俺らも「日本のファンにCROWN28の何たるかを見せてやろうじゃねえか！」って思ってたからテーマ曲を作ることになったわけ。

――弁慶さんはホントにヒップホップ好きなんですよね？

J 弁慶は最近、メンバー全員死刑囚のLifers Groupっていう西海岸のギャングスタラップが好きらしいよ（笑）。弁慶もいつ死刑囚になってもおかしくない凶悪な顔つきをしてるけど、あの身体だから死刑執行人にもなれるだろうね（笑）。笑うとカワイイんだけど。

――スキンヘッダーズの曲も作ったそうですね？

J 弁慶も最近はスキンヘッダーズとしての試合が多いから、「♪ベンケイッ！ ベンケイッ！」っていう曲じゃ他の2人が納得しないということでね。でも、ただ作るんじゃ面白くないから彼らに参加してもらってね。

――レコーディングどうでした？

J スムーズだったよ。普段リングで大声出してるだけあって、そこらの素人ラッパーには出せない深みのある声が良かったよ。特にアブドーラ小林は、ああ見えて声も高いし、スキルもあるし、ビックリしたね！ ディレクターの指も震えてたから。本人も自主トレしてたらしい（笑）。彼らがレード大賞とかグラミーとかMTVアワードを受賞した際には真っ先にCROWN28の名前を挙げてもらわないと。

――スキンヘッダーズがそこまで行く可能性を秘めてますか？

J まず3人で売り出して、その後はバラ売り。そういうモー娘。的な展開も考えてるよ。いきなり寝てる間にカリアゲ部隊が侵入して、日本国民を強制的にスキンヘッダーズに加入させる作戦も考えてるみたいだ。地下では着々とデカいプロジェクトが進行してる。

――今後、CROWN28はどのような活動を？

J まずは6月25日に出るアルバムを是非、日本のプロレスファンの人たちに聞いて欲しい。俺たちの出会いから日本に来るまでのエピソードをまるごとラップしてる。これから大きなこと仕掛けていくよ！ プロレスとヒップホップに「夢の架け橋」をかけたいなと思っているよ。

R 夢の架け橋だ、オラ!!

WCR WORLD CHAMPION RAP CROWN28 JOE DA CROWN & REI DA CROWN SPECIAL 1ST ALBUM

弁慶入場テーマ「BENKEI」やスキンヘッダーズ参加曲「SKINHEADBANGER」も収録。99％のフィクションと1％の真実で紡がれた裏プロレス史？はプロレスファン必聴！ ¥2300（税抜）。6月25日発売。〈Pヴァイン・レコード〉

すけど、何の大会で何のタイトルか誰も分かってないんですよね（笑）。まぁこれもオランダらしいんですが。その後が7月7日ゼロワン両国大会でXと…まだ相手が決まってないんですよぉ（苦笑）。某女子トップレスラーにあたったんですが、いずれはやりたいけどまだ早いと。これから某キックの有名選手にあたる予定です。あと藪下めぐみ選手は8月4日、ゼロワン熊本大会で闇愚羅の辻結花選手と対戦します。藪下はこの前スマックで負けちゃいましたけど、辻選手的には藪下戦は夢だったので是非、とやる気十分でこの一戦に集中して他の試合断ってますからね。現在の女子総合ビッグカードをひとつ実現出来たかなと」

ちなみにゼロワンで行われる女子総合の試合に関しては、SODが自ら対戦相手を探し、ファイトマネー交渉からルール策定まで行っている。とは言っても慧舟會の戸井田カツヤ選手にルールの調整を依頼するなど、必要な部分に関してはプロからのアドバイスも受けている。

最近では選手のスポンサードを行い、衣にパッチを付ける企業も珍しくなってきたけれど、対戦相手探しや試合場所まで協力するスポンサーはさすがにいない。まだ貧弱な女子総合だから出来ること、そしてだからこそ盛り上げるために誰かがやらなければならないことだろう。まさに「極東のアブダビ王子」！

「でも結構ダメになった企画もあるんですよ。実は昨年プライドさんのスポンサードが一度は決定してたんです。会場で流す映像までちゃんと用意してね。それが一週間前になって突然『スポンサードとして相応しくない』ということで却下されちゃって、森下社長の所まで直談判に行きましたよぉ（苦笑）。あと昔出した『府川由美の闇討ちプロレス』の第2弾として『西千明の闇討ちプロレス2』を企画したら、突然、引退されちゃったりねぇ」

そしてSOD＝AVメーカーという本業も忘れちゃいけない。6月2日行われた新宿プロレスでは、先日発売された『第一回全日本ガチンコキャットファイト選手権』のプロモーションとして、高橋洋子対篠原光のエキシビジョンマッチ、そして初の大観衆の前での闘いとなるキャットファイト公式ルール試合・神咲綾花vs由乃（共にAV女優）が行われた。互いの私服を引き剥がし、乳首どころか見せちゃいけない下の方まで見えそうな激烈なファイトに延長コールまで起こる観衆のテンション！ メインのサスケのタイトルマッチを喰う勢いだったのは言うまでもない。

6・2新宿プロレスで行われたSOD提供キャットファイト。お色気では、この後のMARIAのオ●ニーショーに負けるも観客は大盛り上がりだった！

「第1作をウチの高橋（がなり社長）が気に入っちゃって、第2回はオープントーナメントで武道館でやるとか言ってるんですよ（笑）。でも新宿プロレスは女の子もノッてましたね。入場曲かけてもらって、リングに入る時凄く興奮したって言ってやる気になったんですよ。プロレスラーが引退しても戻って来ちゃうってのは、あの快感が忘れられないんでしょう。意外と一般募集してもアリかもしれませんね（笑）」

本業のAVと企業イメージアップとしてのスポンサードがガッチリ歯車が回っているSOD。まだここには書けない隠し球も揃っているようなのだけれど……横澤さんの頭の中では構想は組み上げられてるようだ。

「ボクの頭の中では来年ぐらい女子総合トーナメントを絶対実現したいですね。別に何も決まってないですけど（笑）。体重の問題をなんとかクリアしてね。フリーウェイトにしないと選手少ないから面白くないんですよね。藪下・高橋・辻・星野・石原・久保田、そして女子プロレスラーを募って。今の集大成としてやりたいってのは思ってますよ。あと世界でも実現してない女子総合の最高峰・クーネンvsトーヒル戦を実現させたいですね。ゼロワンさんの方でも橋本さんとウチの高橋とでいい信頼関係結べてますから、もっとビックリさせることが動いてますので期待していいと思いますよ」

おおつぼ・けむた■
というわけで皆様お付き合いいただきありがとうございました。本業のエロ本の方でお会い出来れば幸い、って 紙プロ もたまに顔出すとは思いますが。
http://www.sol.dti.ne.jp/ otb

ザ・検証

祝・越中復帰！ というわけで、今回の『ザ・検証』は「気合いダァ!!」と「いい試合だッ!!」のハーモニー。ちなみに、今回、せき詩郎さんが紹介している浜口本の中に実演モデルとして登場している浜さんの息子・剛史君（噺家志望から一転、現在はプロ格闘家を目指し猛練習中）は京子ちゃん（というか奥さんの初枝さん）そっくりでビックリ！

今月の検証 by せき詩郎

人生に気合いはどれくらい必要なのか？

「5月病なんで何もできないんですよ。病気だし仕方ないですよね」と言い訳するのも忘れるほど正月ボケが続いていたのだが、まだまだ先かと思っていたワールドカップが始まり、もう6月であることに私は驚いた。気づけば着ているのは今だ冬物のセーター。もちろん、お気に入りのバックスバニー柄。まったく季節感ゼロだ。

そんな私であってもミスター高橋がなんか凄い本を出したことは噂に聞いていた。プロレス界のタブーといわれている部分を暴露した本、タイトルは確か『ミスター高橋だ、文句あっか！』だかそんなタイトルのはず。伝説の暴露本・長門裕之著『洋子へ』以来の衝撃を世間は受けているらしい。いったいどんな凄いことが書かれているんだろうか。タイガーマスクの正体が佐山ってことはもちろんのこと、サンタクロースの正体が佐山、トランプマンの正体も佐山、「あの子は誰!?」と問い合わせ殺到のCM美少女の正体も佐山、ネッシーも雪男も足長おじさんもツチノコも正体は佐山、奥州藤原で死んだといわれているが実は逃げ延びて蝦夷地から大陸に渡りチンギス・ハンになったと言われてる人も佐山、おにゃん子の前にセブンティーンクラブというグループで「ス・キ・ふたりとも！」というレコードを出していたのも佐山、地球は丸くなくて実は平らで、それを下で支えているのが佐山、蓄音機を発明したのも佐山、織田信長の声をコンピューターを使って再現してみたらその声はまさに佐山！ などなど誰も知らなかった事実が次々と明らかにされているに違いない！ 情報公開にもほどがあるぞ！ これは話題になるはずだ。どうでもいいことばかりといえどもプロレス誌で連載を持っている身、このまま読まずに「ああ、あれね。人物の心理描写がいまいちかな」などと適当に話を合わせることだってそう長くは続かないはず。読まないわけにはいかないだろう。

私は早速本屋へと向かった。ミスター高橋の本（『ミスター高橋の告白、ハンパしちゃってゴメン』だかそんな名前）を探してみる。しかしサブカル本コーナーにそれらしき本は見当たらない。いったいどこにあるんだ、ミスター高橋の本（『窓際のミスター高橋ちゃん』だかそんな名前）は！ アニメコーナーにもゲーム攻略本にもない。もしかして、もしかしたらプロレスなのにスポーツのコーナーにあるのか!? でも健介の『テイク・ザ・ドリーム』とかいうCDもスポーツコーナーにあるし……。なんてことを考えながらスポーツコーナーへ行ってみると、ありましたよ！ ミスター高橋の本（『ミスター高橋～いま俺やるっきゃない』だかそんな名前）が！ じゃなくて「ごちゃごちゃ言わんと誰が一番気合いがあるか決めればいいんや」でお馴染みのアニマル浜口著『人生気合いダァ!!』という本が。

アニマル浜口の本にハズレなし。私は断言することができる。なぜならばどれも同じ様な内容だからだ。差がないので当たりもハズレもない。

ところで、今回も過去の本と同じような内容だとわかっているのなら、この本を買うのはただの無駄遣いではないのだろうか？ 大人はもっと違う本（池波正太郎とか）を読むんじゃないのか？ 心に迷いが生じる。私に「何が何でもアニマル浜口の本を買うぞ！」という気合いが足りない証拠だろう。良く考えるとそんな無理して買うこともないのだが、買わないで店を出ると「あいつもしかして万引きしたんじゃないか！」と疑惑を抱かれる可能性がある。でも同じような本をそう何冊も買いたくないし……。そんなことを考えながらページを適当にめくってみる。目に飛び込んできた第二章・アニマル浜口流人間交際術。

気合い不足の君に最適な、この一冊。大泉書店から1200円で絶賛発売中!

★群れるな、派閥を作るな。ひとりで行動しろ！

ひとりで行動することなら大得意だ。あらゆる誘いを面倒臭いという理由のみで断り、ひとりでゲームして遊ぶ毎日。群れてもいないし、派閥も作ってない。派閥を作るどころか何一つ生産的な行動はしていない。

★これだけは誰にも負けないという得意技をひとつ作れ！

逆ギレ、周囲を不愉快にさせる、不利になると黙り込む……。得意技なら数多くある。中でも「後悔する」ことに関してはお任せ頂きたい。ちょっとしたことを何年も何十年も引きずることだってお手のものだ。

★人前で話すときこそ大声をだせ！

これは胸を張って言える。不得意だと！

★子供と汗をかきながら語り合え！

これはOKだろう。以前某ゲーム大会に出たのだが、周りは子供だらけだった。対戦中に緊張して変な汗だってかいたし、終わった後にゲームの裏技について子供と語り合った。

などとひとつひとつチェックしてみると、第二章の24項目個のうちOKだったのは6個。24分の6、つまり4分の1。25％。私の気合い度は25％という結果がでたわけだ。気合い度25％ってどれくらいの数値なのであろうか？ 普通くらいかな？ みんなより下だったらいやだなあ。それが気になり私は解説ページを探す。「20％～30％のキミは気合い界の小結レベル」などと書いてある解説ページを。しかしそんなページはどこにもない。当たり前だ。元々そういった趣旨の本ではないし、そういう使い方をする方がおかしい。

とにかく私は「よし、買うぞ」と25％の気合いをフルに活用しレジへと向かった。

というわけで、『紙プロ』読者でこの本を買ったのは私ひとりだけだと寂しいのでキミもこの本を買ってみないか？ そしてキミも自分の気合いをチェックしてみないか？ もしかしたら自分でもびっくりするような結果が出て落ちこんで自殺しちゃうかも!?

チェックしたら早速友達に「俺、気合い度43％だったよ」といきなり話し掛けてみよう。困惑されること間違いなしだ！ それより浜口の「穴蔵」なるトレーニング部屋の壁にまず困惑するはず。

以上、仕事する気25％。もう締め切りみたいだし、ワールドカップ見ないといけないので終了！ そして、ミスター高橋の本買うの忘れちゃった！（わざと）

今月の検証 by 椎名基樹

"自称・いい試合だ男"とは何か？

皆さん、おまっとさんです！　長らくお待たせしてしまいましたが、今回の「ザ・検証」は、俺こそが「いい試合だ男」と自ら名乗り出てくれた常見陽平さん（28）のインタビューを掲載します。さあ、みんなも一緒に叫ぼう！「いい試合だーーッ！」。

いい試合だ　僕はね、ストロングマシーンじゃないですけど"いい試合だ男"は1人じゃないっていうのが持論なんですよ。

——は？　いやいや、ボクが探しているのは1人ですよ！　読者のみなさんも、誰のことを指しているのか、わかっていると思いますけど。

いい試合だ　ああ、そうなんですか。僕の記憶では、初めて「いい試合だ！」コールを聞いたのは、いつだったかな？

——自分が最初じゃないってことですか？

いい試合だ　うん（キッパリ）。一番最初じゃないってことが、まずお断りしておきたいことなんですよ。

——最初のリングスの会場には、いなかったわけですか。

いい試合だ　リングスの会場ではね、いたこともあるけど、リングスの会場での"いい試合だ男"は多分、僕じゃないですよ。94年の第2回メガバトルトーナメントのときだったと思うんですけど、武道館でタリエル対前田が決勝だったのがあるんですよ。その日は結構しょっぱい試合が多かったんですよ。ヤン・ロムルダー対誰かとか、レネ・ローゼ対誰かとかの寒い膠着の試合が多くて、全然ダメだったんですね。それが休憩前にやった山本対ハンがクルクル動く試合で面白かったんですよ。まだ山本はヒクソンとかに挑戦する前の頃で、今までの膠着の試合と違って、いい動きがあったから、2階の奥の方から「いい試合だ！」ってヤジと言うか声援が飛んだんですよ。それで会場がドッと沸いたんですね。それが僕の"いい試合だ男"の初体験ですよ。

——初体験（笑）。

いい試合だ　それで自分も段々"いい試合だ男"になっていったという経緯。そんだけですよ（アッサリと）。いわゆる「吉村家」から始まり何々家という"家系ラーメン屋"って一杯あるじゃないですか？　それと同じように、いろいろ分派していくみたいなもので。リングスの会場での"いい試合だ男"って、多分僕の先人がいるんですよ。で、ただ「PRIDE」とか格闘技系の試合が全盛になってきて、その前もシューティングのバリジャパとかの一番最初の寒い頃から僕は通ってましたから、格闘技系の会場に行くとやっぱり当たりの試合とハズレの試合って大きいし、当時、武藤に当たってないパンチで負けちゃったオタービオと北尾が駒沢でやって負けちゃった試合とか、ナガサキ対フレジャーの仕切りの悪い興行とか、膠着する試合とかを一杯観てる中で、その中でもおもろい試合があったら僕も「いい試合だ！」って叫ばずにはいられなくなるわけですよ。

——レフェリーじゃないけど、それで試合を作っていた部分があるんですね。

いい試合だ　今は名古屋にいるので、東京ではあまり聞けなくなるかもですけど、新日本とか全日本、ノアの会場で言ってるのは僕なんですよ。「PRIDE」だけでなく。

——……なるほど……。

いい試合だ　で、「いい試合だ」っていうものは、使い方が2つあると思うんですよ。

——それはゼヒ聞きたいところですね。

いい試合だ　大きく分けて2つ。1つは膠着が多い興行に於いて、ピリッと光る試合があるんですね。この前の「PRIDE20」で言ったら、「いい試合だ！」って僕は2回言ったんですよ。それはスペーヒー対ニンジャの試合と、ヘンダーソン対アローナの試合。今回の「PRIDE」なんて、みんなアッサリボコボコと負けていったじゃないですか。その中でアローナ対ヘンダーソンなんて、やっぱり凄くいい試合だったと思うんですね。それと、もう1つは試合があまりにもつまらなくて場内の雰囲気も散漫としている時に、その試合をからかったり、気持ちを無理矢理、試合に向けるために「いい試合だ！」と叫ぶこともあるんですよ。

と、この調子で"自称・いい試合だ男"は延々と延々と延々と延々と延々と延々と延々と延々と延々と延々と、話すことをやめないのだった。そして、彼が学生プロレスをやっていたという話になったので、その話を掲載しておく。

なんと"いい試合だ男"Tシャツまで作ってしまった"自称・いい試合だ男"こと常見陽平さん。彼のことをもっと詳しく知りたいという人は、http://www.yo-hey.com を覗け！　凄いぞ!!

——学生プロレスやってたんですか!?

いい試合だ　そうなんスよ。

——ちなみにリングネームは？

いい試合だ　うじきつよしに似てるから、最後はうじきよわしでしたよ。最初は恒見五郎。鶴見五郎と掛けたんですけどね。

——本名の常見陽平と掛けて。

いい試合だ　それで一時、プロレス研究会の会長もやって、引退して。

——プロレス研究会の会長も。でも学生プロレスってどういう活動なの？

いい試合だ　主に、学園祭とか商店街のイベントとか。最近だと5月5日に福島かどっかのお祭りでやったりとか、去年一昨年は某自動車メーカーの労働組合慰労祭とかそういうのにも行ったりとか。

——行くってことはギャラが出る？

いい試合だ　経費プラスちょっとギャラってぐらいですね。

——じゃあ、普段の活動は身体鍛えるの？

いい試合だ　鍛える人は鍛えていて、あとは鍛えてないことをキャラクターのネタにしている人もいましたね。でも、みんなで怪我しないように技とか受け身の練習したりするんですよ。

——毎日、集まるの？

いい試合だ　週に2回ですよ。組み技の攻防の練習したりとか、あとは大技の練習したり。

——え、今もやってるんだ！

社会人になった今でも、たまに上がってんですけど。

——それは学生プロレスのリングに？

いい試合だ　そう。そういうヤツ、一杯いるんですけどね。それで、僕なんかのスタイルは昔の新日本と全日本を融合したような感じですね。

こんな感じで"自称・いい試合だ男"は延々と延々と延々延々と延々と延々延々と延々と延々と延々と延々と学生プロレスの話、新日批判、格闘技の未来、自分の仕事の話、昨晩行った山梨でのレイブパーティーの話などをしてくれるのだった。

——これからも叫び続けると。

いい試合だ　そうやってエールを送り続けたいですね。

——なにか新しい叫び声とかは考えてないんですか？

いい試合だ　僕ね、プロレス会場行ったら必ず言う言葉が幾つかあって、やっぱりそれが「いい試合だ！」なんですよね。あと、リングスにもたまにいるんだけど、「どっちも頑張れ！」って。

——ああ、ありますね。名前連呼とかはしないんですか？

いい試合だ　あれはもう誰もがやってることだから、まぁいいかなぁと思って。別に僕は「ミルコ！」って言うのと、「ミルコミルコミルコッ！」も変わんねぇなと思ったりするんですよね。僕が新日本の会場に行ったら、思わずサムライに声援を送っちゃうんですよ。またそれが「サムライ！」って言うのが恥ずかしくって「エルッ！」とか「松田ッ！」って言っちゃうんですけど。そういうのがあるのと、ノブ兄さんが出て来たら、負ける度に「だからオマエはM・KにKOされるんだ！」みたいなことを言ってみたりとかね。

——長いセリフですね（笑）。

いい試合だ　（無視して）でもやっぱりね、プロレスも格闘技も観客がお金を払って観に来てるもんだから、いい試合を観たいと思うし、昨日もレイブパーティーに行って思ったんだけど、観客も一緒に作り上げるものだと思うんですね。スタイルはそれぞれ違いますよ。「俺の試合を観ろ！」的にするレスラーもいるし、同じように「俺の演奏を聴け！」的なミュージシャンもいるじゃないですか？　でもプロレスの理想って、レスラーとレスラーが闘ってて、それが観客や団体とも闘ってる、妙な緊張感の中のバランスで、そこからジャズみたいな感じでうねりが出てくるもんだと思うんですよね。だから逆に僕はヤジのことをヤジとは言いたくなくて、観客の声だと思うんですよ。そういうのも含めて、ちょっとけなしつつ、あるいは面白がりつつ、盛り上げて独自の空間を作っていくのがプロレスの醍醐味だと思うから、常に「ヤバイぞ」って意識を持ちつつ、2つの意味での「いい試合だ！」をこれからも言い続けていきたいと思います！

——なるほど！　いい締めをありがとうございました!!

と、この後も延々に一方的な話は続くのであった。そして、今度は「いい試合だ男を集めての座談会」という企画案まで出してくれたのだった。"自称・いい試合だ男"さん、有意義な時間をありがとう！　勉強になりました!!

いい試合だーッ!!

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第12回

新日の社長をチャイナにするのも面白えかな。

ドラゴン

アントン

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

愛知県春日井市　たっつあん

★たっつあんさん、採用オメデトウ!!　御希望の「ストーンコールド」Ｔシャツ（L）、お楽しみに!! 今回、たっつあんさんのイラスト（読者コーナー参照）が素晴らしいので大変プレッシャーでした。
★横井選手を応援しに『ZERO-ONE』に行きました。リングス・ロシア勢を応援しに『PRIDE.21』に行きます。だんだんW★INGファンの方々の気持ちが解ってきたような気がします。W★ING金村ならぬR★INGS金原の復帰後に過剰に期待しています。ロシアン・トップチームって何？でも来年には第2次リングスがスタート!!　来年のことを言うと鬼が笑います。心細いです。皆さんハガキをチョーダイ!!　ハガキが心の支えです。ハガキを送って頂いた方の中から抽選で5名様に「中川雅博手づくりステッカー」をプレゼント!!　採用された方にはＴシャツをプレゼント!!
★ヨロシクちゃーん!!（byインスタントジョンソン）東京元気大学ＨＰ　http://tgu2001.com/

➡前号のＴシャツ A猪木＆チビタイガーマスク

ANTONIO INOKI CHIBI TIGER MASK

応募方法

プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月１名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルＴシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ（S・M・L・XL）をハガキに書いて下さい。〈例〉辻結花のS

俺、わっかんねぇよ

そんなこと言わず答えて天才!!

名物コーナーに初登場!

武藤敬司 閃光魔術的人生相談

『紙プロ』の名物コーナーであるレスラー人生相談に、天才・武藤敬司がやってきた！「わっかんねぇよ」が口癖の武藤だが、プロレス頭はバツグンな武藤だけに、アナタの悩みをシャイニング・ウィザードすることは間違いなし!?

聞き手／堀江ガンツ
構成／ジャン斉藤
撮影／森鷹博
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

武藤 今日は何なの？ いま、あんま喋ることないよ。

――大丈夫です。今日はですね、いつもと趣向を変えて、インタビューじゃないんですよ。

武藤 インタビューじゃない？ じゃあ何やんの？

――今日は武藤さんの人生相談なんですよ（笑）。

武藤 人生相談!?（訝しげに）。俺、他人の人生かまってらんねぇよ！

――ガハハハ！ 全日本のスタッフの方からは聞いてませんか？

武藤 聞いてない、聞いてない！

――でも、全国から武藤さんへ、深刻な悩みからくだらない下ネタまでたくさん届いてますから、ゼヒお願いします！（笑）。

武藤 俺流の解釈でいいんでしょう？ オーケー、じゃあ、やろうよ。

●

Q.ウチの兄は28歳になるのにまだ無職です。何かやりたいことがあるわけでもなそうで、ただ家に引きこもってる感じです。兄を働く気にさせるにはどうしたらいいでしょうか？（良子・26歳・女）

武藤 （いきなり固まる）……。

――武藤さん、いきなり固まらないでください！（笑）。

武藤 これ、俺が答えるの？ ……わっかんねぇよ！

――ガハハハ！ わかんない（笑）。

武藤 どうすれば働くんだろうなぁ。幸いレスラーの場合はさ、（マット界に）好きで入ってくるやつが多いじゃない。仕事という感覚が他の業界の人と比べると少ない気がするしさ。でも、人間って怠けてるほうが楽だからね。その楽なことしてる人間に対して、仕事に興味を持たせるというのは大変だと思うよ。俺なんか逆にさぁ、いま興味を持てる趣味がねえんだよ。

――武藤さんは、「仕事が趣味」みたいな感じなんですか？

俺、他人の人生かまってらんねえよ！

武藤 っていうかさ、俺も女遊びから博打からいろいろやってきたけど、いまはどれも刺激的じゃねえんだよな。それはナゼかというと、人生最大のギャンブルをしちまったからでさ。

――あ～、新日本を辞められたことですね。

武藤 そう。新日本に隔離されていた中で遊んでいたから麻雀なんかやっても刺激的で楽しかったけど、人生最大のギャンブルをやったいま、な～んか刺激的じゃないんだよね。逆に言うと、人生賭けて仕事やんなきゃ、この刺激も得られねぇんだよ。だから、こんな兄貴はほっといていいんじゃないの？

――ガハハハ！

武藤 彼女もね、お兄ちゃんのこと考えるより自分の人生を考えたほうがいいよ。お嫁に行けば（兄貴とは）遠くなるんだからさ。自分の人生、エンジョイしたほうがいいって。

――働かないやつはほっといて、自分の人生をエンジョイしろ、と。非常に明確なお答えです（笑）。

Q.ボクには付き合って6年になる彼女がいます。一年のうちに360日は一緒にいるくらい仲が良く、周りからうらやましがられるぐらいのカップルです。しかし、ここ最近ケンカになると以前のように口喧嘩じゃ収まらず、彼女に手を出すようになってしまっています。女の子に手を出すのは男として最低の行為なのはわかっているのですが、カーッとなると自分の抑えることができず、気が付くと殴ってしまってます。いまは彼女もガマンしてくれていますが、このままではいつ別れが訪れるか不安でなります。武藤さん、ケンカの対処法、夫婦円満の秘訣を教えてください。（秀ちゃん・27歳・男）

武藤 ……（顔をしかめながら固まる）。

――武藤さん、お願いします！（笑）。

武藤 う～ん、自慢じゃないけどいままで俺、女に手をあげたこと一回もないんだよ。子供にもないよ。やっぱり暴力はいけないからさ。うん。でも、なんて言うのかなぁ、男と女の関係って緊張感が大事じゃない？

――長く付き合うには絶対必要な要素ですよね。

武藤 それには演出も必要だしさ。プロレスと一緒だよ、そんなものは。

――おお、恋愛＝プロレスですか。

武藤 だから変な話さ、お互いに緊張感がないんじゃない。この2人はいまの関係に妥協しちゃってるんだよ。

――別れたほうがいいんですか？

武藤 そんなことは言ってないよ（笑）。まあね、お互いを分かり合うためにケンカをするのはいいんだけどさ。殴っちゃうのはね。

――武藤さんは奥さんとはケンカはするんですか？

武藤 俺？ あんましなくなったなぁ（笑）。

――それはある意味、妥協してるんじゃないんですか（笑）。

武藤 う～ん（再び固まる）。

――ま、たくさんケンカをして、お互いを良くわかりあったってことですかね（笑）。

武藤 ……どうだろうなぁ（宙を見ながら）。まぁ……どうでもいいや。

――次に行かせていただきます（笑）。

Q.私は恋愛恐怖症です。昔から男性を付き合うと、一回エッチして捨てられてしまいます。本気なのは私だけで、いつも男性からは性欲を満たすだけのはけ口に付き合わせられているような気がします。純粋に愛し愛される普通の恋愛がしたいのです

武藤敬司
閃光魔術的人生相談

がどうしたらいいのでしょうか？（田島直江・24歳・女）

武藤　こんなもん簡単だよ！

――お！　初めての即答ですね（笑）。

武藤　一回エッチして捨てられてるんでしょ？　じゃあ、男が離れることができないぐらいの技術を身につければいいんだよ！

――いきなりそうきますか（笑）。

武藤　俺だって、どんなにいい女だってマグロは絶対イヤだから（キッパリ）。っていうかさ、これは俺の持論なんだけど、エッチで働かない女は料理も掃除もできないような気がするしさ。

――一体、どんな読みですか（笑）。

武藤　（ちょっとムキになって）だって、すべて奉仕するってことに繋がるじゃん。そういうとっから見たりもするんだよ。だから、この娘も尺八やったら誰よりも凄いとかさ（笑）、なんかスゲエ技術を持っていたら絶対に男は離さねぇよ！

――とにかく技術促進に努めろ、と（笑）。

武藤　いや、どうだろうなぁ。わっかんねぇよ。

――そこまで言っといて（笑）。

武藤　まあ、女を磨くことに限界はねえからさ。それに邁進してたほうがいいんじゃないの。

――それは尺八が上手くなれ、よりは良い回答ですね。結論はこれにしときましょう（笑）。

Q.武藤さん、こんにちは。ボクは学生時代から肉体改造に目覚め、筋肉増進に日々努めています。ボクの分厚い胸板に吸い寄せられて女の子もいます。しかし、最近、下半身の様子がおかしいのです。吸い寄せられた女の子を頂くときに、肝心なモノが動かないのです。何が原因なのかは自分ではサッパリわかりません。どうしたら良いのでしょうか？（マッスル小林・23歳・男）

武藤　これってインポってこと？

――普通に考えればそうですね。

武藤　（口を尖らせて）そんなのインポの先生に診てもらえばいいじゃない！

――ワハハハ！　そりゃそうですよね（笑）。

武藤　俺に聞いてる場合じゃねえじゃん。俺の専門外だよ。（これまでになく真剣に）早く病院行った方がいいよ！

――武藤さんはそういう経験はないんですか？

武藤　俺？　酔っぱらって勃たなかったりさ、あまりにも女がブサイクで勃たなかったりしたことはあるよ（笑）。でも、これは深刻な問題だと思うよ。早く医者に行ったほうがいいよ！

――武藤さんに聞くのが間違ってましたね。さ、次に行きましょうか（笑）。

Q.今年で結婚10周年を迎えます。いつも特別なプレゼントしたことがないので、今年は何かを妻にプレゼントしたいのですが、サッパリ思いつきません。ラブがストレートに伝わるプレゼントは何があるのでしょうか？（田中修・38歳・男）

武藤　カッコつけてるわけじゃないけど、やっぱり真心じゃないの。金銭的に高い安いじゃないような気がするね。プロレスのアングルと一緒でさ、そのアングルを考えるのは彼自身しかわからないことだから。

――ア、アングルと一緒ですか!?

武藤　そうだよ。結婚して10年経って、彼女にとってメモリーなるものって、彼にしかわからないよ。ちなみに俺も（結婚して）10年だけどさ。

――それはおめでとうございます。武藤さんは何か奥さんにプレゼントされたんですか？

武藤　指輪をやったよ。

――武藤さんは結構プレゼントされるほうなんですか？

武藤　昔は誕生日にちゃんと花とか巡業先から送ったりしてたけど、そんなにしない。（急に思い出したかのように）だいたいさ、結婚記念日なんてカミさんだけのもんじゃねえじゃん。俺だって結婚記念日なんだから、ヒフティーヒフティーになるべきじゃない。俺だけプレゼントっていうのはおかしいじゃん。

――正論ですけど、ボクに言わないでください（笑）。そういえば昔、武藤さんが感謝の気持ちを込めて奥さんに作詞をしたいって言っていたらしいで

すね。

武藤　ウソォ？　言ってないよ、そんなこと。

――武藤さんのファンからそう聞いたんですけど。

武藤　ないない（笑）。オレ、ミュージックは嫌いだから。

――でも、映画（「光る女」）では歌ってましたよね（笑）。

武藤　だってあれは仕事だもん。

――それは失礼しました（笑）。

武藤　次行って、次。

Q 私には付き合って6年になる彼氏がいます。彼は夢である雑誌記者になるために上京。一度はその夢をはたし、第一志望の出版社に入社したものの、肝心の文章力がまったくなく逃げ出してしまいました。しかし、その夢が諦められず、この春から1年間編集の学校に通い始めましたが、彼の知り合いのライターの方々から『彼は編集者に向いていない』とハッキリ言われます。やっぱり向き不向きがあるのでしょうか。彼を追って上京したものの、私も今年で27歳。将来のことや両親のことを思うと、この先とても不安です。このまま彼を応援していていいのでしょうか？

（光る女・27歳・女）

武藤　それ、スゲエ難しいね。それは俺たちも日常目の当たりにしてるから。やっぱ、プロレスも憧れて入ったけど才能ないやついっぱいいるじゃん。そういう奴を諦めさせるのって、凄ぇ難しいんだよ。でも俺はね、才能ない奴は斬るよ（キッパリ）。才能ないやつは事故起こしたりして、あとで大変なことになっちゃうからね。

俺も10代の頃は精子が狂ったように溜まってさ

――それが本人のためになるわけですか。

武藤　本人のためだよ。人生って挫折によって、自分に合った道が見つかることがあると思うからね。だから早く人生を変えた方が得だったりするからね。でも、プロレス界ってさ、体育会系で上下関係がしっかりしてるし情に流される部分があるじゃない。だから、どこの団体もバブル的に在庫レスラーを抱えているんだよね。これはホント良くないよ。これからはそういうところがシビアになっていくと思うんだよね。好きでも、才能がある奴じゃないと生き残っていけないっていうね。

――それはどんな業種でもそうですよね。

武藤　ある程度経験積んでるうちに、自分がこの世界で才能あるかないかって理解できるんだけどね。……それが判断できてないってことは、（彼は）挫折してねえんじゃねぇの、ホントの意味で。たとえば、後輩や同期が上に行っちゃったとかさ。

――現実が直視できてないと。

武藤　でも、そいつはそれをやってるときが一番エンジョイしてるんでしょ。もしかしたら携わってるだけでいいのかもしれない。だったらオレが関知することじゃないよ！　俺、他人の人生構ってる場合じゃねえんだよな（しみじみと）。彼女もさ、彼が好きなのかもしれないけど、自分の人生をエンジョイしたほうがいいよ。

Q 武藤さん、こんにちは。私は16歳の女子高校生です。悩みというのは恥ずかしい話ですが、最近付き合い始めた彼が狂ったように私の身体を求めてくるのです。一度、拒んだら

「別れる」と怒ってしまいました。私もエッチは嫌いじゃありませんが、一日に何度も求める彼には、私の身体が目的じゃないかと疑ってしまいます。武藤さん、私はこのまま堕ちていってしまうのでしょうか？（吉川天使・16歳・女）

武藤　俺も10代の頃は狂ってたよね。精子が狂ったように溜まってさ。

——ワハハハ！　精子が狂ったように溜まりますか（笑）。

武藤　とにかく狂っていたよ！　相手が女だろうがコンニャクだろうがさ（キッパリ）。

——コ、コンニャクですか！（笑）。

武藤　（平然と）そうだよ。想像力豊かだったから、自分のこの手だって、いい女になったからね。自分の手がいろんな空想をさせてくれたからなぁ（と、宙を見つめる）。

——で、武藤さん、この相談なんですけど（笑）。

武藤　エッチは嫌だけど別れたくねぇんだろ？　でも、応じて続けたら飽きられて捨てられそうだよな。

——どっちに転んでもダメですよねぇ。

武藤　……どうしたらいいんだろう？

——それを武藤さんにお訊きしているんですけど（笑）。

武藤　う〜ん、やっぱ、女を磨くことだな。

——またですか（笑）。

武藤　そういうことになっちゃうよな。女を磨く良い機会じゃない。嫌なら嫌で別れても、まだ若いからね。やり直しもきくし。

——もっといい男も現れるかもしれませんしね。

武藤　そうだよ。それは経験として楽しめばいいじゃん。エッチイコール堕ちるという感覚は捨てたほうがいいよ！

武藤敬司 閃光魔術的人生相談

Q.私の彼は待ち合わせの時間にいつも遅れてきます。最高記録は6時間です。昼間に待ち合わせしたのに彼は来たのは夜でした。理由はいつも寝坊です。さらに謝らないのがやっかいで腹立たしい。突き放したら、あわてて連絡してくるのかと思いきや、まったく連絡を寄こさず、逆に私が突き放される始末。こんな最低男ですが、好きなのです。武藤さん、何かアドバイスをください。（味元佳子・27歳・女）

武藤　見通し暗いね（キッパリ）。相手にされてねえじゃん。一回や二回の遅刻だったらいいけどさ。乗り換えたほうがいいって。

——またストレートな回答ですね（笑）。武藤さんは時間は守るほうなんですか？

武藤　守るほうだよ。俺は待たされるの凄ぇ嫌なんだよ。

——でも、レスラーとかは〝レスラー時間〟があるって言われるぐらい、ルーズな方が多いですよね。

武藤　いるよ。蝶野とかね。

——蝶野さんは巡業バスの時間に遅れてくるので有名ですからね（笑）。武藤さんは時間は守るだけに、蝶野さんにハラとか立ったりしてたんですか？

武藤　いや、「蝶野はルーズ」ってインプットしてあるからさ、蝶野とは待ち合わせとか一切しない！（キッパリ）。

——ワハハハ！　それではそんな彼とは別れるか、もしくは待ち合わせをするな、でいいですね（笑）。

Q.武藤さん、こんにちは。ボクはケンドー・カシン選手の大ファンです。将来はカシン選手のようなプロレスラーを目指しているのですが、何かスポーツをやっていたほうがいいの

人生は悩みばっかだよ。でも、悩まないと向上しないじゃん。

でしょうか？　ちなみにいまはサッカー部の補欠です。アドバイス、お願いします。（ノープロブレム・13歳・男）

――ちなみに武藤さんはプロレスラーには何歳のころになろうと思ったんですか？

武藤　なろうと思ったのはハタチのときだよ。

――あ、そんな遅いんですか。

武藤　俺にとってプロレス界は別の世界だったからね。憧れたときはあったけど、別次元の世界だなっていうインパクトがあったからさ。

――レスラーになる前は整体師をなされてたんですよね？

武藤　そうだよ。整体のインターンやってたんだよ。俺の先輩が新日本の選手がよく行く接骨院で働いていて、その関係で（新日本に）勧誘されて俺が乗っかったんだよな。ちょうど俺、骨接ぎが向いてないって思っていてさ。

――ちょうど悩んでる時期だったわけですね。

武藤　俺の師匠っていうのが接骨院以外に他の商売をやっててさ。入ったばかりの俺に治療院を任せるんだよ。

――ガハハハ！　いきなり院長先生ですか（笑）。

武藤　患者さんが俺のこと「先生、先生」って言ってきて。俺、そんなもんわっかんねぇのに（苦笑）。先生って言われたらウソ八百でも「こういう理由で痛いんですよ」って言わないといけなくて。それがストレスだったよね。俺も自信がなかったからね。段階、踏んでなかったし。

――段階を踏むってわけじゃないですけど、プロレスラーになるにはアマレスでも柔道でも、何かしらやっていたほうがいいってことですかね。

武藤　そうだね。身のこなしが違ってくるしね。やっていたほうがいいよ。

Q.旦那が巨乳好きで困っています。乙葉ちゃんとか小池栄子さんの写真など買い込んではニヤニヤしています。たしかにみんな若くてカワイイけど、胸の小さい私しては、ホントは私に満足してないんじゃなかって正直ハラがたっています。嫁に対して失礼だと思わないのかしら。それとも、私のこと、嫌いになったのかな。男の人の心理を教えてください（志村タエ子・31歳・女）

武藤　オレは巨乳好きじゃないよ。あんまりちっちゃいのも好きじゃないけど、叶美香みたいにああいうデカイのは凄いイヤだよ。

――武藤さんは普通の大きさがいいんですね。

武藤　うん。ただ、さ、女の武器っていうのはオッパイだけじゃないぜ。

――ガハハハ！　というと、結論はやっぱり……（笑）。

武藤　他の女の部分を磨けばいいんじゃない。

――良くわかりました（笑）。

Q.ネットで知り合った女性が好きになってしまいました。メールを出せば返事は帰ってくるのですが、こちらには特には関心がない様子です。遠距離のため会いにいくのは無理なのですが、そうこうしてるうちに他の男に取られやしないかと不安です。どうしたらいいのでしょうか？（ネット宮崎・29歳・男）

武藤　ネットで知り合ったの？　そんなの恋愛じゃねえよ！　もっと生身の人間、愛せって！　そんなの絶対、結びつかねえよ。会ったこともない相手とさ、昔の戦国時代じゃあるまいし。

――なぜ、戦国時代が出てくる（笑）。

武藤　戦国時代はあったんだよ、お見合いの政略結婚とかさ。

――あ、そういうことですか（笑）。

武藤　ちなみに、これはオレの恋愛論だけど、一目惚れっていうのは絶対上手くいかねえよな。最初に「クソ生意気な女だな」と思ったところから、いい面をみつけてプラスしていく恋愛のほうが長持ちするんだよな。最初に100点だと、あとは減点していくしかねえからさ。

――確かにそうですね。武藤さんも奥さんとはマイナススタートだったんですか？

武藤　そうだよ。カミさんもそう思っていたらしいよ。俺もクソ生意気な女って思ってね。

――クソ生意気な女（笑）。奥さん、あんなにキレイじゃないですか。

武藤　ビジュアルだけじゃねえじゃん、人間って。それだけじゃ伝わらないし、相手のことはわからないよな。人間には〝匂い〟っていうのもあるわけだから

さ。
——ネットだったら余計そうですよね。昔は文通とかありましたけど、まだそれのほうが伝わりそうですよね。
武藤　いや、文通も自分の想像力に恋愛してるだけなんだよな。会えないとなると余計そうなっていくよな。
——美化もされるでしょうしね。独り相撲になっちゃいますしね。
武藤　現実ってのは違うもんだよ。生身の人間愛せって！　パソコンでエッチできるかって。なあ!?
——それは無理です（笑）。
武藤　あ、それ発明しようかな。パソコンの画面にアナ開けて、「ダッチ・パソコン」とか言ってさ（笑）。
——ガハハハ！　くだらない発明ですねぇ（笑）。
武藤　でも、発明できたら凄いぜ（笑）。ダッチ・パソコンかぁ……（と、宙を見つめる）。
——何を空想してるんですか（笑）。で、今日の質問はこんなもんなんですけど、逆に武藤さんの悩みというのはないのですか？
武藤　悩み？　人生は悩みばっかだよ。

武藤敬司
閃光魔術的人生相談

今度、アメリカでやるグレート・ムタだってさあ、どうするかって考えてるし。何やるにしても悩みばかりだと思うよ。でも、悩まないと向上しないじゃん、人間って。
——悩みがなきゃないでいつまで経っても先に進めないわけですね。
武藤　ただ危、その答えがねえんだよ（笑）。
——ゴールのないマラソンってやつですね。
武藤　そうなんだよな。でも、答えがないから気ままでいいってこともあるけどさ。
——プラス志向ですねえ（笑）。武藤さんの最大の悩みと言えばヒザの負傷だと思うんですけど。一時期と比べて状態はどうなんですか。
武藤　悪くなってきてるね。だんだん、奇形が酷くなっているし。ヤバイよ（人ごとのように）。
——そ、そうですか。武藤さんはそういった肉体的な部分もそうですけど新生全日本の舵を握っていく重要な位置にいますから、立場的な悩みも多くなっていきますよね。
武藤　まあ、どんな悩みも1つ1つ解決していくしかないよ。これが宿命であり、オレの信念だよ。楽しくないことだっていっぱいあるよ。でも、俺は俺流のやり方でやっていくしかないよな。こんなもんでいい？
——はい、もう十分過ぎます！
武藤　これ、連載になるの？
——ワハハハ。橋本さんが黙っていないと思いますけど、武藤さんがその気なら来月もお願いします！（笑）。
【02年6月7日／全日本プロレス事務所にて収録】

天才が頭を抱える悩みを
大募集！

次号も武藤登場？　それとも破壊王の逆襲があるのか!?　悩みを答えてほしいレスラーも同時に大募集だ！　【宛先】〒東京都渋谷区千駄ヶ谷3−11−3−702「ダッチ・パソコン」係まで！

6・9 Zepp TOKYO
BAPE STA!! PROWRESTLING

文／堀江ガンツ　撮影／斉藤ユーリ　design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

APEだけじゃない！　全日本×PRIDE&UFCコラボ実現！

「うん、コラボだ。今日はコラボっていう言い方を勉強したな」という、素晴らしき武藤語録同様。一般的には常識でも、プロレスファン的には未知なるモノを大量に運んできた全日本とAPEのコラボレーション。そこでは、全選手はもちろん、元子社長から和田京平レフェリーにいたるまでAPEのＴシャツを着用、武藤がＦＭ電波を通じてリアルタイムで天然解説を披露するなど、数々の奇跡を起こしてくれたが、その衝撃はお洒落に装飾されたハード面にとどまらず、全日本のソフトにまで影響を及ぼしたのが驚きだった。

小島＆NIGOが用意したビッグサプライズは、あの宇野薫と、“ニセ・カシン”ミスター・プロブレムの参戦。宇野薫は言うまでもなく、元修斗王者であり、現在はＵＦＣを主戦場にする格闘家。そしてニセ・カシンの正体は、『PRIDE』常連であるあの選手であることは明らか。この格闘家二人がごく自然に全日マットに登場。かといって“なんちゃってＶＴ”ではなく、目一杯のプロレスを披露してくれた。これはなに気に全日マットの市場開放が、格闘家にまで及んだ象徴的出来事。昨年、武藤がさかんに口にした「プロレスLOVE」さえ持っていたら、どんなジャンルとも“コラボ”できることが証明されたのだ。これも全日本プロレスです！（川田調）

C-MAXのオヤジ&エロ担当・藤井さんがその半生を語りまくる!

ドン・フジイ
藤井達樹青春記

若くてルックスのいい選手揃いの闘龍門において、そのオヤジっぷりで異彩を放つドン・フジイ。あるときは、CIMAとのトークのボケ役として、またあるときはリングの仕事人として闘龍門には欠かせない存在となっている。そんな藤井さんがなぜか突然半生を振り返ります。

聞き手／堀江ガンツ
撮影／乾晋也
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

――フジイさんが『紙プロ』に登場していただくのは、幻の連載『スモーダンディフジの首投げごっつぁんです』以来ですよね（笑）。

フジイ ありましたねぇ。連載のはずなのに1回こっきりで終わっちゃって（笑）。でも、あれは企画的に行き過ぎでしたね（笑）。

――恋愛相談の結論が「舐めて舐めて舐めまくれ」ですから（笑）。

フジイ まぁ、あれは正直に話しただけなんですけどね（笑）。で、今日は何で自分にインタビューなんですか？

――やはり「闘龍門5周年記念」ですから、闘龍門の立ち上げから知る男であるフジイさんに、ゼヒお話をうかがおう……というか、ホントは順番が巡ってきただけです（笑）。

フジイ ただの順番ですか！ ここ来るまでに何で俺なんかなと考えながら来たんですけど、ただの順番ですか（笑）。

――ま、闘龍門のどなたにインタビューしても必ずどこかで、フジイさんのネタが出てくるんで、一度ご本人にお願いしたいなとは思ってたんですよ。

フジイ 何かC－MAのトークショーなんか、半分以上ボクの話らしいですからね（笑）。まぁ、どっちみち光栄なんで今日はよろしくお願いします。

――こちらこそよろしくお願いします。フジイさんは「スモーフジ」でデビュー以来、ずっと相撲キャラですけど、これはギミックではなく、実際に相撲をやられていたんですよね？

フジイ はい。相撲の世界には昭和61年の名古屋場所から、今、理事長になってる北の湖親方の北の湖部屋に入らしてもらったんですけど、ボクはスカウトとかじゃなかったんですよね。

――どうやって入門したんですか？

フジイ もともと北の湖親方のファンだったんですけど、ボクが中学3年のとき、夕方の6時のニュースで、北の湖部屋のちゃんこの取材があったんですよ。それを見てたら、ちょうどボクと一緒ぐらいの歳の若い力士がたくさんいて、何か雰囲気が良かったんでしょうね。その場で「ここの部屋はいろう」と決心して、その日のうちに「北の湖部屋に入りたい」って親に言ったんですよ（笑）。

――それはまた、電光石火の決断力ですね（笑）。

フジイ 何か血がたぎったんじゃないですかね。それで、もう何日もしないうちにすぐ北の湖部屋に行って、押し掛けみたいな形で入門したんですよ。

――その頃は身体は大きかったんですか？

フジイ いや、自分は173㎝で70㎏くらいしかなかったんですよ。

――それは新弟子とは言え、かなり小兵ですよね。

フジイ だから東京に出ていくとき、浴衣とかなかったんでジャージで行っ

相撲時代、稽古はキツかったけど私生活にハマっちゃったんです（笑）

たんです。そしたら他のお相撲さんから「行事になんのか？」って聞かれて、ガクンとした思い出がありますね（笑）。

——ガクンとしましたか（笑）。

フジイ　これから東京で一旗揚げようと思ってるときに、出鼻をくじかれてショックでしたね（笑）。

——でも、実際その身体の大きさでは、かなりキツかったんじゃないですか？

フジイ　そうですね。稽古とかやっぱりキツかったんですけど、私生活の方にハマっちゃいまして（笑）。

——あ、お相撲さん特有の（笑）。

フジイ　兄弟子連中について行ったり、タニマチさんとかにもいろいろお世話になりましたからね。素晴らしい経験をさせていただきました（笑）。

——具体的にはどんな感じなんですか？

フジイ　兄弟子にはやっぱり最初、ソープランドに連れて行ってもらって、初体験を終わらしてもらったと（笑）。

——やっぱり、まずはそれ（笑）。

フジイ　そうですね。だから、その兄弟子には今でも感謝してますけどね。あとはタニマチさんですよね。パーティとかで知り合うんですけど、そこから輪が広がって個人的に応援してくれる人もできてくるんですよ。で、タニマチさんには場所前に一枚30円くらいの番付表を送るんですけど、それを送るとなぜか現金書留が送られてくるんですよ。で、パッと中身を開けると10万円入っていたりして「これで下駄を買いなさい」とか。下駄って3000円くらいなんですけどね（笑）。「何だこの世界は！」と、思いましたよね。

——それはハマりますよねぇ。

フジイ　まぁ、ハマっちゃったんですけどね（笑）。しかも勝ち星が増えていくと、応援してくれる人も、どこかの社長さんとか、規模が大きくなっていくんですよ。

——それこそもう、稽古を頑張れば頑張るほど、どんどんお金は増えるし、美味しいものは食べれるし、金星も寄って来るわけですよね。そんないい世界に10年間いて廃業するというのは、どんな感じだったんですか？

フジイ　千代の富士関が引退する時に「体力の限界、気力もなくなり引退することにしました」って有名な言葉がありますけど、ボクは別に体力の限界もなかったし、怪我もなかったですけど、もともと10年やって十両上がれなかったらスパッと決心しようと思ってたんですよ。でも、やっぱり親方に「辞めます」と言うときは辛かったですね。親方の家の玄関開けようとして、またどっかいって、またうろうろして（笑）。玄関あけるのは決心いりましたね（しみじみ）。

——辞める決心がついても、そこから言い出すまでが大変ですよね。

フジイ　時間かかりましたねぇ。でも、親方がもう「わかった」って言うので、運転免許とかの世話も全部してくれて。断髪式も行ってくれてですね。最後、親方にとめバサミしてもらって、そのときは涙が止まらなかったですね。その髷は今も大事に持ってますよ。ほこりまみれになってると思いますけど（笑）。

——やっぱり、力士だった証ですもんね。

フジイ　それで、部屋の横の散髪屋に行ったんですよ。でも、10年間ちょんまげしていたから、それ以外のヘアースタイルが想像つかないんですよ。だからなぜかお相撲さんて、みんなオールバックなんですよ。

これは貴重！　力士時代のフジイさんだ（ドン・フジイ提供）。闘龍門では、オヤジ臭さを発揮しまくっているフジイも、このころの写真ではやっぱり若い！

——ああ、確かに。じゃあ、フジイさんの髪型は"親方スタイル"なんですね（笑）。

フジイ　そうなんですよ。それでT2Pに大鷲（透）っていますよね？　あいつはざんばら髪でオールバックの"新弟子スタイル"なんですよ（笑）。

——なるほど（笑）。お相撲を辞めるときは、次の第二の人生って考えていたんですか？

フジイ　いちおう、ウチがお肉屋さんやってるんですよ。それを継ごうと1ヶ月やってたんですけど、やっぱりなんか自分の中で煮えきれないものがあって、すぐ「東京に出る。レスラーにならしてくれ」と。親も自分で決めたことやからと、許してくれて、また東京に出てきたんですよ。

——東京にはどこか、ってはあったんですか？

フジイ　相撲のちょっと先輩でWARに菊池淳っていたんですよ。その人の所に居候させてもらってたんです。やっぱりボクも相撲の大先輩である天龍さんに憧れてたんで、WARに入りたいと思って。それで「まぁ、とりあえず履歴書持って、事務所に行ってみなよ」と菊池さんに言われてですね。ダブルのスーツを着て、たまプラーザにあったWARの事務所に行って、最初は武井社長にご挨拶したんです。そしたら奥から大将（天龍）が出て来たんですよ。

——ドキドキしますねぇ（笑）。

フジイ　もう目の前がもうホワーンとなって（笑）。「ボク、北の湖部屋にいまして、よろしくお願いします！」って。天龍さんはそこで「お前いくつだ」って野太い声で（笑）。それで「26になります」と。「身長、体重はどれくらいだ」「175センチの…」

——2センチ増えてますよ（笑）。

フジイ　はい、ちょっと上乗せして（笑）。その時ボク90キロくらいですかね。「ちっちゃいな」って言われて（苦笑）。で、そこで天龍さんに説明を受けて「難しいんじゃないか」と。そしたら突然「営業やらないか」って。「営業だったら、あとあと潰しもきくし、営業なったほうがいい」って。

——天龍さんもフジイさんの将来考えてくれたんでしょうね。

フジイ　そうですね。やっぱり自分もお相撲上がりじゃないですか。何も手に職ついてないし、「いまからレスラーになるんだったら、営業の方で頑張った方がいい」って。そう言われて頭の中が真っ白になったんですけど、天龍さんに言っていただいたんで、その場で「なります！」って言っちゃったんですよ（笑）。

——反射的に（笑）。

フジイ　そこからドン・フジイの営業人生がスタートしたんですよ。もう、その日から席番書いてましたから（笑）。

——変わり身早すぎです（笑）。でもそこからどうやって、もう一度プロレスラーを目指すようになったんですか？

フジイ　ホントはその時点で、プロレスラーになるのは諦めてたんですよ。体もちっちゃくなったし、そのぶん営業で頑張ろう、と。ところが、いまのマグナムTOKYO、当時の黒木が、校長（ウルティモ・ドラゴン）の付き人みたいな形でWARの会場に来ていて、よく顔を合わせてたんで、片や営業、片や付け人で「レスラーになれたらいいね」なんて話するようになったんです。そしたらしばらくして、「今度ボク、メキシコに行くことになりました」って黒木が言うんですよ。でも、ボクはもうプロレスを諦めてたんで、「黒木、オレはレスラーになれなかったけど、オレの分までメキシコで頑張

ドン・フジイ
藤井達樹青春記

フジイがメキシコ修業時代、居候させてもらっていたファミリーと記念撮影。お手製の日の丸＆Ｃ－ＭＡＸ旗を作って応援してくれていた。フジイの右が、ルチャ学校で一緒になった息子さん。彼もルチャドールになることができたという

ってきてくれよ」と、固い握手を交わした覚えはありますね。

——いい話ですねぇ（笑）。

フジイ　で、お互い別の道で頑張ろうと言ったはずなんですけど、その1、2ヶ月後に校長がメキシコにプロレス学校を作るっていう発表したんですよ。そこでまた、燃え上がってきましてねぇ。校長に直談判したら、「お前は営業を頑張れ」って言われたんですけど、どうしても押さえきれなくて、会社が終わった後、浅草の浜口ジムに通い始めて。結局、固い握手を交わしておきながらマグナムと同じ道を歩むことになったんですよ（笑）。

——「俺の分まで」はなんだったのか、と（笑）。でも、そのタイミングで闘龍門ができてなかったら、違っていたんじゃないですか？

フジイ　もう1、2年遅かったらずっと営業やってたでしょうね。だからあの時ホント分かれ道だったんですよ。で、武井社長と話してWARを退社したんですけど、天龍さんには最後まで挨拶にいけなかったんですよ。それで次の年にメキシコ行くときに、後楽園ホールでWARの興行があったんですけど、その時に挨拶をしにいったんですよね。やっぱりその時もドアを行ったり来たりして（笑）。

——天龍さんの口利きで入ったわけですもんね。

フジイ　天龍さんには言葉は言ってもらえなかったんですけど、顔つきでわかるじゃないですか。ニヤってしてましたね。で、「失礼しますっ！」って出ていきました（笑）。

——で、いよいよ闘龍門に入るという。

フジイ　そうですね。それが1月だったんですけど、メキシコに行く前の準備段階として、CIMA、SUWA、マグナム、ボクの4人で共同生活を始めて、闘龍門のホントちっちゃい種みたいな部分がスタートしたんですよ。その時はみんな仲が良いって言ったらアレなんですけど、一致団結して。その中でもやっぱり校長の付き人だったマグナムが率先して走り回ってくれて、僕ら右も左もわからない奴がついていくという。だから、言い過ぎかもしれないですけど、マグナムがいて闘龍門もできたというか。いまはあんなんなっちゃいましたけどね（笑）。

——そして、いよいよメキシコですか。

フジイ　忘れもしない4月2日ですよ。「ホントに今から行っちゃうんだな」と、感慨深かったですね。どこに住むか、どんなところか何も知らないまま。それでメキシコに到着した日が、ちょうどナウカルパン（闘龍門メキシコ道場がある土地）の定期戦だったんで、校長に連れていってもらって。そこで初めてルチャっていうものを観たんですよ。日本の雰囲気と全然違ってビックリしましたね。お客さんの熱狂度が全然違うんですよね。「なんだこのいい雰囲気は！」と思いましたから。

——あ、いきなりルチャにハマりましたか。

フジイ　ハマりましたねぇ。ボクはデビューした後はヒールだったんですけど、ビールはひっかけられるは、ツバ吐きかけられるはで、凄かったんですよ。いまはその雰囲気がなつかしいですね。

——メキシコに来てからの練習はどのように行っていたんですか？

フジイ　もちろん校長にも教えていただいてたんですけど、通常はナウカルパンの会場の裏に物置小屋があって、そこに使わない埃まみれのリングがあったんですけど、そこで練習してましたね。

——物置小屋！　いまの闘龍門メキシコ道場とはえらい違いですね（笑）。

フジイ　ねぇ（笑）。いまは吹き抜けの階段がある立派な建物で、トレーニング機材もすべて揃っていて、テレビの衛生放送まで入る、そこだけメキシコじゃないみたいな感じですけど。僕らの場合は、中の板が折れたボコボコのリングで、でんぐりがえりしたら、Tシャツが真っ黒けですからね（笑）。

——メキシコ以外の何ものでもないところだった、と（笑）。

フジイ　そこでルチャ教室があって、スコルピオンとかブラックマンが、いろいろ教えてくれたんですけど、ボクまるでついていけなかったんですよこれ

が（苦笑）。
──いきなりですか（笑）。
フジイ マット運動みたいなことするんですけど、なんかややこしい動きして。お相撲さん出身ですから、最初からついていくのが精一杯かなと思ってたんですけど、ついてさえいけませんでしたね（笑）。
──だけど、お相撲さん出身でメキシコ行くっていうこと自体珍しいですよね。
フジイ あんな華麗に飛ぶ国ですからね。ボクも「お相撲さんの来るところじゃない」と思って、ちょっと悩みましたよ（笑）。
──練習環境もそうですけど、4人が共同生活で住んでいたところもかなり凄いところだったみたいですね？
フジイ 治安悪いところでしたからね〜。とか言いながら初日から夜出歩きまくってましたけど（笑）。
──校長からは「出歩くな」とか言われてなかったんですか？
フジイ そうなんですけど、バレないようにそーっと行ってたんですよ。やっぱり初めての所じゃないですか。興味湧くんですよね、夜の街はどうなのか、と（笑）。
──そっちでもまたメキシコにハマりましたか（笑）。
フジイ ハマりましたねぇ（笑）、土曜日が楽しみになりましたね。練習が日曜休みなんですよ。だから、はやく土曜日こないかなって。
──でも危ない目にあわなかったんですか？
フジイ あんまりボクらはなかったったんですけど、メキシコに来たらみんな1回はあるみたいですよね。でも、ボクの場合は凄いヒゲ面でしたから、逆に向こうが怖がったんじゃないですか、怪しい奴が来たって（笑）。
──では、向こうで一番苦労したことはなんですか？
フジイ ボクはやっぱり言葉ですね。他の3人は挨拶とかどんどん覚えていったんですけど、ボクだけいつまで経っても覚えなくて、「フジイさん何やってるんですか」ってみんなに言われましたからね。1年間いて、ようやく「これいくら？」っていう買い物くらいはあれですけど、細かいことになったらチンプンカンプンですね（笑）。
──他の3人はすっかり喋れるようになった頃に（笑）。
フジイ ぺらぺらですね（笑）。CIMAとか若いじゃないですか。でも、ボクはもう30近くて覚えるのが遅いんですよ。あれには参りましたね。あと食べ物と。
──食べ物は相当凄いみたいですね。
フジイ ボク1年経たないうちにで10キロ痩せましたもん。あれはもうナンボ食うても体重戻らなかったですね。だけどT2Pの大鷲は10キロ太ったらしいんですよ。メキシコから帰って来るたびに体重が増えてるのは、鶴見五郎さん以来じゃないかって言われてますよ（笑）。
──アハハ、30年に一度の逸材ですね（笑）。
フジイ 何食ってんのかって思いますよ（笑）。
──さっきのスペイン語の話じゃないですけど、マサ斉藤さんとかは"ベッド・イングリッシュ"でどんどん英語が上達していったらしいですけど、フジイさんは"ベッド・スパニッシュ"はなかったんですか？（笑）。
フジイ 見事になかったですね（笑）。ボクも言葉を覚えるのはやっぱり彼女作るのが一番てっとりばやいと思うんですけど、彼女どころか女の子が寄ってこないんですよ。メキシコに2年間いて手も握ったことなかったですからね。
──それは珍しいですね（笑）。
フジイ あれだけは後悔しましたね。禁欲状態ですよ。唯一楽しみだったのが、友達とかが送ってくれるエロ本でしたから（笑）。
──異国の地でさみしい話ですね（笑）。
フジイ 飢えてましたねぇ（しみじみ）、よく犯罪に走らなかったな、と（笑）。
──ガハハハ、我ながらそう思うと（笑）。女性関係でいい思いはしなかったようですけど、メキシコで印象に残ったことってなんですか？
フジイ やっぱりみんな心が暖かいですよね。近所の人なんかもみんな声掛けてくれたし。初めて会ってもフレンドリーで、暖かいんですよ。だからボクはそれに甘えて、初めて会った人に「今日から泊まらせてくれ」って頼んで、居候宅をみつけたんですよ（笑）。
──どこで会った人なんですか？
フジイ ナウカルパンでルチャ教室があって、そこに練習しに来てたんですよ。ボクはそこで誰でも彼でも、声掛けまくったんですよね。「ボク、ルチャドールだから。今日からお前の家に泊まらせてくれないか」って。片言のスペイン語で一生懸命伝えたんですけど、みんなダメだったのが、そいつだけが「いいよ。物置小屋だけど」って（笑）。
──物置小屋ですか！（笑）。
フジイ それで連れていってもらったところが、この写真に写っているところなんですけど、初めてそこの風景見たときに「やめよ」と思いましたからね（笑）。
──確かに凄いところですよね（笑）。
フジイ 「着いたよ」って言われて、外をみたら、「うわー！」って（笑）。一瞬声がでなかったですね。でも、さすがに断りきれなくて、挨拶しに行ったら、そこのお父さんが「おう、ルチャドールか。よしよし」って。家族みんなが良くしてくれたんですよ。
──どんなお部屋だったんですか？
フジイ 木材が置いてありましたね。
──ガハハハハ！ 木材！
フジイ だからホント物置小屋なんですよ。壁はブロック塀で砂が崩れて穴があいてたりとかして。上はもうトタンに石ころが置いてあるだけという。
──あしたのジョーを越えてますね（笑）。
フジイ だけど住んだら住んだで、「やっとボクの家ができた」みたいな感じで。「物置小屋でも立派なオレの家だ」って嬉しかったですよ。だけど、せっかく自分の家ができたのに、しばらくしたら竜巻で屋根が吹き飛ばされちゃったんですよ（笑）。
──ガハハハ！ ホントに「吹けば飛ぶような家」だった、と（笑）。
フジイ 実際、竜巻で飛んじゃったのはボクの家だけだったんですけどね（笑）。
──被害一軒！（笑）。
フジイ 帰ってきて扉開けたら、布団とかビチョビチョなんですよ。もう背広とか全部散乱してて、足場がなくなってて。いちおう家の人が全部下に運んでくれたんですけど、一番大事なパスポートは濡れてましたけどなんともなくて、よかったんですけど。頭真っ白になりましたよね。
──なかなか体験できないですよね、自分の家が竜巻で飛ぶっていうのは（笑）。
フジイ それから下のファミリーの家に引っ越させてもらったんですよ。それなら最初からそっちにね（笑）。
──物置生活から脱出ですね。ある意味、竜巻のおかげですよね。
フジイ ベッドに寝れるのがこんなに心地いいとは思わなかったですね（笑）。
──メキシコはけっこう好き嫌いに分かれると思うんですけど、フジイさん

（写真・上）フジイが斉藤了の自転車を盗んだことから始まり、ついには大人気コンビとなった自転車兄弟（残念ながら解散）。ということは、いつかはミラノとフジイの「犬の散歩兄弟」もあり得る？ （写真・下）いまや闘龍門の興行には欠かせない、試合前のMCコーナー。ここでもボケのフジイ、ツッコミのCIMAは素晴らしい連携を見せてくれる。

物置小屋で居候させてもらってたら竜巻に屋根ふっ飛ばされたんですよ（笑）

闘龍門があるナウカルパンから、乗り合いバスで北へ30分。これがフジイが居候していた地区の街並み。ブロック塀の壁にトタン屋根の家が建ち並ぶ。

ドン・フジイ
藤井達樹青春記

の場合好きですか？

フジイ　いや、住んでる時は「はやく日本に帰って試合がやりたい」って、日本への思いが強かったんですけど、いまはやっぱりメキシコに行きたいですよね。メキシコで試合をしまくりたいですよ！　もう一回自分の原点というか、モノが飛んでくるくらいヒールに徹した試合がやりたいですね。あの熱狂度が忘れられないんですよ。日本の後楽園ホールとかも凄いですけど、また違うあれですからね。

——日本でも闘龍門は凄く盛り上がってますけど、あれとは全然質が違うんですか？

フジイ　違いますよね。なんかこう、後楽園はどっちかというと黄色い声援で、メキシコは罵声ですよね。やっぱり、お客さんのやりとりというか、日本ではそこまでできないですからね。ボクはお客さん煽りすぎて暴動寸前になったことがありますから。ああいう試合をもう一回やりたいんですよ。

——フジイさんは、こないだ闘龍門5周年記念のメキシコ自主興行で試合しましたけど、あれとも全然違うんですか？

フジイ　あれはT2Pの連中とやった日本人同士の試合ですから全然違うんですよ。やっぱりあっちの人が観たら、わかりづらいんじゃないかと思うんですよね。やってる僕らは面白かったですけどね。違う国で日本人同士で試合をして、知らないお客さんの前で結構盛り上げる試合ができたんで満足感はありますよね。しかも相手がT2Pのあいつら（ミラノ、YOSSINO、YASSINI）じゃないですか。余計燃えるもんがありましたからね。

——フジイさんとT2Pというと、この間後楽園でやったミラノコレクションATとの試合は素晴らしかったですね！　ボクが観た闘龍門の中で1、2を争う試合でしたよ。

フジイ　ホントですか？　ボク、ストレート負けなんですけどね（苦笑）。

——結果は結果ですけど、フジイさんは最高のバイプレーヤーというか。CIMAさんも言ってましたけど、「フジイさんと絡むヤツはみんなスターになっていく」って感じですよね（笑）。

フジイ　ホントはボクがスターになりたいんですけどね（笑）。でもまぁ、そうやって対戦相手がボクという存在を通して光ると「仕事したな」と思いますよね。

——あの試合はセコンド同士の大乱闘も含めて、久しぶりに「プロレスを観たな」って感じがしましたよ。闘龍門とT2Pって厳密に言えば同じ会社というか、団体じゃないですか。それなのに他の団体がやってる対抗戦なんかより、遥かに緊張感がありましたからね。あれは凄いと思いますよ。

フジイ　そうですよね。別同士の会社だったら、そういう雰囲気になるんでしょうけど、みんなピリピリしてましたからね。スタイルが全然違うっていうのもあるんでしょうね。まぁ、透明犬はミラノの手に戻りましたけど、また何か考えますよ（笑）。

——9月8日の有明コロシアムでは、闘龍門とT2Pの全面対抗戦になるんですよね？

フジイ　M2Kとか絡んで来るんでしょうけど、クレイジーだけで十分じゃないですかね。ボクはミラノに負けたとは思ってないですから、ボクがまた全面に立ってやっていきますよ。でも、ボクはやっぱり大鷲との相撲対決が組まれるような気がするんですけどね（笑）。

——ボクはメヒコでやったCIMAX vsイタリアン・コネクションの6人タッグは、ゼヒ日本で観たいですよ。

フジイ　盛り上がるでしょうねぇ。CIMA絡みなんか特に新鮮じゃないですか。また違う意味で凄い殺気だった試合になると思うんですよね。これから対戦カードというのは無限にあると思いますけど、やっぱり一番盛り上がるのはクレイジー絡みだと、それは絶対思うんですよね。

——やっぱりフジイさんの中でも、クレイジーMAXというユニットに対して自信やこだわりがあるわけですか？

フジイ　ありますね。最初三人で始めて、途中からTARUさんも入ってきてくれて、今はTARUシートも入ってきてくれて、絆っていうものがありますよね。一時期SUWAが離れたことはありましたけど、やっぱりクレイジーMAXだけじゃないですか、これだけ長い間がっちりスクラム組んでやってるのって。

——それにメンバーが本当にいい組み合わせというか、個性のバラつきがいいですよね。

フジイ　ホント、5人うまい具合にそろったなというのはありますよね。ボクみたいなコミカルな部分と、CIMAの華やかな部分。SUWAのああいうシビアな怖い部分、TARUさんの幅広いスタイルもあるじゃないです

か。そしてちっちゃいシート。ホントみんな1人1人違いますからね。だから、これからもクレイジーMAXという名前だけは絶対離したくないですし、ボクが40、50になってもクレイジーMAXとともにロレス人生を送っていきたいですよね。他のみんなはどう言うかわからないですけど（笑）。

——では、これからT2Pとの対戦も始まり、その後ろにはさらに「闘龍門Xプロジェクト」も控えてますけど、闘龍門の一期生として、これから入る人を含めて後輩に注文みたいなものはありますか？

フジイ　そうですねぇ。ボクらの団体はそんな身長とか、体重とかそういうの関係ないですから、身体が小さかろうがなんだろうが、入れることは入れるんですよ。でも、それだからこそ中途半端な気持ちでは来て欲しくないですよね。なんか辞めてってた人間っていうのもけっこういますけど、上っ面だけ見て、そういう中身を考えてない人がいるので、それをよく考えてから来て欲しいですよね。やっぱりボクらもいい選手とか出て来たらやりがいもできますから。浮ついた気持ちでは来て欲しくないですよね。門は広いですけど、出るところは狭いですから。そのへん勘違いしてほしくないですよね。

——では、最後にこれからフジイ選手がやっていきたいことって何かありますか？

フジイ　そうですねぇ、当たり前のことなんですけど、闘龍門に地上波のテレビをつけたいとか、もっと大きな会場でできるようになりたいとかありますけどね。いまはけっこういい雰囲気できてると思うんですけど、ここであぐらをかかないで、安心しないで、やっぱりもっともっと攻める闘龍門というか、高い所を目指していきたいですね。あとは、やっぱり校長に大きいプレゼントというか、恩を返したい気持ちはありますよ。校長がいなかったら、僕らはみんなプロレスラーになれなかった人間の集まりですから。まだ何ができるかわからないですけど、先々、僕らで何か返したいですね。

——いやぁ、いいシメになりましたね（笑）。

フジイ　きれいすぎますかね？（笑）。

——あ、ひとつ聞き忘れてましたけど、レスラーになった後に天龍さんや浜口さんには会われたりしたんですか？

フジイ　天龍さんとは試合したんですよ。WARの7周年大会で。

——ああ、そうでしたか。

フジイ　そのときボクは、みちのくプロレスに上がってるときで、試合の前日仙台で飲み過ぎて二日酔いになって大変だったんですよ（笑）。

——天龍戦の前日になにやってるんですか！（笑）。

フジイ　いや、だから緊張を酒でまぎらわすっていうがあったと思うんですよ。多分普通に寝ても寝れなかったと思うんで、「もう飲んじゃえ」と。そしたら朝起きれなくて、リバースして大変だったんですけど（笑）。

——肝心の試合の方はどうだったんですか？

フジイ　実は天龍さんの前で四股踏んで、「出てこい！」って挑発したんですよ（笑）。これだけはやりたいと思って。

——なんと命知らずな（笑）。

フジイ　みんなに言われましたよ。「お前、天龍さんの前でよく四股踏めたな」って。でも、張り手一発で轟沈して、あとはもう洗礼をうけましたね（笑）。だけど、あの試合でホントにレスラーはこうあるべきだっていうのものも教えられましたからね。

——いい経験だったわけですね。今日はありがとうございました。

【02年6月10日／新宿・京王プラザホテルにて収録】

ドン・フジイ
藤井達樹青春記

どん・ふじい■本名・藤井達樹。1970年7月6日、大阪府出身。175cm、105kg。大相撲、WAR営業を経て、闘龍門1期生として入門。スモー・フジ、スモーダンディフジ、スモーダンディフジ二千、ビッグ・フジ、ドン・フジイと次々とリングネームを進化させ、そのたびに名刺を作り直し、無駄な出費を重ねている。

闘龍門1万人クラスのビッグマッチ
7・7神戸ワールド記念ホール（16：00）

あの伝説の3WAY最高峰が再び実現！
UWA世界6人タッグ選手権
●正規軍、C－MAX、M2K各代表3名による3WAYマッチにて新王座決定！

迷勝負数え唄ファイナル？？？
ストーカー市川 vs TARU

その他の闘龍門大会スケジュール

■6月
22日(土)ツインメッセ静岡　開始19:00
23日(日)埼玉・川越ペペホール・アトラス　開始18:00
29日(土)大阪・はびきのコロセアム　開始18:00
30日(日)三重・伊賀ゆめドームうえの　開始15:00

■7月
14日(日)東京・ディファ有明　開始18:30
16日(火)兵庫・神戸チキンジョージ　開始19:00
20日(土)福岡・博多スターレーン　開始18:30
21日(日)宮崎・シーガイア特設会場　開始16:15
22日(月)宮崎・サンドーム日向　開始18:30
23日(火)熊本・JA熊本山鹿青果市場　開始18:30
24日(水)熊本・興南会館　開始18:30
26日(金)鹿児島・出水市総合体育館　開始18:30
27日(土)福岡・行橋市民体育館　開始17:30
28日(日)山口・海峡メッセ下関　開始17:00

お問合せ：闘龍門JAPAN　TEL:078-333-9797

闘龍門TOPICS　6・7後楽園ホール

C-MAX VS 新M2K抗争も激化! SUMA反則負けで丸坊主に!

マグナムのM2K新リーダー就任で、再燃したC-MAXとの抗争。その遺恨は頭の薄い堀口が自らの髪の毛を賭けてSUWAと闘うという、悲壮なカベジェラ戦となった。

堀口が命の次に大事な髪の毛を賭ける代わりに条件とした特別レフェリーは、当日、M2Kの神田裕之と判明。もちろんM2Kびいきのと思われた神田は、予想に反して極めて厳格なレフェリングに終始。しかし最後の最後になって、神田が本性を現し、怒ったSUWAが神田に暴行。その後、堀口を完全ＫＯするも、SUWAの反則負けとなってしまった。極めて不利な対戦を特別レフェリーによる、SUWAの反則暴走を誘発し勝利を飾ったM2K。この遺恨、7・7神戸でさらに燃え上がる。

終始厳格なレフェリングをしていた神田が遂にブルーボックスでSUWAに一撃。怒ったSUWAが神田に暴行を加えると、なんとSUWAの反則負けとなってしまった。

「嫌な奴」ぶりが、早くも定着してきたマグナムにバリカンを入れられるSUWA。なぜかカベジェラ戦に弱いSUWAはこれで4戦全敗。

いま、最も面白いプロレスを堪能させてくれる団体を、ちゃんとお客様はかぎ分けてくれている。T2P4度目の逆上陸は、翌日に同じ後楽園ホールで闘龍門大会。しかもW杯開催中。それに武道館での新日本プロレスが控えている。財布のヒモは連続興行の初日という鬼門を乗り越えられるのか？

メインはミラノ・コレクションATvsドン・フジイのインターナショナル・ライトヘビー級選手権試合。コミッショナーとして登場したのは、「前田農場」の前田あきら。ウルティモ・ドラゴン校長の弟の紹介で、道場に牛肉50kgを寄付してくれた農場の正真正銘の本名だが、「吉田君のお父さん」のような濃い認定書の読み上げに場内は爆笑に包まれてしまう。

関節技"ジャベ"を売りにしたルチャリブレの原点回帰がT2Pのコンセプトであり、それは現代版UWFの復興でもあったわけだ。そう、これは9月8日に有明コロシアムで開戦する、闘龍門JAPANとの「全面戦争」を告げる前哨戦でもあった。

ここにウルティモ・ドラゴンがT2Pを創った狙いがやっと明らかになる。米国WCW時代に、NWOとの抗争を至近距離で観察していた校長は、80〜90年代でもっとも成功した「新日本vsUWF」の幕開けを宣言した。しかも、単なる再現ではない。気力と体力の充実した若手の選手たちが、マット界の未来を担う新規の女性客や入門者から大人の愛好者までを相手に、壮大な大河ドラマをスタートさせたところに意義がある。

試合は非常に気合の入った一進一退のチェス・ゲームとなった。すっとぼけたコミカル色がフジイの持ち味だが、シングル戦でもプロレス技を次々と決めていく。久々の大悪党となった

6・6 T2P後楽園ホール大爆発！
C-MAX VS T2P激しすぎる開戦!!
これは21世紀型“新日本vsUWF”だ！
そして9・8有明コロシアム 全面対抗戦実現!!

文／田中正志
撮影／堀江ガンツ
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

C—MAXとイタリアン・コネクションの「5x5」全員による場外乱闘もド迫力。特に実人生までタイガー・ジェット・シンになってしまったSUWAの暴れっぷりに、お客さんが逃げ惑う姿がまぶたに焼きついた。

本物の犬まで登場して場内を沸かせたが、アレはやはり透明犬ミケーレではない。見える者にしか見ることの出来ない謎の解明は、またも持ち越されたことになる。ミラコレは三本勝負の初防衛戦をストレートで飾ったが、結局透明犬はまた盗まれて、「フジイさんのウソつき!」で終了となった。

満員に埋まった会場をあとにしたお客さんの顔は皆満足そうだった。愛すべきプロレスの本当の魅力に出会いたいなら、聖なるライブに参加するしかないだろう。アルティメット・ウォリアーに変身したコンドッティー修司、たこ壺固めを持つ漁師ペスカトーレ八木、永田裕志風の三島来夢は次回からは闘龍門の方に送り込まれた。熱のこもった王道プロレスの戦争は始まったばかりなのだ。

ミラノの愛犬“透明犬ミケーレ”を誘拐したフジイは、なんと透明ではない本物の犬を連れて入場。「エサをやりすぎて太った」とは本人の弁（写真・上）。一線を越えたド迫力の大乱闘を繰り広げたC—MAXとイタコネ。拳で顔面を殴り、椅子を躊躇なく振り下ろすその激しさは、このYASINIの生流血が物語っている。

C—MAXの集団リンチとCIMAのアイコノクラズムを喰らい、大ピンチに陥りながらも2—0のストレート勝ちでベルト防衛を果たしたミラコレ。いまだ日本では無敗だ。

もちろん『紙プロ』初登場!

21世紀のパンクラスを背負う

"男の中の男"KENGO

俺のファンはガラの悪い男の子だけッスよ!!

謙吾

(パンクラスism)

聞き手／松澤チョロ
撮影／菊池茂夫
designed by さおとめの事務所

『紙プロ』は、いいイメージないッスね。ハッキリ言って嫌いです!

前号から久々にパンクラスの取材が解禁となったわけだが、解禁二発目の今回は、デビュー前から「21世紀のパンクラスを背負う男」と言われ、期待も身体もビッグな〝男の中の男〟こと謙吾の登場だ。やっぱり謙吾と言えばドスjr.!というわけで、謙吾対ドスjr.戦からボッ発した一連のパンクラス対ルチャ軍団の対抗戦では、〝ルチャ万歳〟というスタンスをとってきた『紙プロ』。当の本人は、どう思っているのだろうか? 謙吾の本音を探ってみた!

──謙吾さんは『紙プロ』には初登場となるわけですけど、読んだことってあります?

謙吾 ありますよ(笑)。

──どういうイメージがありますか?

謙吾 あんま、いいイメージはないッスね。ハッキリ言って嫌いです!(キッパリ)。

──やっぱり(笑)。

謙吾 最初のドスjr.戦の後に、後輩から「凄いこと書かれてるよ」って言われて。で、見たらホントに凄いこと書かれてて(笑)。だから、今日は取材にどんな人が来るのかなって思ってたら、凄いしっかりされた方が来たんでビックリしてるんですけど(笑)。

──いやいや、全然しっかりしてないですから(笑)。それにボクも正直言って、この間謙吾さんがドスjr.にリベンジした時も「ドスjr.勝て!」って思ってたくらいで(笑)。

謙吾 あ、そうなんスか。やっぱ、裏の一面があるんですね(笑)。

──でも、あの日の会場は謙吾さんの試合だけじゃなく全体的に〝ビバ・メヒコ〟って雰囲気でしたけど、なんでだと思います?

謙吾 まあそういうのは第三者が見て決めることだから、お客さんがルチャが好きだったらルチャを応援すればいいし、俺を応援してくれるヤツがいたら俺を応援すればいいいし、見る人の感覚だから。だから『紙プロ』の編集長さんが、ああいう風に書くのはムカつくけど(笑)、それはその人の見方だから別に否定はしないですからね。人それぞれ、やっぱ好みがあるだろうし。女の子とかでも世間一般的に「カワイイ」って言われても俺のタイプじゃなかったら嫌いだし。お客さんもマスコミもそういうもんだと思ってますから。

──一発目のドスjr.戦ではマスク被っての入場とか、批判もありましたけど、いま改めて振り返ってみて、あの試合はどう思います?

謙吾 あの試合があったから今の自分がいるっていうのもあるし、それに、お客さんの前で腕を折られちゃうっていうのは、なかなか経験できることじゃないッスからね(苦笑)。

──本人的には最悪でしょうね(笑)。それで、最初のドスjr.戦もそうでしたけど、ここ最近は勝って当たり前、負けたらなに言われるかわからないっていう、かなりリスクの高い試合が続いてますよね。

謙吾 正直おいしくないなっていうのはありますね(笑)。まあでも要は来たヤツを俺がブッ飛ばしちゃえばいいわけであって。そういう試合でドスjr.に負けちゃったから、大々的に取り上げられたわけで(苦笑)。なかなかうまくいかないなって思いますよ。でも思ったのは、ドスjr.にしても橋本選手にしても、闘った感じ、同じプロレス業界でも別ジャンルって形に括られちゃうけど、全然こっちの業界でもやっていける人たちなんで。

──この間の試合を見てもドスjr.は総合でもかなりいけますよね。

謙吾 そうッスよね。ドスjr.は、ずっとそれ用の練習してたらしいですからね。

──で、次の対戦相手が決まったみたいですけど、またかなり濃いキャラクターの選手みたいですね。ボブ・サップ系というか(笑)。

謙吾 ですね(笑)。写真見て「うわっ、最悪」って思いましたからね(苦笑)。

──それは、どういう意味でですか?

謙吾 なんかねぇ、嫌なオーラが出てましたね(苦笑)。

──しかも名前はコブラだし、なんか毒とか持ってそうですからね(笑)。

謙吾 持ってるでしょうね(笑)。

──まあ、謙吾選手の対戦相手としては、しっくりくるなとは思いますけど(笑)。

謙吾 俺しかいないでしょうって感じで(笑)。まあでも、俺もここで止まってるわけにはいかないんで。……でもどうなんスかねぇ? 名前負けしてますからね(笑)。

──コブラ対謙吾じゃ負けてますよね(笑)。

謙吾 なんか動物園みたいッスね(笑)。

──アハハハ! それで、ズバリ言って謙吾さんはグラウンドは弱いってイメージがあるじゃないですか。自分でもそう言ってますけど、やっぱり寝技は苦手なんですか?

謙吾 苦手ですね(苦笑)。まあでも、そういう目でしか見られてないってことは自分が

7・28後楽園大会、謙吾の相手はまたもやナイスキャラなこの男!
その名はCOBRAだ!!

コブラ COBRA(I.F.アカデミー)1965年2月10日生まれ(37歳)アメリカ・インディアナ州インディアナポリス出身。身長178cm体重112kg。アメリカの人気番組『アメリカン・グラジエーターズ』にコブラの名前で出演経験あり。デビュー戦は、2001年5月5日、「サークルシティチャレンジ4」でクリス・ロバートソンに打撃でKO勝ち

まだそれだけの選手ってことだし、ただやっぱナメられたくないから(グラウンドの)練習は、ちゃんとしてますよ。

──今は寝技は誰に教わってるんですか?

謙吾 鈴木(みのる)さんです。最近は、ほとんどグラウンド中心で、昼はみんなでスパーリングやって、夜時間があるときに打撃の練習で伊原道場に行ったりしてるんですよ。

──グラウンドだけだと、パンクラスの選手の中でレベルはどれぐらいなんですか。

謙吾 レベルは高くはないです(笑)。だいたい俺、器用じゃないッスからね。パンクラスに入りたての頃は打撃が大好きだったんで打撃の練習ばっかずっとやってたんですよ。で、グラウンドを疎かにしてた部分が今になってツケがまわってきちゃってますね(苦笑)。

──ツケがまわってきてますか(笑)。

謙吾 大変な目に遭ってますね(苦笑)。でも今は鈴木さんに教わって、だいぶ変わってきたと思うし、いい方向に向かってるって感じてますね。徐々にですけど(笑)。

──頑張って下さい(笑)。それで謙吾さんは、小さい頃からプロレスラーになるのが夢だったってことですけど、プロレスはいつぐ

健三とは、お互いビッグになってドームでやろうなって話してます

KENGO

らいから見てたんですか？

謙吾　幼稚園とかからですね。猪木さんとホーガンがやったときぐらいから見てますね。

――舌出し失神事件の時ですか？

謙吾　そうッスね。ちょうどあの頃って、ゴールデンタイムでやってたし、全日も6時半とかそれぐらいにやってたから。小学校も中学とかも将来の夢は「プロレスラー」って書いてたし、高校行ってラグビーやっててもプロレスラーになるっていうのが、ずっと離れなかったんで。それで結局パンクラスにたどり着いたんですけど。

――当時、好きなレスラーとかって誰だったんですか？

謙吾　ボクは猪木さんがずっと好きでしたね。それで、UWFの頃は高田さんとか船木さんが好きで、高校の時はUインターにハマってて。で、パンクラスが高3ぐらいのときに出来て、ちょうどその頃アルティメットやK―1も始まって、それでヤバイなって思って思いましたね（笑）。

――ヤバイと思いましたか（笑）。その頃ぐらいから、純プロレスから格闘技系に嗜好が変わってきたって感じなんですか？

謙吾　そうッスね。ちょっと変わってきたっていうか。でも新日は今でも好きですよ。

――パンクラスでデビュー後も新日のドーム大会とかで見かけましたけど、今の新日本では誰か好きな選手はいるんですか？

謙吾　誰だろうなぁ？　やっぱ蝶野さんは好きだなぁ。あとは健三（現・健想※謙吾は健想のことを本名の建三と呼んでいる）に頑張ってもらいたいっていうのもあるし、棚橋選手とかも凄くいいと思うし、よく見てますよ。

――でも、それだけファン歴が長いと、やっぱりプロレスの仕組みとかもファンながらに、わかってきたんじゃないですか？

謙吾　そうッスね。なんとなくわかってきましたね（苦笑）。

――そういうのもあって、その頃は格闘技系の方が自分ではピンと来たと？

謙吾　そうッスね。白黒ハッキリ付けた方が自分自身にはあってるんじゃないかって思ってたから。性格的なものもあったし。でも、わかんないですねぇ。今はこうなったから過去には戻れないけど、ただ、新日本とかに入ってたら今どうなのかなぁって思いながら見たりするときもありますよ。

――それこそ健想選手とケンケンタッグとか結成してたかもしれませんね（笑）。

謙吾　なんかそれは嫌だなぁ（笑）。

――ちなみに健想選手とはどういう関係になるんですか？

謙吾　健三が明治のラグビー部で俺が大東のラグビー部で、一応同期なんですよ。それで日本代表の候補とかそういう合宿で、よく一緒になって練習したりとかして。でも、そんなに仲良くはないですけどね（苦笑）。

――そうなんですか（笑）。それこそ今話題に上がっている鈴木選手と健介選手みたいに「将来ビッグになったらドームのメインで闘おうぜ！」みたいな男の約束はしてないんですか？（笑）。

謙吾　してます！（キッパリ）。

――あ、してるんですか？

謙吾　いずれは、お互いビッグになってドームとかでやって、お客さんいっぱい入ったらいいねって話はしてますね。

――2人ともビッグはビッグですけど（笑）、まだ今は早いって感じですかね？

謙吾　組まれたら俺は全然やりますけどね。

――ちょうど今はパンクラス対新日本ってい

VS 大刀光

（01・1・8　愛知県体育館）

セコンドに鈴木健想を付け試合に挑んだ謙吾。VT勝ちなしの大刀光相手に、謙吾は開始早々パンチのラッシュで秒殺KO。この後、カネックにも負けてしまった大刀光にVT初勝利の日は来るのだろうか？

VS バス・ルッテン

（98・9・14　日本武道館）

謙吾のデビュー戦の相手は、現在、新日参戦中のバス・ルッテン。掌底を振り回しルッテン相手に健闘した謙吾だったが、結局、3度のダウンを奪われ涙の敗北。ちなみに、この日の会場にはヒクソンの姿が

“男の中の男”

謙吾

BEST BOUT SERECTION

プロレスルールでやるんだったら半年ぐらい練習したいですね

う話が進行してるみたいですからね。

謙吾　そうみたいッスね。やるならやるで決まったら俺はやりますよ。向こうはどうなのかなって思いますけど。

——ルール的には尾崎社長はバーリ・トゥードが前提だって言ってましたし、謙吾さん的には何も問題はないですよね。

謙吾　でも、俺は健三が相手だったら新日本のルールでやってみてもいいかなって思いますけどね。

——3カウントありでですか？

謙吾　そうッスね。他の選手だったらそうは思わないですけど、健三とだったら。

——別にプロレスをナメてるわけじゃないですよね（笑）。

謙吾　ナメてはいないですよ。例えば健三たちが「パンクラスのルールでやるのに半年練習期間下さい」とか言ってきたら全然待つし。だから、逆にプロレスルールでやるんだったら俺も半年ぐらい練習したいなって思いますけど。やるんだったらヘタな試合はしたくないっていうのはありますから。

——それはそうでしょうね。まあ実際の試合を見てみないとあれですけど、謙吾さんのプロレスルールの試合は見たいですね。ZERO—ONEとか出て欲しいですよ（笑）。

謙吾　見たいッスか？（笑）。

——ピッタリだと思うんですけどね（笑）。

謙吾　まあでも、そう簡単にできるもんじゃないと思うし、そんな甘くないっていうのは藤田さんとかと練習させてもらってわかってるんで。

——WWF（現・WWE）とかには、それほど興味はないんですか？

謙吾　テレビでやってると見ますけど、ロックとかいいッスよね。お客さんのノリもああいう感じでパンクラスの試合が出来たら凄い面白いんでしょうけど。ウチの会場とかでも、紙とか持って上げてもらいたいですね。

——じゃあ今度の後楽園大会で謙吾ボードを作って持ってきてもらいましょうよ。謙吾さん的には、なんて書いてもらいたいですか？

謙吾　やっぱ『紙プロ』的に「謙吾死ね！」とかでいいんじゃないですか（笑）。

——アハハハハ！　また自虐的な（笑）。

謙吾　そういうの持ってるヤツがいても面白いと思いますよ（笑）。最近はパンクラスの会場のノリも、だいぶ変わってきましたけど、俺が入った頃は、やっぱ「シーン」と黙って見るっていう雰囲気でしたからね。

——逆にそれがウリでもありましたからね。その頃のパンクラスのイメージっていうと「ストイック」であったり「ハイブリット」とか「秒殺」って感じでしたけど、謙吾さんとか石井大輔選手や美濃輪選手みたいに、クラブとかに行くような今時の選手が増えてからイメージが変わってきましたよね。

謙吾　そうッスね。

——ただ、謙吾さんって入団当時からパンクラスの中でも特別扱いされてるっていう感じがあったじゃないですか？

謙吾　あぁ、あったでしょうね。

——当時、他の同世代の選手からジェラシーのようなものは感じたりしませんでした？

謙吾　どうですかね？　でも、みんなあるんじゃないですか。「なんでコイツだけ入門テストもやんないで」とか「身体がデカイだけで」って逆の立場だったら思うし。基本的に持ち上げられたりとか、大々的に宣伝されたりとかは正直嫌な自分がいるから。入ったばっかりの頃とかは特に。

——嫌だなぁと思ってた部分もあると？

謙吾　入団会見やったりだなんだとか、何かっていうと持ち上げられて出されて、ロクに勝ってもないのに何で俺こんなに出てんだろうって思ってましたからね。

——俺って何なんだろうって感じで？

謙吾　ホントそうッスね。でも、それは会社なり他のメディアの人とかがネタになるから使うわけで、やっぱ声が掛かるウチが華かなって思うようにして（笑）。まあ正直、「なんで俺なのかなぁ」とは思いましたけどね。

——実際、自分では、なんでだと思います？

パンチでひるんでいく相手を見るのが楽しいと言う謙吾。5月の大阪大会ではDDTの橋本友彦をグラウンドからのパンチ連打でレフェリーストップへと追い込んだ。しかし判定に不服の橋本は再度パンクラスへの参戦を熱望！

VS ドスカラスJr.

（01・8・18　横浜文化体育館）

デビュー戦でのルッテン戦以来の衝撃を残した一発目の謙吾対ドスjr.戦。マスクを被って入場し、そのマスクを花道で脱ぎ捨てた謙吾に怒り心頭のドスjr.は、ルチャの秘技・チリマで謙吾を病院送りに。ドスjr.はバーリ・トゥード初挑戦を勝利で飾った

VS ドスカラスJr.

（02・3・30　愛知県体育館）

ルチャ・バレトド軍対日本選抜の5対5マッチの大将戦として行われた因縁の謙吾対ドスjr.戦。リベンジに燃える謙吾は、見事なジャーマンで投げられ苦戦を強いられたものの、最後はチョークで一本勝ち！

VS 橋本友彦

（02・5・11　梅田ステラホール）

因縁のドスjr.にリベンジを果たした謙吾の次なる相手はDDTの橋本友彦。柔道出身の橋本にドスjr.戦に続いてジャーマンでブン投げられた謙吾だったが、最後はパンチの連打でレフェリーストップ勝ち！

「明るい未来が見えません」って言う健三はどうかと思うんですけどね

謙吾　いや、わっかんないッスよ（苦笑）。そんなこと考えて生きていないッスからね。「写真集出したい」とか「タワレコのポスターやりたい」って自分から言ったわけでもないし、「エッ!? 俺でいいんスか？ いいんならやります」みたいな感じなんで（笑）。

――入団直後から「21世紀のパンクラスはこの男が背負う」みたいな言われかたされてますけど、それについてはどう思ってます？

謙吾　う～ん、それも重いよなぁ（苦笑）。でもやっぱり、みんなが思ってるような期待に応えたいなってのはありますけどね。そうやって思われるっていうのは嫌なことじゃないし、嬉しいことでもあるんで。だから、『紙プロ』とかにボロクソ書かれたりするのも（笑）、話題にならないよりは、いいかなって思うし。俺のこと大嫌いな人でも気にかかっちゃうのかなって思うんですけどね。

――なんだかんだいって、謙吾さんの動向は気になりますからね。なんで新しいTシャツは〝秒殺〟なんだとか（笑）。

謙吾　ハッハッハッ！　まあでも、マイナスに考えてもロクなことないですからね。それに基本的に自分はプラス思考なんで、あんまり気にしないで生きてますね。

――健想選手なんかは、「このリングで明るい未来が見えまえせ～ん！」って、かなりマイナス思考な発言をしてましたけど（笑）。

謙吾　あぁ、ありましたねぇ（笑）。

――謙吾さん的にはパンクラスのリングで明るい未来は見えてるんですか？

謙吾　どうですかねぇ？　まあそれは自分で見つけるもんだから、自分がしっかりやってけば見えてくるんじゃないですかね。でも、「見えませ～ん」って言う健三はどうかと思うんですけどね（苦笑）。見えねえんだったら、見ようとしろよって感じじゃないですか？

――全くその通りです（笑）。

謙吾　初めから白旗振ってるようなもんじゃないですか？（笑）。「見えませ～ん」って言ってること自体おかしいもん！（笑）。じゃあ、辞めて違う仕事しろよって話ですよ。

――オメエはそれでいいや、とは言えないですよね（笑）。

謙吾　だって、明るい未来が見たいから入ってきたわけじゃないですか？　リングの上でいい夢見たいから、みんな闘うわけだし、みんな入ってくるわけじゃないですか？　ふざけんなって思いましたよ（笑）。

――ネタだったら面白いんですけど、本音だったら困っちゃいますよね（笑）。

謙吾　それで猪木さんにビンタされてるわけでしょ？　俺は、それは嫌だなぁ（苦笑）。

――嫌ですね（笑）。話は変わるんですけど、謙吾ファンってどういう人が多いんですか？

すでに今年のマット界名場面大賞に輝くこと間違いなしの2・1新日本札幌大会での「猪木VS蝶野劇場」。ここで謙吾のラグビー時代の同期、健想から、これまた今年のマット界流行語大賞にノミネートされるであろう「明るい未来が見えませ～ん」発言が飛び出した

謙吾　ガラの悪い男の子たちだけ（笑）。

――わかりやすいですね（笑）。謙吾ファンの女の子って少ないんですか？

謙吾　あんま、いないんじゃないですかね。どっちかっていうと、なんか嫌われてる……気がするなぁ（苦笑）。

――聞かない方が良かったですかね（笑）。

謙吾　なんか野蛮人を見るような目？　汚れた目で見られがちのような気がする（笑）。

――アハハハハ！　野蛮人ですか！（笑）。

謙吾　やっぱね、俺が思ったのは、格闘家で女の子に人気のある選手っていうのは、魔裟斗選手とかルミナ選手とか、引き締まった感じで、そんな背もデカくないし、服とか着るといい男って感じの人じゃないですか？

KENGO

――今は魔裟斗さんとか女の子に凄い人気ですからね。この間の大会で優勝してたら、もっと凄いことになってたでしょうけど。

謙吾　そうでしょうね。でも俺、思うんですけど、魔裟斗選手って、なんか隙がないじゃないですか？

――ないですよね。その点、謙吾さんは隙はかなりありますよね（笑）。

謙吾　基本的に隙だらけなんで（笑）。ハッハッハッ！（1人でウケまくる）。でも俺ぐらいまで身体デカくなってくると女の子はちょっと引きますからね。なんか人間扱いされてないような気がするんだよなぁ（苦笑）。

――藤田（和之）さんじゃないですけど、人間離れしてると思われるんですかね（笑）。

謙吾　ボクも藤田さんとか、そっち系のジャンルに入っちゃってるのかなって（笑）。

――かもしれないですね（笑）。藤田さんはリング上だけでなく、女関係とかでも人間離れした話をよく聞きますからね（笑）。謙吾

さんもパンクラスの中では女好きのイメージが強いですけど、実際、どうなんですか？

謙吾　なんかパンクラスでは、ボクだけスケベ街道まっしぐらみたいな感じですけど（笑）、ismもグラバカも、みんな女の子大好きだと思いますけどね。それが前面に出るか出ないか、オープンかオープンじゃないかってとこでしょうね。ヘタしたらむっつりが多いかもしんないッスね、パンクラスは（笑）。

――パンクラスは、むっつりが多い！　勉強になります（笑）。でも、女の子のファンが少ないって感じるのは、取材の度に聞かれてもいない、おネーちゃんネタを言っちゃうのも原因なんじゃないですか（笑）。

謙吾　かもしれないですね。まあでも俺はオープンなキャラなんで（笑）。

――イメージ戦略的に失敗してるんじゃないですか？

謙吾　女性向けへのイメージ戦略は失敗してますねぇ（苦笑）。まあでも隠す必要もないし、ぶっちゃけそういう人間だから、「それでも良ければ、どうですか、お客さん？」って感じですね（笑）。でも最近はホントに純粋な恋愛がしたいんですよ。

――結婚願望とかあったりするんですか？

謙吾　ちゃんと3～4年付き合って、結婚したいなと思ってますね。付き合うならちゃんと長く付き合いたいなみたいな。その、おつまみ系は……それは別腹だけど（笑）。

――さすが男の中の男ですね（笑）。

謙吾　主食のお米は大事にしたい、みたいな（笑）。たまにジャンクフードもいいけど、日本人としてお米はしっかり食べていきたいなっていうのはありますね。

――最近はお米は食べていないと（笑）。

謙吾　最近はジャンクフードが多いッスねぇ。才色兼備で頭のいい女がいいんですけど……バカな女は、もういいです！　ここに来てようやく気づきましたねぇ（しみじみと）。

――気づきましたか（笑）。最後になりますけど、謙吾さんの格闘技界での目標っていうと何になるんですか？

謙吾　目標ですか？　まあ、UFCには現役でいるうちに出たいッスね。一回は金網に入って闘いたいっていうのがあるんで。

――『PRIDE』とかじゃなく、UFCにこだわるっていうのは、やっぱり金網っていうの部分が大きいんですか？

謙吾　やっぱ一番最初にアルティメットが始まったときのゴルドーさんとか、パトリック・スミスとか、ホイスもそうだし、あの辺の印象が俺の中では凄い強くて、あと高橋さんとか出たりした頃まではUFCは野蛮な感じがしてたじゃないですか？

――野蛮人系としては黙ってられないと？

謙吾　そうッスね。今はだいぶ変わっちゃったみたいですけど、やっぱ金網に憧れてた部分が強いんで一回上がりたいッスね。『PRIDE』とかもチャンスがあれば出たいですけど、特には。まあ一番いいのはパンクラスがデカくなって、世界から強い外人呼んで、東京ドームとかさいたまアリーナで大会が出来るようになればいいんですけどね。

――パンクラスを東京ドーム大会ができるぐらいにしたいと？

謙吾　したいッスね。俺ら選手も、もっともっと頑張ってパンクラスという名前をデカくしていかなきゃいけないですけどね。

――パンクラスの名前を大きくするためには謙吾さんもリング上でも夜の街でも、もっともっと大暴れしなきゃいけないですね（笑）。

謙吾　そうッスね（笑）。キャバクラ行って「何やってんの？」って聞かれて「パンクラス」って答えて、わかってもらえるようにしたいッスね。今はちょっと難しいけど（笑）。夜の街でパンクラスの名前を広げていくっていう任務が自分に課せられた使命かもしれないし（笑）。まあ、いろいろと頑張ります！

――いろいろと頑張って下さい！（笑）。

【6月3日／パンクラス・ピーズラボ東京にて収録】

けんご（パンクラスism）本名・渡部謙吾
1976年1月31日生まれ　192cm105kg。高校時代『スクールウォーズ』の影響で始めたラグビーで県選抜メンバーとして国体に出場し日本代表としてニュージーランド遠征も経験。進学した大東文化大学では1年からレギュラーとして活躍、4年生では主将も務める。卒業後、パンクラスに入団。デビューは98年、武道館での対ルッテン戦。写真のバイクは世界に一つの謙吾特別仕様だ！

PANCRASE2002 SPIRIT TOUR

7月28日（日）後楽園ホール　DAYTIME（13：30）

⑧**百瀬善規**（禅道会）vs**近藤有己**（パンクラスism）
⑦**謙吾**（パンクラスism）vs**コブラ**（アメリカ／I.F.アカデミー）
パンクラス初代ウェルター級王者決定トーナメント準決勝
⑥**大石幸史**（パンクラスism）vs**國奥麒樹真**（パンクラスism）
⑤**伊藤崇文**（パンクラスism）vs**長岡弘樹**（ロデオ・スタイル）
第1試合～第4試合 NEO BLOOD TOURNAMENT1回戦
④**中台宣**（パンクラスism）vs**鈴木雅史**（U.W.F.スネークピットジャパン）
③**門馬秀貴**（A3）vs**X**（現在交渉中）
②**アライケンジ**（パンクラスism）vs**小沢稔**（V-CROSS）
①**北岡悟**（パンクラスism）vs**野沢洋之**（スタンド）

PANCRASE2002 SPIRIT TOUR

7月28日（日）後楽園ホール　NIGHTTIME（18：00）

⑧**パンクラス初代ウェルター級王者決定トーナメント決勝**
〈**伊藤崇文**vs**長岡弘樹**〉戦の勝者
vs〈**大石幸史**vs**國奥麒樹真**〉戦の勝者
⑦**NEO BLOOD TOURNAMENT決勝**
準決勝・第1試合の勝者vs準決勝・第2試合の勝者
⑥**ネイサン・マーコート**（コロラド・スターズ）vs**X**（現在交渉中）
⑤**佐藤光芳**（パンクラスGRABAKA）vs**KEI山宮**（パンクラスism）
④**渡辺大介**（パンクラスism）vs**山本孝夫**（禅道会）
③**砂辺光久**（ハイブリッドレスリング武限）vs**和知正仁**（チームRoken）
②**NEO BLOOD TOURNAMENT準決勝**
〈**門馬秀貴**vs**X**（現在交渉中）〉戦の勝者
vs〈**中台宣**vs**鈴木雅史**〉戦の勝者
①**NEO BLOOD TOURNAMENT準決勝**
〈**北岡悟**vs**野沢洋之**〉戦の勝者vs〈**アライケンジ**vs**小沢稔**〉戦の勝者

【お問い合せ】パンクラス　TEL.03-5792-0815

窪田幸生が二度の金的攻撃で悶絶!

呪われたパンクラス!

DEEP2001
5th IMPACT
in
DIFFER
ARIAKE

またもや波乱勃発! いつ何時、

DEEP INTERNATIONAL 2001 には

何かが

起こる!!

鳴呼、MAX宮沢に

和田さんがやられた!

1R3分23秒、無念のKO負け!!

DEEP JAPANミドル級トーナメント

上山がグラバカを仕留め優勝！ 師・田村と歓喜の抱擁！

『DEEP』ミドル級日本人トーナメントを制したのはU―FILE CAMP・上山龍紀！ ディープな栄冠を手にした直後のリング上では、師・田村潔司とガッチリ歓喜の抱擁を交わした。1回戦の山喧vs田村の代理戦争の様相となった梁正基戦では、一発の打撃で勝負を懸ける梁を安定した動きで攻略し判定勝ち。2回戦では村浜天晴に粘られ延長にもつれ込んだが、タックルで飛び込んできた村浜の後頭部に打撃を合わせ、倒れ込んだところをチョークで一本！ 続く決勝でも、菊田率いるグラバカ石川からアンクルホールドで一本勝ちで勝利を収めた。グラバカ勢が一本負けをするのは久しぶりなだけに、これはディープな快挙だ！

センタク挟みで衝撃の一本勝ち！ 観客を魅了したのは村浜天晴！

トーナメント出場8選手のなかで一番小柄ながらも、観客を魅了する動きで大歓声を浴びたのが村浜武洋の兄・天晴。戦前の予想では不利と目されていた1回戦の星野戦では、終始上のポジションを取られ続けこのまま判定負けを喫するかと思われたが、星野を失神に追い込むセンタク挟みが炸裂！ 逆転勝利を飾った。2回戦の上山戦では、そのアグレッシブさが裏目に出てしまい一本負けを喫してしまったが、村浜の評価を大いに上げたトーナメントとなった。

DEEP JAPAN ミドル級トーナメント表

選手	所属
村浜天晴	ワイルドフェニックス
星野勇二	RJW／CENTRAL
梁正基	スタンド
上山龍紀	U-FILE CAMP
久松勇二	TIGER PLACE
窪田幸生	パンクラス ism
石川英司	パンクラスGRABAKA
長南亮	U-FILE CAMP

優勝：上山龍紀

○伊藤崇文【2R 1分5秒 チョークスリーパー】日高郁人●
プロデビューする以前からの親友である両者の対決は、経験に勝る伊藤がVT初挑戦の伊藤から勝利した。試合後泣き叫びながらマイクアピールする日高に対し、伊藤は「また10年後、試合をしよう！」と日高を力強く抱きしめた。

●“ランバー”ソムデート吉沢【3R判定0−3】ダレン・ウエノヤマ○
偶然にもお互いスパイダーマンのマスクを被っての登場なったムエタイvs柔術の1戦だが、試合はまったく噛み合わず。ウエヤマがランバーの打撃を封じ、グラウンドで有利なポジションをとり続け大差の判定勝ちでランバーを下した。

いつ何時、『DEEP』には何かが起こる！

神懸かりなビックサプライズの連続で、すっかりそんなイメージがついてしまった『DEEP』ではあるが、今回もやっぱりその何かが起こってしまった！

和田さん敗れる！ 敗れる！ 敗れる！

試合早々打ち合いに挑んだ〝Uの最終兵器〟が、MAX宮沢（元・ニーハオ）の右ストレートの前に、1Rでマットに沈んでしまったのだ！

その光景は、いつかは目にすることだと思ってたにせよ、実際目の当たりにするとあまりにも悔しい！ 〝和田最強伝説〟の匂いを少しでも長く嗅いでいたかったファンの想いは、宮沢の「死んでも負けられない」という悲壮なる決意の前に、もろくも砕け散ってしまったのだ。されど、まだ一勝一敗！ 和田さん、もう一丁ッ！……を期待するのはダメ？ たしかに技術的には「？」マークが付いた和田さんの闘いぶりではあったが、39歳にしてバーリトゥードに挑戦する姿や、レフェリーとして「選手の現実」を実感するために闘いに臨んだその心意気は、〝プロ〟の雰囲気を醸し出せるファイターとしては合格だ。だからこそ入場では、大「和田コール」が巻き起こり、この日一番の大歓声を観客から浴びたと思うのだ。

無念の敗戦後、和田さんは「悔しい」という言葉を何度も口にした。今後の出場に関しては明言は避けたが、ファンや、そして和田さん自身の悔しさをなんとか晴らしてほしい！ U START-ING OVERだ！

一方、今大会の主軸となった日本人選手によるミドル級1DAYトーナメントには、マニアからの評価の高い8選手がエントリー。マニアックとはいっても、従来の『DEEP』とは違う趣の〝競技性〟が重視された闘いが展開され、いつもとは違う興奮が場内を包んだ。

しかし、さすが『DEEP』と言っていいのか、なんともはやなアクシデントが勃発！ 当事者となった窪田幸生はホントついてないとしか言いようがないが、トーナメント1、2回戦と続けて金的攻撃を受け悶絶するという珍事が起きてしまったのだ。鈴木みのる、菊田早苗と、金的問題に悩まされるパンクラスは、まさしく呪われてるとしか言いようがない。しかも窪田は相手にレッドカードが出されたこともあり、二戦とも際どい判定勝ちで決勝にコマが進むことになったのだから、さぞかし複雑な心境だったに違いない。いや、そんなことを思っていられないほど窪田のダメージは重く、もはや闘える状態ではないため、〝尾崎の野郎〟こと尾崎社長、菊田、佐伯代表、塩崎レフェリーらの協議の結果、戦闘不能の窪田に代わって、準決勝でその窪田に敗れたGRABAKA・石川英司が決勝に繰り上がり登場となった。

このアクシデントについて言えば、リザーバーが用意されてなかったことや、二度目の金的を喰らい、明らかに苦渋の表情を見せる窪田にそのまま試合を続行させたことなどの問題点が挙げられるが、まあ、この手の問題は格闘技雑誌各誌に任す！ 頼んだぞ！

というわけで、石川が穴を埋める形で行われた決勝戦は、一方のブロックを制したU―FILE CAMPの上山龍紀が、その石川をアンクルホールドでガッチリ仕留め一本勝ちで優勝！ 一回戦から通して上山のセコンドに付いていた師・田村潔司と、歓喜の抱擁をリング上で交わした。終わりよければ全て良し、そう思いたい結末だった。

これまでの『DEEP』はドス・カラスJr.や和田さんなどが、ある意味、茶番と思われかねない紙一重な状況を、選手のプロ意識とガチンコの緊張感を持ってそれをスリ抜け、ハードさ&ユーモラスさを感じさせてきた。ファンにしても、そこにワクワクする空間があったからこそ、見逃せなかったのである。そして、そこには当然のように、『DEEP』しか味わえない面白さがあったのだ。

今回もたしかに〝何かが起こった〟が、一見のファンが楽しめる、わかりやすい興行ではなかった。しかし、わかりにくいことが悪かというと、そうではない。アマチュアの競技会の延長線上にあるといってもいい今回のトーナメントは、〝底辺拡大〟には持ってこいの大会だ。だが、その〝底辺拡大〟と〝興行〟という概念をシンクロさせていくこと、つまり〝わかりやすさ〟と〝わかりにくさ〟を共存させることは、これまで様々な団体や大会が実験してきて失敗した例も多い。そういった落とし穴に落ちないように、佐伯代表にはディープな大会を存続させていってほしいものだ。

とかなんとか言ってるうちに、その『DEEP』の次回大会には、『DEEP』ファンなら、のたうち回って喜び、佐伯代表、バンザ〜イ！（×10）と叫びたくなるような衝撃スクープが飛び込んできた！ 遂にあの男が、『DEEP』にやってくる!? 胸をトキめかせて、次のページをめくれ！

（ジャン斉藤）

DEEP INTERNATIONAL 2001

ドスカラスJr.と対戦か？

「和田さんやられたよ、どうすんの！」「黙っていられるんですか!?」

焦燥するU信者よ、慌てるな！あの男が遂に立ち上がる!?

野武士が遂にやってくる!? あの中野巽耀が9・7『DEEP』に出陣濃厚！

6月9日、ロック様の日。サッカー日本代表がロシア戦を勝利で飾り日本国民を大熱狂させていたその裏で、『DEEP』ファンを大歓喜させるそんな衝撃の野武士情報がマット界を駆けめぐった！

この日、バトラーツ再旗揚げ戦となった後楽園大会に出場した中野は、「まだ言っていいのかわからないけど」と前置きしたうえで『DEEP』からオファーされていることを明言！ そして同じ日に行われていた『DEEP』ディファ大会では、佐伯代表が次回大会でドスJr.と闘う〝大物日本人〟について、「いまごろ闘ってるかもしれませんねえ」と満面の笑みを浮かばせながらコメント。

……ま、まさか、飛鳥仮面二世vs野武士が実現するのか!? 会場も『DEEP』な大田区体育館に流れる中野の入場テーマ「明日のジョー2」。そして、ドスJr.の「スカイ・ハイ」。〝U〟とルチャが『DEEP』なコラボレーションは想像しただけで失神モノ！ たまらないぜ！

第一次、第二次UWF、そして再評価が著しいUインターにおいて、その野武士っぷりでファンを沸かせた中野と、絶対に不利とされながらマスクを被りVTで闘い続けるドスJr.の一戦は、実現すればまさしく〝男の中の男〟な気骨溢れる闘いになるのは間違いない！

8月真夏の格闘技大戦争後に満を持してブッ放される佐伯代表の深淵魔術に、いまから注目だ！

（ジャン斉藤）

仰天スクープ!!

野武士がDEEP 2001にやってくる!?

大田区体育館で何かが起こる！

ジョン・ホーキが三度目の参戦！

「DEEP2001 6th IMPACT」

【日時】 9月7日(土)15：00～

【チケット】 先行発売 7月6日(土)・7日(日) 10：00～18：00 一般発売 7月14日(日)～

【会場】 東京・大田区体育館

【出場予定選手】

中野巽耀、ドスカラス.Jr、ジョン・ホーキ、超大物日本人"X"、何でDEEPに来るの？思ってしまう超大物外国人"X"

和田さんのカタキ討ち！滑川がMAX宮沢と対決!?

タッグマッチ実現！ Club DEEP

地元・名古屋での新企画

「Club DEEP in OZON」

【日時】 7月14日(日)15：00～

【チケット】 オールスタンディング ¥3000 (当日は¥500増し)

【会場】 名古屋・club OZON

【アクセス】 地下鉄名城線「矢場町」徒歩5分。若宮大通り沿い、ヘラルドシネプラザ2F)

【出場予定選手】

坂田亘、山崎剛、土居龍晴、岩間朝美 他

坂田がバーリトゥード史上初のタッグマッチに出陣だ！

●マット界の1ケ月丸わかり●

紙の新聞

編集長／堀江ガンツ
文／ジャン斉藤＆ささきぃ

5/19 → 6/14

「いまのは効いてます！」「凄いですね！」など、ストレートな表現で試合解説することでおなじみの「SRS・DX」サダハルンバ谷川編集長が、これまたストレート過ぎる格好でサッカーワールドカップを応援!? サッカーに押されぎみな今月のマット界も応援してよ！ んあ〜。

ガンバレ、日本!!

5/22

【猪木事務所】
成田空港

アントン「最後の愛弟子」を育てる

猪木二世、現る!? アントン総帥の第二故郷であるブラジルから、新たな猪木軍ファイターの登場が明らかになった。「名前はマチダリョウト。空手、柔術の使い手で、K-1、『PRIDE』と何でも対応できる。ンムフフフ」と、アントン総帥が太鼓判を押すその勇者は「過酷な環境のブラジルで育っただけあり根性が違う」とも言うだけに、かつて力道山の手によって、ブラジルから発掘された若き日のアントン総帥を彷彿させる選手だ。それだけに、アントン総帥が力道山ばりに靴ベラで叩くスパルタ指導で、リョウトを鍛える光景が見られるかもしれない。

5/21

【猪木事務所】

アントン、サッカー日本代表に「死ね!」

「バカヤローッ! 負けたらテメエら死ねッ!」。「FIFAワールドカップ」の国立競技場で行われる日本戦ライブ中継イベント告知会見で、司会者より「大のサッカーファン」と紹介をされたアントン総帥が、さっそうと登場。いつものように「元気ですかーッ!」とブッ放し、「元気がない日本で私がお役に立てることがあれば」とバックアップを宣言。続いて「負けたらテメエら死ねッ!」「なんなら国立競技場にビンタをしますか!?」などと脅しまじりの応援。これが効いたのか、日本はベルギーと引き分け、ロシア・チュニジアに見事勝利! さすがはアントン(?)!!

5/21

【新日本プロレス】

永田「時代変わった」健介をコキ下ろす

永田が健介にキレた! 今シリーズ、事あるごとに「覇気がない」「燃えてくるものがない」等、永田に対してチクチクと挑発をくりかえしてきた佐々木健介に、とうとう永田裕志（新婚）がキレた!「何を勘違いしてるんだろう。テンションをあげなきゃいけないのは、挑戦者の方でしょう? 今はもう時代も立場も変わっているんだよ」と、いつまでも先輩風を吹かし続ける健介をバッサリ斬った。防衛戦2日前に大阪で佐々木と対戦する事に関しても「強い相手とやりたい。安田に足元すくわれるようなら、王者の権限で、挑戦権ははく奪しちゃうよ」とまくしたてた。

5/19

【闘龍門ジャパン】
ディファ有明

マグナム、正式にM2Kリーダーに就任

マグナムTOKYOが、M2Kのリーダーに就任! タッグトーナメントの試合前、前シリーズからM2Kの面々をバックダンサーに従えたりと、行動の怪しかったマグナムが「話はできてんだよ、バ〜カ」とM2Kのメンバーの象徴であるスカジャン（ピンク）に袖を通し、ついにM2K入りを宣言した! また、今年からは正々堂々と闘うことをアピールし続けてきた前M2Kリーダーの望月成晃は正規軍に加入。CIMA率いるC-MAXはUWA6人タッグ王座を返上。7.7神戸大会でC-MAX、M2K、正規軍の3WAY王座決定戦が行われることも決まった。

5/19

【新日本プロレス】
三重・津市体育館

ドラゴン、マット界の相次ぐ悲報に奮起

ドラゴンが恒例の現役続行宣言! この日の試合後、D・スミスの訃報を知らされると「えっ!」と叫んだまま絶句。自分より10歳も若い選手の急逝に「早すぎるよ!」と表情を曇らせた。このところ相次ぐマット界の悲報にドラゴンは、胸を痛めながらも、「こんな時だからこそ辞めてられない」とばかりに「もう1回か2回だけ大勝負に出たい」と、やっぱり故人の分まで自分が頑張ることを決意。そして「早く幕を引けというファンの声には、違った意味での存在感で応えたいね」と、改めて誰がなんと言おうと現役に固執する姿勢を強調した。ドラゴン揺るぎなし!

6/7

【新日本プロレス】
日本武道館

吉江が藤田撃破!門番就任宣言。

度重なる乱入によって、遂に新日マット登場をはたした藤田ミノルの前に蝶野からの「勝てばG1当確。負ければメキシコへ無期限追放」を突きつけられた吉江は、これまでの藤田乱入アングルを台無しにするかのごとく、一方的に攻めまくり圧勝。ノアの森嶋が「二度とやりたくない」と言うのも非常に頷ける、誰も得をしないしない強さをうんざりするほど見せつけた。そしてよせばいいのに「これからも、オレがこういう役を引き受けますよ」と、門番継続表明。これからの新日参戦には、「吉江と名勝負をすること」という、過酷すぎるハードルが設けられそうだ。

6/3

【新日本プロレス】
新日本社長室

ダーク・ドラゴン、長州を断罪!

ドラゴンが長州発言にキバをむいた!「ボクのほうが、彼より経営のことはよっぽど分かってますよ」と、社長がヒラの取締役に向かって激白。「彼はうわっつらだけ。自己満足で無責任な発言で済む問題じゃない。長州は、役員というのは何であるか、もっと知るべき。自分の立場を知ってしゃべらないと、あとからいろんなものが覆いかぶさってくる」とまで語った。ドラゴンなりにずいぶん頑張ったが、翌日、長州からは100倍返しの辛辣なコメント。まさしく「自分の立場を知ってしゃべらないと、あとからいろんなものが覆いかぶさって」きてしまう事になった。

6/1

【新日本プロレス】
成田空港

猪木、長州の挑発にマジギレ!

猪木、長州発言にマジギレ! 前日の長州の会見について聞かれた猪木は「全く興味ない。一切(記事を)見てない。聞いてもいない」と無視し続けていたが、繰り返し問われると、ついに声を荒げて「オレに聞かないでよ。今さら、ケンカに引きずりこまないでくれ!」とブチ切れた! ロス道場について言及されると「ノーコメント!」と叫んだ猪木は、怒りをこらえながら「どいつもこいつも、借金だらけ。まぁ、長州については、いい人生を送りなさいよと。金に困ったら、オレの所に来いよ。ソムフフフ」と、最後に言い残して、パラオへと旅立った。

5/27

【新日本プロレス】

まってました!ドラゴン、G1出場宣言

今年もG1の季節がやってきた! G1と言えばドラゴン!! 「僕はフロント、社員や選手を信頼しているし、全力を尽くす」と、社長がやる気を出しているのになぜか不安になってくる言葉の後「ただ体の動く今年は頑張りたい。G1と10月のドームは、強引にでも出るつもりです」と、恒例のG1出場宣言! G1をなんとか盛り上げようと、現場責任者・蝶野が必死に考えている中で、己の事しか考えていない社長からの出場要求。その後、本当に出場決定。同ブロックの蝶野とドラゴンの試合がどうなるか、注目である。(G1出場メンバーは情報ページに)

6/7

【新日本プロレス】
日本武道館

リーダーは誰だ?健介軍団結成!

ヴァー! 師匠・長州力に見捨てられた佐々木健介が、そのさみしさを紛らわすためか新軍団の結成を宣言した。この日、永田が持つIWGP王座に挑戦し敗れた健介は、控室で「気合い入れて行くぞ」と健介らしいアピールで、棚橋、健想、ブルー・ウルフの3人に軍団結成を呼びかけた。しかし、結成に応じたものの早々から「離れるかもしれない」「(今後の動きは)わからない」などと健想に言われ、何をしたいかサッパリわからないこの軍団。唯一ハッキリしているのは、健想、棚橋が口を揃えて言うように「チームの頭では健介ではない」ということだけなのかもしれない。

【新日本プロレス】
佐久市総合体育館

永田、ベルトを掲げてIWGP防衛宣言!

5日の大阪大会で行われる安田VS健介戦が、「IWGP挑戦者決定戦」となることが決定した。現チャンピオン・永田裕志(ゆうタン)は、「どちらが勝ち上がってきても負ける要素はない」と豪語。永田は当日リングサイドでこの試合を観戦の予定で「ベルトでもちらつかせて、焦らせてやろうかな」と、余裕の表情だった。だが、安田はベルトを見て焦るどころか、試合順も変更になるほどの大遅刻。リングサイドにいるチャンピオンには目もくれずに試合スタート。大ヒール安田と健介の試合は、5分35秒で終了した。がんばれ、IWGPチャンピオン永田裕志!

6/2

【新宿プロレス】
クラブ・ハイツ

アレク復活!!

菊田戦で物議を醸した渦中のアレクが約1ヶ月ぶりにVTを行った……といっても、そのリングは「PRIDE」でも、もちろんパンクラスでもなく、「新宿プロレス」のマットだった。現在アレクは、プロレス休業中ということで、スパーリング・パートナーの大場貴弘を相手にVTルールでのエキシビジョンマッチを披露。客席からは凄まじい「大アレクコール」が巻き起こった。しかしながら、試合後のサスケも「今日のMVPは夢野まりあ(現MARIA・元AV嬢)だな」と言ったとおり、オ●ニ●ショーで、巨乳を揺らしながら悶えまくMARIAに観客からレスラーまで大興奮!! アレクもこれにはかなわなかった。

5/31

【新日本プロレス】
新日本プロレス道場

長州退団会見で猪木を痛烈批判

「あの人には感謝すらない! 」長州が猪木に"決別宣言"! 5月31日付けで新日本を退社した長州が、道場で最後の会見を開き「(退団の)問題となるのは会長であるアントニオ猪木っていうものになりますよね」と、猪木との確執を40分に渡って語り尽くした。「世界発信っていったって、この15年間位な〜にやってたのか。なんのメリットが新日本にあったのか? なにひとつ身にはなってない。オレにはあの人に感謝すらない」と、厳しく糾弾した上で「何かコンプレックスありますよね。欠落してますよ」とまで発言。新日本最後の日に、大きすぎる波紋を投げかけた。

6/12

【プロレスリング・ノア】
後楽園ホール

浅子覚、引退を表明

力皇が小川良成を秒殺するという、大番狂わせの起きたノアの選手会興行で、ノーフィアーのリーダー・浅子覚がリング上から引退を表明した。まだ31歳という若さの浅子は、半年間首のヘルニアの治療をしてきたが「これ以上満足なコンディションが作れない。不完全なコンディションで出来るほど、プロレスは甘くない」と引退を決意。次期シリーズ最終戦の7.26で引退試合を行う。カードは未定だが、浅子は「最後は自分の原点であります『超世代軍』でやりたいと思います。三沢光晴と組みたい」と語った。浅子は今後、裏方として選手をバックアップしていく予定だ。

6/10

【AO/DC】

アレク、アメリカ武者修行に旅立つ

4・28「PRIDE.20」の菊田早苗戦で、栄えある「読者による2002年上半期・ワースト試合第1位」の名声を獲得したアレクが、約1ヶ月間、シアトルのマット・ヒュームのジム・AMC(現在はモーリス・スミスもいる)で特訓に励むことになった。菊田戦では「何をしたいのかわからない」「技術がない」などと一部のファンに叩かれまくったアレクが、そういった声へのリベンジのためにか(?)、VTの技術に、その頭同様、ピカピカの磨きをかける予定。アレクは「"技"に揉まれてきます」という言葉を残して、機上の人となった。帰国は7月中旬の予定。がんばれアレク! 菊田にリベンジだ!!(違うか!?)

6/8

【リングス・パンクラス】

前田×尾崎裁判に判決! 前田敗れる!!

前田敗れる! パンクラスの尾崎允実社長が暴行された上に虚偽の発言で名誉を著しく傷つけられたとして、リングス前田日明社長に対し約500万円の損害賠償などを求めた訴訟の判決で、東京地裁の金沢秀樹裁判官は7日「不法行為に当たる」として、前田被告に約155万円の支払いを命じた。これによって長く続いた前田×尾崎戦争にもひとつの決着がつき、尾崎社長は司法によって、「顔中が●ン●んみたいな顔」でもなく、ましてや「顔中にタ●シチンキを塗る必要」などがないことが証明された。おめでとう、尾崎社長!

6/7

【新日本プロレス】
日本武道館

中西、敗れてジャーマン封印

"なんちゃってゴッチイズム"敗れる! プロレスの神様・カールゴッチ直伝(2時間、話をしただけ)のジャーマンを使いこなす中西学が、"エベレスト・ジャーマン"の持ち主、高山善廣に敗北。「もう一度あいつに勝つまでジャーマンは使わん。男に二言はない」と、試合前から高山に「エベレストのほうが高いじゃん。やる前から」とツッコまれていた"富士山ジャーマン"を封印宣言。「負けたのは、俺におごりがあったから。ストロングスタイルを極めるために1からやりなおす」と反省していたが、本当に反省したなら、まずはゴッチさんに謝って欲しい。

6/14

【高田道場】
代々木第2体育館

高田道場第6の男レスリング選手権出場

高田道場の新鋭、惜しくも敗れる! 高田道場"第6の男"浜中和弘が「明治乳業カップ全日本選抜レスリング大会」84キロ級に出場。惜しくも準決勝で敗戦を喫した。アマレスでアテネオリンピック出場を目指す浜中は、将来的には総合格闘技進出も視野に入れてるだけに、今後注目すべきファイターだ。ルックスも良い浜中は、オリンピック、バーリトゥードで活躍をはたし、高田道場のニューヒーローとなるか!? ちなみにこのレスリング大会には、キムケンこと木村健吾新日スカウト部長が有望な選手を物色。しっかり働いているんですねえ。イナズマッ!

6/12

【訃報】

ナンシー関さん急死、若すぎる39歳

「紙プロ」とも縁が深く、プロレス好きだったナンシー関(本名・関直美)さんが12日午前0時47分、心不全のため急逝した。39歳だった。ナンシーさんは、ちっちゃい版型の頃の「紙プロ」本誌で「消しゴム爆破デスマッチ」「パワー・ゴム」という連載を行っていて、「馬場さんは実はキザなのではないか?」と指摘した独特な視点から書かれた名コラムを多数残している。「猪木とは何か?」では座談会にも登場してくれた。「これはナンシーせきと読むのか、ナンシーぜきと読むのか?」と酔っぱらいながら話したのが、本誌編集長・山口日昇との最後の会話だったという。謹んでご冥福をお祈りします。

【新日本プロレス】
成田空港

藤田、8月真夏の興行戦争に向けて吠える!

"野獣"藤田が帰ってくる! 年末、アキレス腱断裂という不測の事態に見舞われ戦線を離脱した藤田和之が、ビックマッチが軒を連ねる8月からの復帰が濃厚となった。アントン恒例の成田会見に突如姿を現した藤田は、「御心配おかけしました。もう大丈夫です」とリング復帰を報告。嬉しい愛弟子の復帰にアントン総帥は「動くなら派手に動いてくれ。いっぱい金を儲けてオレに貸してくれ」と独特のエールを送った。復帰戦について藤田は「おいしい相手とやりたい。長州はマズイね。おししくない。でも、やってやってもいい」とかつての上司を呼び捨てで吐き捨てるなど、師弟共々舌好調ぶりをアピールした。

6/8

猪木が指令
新日社長 長州
藤波追放

【東京スポーツ】

長州、ドラゴンをメッタ斬り!

新日退団会見でアントンを痛烈批判した長州に対し「ギャラ出す必要なし!」などと、断罪したダーク・ドラゴン。しかし、その例によっての不用意な発言に長州が激怒。裸の殿様・ドラゴンの実体を遂に暴露してしまった! その内容は「あれだけ何も知らない代表取締役はいない」「社員に全く信用されていない」と、これまで紙の新聞で再三報じてきた、お飾り社長ぶりと完璧に一致。さらに「猪木さんと根深い確執がある」と、公然の秘密をバラし、とどめとして、「83年のクーデター事件のときも、彼を信じた者はみんな裏切られた」と、多くの社員の運命を変えたコンニャクぶりを、19年の歳月を経て糾弾。革命戦士恐るべし!

丸ごと刈れ!なプレゼント 破壊王セットだ!!

お客様は神様です!

1名様

★ZERO-ONEに願いを!　破壊王短冊セット
破壊王が気が赴くがままに書き連ねた七夕短冊セット!　崔リョウジの意味不明なものを混じっているが、どの願いも心打たれるものばかり。宝物にしよう!

1名様

★闘魂伝承Tシャツ
破壊王から「闘魂伝承」を伝承する最後のチャンス!　もはやこのTシャツを着る機会も少ないだけにサイン入りは貴重だ!

1名様

★破壊王ファーストTシャツ
破壊王にとって初めて製作されたTシャツがこれだ!　タグに「リキプロダクション」と入っているのが笑えるが、当時といまのサインが入った貴重なTシャツだ!【吉田豪提供】

2名様

★熱唱!破壊王アルバム「橋本元年」
♪さ～がしてる　い～まも♪　プロレス史上に残る最高傑作「橋本元年」(販売直後版元倒産)に破壊王のサインを入れてプレゼント!　さっそく自宅で練習を重ね、カラオケで熱唱だ!
【吉田豪提供】

『紙プロ』以外で大ブーム!「クソブタッ!」と言われないために ファスティング・ダイエット!

各2名様

★TGP Tシャツ
両国国技館にいくときはこれを着ろ!　あの暴動の衝撃が身体を貫くTGP Tシャツ!　¥3,500(税別)

★ファスティング・ダイエット
やっていないのは『紙プロ』読者だけ!　芸能界でも大人気のファスティング・ダイエットがやってきた!　3日間でおそるべき効果を発揮する、体質改善や肉体改造の最終兵器だ!

★坂口征二ビックサカTシャツ
親指をペロリとなめてしまうこと間違いなしなビックサカT!　口癖ももちろん、真似してまうぞ!　¥4,000(税別)

★ヤマハブラザースTシャツ
泣く子も沈黙!　小鉄と勘太郎のヤマハブラザースTシャツ!　昭和新日イズムをこれで感じろ!　¥4,000(税別)

★木戸修Tシャツ
たっぷりつけられたポマードの匂いが漂ってきそうな木戸Tだ!　肌をこんがりと焼いて着よう!　¥4,000(税別)

この欄すべてグレート・アントニオの商品です。詳しくはグレートアントニオHP(http://www.great-antonio.jp)をご覧ください。

大人気WWEグッズ

WWEグッズはここで買え! DVD・ビデオのWWE最新映像が現地同時リリースするなど、ファンにはたまらないお店が浜松町「Big Blue」だ! 電車賃がなくなるまで買い漁ろう!

Big Blue
【場所】東京都港区浜松町2-5-1石渡ビル2F
【アクセス】浜松町駅(JR)
大門駅(地下鉄浅草線・大江戸線)
芝公園駅(地下鉄三田線)
【営業時間】月～金／10:00～21:00
土日祝日／11:00～17:00
【TEL】03-3435-2883
【URL】http://s-ovation.com/bigblue.html

★タフイナフTシャツ

★666アンダーテイカーベースボールTシャツ

FRONT

BACK

★APAジッポライター

★ストーンコルドール掛け時計

各1名様

APE

★APE Tシャツ
Tシャツを求めて、販売ブースに多くのファンが押し寄せた6・9小島&NIGO興行。奇跡的にゲットしたTシャツをスペシャル・プレゼント!
【松澤チョロ提供】

2名様

ロシアが来た!

1名様

★エメリヤーエンコ・ヒョードル・サイン色紙
リングス無差別王者に輝いたときに書いてもらったサイン色紙をいまだからこそ放出! シュルト戦は……もちろん勝ちましたよね!?

市屋苑

★市屋苑Tシャツ
今号登場ワル健こと鈴木健氏から、なんと10名様にドドーンとプレゼント! これを着て市屋苑に行こう!
【鈴木健提供】

各10名様

PRIDEウォッチ

各1名様

★時はきた!『PRIDE』腕時計
アントン、藤田、ボブチャンチン、シウバ(2種類)の腕時計が堂々の完成! コンプリートは必至の『PRIDE』グッズだ!
【DSE提供】
お問い合わせ『PRIDE』ナビダイヤルTEL.03-5775-5852

田村vsシウバ、安田vsバンナ、魂の闘い!

各2名様

★『PRIDE.19』DVD・ビデオ
田村潔司が『PRIDE』初登場! フライvsケンシャムの遺恨精算マッチも行われた衝撃の『PRIDE.21』を映像でも楽しめ! ビデオorDVDのどちらかを選択してください。
【フォーブリック提供】

★猪木軍vsK-1 7対7全面対抗戦『INOKI BOMB-BA-YE』
安田忠夫人生劇場に誰もが泣いた昨年の大みそか12・31「猪木ボンバイエ」のビデオ・DVD化が遂に実現! ビデオorDVDのどちらかを選択してください。
【フォーブリック提供】

応募要項

応募券

❶郵便番号・住所・電話番号
❷氏名
❸年齢・職業
❹希望商品
❺面白かった記事&その理由
❻つまらなかった記事&その理由
❼『紙プロ』で実現して欲しい企画

【宛先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「橋本元年」係まで
※締切は2002年7月23日(火)当日消印有効

これが『紙プロ』通販のやり方かァ!!

「いつまで売ってんだこんなものォ!!」

と破壊王が言い放ちそうな定番商品は完売間近です! 早めに手に入れろ!

紙プロネックピース

¥ ~~1,200~~ ➡ 大特価 ¥ 600

リングおじさんパーカー〈黒〉

¥ 6,000　M or L（SOLD OUT）

リングおじさんパーカー〈白×黒〉

¥ 6,000　M or L

紙のプロレスRADICAL おもいっきりロゴT

¥ ~~3,800~~ ➡ 大特価 ¥1,900 [Sサイズのみ]

残りわずか!

SS Tシャツ半ソデ〈赤〉

¥ 3,500　S（SOLD OUT） or M or L

SS Tシャツ半ソデ〈紺〉

¥ 3,500　S（SOLD OUT） or M（SOLD OUT） or L

通　販　方　法

希望商品の代金＋送料¥500（何枚でも可・ネックピースだけなら¥300）を郵便振替か現金書留で下記の住所まで送るんだ! 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品（サイズとカラーを明記）を必ず表記してください! 記入しないと商品が発送できません。隣のページのTシャツの申込みもOK!

[郵便振替の宛先]

00130-3-769154

[現金書留]

〒151-0051東京都渋谷区
千駄ケ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

[お問い合わせ先]

（株）ダブルクロス
03-3403-5188

紙のプロレス RADICAL

No.51

2002年7月25日発行

No.52は 7月23日発売予定!

※多分にです。地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（サッカー日本代表を批判して非国民扱いされたため罪番）

スーパーバイザー
吉田豪

スーパー助っ人
スモーノブ

助っ人
中村カタブツ君
片山ボン
ジャイ子

独り電気部
さききぃ

アートディレクター
出田さん（TwoThree）

デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
グッチー
タニやん（以上TwoThree）

トメさん
はなえちゃん（以上さおとめの事務所）

海老沢勇（Zero graphics）

石田理恵

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
菊池茂夫

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林“ヘックション”一枝

出前
出前持ち入江（TwoThree）

フィニッシュ
ツー・スリー
さおとめの事務所

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元　株式会社ワニマガジン社　〒160-8580　東京都新宿区内藤町一番地　TEL.03-3357-2911（販売・営業）
発行元　株式会社ダブルクロス　〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　TEL.03-3403-5188（編集・制作）

クイック・キック・リーTシャツ完売!

大好評! こちらの『紙プロ』商品も完売間近です!

★★★『PRIDE.21』出陣につき再販決定! 田村Tシャツ! ★★★

WHO ARE U Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L

WHO ARE U Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,800 S or M or L

★★★「UWF」Tシャツが「U.M.F」ロゴで復活!★★

U.M.F. トリムシャツ〈白×黒〉
¥3,000 SOLD OUT or M or L

U.M.F. トリムシャツ〈白×青〉
¥3,000 SOLD OUT or SOLD OUT or L

★★★特製缶バッチ付き! 『紙プロ』旗揚げ10周年&RADICAL創刊5周年記念商品★★★

Kapra半袖Tシャツ〈白〉
¥3,500 S or M or L

Kapra半袖Tシャツ〈デニム〉
¥3,500 S or M or L

Kapra半袖Tシャツ〈グレー〉
¥3,500 S or SOLD OUT or SOLD OUT
残りわずか!

Kapraパーカー〈チャコールグレー〉
¥6,000 SOLD OUT or L
残りわずか!

★★★涙の休止! リングスTシャツ!★★★

クイック・キック・リーTシャツ〈黄〉
¥3,800 SOLD OUT or SOLD OUT or SOLD OUT or SOLD OUT
完売御礼

クイック・キック・リーTシャツ〈白〉
¥3,800 XS or SOLD OUT or SOLD OUT or SOLD OUT

アディオス・アミーゴTシャツ〈黒〉
¥3,800 XS or SOLD OUT or SOLD OUT or SOLD OUT or SOLD OUT
残りわずか!

アディオス・アミーゴTシャツ〈白〉
¥3,800 XS or SOLD OUT or SOLD OUT or SOLD OUT or SOLD OUT
残りわずか!

リング・アフロラグラン長袖Tシャツ〈グレー×黒〉
¥4,500 S or M or L

リング・アフロラグラン半袖Tシャツ(黒×グレー)
¥3,800 S or M or L

ヴォルク・ハンTシャツ
¥3,800 S[残りわずか!] or M or L

※通販完売商品は直販店にある。多分にだよ。

【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン(TEL.03-3221-6237) ★東京イサミ(TEL.03-3352-4083) ★岐阜・バンザイ商会(TEL.0584-75-4966) ★宮城・スクワット(TEL.022-264-8160) ★大阪・少年ジェッター(TEL.06-6541-3551) ★グレート・アントニオ(TEL.03-3219-9550) ★大阪・バディスラム(TEL.06-6645-1378)

紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZIN MOOK207
2002 NO.51
7・7七夕は両国に全員集合!
ZERO-ONEに願いを!!
平成14年7月25日発行 編集発行人/山口日昇
発売元:(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話/03-3357-2911
発行元:(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話/03-3403-5188
ワニマガジン社 定価:本体838円+税

9784898296875
ISBN4-89829-687-4
C9476 ¥838E
1929476008381
雑誌 69860—07

印刷:図書印刷株式会社

INDEX

*50音及びアルファベット順

名称	電話	住所
アルシオン	➡03-5745-6101	〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-24 サンハイツ1004
大阪プロレス	➡06-6636-6672	〒556-0002 大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
怪獣王国	➡03-5952-1177	〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F
キャプチャー	➡044-959-3333	〒215-0011 神奈川県川崎市麻生区百合ヶ丘2-2-1 横山ビルB1
キングダム・エルガイツ	➡0423-31-2797	〒206-0822東京都稲城市坂浜2305
栗栖ジム	➡06-6790-8896	〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7
喧嘩プロレス二瓶組	➡044-588-2438	〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2 二瓶ビル
国際プロレス	➡0467-86-0197	〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14
修斗コミッション	➡03-5824-1324	〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8 若山ビル201
女子総合格闘技・AX	➡03-5286-7921	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町1-7
新日本プロレス	➡03-5468-3111	〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11
掣圏道	➡03-5456-7333	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14 恵比寿スカイハイツ607
全日本女子プロレス	➡03-3493-6541	〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17
全日本プロレス	➡03-3403-7344	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12
大日本プロレス	➡045-937-0811	〒224-0053 神奈川県横浜市都築区池辺町4347
ダイプロデュース(大仁田興行)	➡03-5496-4900	〒141-0031 東京都品川区西五反田1-32-3 大北ビル3F
髙田道場	➡03-5749-5030	〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 ワールドパレス武蔵小山1F-B1
高山堂	➡03-5464-2806	〒150-0011 東京都渋谷区東2-21-9-803ジェイパーク渋谷イーストスクエア
つぼプロモーション	➡03-3498-4710	〒150-0011 東京都港区南青山6-15-1 アパルトマン青山2F-E
闘龍門JAPAN	➡078-333-9797	〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通り3-17-8 TOWA元町ビル901
トータルワークアウト	➡03-3280-5557	〒108-0073 東京都芝区三田4-7-24 明るいビル
ドリームステージエンターテインメント	➡03-5775-5700	〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-4 ルーメリ赤坂103
バトラーツ	➡0489-63-0005	〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
パンクラス	➡03-5792-0815	〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25
プロレスリング・ノア	➡03-3527-5311	〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25
みちのくプロレス	➡019-626-1333	〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8
DDT	➡03-3868-9181	〒112-0002 東京都文京区小石川2-9-7 MORIMOTO FLATS 4F
DEEP 2001事務局	➡052-339-0303	〒460-0071 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
GAEA JAPAN	➡03-5459-3101	〒150-0036 東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1 F
GCM COMUNICATION (和術慧舟會、A'GYM、RJW)	➡03-3538-5801	〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
IWAジャパン	➡03-3352-3366	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ401
Jd'	➡03-5561-0522	〒107-0052 東京都港区赤坂2-3-4 ランディック赤坂ビル4F
JWP	➡03-5849-2341	〒121-0052 東京都足立区六木3-6-4
K−1 事務局	➡03-3796-2977	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
KAIENTAI DOJO	➡043-214-6960	〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町3-4-17
LLPW	➡03-3945-7926	〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4 ピクセル文京105
NEO	➡044-422-8344	〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
SMACK GIRL実行委員会	➡03-5447-8483	〒106-0017 東京都港区南麻布4-11-21 ランディック南麻布B1
SPWF	➡03-3814-6371	〒113-0001 東京都文京区白山1-17-4 クロサキビル
T.A.M.A	➡042-572-6795	〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5
U-FILE CAMP	➡044-932-0282	〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1568
UFO	➡03-5447-2121	〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5 OK白金台ビル7F
WEW	➡03-5958-5651	〒176-0005 東京都豊島区南大塚3-34-4ニューヴァリー2F
WWS	➡0495-24-6900	〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 連合305
ZERO-ONE	➡03-5730-3401	〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 寿ビル601
ZIPANG	➡03-3312-0328	〒166-0011 東京都杉並区梅里2-40-21 ハイネス梅里201

ここでも

超獣復活

オウッ! オウッ! オウッ!

大日本に現れた、プレデターよりもブロディなこの男の名は……

O.D.D.だ!

オリジナル・ダッドリー・ダッドリー

継承する魂は超獣だけにあらず!?　次号でその全貌が明らかに!

弟コンビ

シー

高山善廣VS
ドン・フライ

怪物師弟

遂に「PRIDE」出陣!!
6.23さいたまスーパーアリーナ

杉浦貴VS ダニエル・グレイシー

高

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇　◎ ジャン斉藤
♠ 松澤チョロ　♥ さききぃ
◆ 堀江ガンツ

新日本■岐阜・岐阜産業会館(18:30)
全日本■愛知・名古屋国際会議場(18:30)

9 TUE.

全女■東京・後楽園ホール(12:00)
アルシオン■宮崎・日向市文化交流センター(18:30)

10 WED.

新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
ノア■岩手・一関市総合体育館(18:30)
アルシオン■宮崎・延岡市民体育館(18:30)

11 THU.

新日本■埼玉・久喜市総合体育館(18:30)
全日本■山口・徳山市総合スポーツセンター(18:30)
ノア■秋田・秋田市立体育館(18:30)
アルシオン■長崎・久留米リサーチパーク(18:30)

12 FRI.

新日本■山形・山形市総合スポーツセンター(18:30)
全日本■広島・広島県立総合体育館(18:30)
LLPW■佐賀・諸富町ハートフル(18:30)
アルシオン■長崎・長崎ncc&スタジオ(18:30)

13 SAT.

全日本■大分・大分県立荷揚町体育館(18:30)
ノア■山形・鶴岡市体育館(18:00)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(18:00)
LLPW■福岡・小倉北体育館(18:30)
アルシオン■福岡・博多スターレーン(18:00)

14 SUN.

新日本■青森・青森県武道館(15:00)
全日本■福岡・博多スターレーン(15:00)
ノア■新潟・新潟市体育館(17:00)
闘龍門■東京・ディファ有明(18:30)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(13:00)
大仁田FMW■東京・ディファ有明(13:00)
LLPW■山口・海峡メッセ下関(14:00)
アルシオン■熊本・菊池市総合体育館(17:00)
GAEA■東京・後楽園ホール(12:00)
K—1■福岡・マリンメッセ福岡(15:00) ◎
『club DEEP』■静岡・名古屋club OZON(16:00) ♠

15 MON.

新日本■秋田・大館市民体育館(18:30)
全日本■山口・長門市トレーニングセンター(18:30)
ノア■福島・鶴ヶ城体育館(18:30)

16 TUE.

新日本■岩手・岩手県営体育館(18:30)
ノア■富山・高岡テクノドーム(18:30)
闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)
SPWF■栃木・小山文化センター小ホール(18:30)

17 WED.

新日本■北海道・帯広町札内スポーツセンター(18:30)
全日本■大阪・大阪府立体育館(18:30) ★
ノア■高知・高知県民体育館(18:30)
SPWF■東京・板橋区立産文ホール(18:30)

18 THU.

大道塾「THE WARSⅥ」■東京・後楽園ホール(18:30)

19 FRI.

新日本■北海道・北海道立総合体育センター(18:30)
ノア■京都・福知山三段池公園総合体育館(18:30)
大日本■静岡・伊藤青果市場(時間未定)
アルシオン■長野・伊那市民体育館(18:30)
修斗■東京・後楽園ホール(18:30)

20 SAT.

新日本■北海道・北海道立総合体育センター(15:00) ♥
全日本■東京・日本武道館(15:00) ◆
闘龍門■福岡・博多スターレーン(18:30)
大日本■伊勢原市食品市場特設リング(18:30)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(18:00)
みちのく■岩手・矢巾町民体育館(15:00)

21 SUN.

ノア■大阪・はびのきコロセアム(17:00)
闘龍門■宮崎・シーガイア特設会場(16:15)
大日本■静岡・ツインメッセ静岡(16:00)
大阪■福井・福井競輪場特設リング(時間未定)
アルシオン■東京・後楽園ホール(12:30)
みちのく■福島・ビックパレットふくしま(15:00)

22 MON.

闘龍門■宮崎・サンドーム日向(18:30)

23 TUE.

ノア■愛知・豊橋市総合体育館(18:00)
闘龍門■熊本JA熊本山鹿青果市場(18:30)
みちのく■山形・舟形町B&G海洋センター(18:30)

24 WED.

闘龍門■熊本・興南会館(18:30)
みちのく■宮城・女川町総合体育館(18:30)

25 THU.

大日本■茨城・北茨城市民体育館(18:30)
LLPW■東京・後楽園ホール(19:00)
みちのく■秋田・山本町民体育館(18:30)

26 FRI.

ノア■東京・代々木第二体育館(18:00)
闘龍門■鹿児島・出水市総合体育館(18:30)
アルシオン■埼玉・秩父市民体育館(18:30)
NEO■東京・板橋区立産文ホール(19:00)
『AX』■東京・後楽園ホール(18:00)
みちのく■岩手・釜石市民体育館(18:30)

27 SAT.

闘龍門■福岡・行橋市民体育館(17:30)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(18:00)
アルシオン■岩手・矢本町民体育館(18:30)
修斗■東京・北沢タウンホール(18:00)
みちのく■宮城・中田町勤労者体育センター(19:00)

28 SUN.

ZERO—ONE■東京・ディファ有明(16:00) ★
闘龍門■山口・海峡メッセ下関(17:00)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(13:00)
みちのく■宮城・河北町民体育館(15:00)
JWP■東京・板橋区立産文ホール(18:00)
パンクラス■東京・後楽園ホール(13:00&18:00)

:30) ★
)
◆
)♠
00) ◆
庫1号館(17:00) ♥

RADICAL CALENDAR

6 June

22 SAT.

新日本■神奈川・南足柄市総合体育館（18:30）
闘龍門■静岡・ツインメッセ静岡（19:00）
大阪■大阪・フィスティバルゲート（18:00）
KAIENTAI-DOJO■千葉・Blue Fild（19:00）
キングダムエルガイツ■東京・Z－ZONE NAGAYAMA（18:00）
埼玉■東京・葛飾区金町地区センター（18:45）
JWP■東京・葛飾区金町地区センター（18:00）
U-FILE CAMP■東京・大田区体育館（16:00）

23 SUN.

『PRIDE.21』■埼玉・さいたまスーパーアリーナ（16:00）◎★
新日本■新潟・長岡市厚生会館（15:00）
闘龍門■埼玉・川越ペペホール・アトラス（18:00）
大阪■大阪・フィスティバルゲート（18:00）
IWA■東京・後楽園ホール（18:30）
大仁田FMW■静岡・アクトシティ浜松（18:00）
KAIENTAI-DOJO■千葉・Blue Fild（15:00）
華☆激■大阪・フィスティバルゲート（18:00）
T.A.M.A■東京・ニューシティーホール（11:30）
東海プロレス■愛知・名古屋南区カラオケ8エイト裏倉庫（18:15）
全女■宮城・築館町総合運動公園体育館（18:00）
アルシオン■東京・後楽園ホール（12:30）
Jd'■東京・ディファ有明（16:00）

24 MON.

全女■山形・鶴岡市体育館（18:30）

25 TUE.

KAIENTAI-DOJO■千葉・Blue Fild（19:00）

26 WED.

『AX』■東京・後楽園ホール（18:30）♠
r（アール）■静岡・キラメッセ沼津（時間未定）

27 THU.

新日本■愛知・春日井市総合体育館（18:30）
ZERO－ONE■東京・後楽園ホール（18:30）♥★
KAIENTAI-DOJO■千葉・Blue Fild（19:00）

28 FRI.

新日本■兵庫・豊岡市総合体育館（18:30）
DDT■東京・後楽園ゆうえんち内ジオポリス（19:00）
華☆激■福岡・CLIB BA－COO（20:00）
ナイトメアー■東京・板橋区産文ホール（18:00）
NEO■東京・板橋区産文ホール（19:00）
アルシオン■山梨・アイメッセ山梨（18:30）

29 SAT.

新日本■島根・平田市立宍道湖公園湖遊館（18:00）
ZERO－ONE■北海道・札幌テイセンホール（18:00）★
闘龍門■大阪・はびきのコロセアム（18:00）
大阪■兵庫・高砂市運動公園総合体育館（18:00）
KAIENTAI-DOJO■千葉・Blue Fild（19:00）
T.A.M.A■東京・金町区民センター（18:00）
UBJ■東京・金町区民センター5Fホール（18:30）
修斗■大阪・堺市金岡公園体育館（16:00）
GAEA■新潟・新潟フェイズ（18:00）
JWP■東京・キネマ倶楽部（18:30）

30 SUN.

ZERO－ONE■札幌テイセンホール（15:00）★
闘龍門■三重・伊賀ゆめドームうえの（15:00）
大阪■大阪・フィスティバルゲート（13:00）
WEW■東京・後楽園ホール（12:30）
活き活き塾■大阪・フィスティバルゲート（17:30）
GAEA■宮城・Zepp Sendai（17:00）
全女■栃木・佐野市ジャスコ前南駐車場（18:30）

7 July

2 TUE.

大日本■長野・松本めいてつショーホール（18:30）
SPWF■岩手・岩手県営体育館（18:30）

3 WED.

大日本■石川・石川県産業展示館2号館（18:30）

4 THU.

大日本■福井・福井市体育館（18:30）
SPWF■宮城・仙台市体育館第2競技場（18:30）

5 FRI.

新日本■岡山・岡山県体育館（18:30）
ZERO－ONE■長野・長野市運動公園体育館（18:30）★
ノア■東京・後楽園ホール（18:30）
全女■埼玉・熊谷市民体育館（18:30）

6 SAT.

新日本■滋賀・滋賀県立体育館（18:00）
ZERO－ONE■新潟・新潟市体育館（18:00）★
ノア■静岡・ツインメッセ静岡（18:00）
大日本■福島国体記念体育館サブアリーナ（18:30）
大阪■大阪・フィスティバルゲート（18:00）
全女■東京・大田区体育館（17:00）
SMACK GIRL■東京・ディファ有明（18:30）♠
禅道会「トライアル」■東京・ディファ有明（13:00）

7 SUN.

新日本■大阪・岸和田市総合体育館（15:00）
全日本■東京・後楽園ホール（12:30）
ZERO－ONE■東京・両国国技館（16:00）★♥
ノア■東京・ディファ有明（15:00）
闘龍門■兵庫・神戸ワールド記念ホール（16:00）♦
大日本■東京・後楽園ホール（18:30）
CMA■愛知・岡崎市竜美丘会館（時間未定）
新宿プロレス■東京・歌舞伎町クラブハイツ（18:00）♠
アルシオン■東京・アルシオン江戸川道場（14:00）
GAEA■大阪・大阪ドームスカイホール（13:00）
シュートボクシング■神奈川・横浜文化体育館（15:00）♦
The CONTENDERS-7■神奈川・横浜赤レンガ倉庫1号館（17:00）♥

8 MON.

新日本■岐阜・岐阜産
全日本■愛知・名古屋

9 TUE.

全女■東京・後楽園ホ
アルシオン■宮崎・日

10 WED.

新日本■東京・後楽園
ノア■岩手・一関市総
アルシオン■宮崎・延

11 THU.

新日本■埼玉・久喜市
全日本■山口・徳山市
ノア■秋田・秋田市立
アルシオン■長崎・久

12 FRI.

新日本■山形・山形市
全日本■広島・広島県
LLPW■佐賀・諸富町
アルシオン■長崎・長

13 SAT.

全日本■大分・大分県
ノア■山形・鶴岡市体
大阪■大阪・フィステ
LLPW■福岡・小倉北
アルシオン■福岡・博

14 SUN.

新日本■青森・青森県
全日本■福岡・博多ス
ノア■新潟・新潟市体
闘龍門■東京・ディフ
大阪■大阪・フィステ
大仁田FMW■東京・
LLPW■山口・海峡メ
アルシオン■熊本・菊
GAEA■東京・後楽園
K—1■福岡・マリンメ
『club DEEP』■静岡

15 MON.

新日本■秋田・大館市
全日本■山口・長門市
ノア■福島・鶴ヶ城体

16 TUE.

新日本■岩手・岩手県
ノア■富山・高岡テク
闘龍門■兵庫・神戸チ
SPWF■栃木・小山文

17 WED.

新日本■北海道・帯広
全日本■大阪・大阪府
ノア■高知・高知県民
SPWF■東京・板橋区

18 THU.

大道塾「THE WARS